



Parallels Desktop[®] 19 for Mac

ユーザーガイド

Parallels International GmbH
Vordergasse 59
8200 Schaffhausen
スイス
Tel : + 41 52 672 20 30
www.parallels.com/jp

© 2024 Parallels International GmbH. All rights reserved. Parallels および Parallels ロゴは、カナダ、米国および/またはその他の国における、Parallels International GmbH の商標または登録商標です。

Apple、Safari、iPad、iPhone、Mac、macOS、iPadOS は、Apple Inc. の登録商標です。Google、Chrome、Chrome OS、Chromebook は、Google LLC の登録商標です。

その他のすべての社名、製品名、サービス名、ロゴ、ブランド、またすべての登録商標または未登録商標は、識別の目的でのみ使用されているものであり、それぞれの所有者の独占的な財産となります。サードパーティに関するブランド、名称、ロゴ、その他の情報、画像、資料の使用は、それらを推奨することを意味するものではありません。当社は、これらサードパーティに関する情報、画像、素材、マーク、および他社の名称について所有権を主張するものではありません。特許に関するすべての通知と情報については、
<https://www.parallels.com/jp/about/legal/> をご覧ください。

目次

Parallels Desktop へようこそ	8
実行できる操作	9
Parallels Desktop の各エディション	10
Parallels Desktop 19 の新機能	11
Windows アプリケーションを使用するように Mac を設定する	15
その他の OS	15
Parallels Desktop のインストールまたはアップグレード	17
システム要件	17
Parallels Desktop のインストール	17
Parallels Desktop のアクティベートと登録	18
Parallels Desktop の購入	20
Parallels Desktop のアップグレード	21
ソフトウェアアップデートのインストール	22
言語の設定	23
Windows のインストールまたはインポート	25
Windows のインストール	25
Parallels Desktop での Boot Camp の使用	29
旧バージョンの Parallels Desktop またはその他の仮想化アプリケーションからのインポート	31
Microsoft からの Windows のダウンロードとインストール	32
Windows を IT 担当者から入手	32
Mac で Windows を使用する	34
使い始める	35
Windows の開始	35
Windows アプリケーションを開く	36
Windows アプリケーションのインストール	41
Windows のシャットダウンまたはサスPEND	42
macOS での Windows の動作の設定	47
Windows と macOS のマージ	47
Windows を単独のウィンドウに表示するよう設定	52

目次

Windows を画面全体に表示するよう設定	54
CD/DVD を挿入すると開くアプリケーションを設定する	58
macOS と Windows でアイテムを共有する	59
マウス、トラックパッド、キーボード	83
マウスまたはトラックパッドへの右クリックおよび中央クリックの設定	83
キーボードショートカットの使用	86
キーボードショートカットのカスタマイズ	86
新しいキーボードショートカットの作成	91
macOS での Windows 入力言語の確認と変更	92
マウスとキーボードの設定	94
外部デバイスの接続	96
デバイス設定の調整	101
Bluetooth デバイスの接続	103
Bluetooth ゲームコントローラーを接続する	105
Windows からの印刷	107
Mac に接続されたプリンターの共有	108
ネットワークプリンターの設定	110
USB プリンターの設定	114
組み込みの外部 Webcam の使用	114
外部モニターまたはプロジェクターでのプレゼンテーションの表示	116
データの保護	118
Mac から Windows を分離する	118
変更を保存せずに Windows で作業	118
パスワード要件の設定	119
Apple Touch ID を使って Windows にログインする	120
Windows を暗号化して不正使用から保護する	125
インターネットまたはネットワークへの接続	126
macOS と Windows でネットワークアクセスを共有する	126
Windows への個別のネットワーク設定の適用	128
ホストオンリネットワーク設定の使用	129
Windows での Wi-Fi の使用	130
Windows の VLAN に接続する	131
パフォーマンスの最適化	131
Windows に割り当てるメモリ容量の設定	131

最適化設定	132
起動中のアプリケーションが存在しない場合に Windows を一時停止する	134
ゲーム、グラフィック、業務用ツール、または開発用に仮想マシンを最適化する	134
Windows を Travel Mode で操作する	136
Windows メンテナンスのスケジュール	138
Parallels Toolbox を使用して時間を節約	138
画面の写真の保存	139
仮想マシンの Dock アイコンの外観を設定する	140
Mac がスリープ中でも Windows アップデートを許可する	140
Windows で知らない単語の意味を調べる	141
Windows で Touch Bar を使用する	142
Parallels Desktop 環境設定と仮想マシン設定	143
Parallels Desktop 環境設定	146
一般的な環境設定	146
ショートカットの設定	147
デバイス環境設定	155
セキュリティ環境設定	157
ネットワークの環境設定	158
詳細な環境設定	163
Parallels Toolbox	165
仮想マシン設定	166
一般設定	166
オプション	168
ハードウェア設定	196
セキュリティ設定	224
バックアップ設定	226
デバイスの追加と削除	228
仮想ディスクと物理ディスクのサポート	230
新しく追加されたディスクの初期化	231
仮想マシンに物理ディスクを内部接続する	235
高度な説明	239
仮想マシンの操作	239
サポートされるゲスト OS	239

目次

仮想マシンの概要	240
仮想マシンをアレンジする	241
仮想マシンの判別	241
仮想マシンアイコンの変更	242
仮想マシン名の変更	242
仮想マシンの複製	243
仮想マシンのバックアップ	246
仮想マシンテンプレートの作成および使用	247
仮想マシンのスナップショットの保存	249
実行時に仮想マシン構成を変更する	253
マウスホイールの水平スクロールを使用する	255
仮想マシンの削除	255
事前に構成された仮想マシンのダウンロード	256
ゲスト OS の種類とバージョンの設定	256
仮想マシンで使用可能なプロセッサー数の設定	257
仮想マシンの CPU およびメモリ使用率の確認	258
ゲスト OS での AppleScript の使用	258
ディスク領域をすばやく解放	259
仮想マシンのアーカイブと解凍	259
転送用の仮想マシンを準備する	260
Mac で他の OS を使用する	262
ゲスト OS のキーボードのカスタマイズ	262
ゲスト OS としての macOS の使用	265
Parallels Tools のインストールまたはアップデート	269
Parallels Tools の概要	269
Windows 用の Parallels Tools	272
Linux 用の Parallels Tools	273
Mac 用の Parallels Tools	275

ファイルタイプの関連付け設定	276
ピクチャ・イン・ピクチャモード	278
Parallels Desktop の表示/非表示	281
Parallels Desktop の削除	282
詳細な環境設定	283
共有ネットワークの設定	284
ホストオンリネットワークの設定	287
カスタマイズされたホストオンリネットワークの作成	289
トラブルシューティング	290
Parallels Desktop のソーシャルメディアページ	291
その他のリソース	292
用語集	293

第 1 章

Parallels Desktop へようこそ

もう、Mac と PC のどちらかを選択する必要はありません。Parallels Desktop では、Mac で Windows と macOS の両方を使えます。

このガイドでは、Parallels Desktop 19 for Mac を簡単に設定し、起動する方法を説明します。



この章の内容

実行できる操作	9
Parallels Desktop の各エディション	10
Parallels Desktop 19 の新機能 11	
Windows アプリケーションを使用するように Mac を設定する	15
その他の OS	15

実行できる操作

Parallels Desktop を使用すると、以下の操作を行うことができます。

- 再起動することなく、Windows アプリケーションと macOS アプリケーションを並べて開く
- Mac アプリケーションと Windows アプリケーションの間で、テキストのコピーと貼り付けやファイルのドラッグ & ドロップを行う
- Windows ゲームやその他の 3D アプリケーションを実行する
- PC のすべてのデータを Mac に転送して使用する
- Windows と Mac 間で、ファイル、デバイス、およびその他のリソースを簡単に共有する
- Windows、Linux、macOS などさまざまなオペレーティングシステムをインストールし、同時に使用する
- 事前に構成された仮想マシンをダウンロードして使用します。
- その他多数

第 2 章

Parallels Desktop の各エディション

さまざまな Parallels Desktop のエディション間の違いについて詳しく知りたい場合は、以下のページをご覧ください。

Standard エディションと App Store エディションの違いについての包括的な概要是、こちら <https://kb.parallels.com/123796> から確認できます。

Standard バージョンと比較した Pro バージョンのメリットの詳細については、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123296> を参照してください。

第 3 章

Parallels Desktop 19 の新機能

注: この章では、Parallels Desktop 19 for Mac の初回リリースで導入された主な変更点について、以前のメジャーバージョン（18.x 以前）と比較して説明します。マイナーバージョン（19.x）で導入されたその後のすべての変更と改善については、それぞれのリリースノートを参照してください。

Parallels Desktop のメジャーバージョン 19.0.0（ビルド 54570）には次の改良点が含まれています。

macOS Sonoma 14 に対応

Parallels Desktop 19 は、Mac のプライマリ OS としてだけでなく仮想マシンとしても macOS Sonoma 14 をフルサポートしています。それで新しい OS が利用可能になった時点ですぐに Mac コンピューターをアップグレードできます。macOS Sonoma の具体的な改良点の詳細については、以下をご覧ください。

外観および使用感

- 最新のデザインガイドラインを反映した新しいアプリアイコンが追加されました。
- ダイアログとアラートのデザインが一新され、アプリケーションとのやり取りが容易になりました。
- アーカイブ化またはパッケージ化された仮想マシンを開く前の確認ダイアログが追加されました。
- スナップショットに戻す際の警告ダイアログに [再表示しない] チェックボックスが追加されました。

Mac で Windows を実行

- Mac との統合: Mac の Touch ID を使って Windows 10/Windows 11 仮想マシンにログインする機能が利用できるようになりました。Windows アカウントの資格情報は macOS キーチェーンに安全に保管され、Touch ID で保護されます。この資格情報は当該の Mac でのみ利用できます。

- グラフィック: Windows でバージョン 4.1 までの OpenGL がサポートされ、ArcGIS CityEngine 2023、Vectorworks Vision 2023、VariCAD などを実行できるようになりました。この OpenGL バージョンでは、ArcGIS Pro ソフトウェアのパフォーマンスも向上しています。
- 印刷: macOS Sonoma 上の Parallels Desktop 19 を使用して Windows から印刷する際に、IPP (Internet Printing Protocol) が使用されるようになりました、ハードウェアがサポートする機能との互換性が向上しました。
- キーボード: Microsoft Edge で Command + W を使用すると、アプリケーションを終了するのではなくタブが閉じられるようになりました。

Linux

- Ubuntu 22.04.2、Fedora 38、Debian 12、CentOS 9 など、最新の Linux ディストリビューションがサポートされました。
- Apple Silicon を搭載した Mac コンピューターに、Arm 版の CentOS 9 Stream をインストールして実行できるようになりました。

macOS (仮想マシンとして)

- Apple Silicon 上で macOS 仮想マシンを一時停止およびレジュームする機能が追加されました。
- macOS Ventura 13 以降で動作する Apple Silicon Mac 上で、IPSW イメージを使用し「新規作成」ダイアログを介して macOS 仮想マシンをインストールする機能が追加されました。
- macOS Ventura 13 以降では、「スクロール & ズーム」のマルチタッチジェスチャーのサポートが追加されました。
- macOS Sonoma 14 以降では、仮想マシンのウィンドウサイズに基づいた動的な仮想マシン解像度調整がサポートされています。

HashiCorp Packer との互換性が向上しました

- Parallels Packer Plugin および Parallels Desktop で、Parallels SDK および Python が必要とされることなくなりました。

- macOS 上の Apple Silicon 仮想マシンで Packer を使用する機能が追加されました。
- Parallels 仮想マシンで使用するための一連のサンプル Packer テンプレートが含まれています: <https://github.com/Parallels/packer-examples/>

Apple Silicon 上の Linux: x86_64 エミュレーション

- 「新規作成」ダイアログに、x86_64 コンテナーやアプリケーションを実行するために設定された、ダウンロード可能な Ubuntu アプライアンスが追加されました。注: Ubuntu のスナップアプリケーションはサポートされていません。
- CPU とメモリの設定に x86_64 エミュレーションを有効にするオプションが追加され、Apple Silicon マシン上の Linux 仮想マシンで利用できるようになりました。このオプションは Apple Rosetta 2 によって有効化され、開発者が x86 Docker コンテナーや MS SQL Server を実行できるようになります。注: Linux 内での追加の構成が必要です。すぐに使用するには、インストールアシスタントメニューから、事前構成された Ubuntu Linux 仮想マシンをダウンロードします。

Parallels Desktop 向けの Visual Studio Code 拡張機能

- 新しい Parallels Desktop には Visual Studio Code 拡張機能 <https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=ParallelsDesktop.parallels-desktop> が追加され、これまで以上に柔軟な方法で Parallels 仮想マシンと Vagrant ボックスを作成、グループ化、管理できるようになりました。
- Visual Studio Code 拡張機能内からコンテナーを迅速に管理できます。コンテナーが実行中であれば、マシンにログインしなくともコンテナーの起動/停止/再起動が実行できます。

ネットワーク

- Apple Silicon 上の macOS 仮想マシンでポートフォワーディングを使用できるようになりました（ホスト OS として macOS Sonoma 14 が必要）。Parallels Desktop の [システム環境設定] -> [ネットワーク] からポートフォワーディングルールを構成します。

コマンドライン

- **prlctl** コマンドラインツールを使用してキーボードキーイベント（プレス/リリース）を送信できる機能が追加されました（例: \$ prlctl send-key-event <VM ID> -k,--key <key> | -s,--scancode <scancode> [-e,--event <press|release>] [-d,--delay <msec>]）。

Parallels Desktop を使用するソフトウェア開発者や IT プロフェッショナルは、Parallels Desktop Discord チャンネル <https://discord.gg/uD5ftBBv> に参加して、これらの改良点に関するフィードバックを共有したり、機能の提案について議論したり、同じ分野に興味を持つユーザーとの交流を楽しんだりできます。

- Windows 仮想マシンを Windows 管理ソリューション（例: Intune）に登録する機能がサポートされました:
 - Parallels Deployment パッケージの使用（改良）。
 - Parallels My Account の構成プロファイルを使用して Windows 仮想マシンをプロビジョニング（サポート追加）。
 - パッケージ化された Windows 仮想マシンを使用し、ファイルとして共有（サポート追加）。
- Apple Silicon を搭載した Mac コンピューター向けに、macOS 仮想マシンを使用して Parallels Desktop を展開する機能がサポートされました。

Parallels カスタマーエクスペリエンスプログラムに参加しているユーザーの統計によれば、製品機能の中には、ほとんどまたはまったく使用されていないものもあります。当社は、これらの機能のサポートを停止するか、または Parallels Desktop から削除して、より頻繁に使用される機能の強化に専念することにしました。

- macOS 10.14、10.15、および 11 では、プライマリ OS として Parallels Desktop 19 を実行することができません。ユーザーは、これらの macOS システム上で以前のバージョンの Parallels Desktop を引き続き使用することができます、Parallels Desktop 19 のライセンスキーでアクティベートすることもできます。
- Intel プロセッサーを搭載した Mac コンピューターでは、以前の Windows OS バージョン（2000、XP、Vista、7、8、8.1）がサポート対象から除外されました

。ユーザーは、これらの OS をインストールしたり使用したりできますが、メンテナンスは終了しています。Parallels は最新バージョンへのアップグレードを推奨します。

- [Print to PDF (Mac Desktop)] 印刷オプションは使用できなくなりました。Microsoft の [Print to PDF] を使用してください。
- Intel プロセッサーを搭載した Mac コンピューターでは、[PC から Windows を移行] オプションは使用できなくなりました。Apple 移行アシスタントを使用してデータを移行し、新しい Windows 仮想マシンに Windows アプリケーションを手動で再インストールします。
- [更新をチェック] ドロップダウンメニューと確認頻度セレクターは利用できなくなりました。自動チェックが有効になっている場合、Parallels Desktop の実行中、1 日に 1 回更新がチェックされます。

Windows アプリケーションを使用するように Mac を設定する

わずか数ステップの操作を実行するだけで、Mac で Windows アプリケーションを使用できるようになります。Mac で Windows アプリケーションを使用できるように設定するには、以下の手順に従います。

手順 1: Mac に Parallels Desktop をインストールします (p. 17)。

手順 2: 仮想マシンに Windows をインストールします (p. 25)。

手順 3: Windows に Windows アプリケーションをインストールします (p. 41)。

これらの手順は、1 回のみ実行します。その後、いつでも Mac で Windows アプリケーションを開き、Mac アプリケーションのように使用できるようになります。

その他の OS

重要: このガイドでは、Parallels Desktop を Windows で使用することを中心に説明します。

Parallels Desktop for Mac を使用すると、さまざまな種類の Linux や Unix、macOS サーバー、Windows 11、旧バージョンの Windows など、さまざまな OS (p. 239) を Mac で実行できます。

注: Parallels Desktop App Store エディションは、macOS 仮想マシンの実行をサポートしていません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

その他の OS の実行に関する情報の探し方

Parallels Desktop を使用して、Mac でその他の種類の OS を実行する方法について詳しくは、その他のリソース (p. 292) に記載のリソースを確認してください。

さらに、明確には記していませんが、本書で紹介した多くの手順は Windows 以外の対応オペレーティングシステムにも適用されます。また、その他の OS に関する重要な手順は、「高度な説明」 (p. 239) のセクションに記載されています。

第 4 章

Parallels Desktop のインストールまたはアップグレード

Parallels Desktop をインストール、またはアップグレードするには、この章の指示に従ってください。

注: パッケージ版の Parallels Desktop バージョンを購入することも、Parallels Web サイトでダウンロード版を購入することもできます。

この章の内容

システム要件	17
Parallels Desktop のインストール	17
Parallels Desktop のアクティベートと登録	18
Parallels Desktop の購入	20
Parallels Desktop のアップグレード	21
言語の設定	23

システム要件

Parallels Desktop 19 は、Apple Silicon または Intel チップを搭載した Mac コンピューターにインストールできます。

Parallels Desktop をインストールする前に、お使いの Mac がシステム要件を満たしていることを確認してください（<https://kb.parallels.com/en/124223> を参照）。

Parallels Desktop のインストール

わずか数ステップで、Parallels Desktop を簡単に起動し、使用することができます。

- 1 最新バージョンの macOS を使用していることを確認します。

2 次のいずれかを実行します。

- Parallels Web サイトから **Parallels Desktop** をダウンロードした場合は、ディスクイメージファイルをダブルクリックします。ほとんどの場合は、[ダウンロード] フォルダー内にあります。
- USB ドライブタイプのパッケージ版 **Parallels Desktop** を購入した場合は、USB ドライブを Mac に接続して開き、ディスクイメージファイルをダブルクリックします。
- インストールファイルへのリンクタイプのパッケージ版 **Parallels Desktop** を購入した場合は、Web ブラウザでリンクを開き、**Parallels Desktop** をダウンロードして、ディスクイメージファイルをダブルクリックします。
- インストールディスクタイプのパッケージ版 **Parallels Desktop** を購入した場合は、ディスクを挿入します。

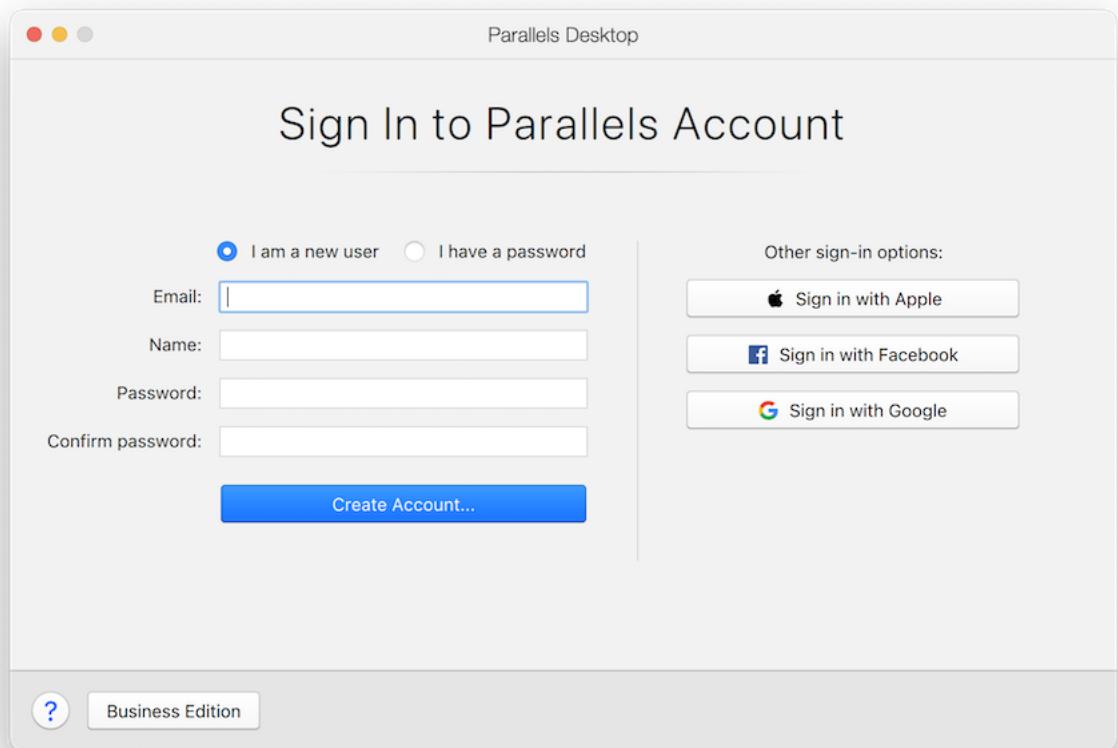
注: お使いの Mac に DVD-ROM ドライブがない場合は、製品の箱の中にダウンロードのリンクが記載されているので、インターネットから **Parallels Desktop** をダウンロードできます。

3 [インストール] アイコンをダブルクリックし、画面上の指示に従って、Parallels Desktop** をインストールします。**

Parallels Desktop のアクティベートと登録

インストール後、**Parallels Desktop** をアクティベートして登録します。次の手順を実行します。

1 Parallels アカウントにサインインします。



Parallels アカウントを使用すると、以下のことが可能になります。

- プロダクトアクティベーションキーの保存。忘れたり無くしたりすることがなくなります。
- 自分以外によるライセンスキーの使用を防止。
- Parallels 製品のサブスクリプションを管理。
- Parallels サポートに連絡およびサポートリクエストを追跡。
- 最新バージョンの Parallels 製品および添付の文書をダウンロード。
- ご利用の製品の最新アップデートおよび新製品のベータバージョンに関する情報を取得。
- Web ブラウザーを介してリモートコンピューターで作業 (Parallels Desktop ユーザーは、Parallels Access を無料で利用できます)。

- 会社が所有する Mac で Parallels Desktop ライセンスを管理 (Parallels Desktop for Mac Business Edition を使用している場合)。

サインインするには、次のいずれかを実行します。

- アカウントがある場合は、[パスワードをお持ちの場合] を選択し、電子メールアドレスとパスワードを入力して、[サインイン] をクリックします。
- Parallels アカウントがない場合は、[新規ユーザーの場合] を選択し、アカウントの作成に使用する電子メールアドレス、名前、パスワードを入力して、[アカウントの作成] をクリックします。

- 2 次の手順では、プロダクトアクティベーションキーを入力して Parallels Desktop をアクティベートします。

注: Parallels Desktop を Parallels Online Store から購入した場合、指定した電子メールアドレスにキーが送信されます。箱入り製品を購入した場合は、インストールディスクのジャケットにキーが記載されています。

アカウントに関連付けられている利用可能なライセンスがある場合は、ライセンスを選択してアクティベートをクリックするだけです。

プロダクトアクティベーションキーがない場合

キーがない場合は、Parallels Desktop を期間限定で試すことができるよう、無料トライアル版のプロダクトアクティベーションキーを取得します。14 日間無料トライアル版を試すをクリックしてください。または、Parallels Desktop を無期限に使用できるようにキーを購入するには、[購入] をクリックします。

Parallels Desktop の購入

Parallels Desktop のトライアル版を使用している場合、アプリケーションのインターフェイスで通常版を簡単に購入できます。このためには、次の操作を実行します。

- [Parallels Desktop について] ウィンドウで、または表示されたプロモーションで [購入] をクリックします。
- 次のいずれかを選択します。

- アップグレード: 現在使用している Parallels Desktop のバージョンをアップグレードするには、このオプションを選択します。前のバージョン用のアクティベーションキーが必要になるので、ご注意ください。デフォルトで [アップグレード] オプションが選択されていた場合は、Parallels Desktop が前のバージョン用のキーをすでに検出しています。このオプションが選択されていない場合は、アクティベーションキーがあるか確認してください。
 - 通常版を購入: これまでに Parallels Desktop を使用したことがない場合は、このオプションを選択して、Parallels Desktop を購入します。
- 3 画面の指示に従ってください。すべての情報を参照するために、画面の一番下までスクロールしなければならない可能性があります。

Parallels Desktop のアップグレード

以前のバージョンの Parallels Desktop をすでにお持ちの場合は、次の手順に従い、Parallels Desktop 19 にアップグレードします。

- 1 Parallels オンライнстア (<https://www.parallels.com>) で” Parallels Desktop 19 for Mac Upgrade” の購入とダウンロードを行っていない場合は、先に購入とダウンロードを行ってください。
プロダクトアクティベーションキーが、指定した電子メールアドレスに送信されます。
- 2 Parallels Desktop が開いている場合は、Parallels Desktop を終了します。
- 3 手順に従って Parallels Desktop 19 をインストールします。「Parallels Desktop のインストール」を参照してください。
インストール中に、旧バージョンの Parallels Desktop はコンピューターから自動的に削除されます。
- 4 Parallels Desktop を開き、アップグレードプロダクトアクティベーションキーを入力します。
Parallels Desktop のトライアル版を使用しているか、旧バージョンを購入したが、コンピューターにインストールしていない場合は、そのバージョンのフルキーまたはアップグレードキーを入力するようメッセージが表示されます。

トラブルシューティング

Parallels Desktop のアップグレードの問題については、
<https://www.parallels.com/products/desktop/support/> のトラブルシューティングを参照してください。

ソフトウェアアップデートのインストール

Parallels Desktop の品質を向上するため、Parallels は無料のソフトウェアアップデートを定期的に提供しています。

デフォルトでは、Parallels Desktop は週に一度、入手可能なソフトウェアアップデートを自動的に確認し、ダウンロードするよう設定されています。アップデートがある場合は、Parallels Desktop はそれをインストールするよう指示します。画面上の指示に従ってください。

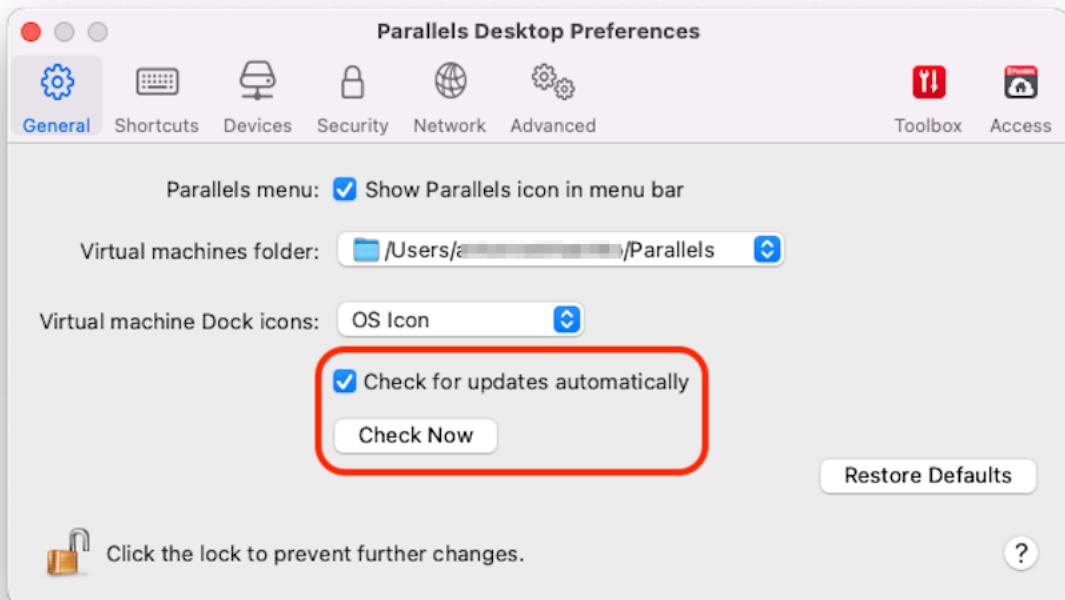
注: Parallels Desktop for App Store は、Mac App Store のアップデートプロセスによってアップデートを受信します。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

ソフトウェアアップデート設定を調整する

1

- メニューバーの **Parallels** アイコンをクリックし、[環境設定] を選択します。
そして、[一般] をクリックします。

- Dock 内の Parallels Desktop のアイコンを右クリックし、[環境設定] を選択します。そして、[一般] をクリックします。



- Parallels Desktop でアップデートを自動的にダウンロードするかどうかを設定するには、[自動的にアップデートをダウンロード] を選択するか、選択を解除します。
- アップデートを自動的にダウンロードしない場合は、Parallels Desktop はアップデートが入手可能になると通知し、ダウンロードするかどうかを確認します。

言語の設定

Parallels Desktop for Mac 19 は、以下の言語をサポートしています。英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、チェコ語、ポーランド語、ポルトガル語（ブラジル）、日本語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語。

デフォルトでは、Parallels Desktop は Mac のインターフェイスに設定されている言語と同じ言語でメニューを表示します。

次の手順で言語を変更できます。

- 1 Parallels Desktop を終了します。
- 2 Apple メニュー > [システム設定] > [一般] > [言語と地域] を選択します。
- 3 一番下までスクロールし、[アプリケーション] というセクションを見つけます。
- 4 [Parallels Desktop] で、ドロップダウンメニューを使用して Parallels Desktop がサポートするインターフェイス言語のいずれかを選択します。

第 5 章

Windows のインストールまたはインポート

Mac で Windows を開始して実行するには、いくつかの方法があります。

- Windows をインストールする (p. 25)
- Windows PC からデータをインポートする
- Boot Camp パーティションにインストールされている Windows を使用する (p. 29)
- 前バージョンの Parallels Desktop またはその他の仮想化ソフトウェアから Windows をインポートする (p. 31)

この章の内容

Windows のインストール	25
Parallels Desktop での Boot Camp の使用	29
旧バージョンの Parallels Desktop またはその他の仮想化アプリケーションからのインポート	31
Microsoft からの Windows のダウンロードとインストール	32
Windows を IT 担当者から入手	32

Windows のインストール

Windows インストールソース (DVD ディスク、イメージファイル、または USB ストレージ) と有効な Windows プロダクトキーがある場合は、Mac に Windows をインストールして、Parallels Desktop で使用できます。

Windows をインストールするには、以下の操作を実行します。

- 1 Parallels Desktop を (Applications フォルダーで) 開き、[ファイル] > [新規] を選択します。

- 2 Windows インストールディスクがある場合、DVD ドライブにディスクを挿入します。Windows インストール用 USB ストレージがある場合、Mac にそのストレージを接続します。
- 3 [DVD/イメージファイルから Windows/その他 OS をインストール] をクリックします。
- 4 インストール可能な OS を Parallels Desktop がスキャンし、結果を一覧表示します。インストールする Windows バージョンを選択し、次の手順を実行します。
 - Parallels Desktop で Windows を自動的にインストールしたい場合は、[続行] をクリックしてステップ 6 に進みます。
 - Windows を手動でインストールする場合は、ウィンドウの左下隅で [オペレーティングシステムを手動でインストール] を選択して、[続行] をクリックしてステップ 7 に進みます。
- 5 ステップ 4 で Windows インストールソースが自動的に表示されない場合、[手動で選択する] をクリックして手動で探します。次のソースを参照できます。
 - DVD: Windows DVD がある場合、DVD ドライブに DVD を挿入します。Windows が検出されたら [続行] をクリックします。Mac に DVD ドライブがない場合、Apple SuperDrive を使用するか、別の Mac の DVD ドライブをリモートディスク経由で使用するか、ディスクからイメージを作成します。
 - イメージファイル: Windows イメージファイルがある場合、[イメージファイル] をクリックし、イメージを Parallels の [インストールアシスタント] ウィンドウにドラッグします。Windows が検出されたら [続行] をクリックします。
 - USB ドライブ: Windows インストール用の起動可能な USB インストーラがある場合、[USB ドライブ] をクリックしてドライブを Mac に接続します。Windows が検出されたら [続行] をクリックします。

注: Parallels Desktop で一部の OS (最新の Linux ディストリビューションなど) の検出に失敗する場合があります。インストール可能な OS が本当に存在するとわかっている場合、[続行] をクリックし、OS の種類を手動で指定して (該当するものが表示されない場合は [その他] を選択してください) 、画面の指示に従います。

- 6 Windows ライセンスキーを入力します。お持ちでない場合は、アシスタントのリンクを使用して、Microsoft ストアからオンラインでキーを購入することができます。

注: ここでキーを入力しないことを選択し、また指定したイメージに複数の Windows エディションが含まれている場合は、インストールするエディションを選択するように求められます。

- 7 Windows を主にどのような用途で使用するのかを選択します。これにより、用途にあわせて設定が最適化されます。
- 8 Windows を保存する場所を、[保存場所] メニューから選択します。

デフォルトでは、**Parallels Desktop** により Windows が /Users/<ユーザー名>/Parallels フォルダーに保存されます。

- 9 Windows が使用するメモリの量や **Parallels Desktop** を開いたときに Windows を自動的に起動するかどうかなどをあらかじめ設定しておくには、[インストール前に構成をカスタマイズする] を選択します。また、OS がインストールされた後に、これらの設定を調整することもできます。

- 10 [作成] をクリックします。

アシスタントが Windows をインストールします。

Windows のインストールまたはインポート

Windows がインストールされたら、[Windows アプリケーションを開く] (p. 36) から、またはコントロールセンターで電源ボタンをクリックすることで起動できます。



重要: Windows を初めて起動すると、Windows と macOS 間のシームレスな作業を可能にする Parallels Tools がインストールされます。Parallels Tools のインストールが完了すると、Windows の再起動を求めるプロンプトが表示されます。

Windows のインストール時に、Parallels Desktop により、パスワードが空の管理者アカウントが作成されます。インストールが完了したら、パスワードを変更することをお勧めします。

注: Windows のインストールは、インストールディスクのディスクイメージファイル (p. 230) からも行えます。上記のステップ 4 でディスクイメージファイルを選択します。Parallels Desktop でサポートされるディスクイメージは、ISO、DMG、CUE、および CCD です。

Parallels Desktop での Boot Camp の使用

Boot Camp は Mac で Windows を起動できる macOS の機能です。すでに Boot Camp を使って Mac に Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Vista、または Windows XP をインストールしている場合、次の 2 つのオプションのいずれかを使用して、Boot Camp を Parallels Desktop で使用するよう設定できます。

注: この機能は Parallels Desktop for Mac App Store ではご利用いただけません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

- Parallels Desktop で Boot Camp パーティションから Windows を実行する: macOS での作業中に動作させた Windows アプリケーションと、Boot Camp を使用して Mac で起動させた Windows アプリケーションでは、双方の Windows アプリケーションで行った変更が互いに影響します。

注: Parallels Desktop は、macOS がインストールされているのと同じディスクで Boot Camp Assistant を使用して作成された Boot Camp をサポートします。

Boot Camp から Windows を起動する場合の制限事項。

- 一時停止できない
- スナップショットとして保存できない (p. 249)
- ロールバックモードで実行できない (p. 118)
- 圧縮ができない
- Windows とデータを Boot Camp から Parallels Desktop にインポートする: Windows を Parallels Desktop から実行する場合、上記の制限はありません。Boot Camp と Parallels Desktop はそれぞれ独立しています。macOS での作業中に Windows アプリケーションに加えた変更は、Boot Camp を使用して Windows で Mac を起動したときに反映されません。

Boot Camp から Windows をインポートするとき、Parallels Desktop は .hdd ファイルを作成し、Boot Camp のすべての内容をそこにコピーします。この操作の間、Boot Camp 上の最初の Windows は変更されません。必要なのは、Mac のハードディスク上の十分な空きディスク領域のみです。

Windows を Boot Camp パーティションから実行するように Parallels Desktop を設定する

- 1 Parallels Desktop を (Applications フォルダーで) 開き、[ファイル] > [新規] を選択します。
- 2 [Boot Camp] をクリックし、画面上の指示に従います。

注: Boot Camp を使用して Windows で起動するには、Parallels Desktop で Windows をサスペンドするのではなく、Windows をシャットダウンすることをお勧めします。

Windows とデータを、Boot Camp から Parallels Desktop にインポートする

- 1 前述の手順に従って、Boot Camp を使用するように Parallels Desktop を設定します。
- 2 コントロールセンターから Boot Camp バージョンの Windows を右クリック（または Control クリック）し、[Boot Camp のインポート] を選択します。

注: Windows はシャットダウンしている必要があります。

- 3 [インポート] をクリックします。
- 4 Windows とデータを保存する場所を指定し、[選択] をクリックします。

Windows とすべてのデータが Boot Camp からインポートされます。Parallels Desktop とは別に、元の Boot Camp の Windows インストールも引き続き使用できます。

重要: Boot Camp で Parallels Desktop を使用できるよう設定してから、Windows を初回起動するときに、Windows と macOS とのシームレスな操作を実現する Parallels Tools がインストールされます。Parallels Tools のインストールが完了すると、Windows の再起動を求めるプロンプトが表示されます。

Parallels Desktop でディスク領域を節約

Boot Camp から Parallels Desktop に Windows をインポートし、その後で Boot Camp パーティションを削除することで、Mac でディスク領域を節約できます。次にその仕組みを説明します。

- 1 たとえば、40 GB の Boot Camp パーティションがあり、20 GB のみが Windows とそのファイルに使用されているとします。その他の 20 GB は使用されていません。
- 2 Boot Camp のインポートを選択します。Parallels Desktop は Windows とそのすべてのファイルを Boot Camp から新しい仮想マシンにコピーします。この仮想マシンが占有するディスク容量は 20 GB のみです。
- 3 インポートが完了したら、Boot Camp パーティションを削除すると、20 GB のディスク容量を節約できます。

注: 作成される仮想マシンのハードディスクは 20 GB に制限されません。これは容量可変で、引き続きアプリケーションのインストール、ムービーや音楽などのダウンロードを実行できます。ディスクのサイズはそれに比例して大きくなります。たとえば、この仮想マシンに 5 GB のムービーをダウンロードすると、25 GB のディスク容量を占有します。

旧バージョンの Parallels Desktop またはその他の仮想化アプリケーションからのインポート

Parallels Desktop for Mac を使用すると、旧バージョンの Parallels Desktop に加え、VMware Fusion、Microsoft Virtual PC、および VirtualBox で作成された Windows を使用できます。

- 1 Parallels Desktop を (Applications フォルダーで) 開き、[ファイル] > [開く] を選択します。
- 2 インポートする Windows データファイルを選択し、[開く] をクリックして画面上の指示に従います。
 - Parallels Desktop のデータファイルの拡張子は .pvm です。
 - VMware ファイルの拡張子は .vmx です。
 - Virtual PC ファイルの拡張子は .vmc です。
 - VirtualBox ファイルの拡張子は .xml または .vbox です。

Parallels の .pvm ファイルをコントロールセンターにドロップし、Parallels Desktop に追加することもできます。

- 3 Windows を起動します (p. 35)。
- 4 [処理] > [Parallels Tools のインストール] を選択し、画面の指示に従います。

Microsoft からの Windows のダウンロードとインストール

Windowsをお持ちでない場合は、Microsoft からダウンロードしてインストールできます。画面の指示に従って、インストールしてください。詳細については、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/125375#section2> を参照してください。

Windows を IT 担当者から入手

Parallels Desktop を動作させるには、任意のオペレーティングシステム（多くの場合は Windows）とアプリケーションを搭載した仮想マシンが必要です。Parallels

Desktop for Mac Business Edition を使用している場合、Parallels Desktop の初回起動時に次のような画面が表示されることがあります。



これは、システム管理者が必要なアプリをすべてインストールした、事前構成済みの仮想マシンを提供していることを意味します。必要な操作は、これをダウンロードするだけです。【ダウンロードとインストール】をクリックし、画面上の指示に従います。仮想マシンの準備が整ったら、自動的に起動され、そのアプリケーションで作業できるようになります。

第 6 章

Mac で Windows を使用する

この章では、Mac で Windows アプリケーションを使用する方法について説明します。このセクションには、Windows アプリケーションの開始方法、Windows アプリケーションを macOS で機能させる方法の設定、アプリケーション、ファイル、フォルダーを macOS と Windows で共有する方法、デバイスの接続方法、印刷方法、キーボードのカスタマイズ方法などが含まれています。

この章の内容

使い始める	35
macOS での Windows の動作の設定	47
マウス、トラックパッド、キーボード	83
外部デバイスの接続	96
Bluetooth デバイスの接続	103
Windows からの印刷	107
組み込みの外部 Webcam の使用	114
外部モニターまたはプロジェクターでのプレゼンテーションの表示	116
データの保護	118
インターネットまたはネットワークへの接続	126
パフォーマンスの最適化	131
Parallels Toolbox を使用して時間を節約	138
画面の写真の保存	139
仮想マシンの Dock アイコンの外観の設定	140
スリープ中の Mac における Windows アップデートの許可	140
Windows で知らない単語の意味を検索	141
Windows で Touch Bar を使用する	142
Windows で Touch Bar を使用する	143

使い始める

このセクションでは、Windows の起動方法、Windows アプリケーションの開き方、Windows アプリケーションの追加インストール方法、Windows のシャットダウンまたは一時停止の方法を説明します。

Windows の開始

Mac で Windows アプリケーションを使用するには、Windows 仮想マシンが開始されている必要があります。

Windows の最も簡単な開始方法は、Windows アプリケーションを開く方法です。Windows アプリケーションを開いたときに Windows がまだ開始されていない場合、Windows は Coherence モードで自動的に起動します (p. 47)。

注: Coherence モードは、App Store エディションではご利用いただけません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

重要: 前回 Windows をシャットダウンした場合、Windows のパスワードを入力する必要があります。

このほか、次の方法でも Windows を開始できます。

- 1 Parallels Desktop を開きます。

2 コントロールセンターで、Windows 仮想マシンをダブルクリックします。



注: [コントロールセンター] のリストには、Parallels Desktop に登録されているすべての仮想マシンが表示されます。仮想マシンが外付けドライブに保存されていて、お使いの Mac に接続されていない場合は、仮想マシンのアイコンにクエスチョンマーク (?) が表示されます。そのような仮想マシンを起動するには、Mac に外部ディスクを接続します。

3 表示された Windows ウィンドウで任意の場所をクリックします。

Windows が起動して、macOSとともに Windows アプリケーションを使い始めることができます。

Windows アプリケーションを開く

Windows アプリケーションは、Mac アプリケーションのように簡単に開くことができます。Windows アプリケーションを開くには、いくつかの方法があります。

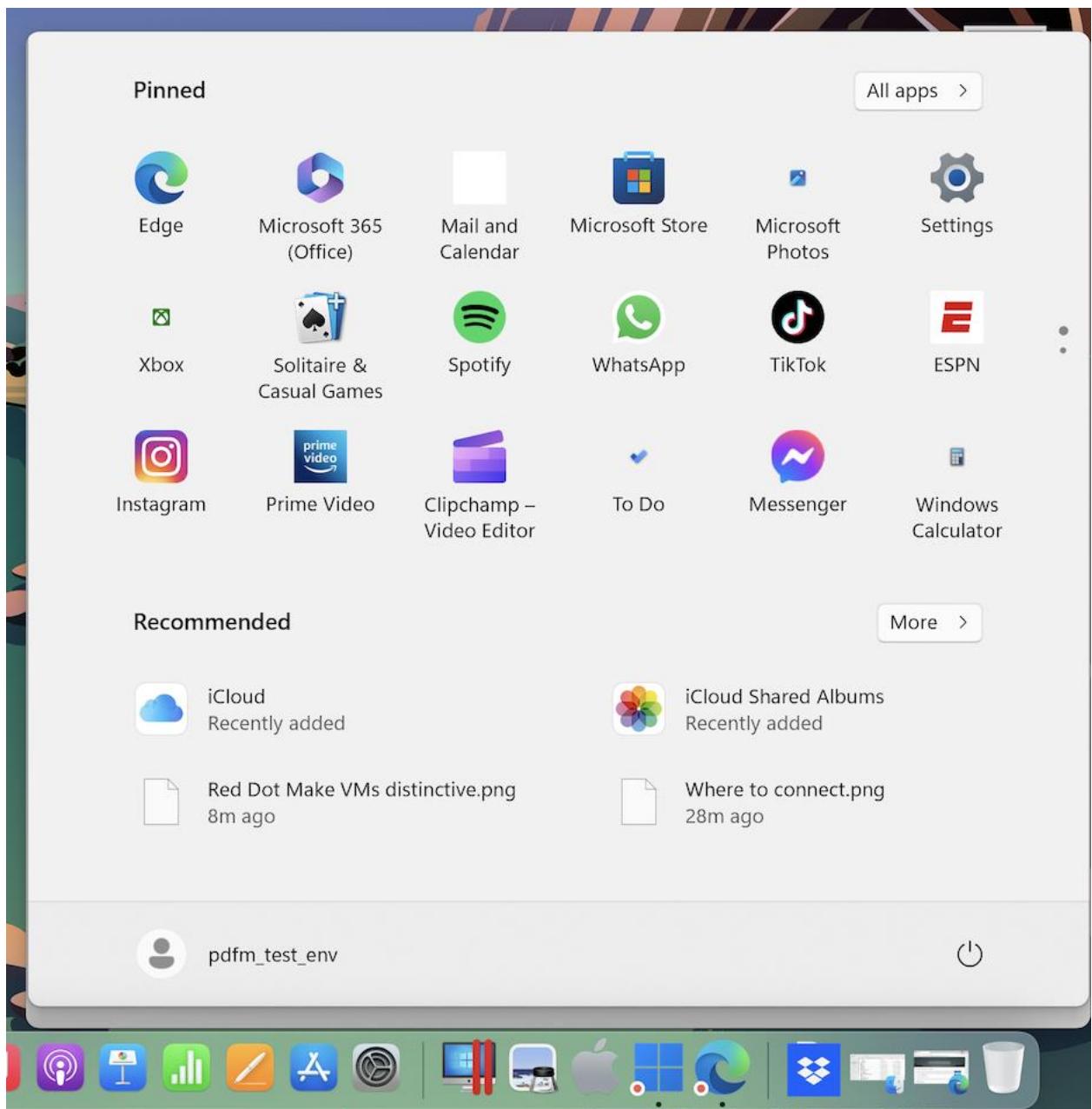
- Dock の Windows アプリケーションフォルダーから
- Windows の [スタート] メニューから
- macOS Finder から
- Dock から
- Spotlight 検索を使用

Windows アプリケーションフォルダー

このフォルダーは macOS の Dock にあり、Windows アプリケーションがすべて含まれています。さらにアプリケーションをインストールすると、そのアプリケーションも自動的に追加されます。

Mac で Windows を使用する

注: Windows アプリケーションフォルダーは、App Store 版ではご利用いただけません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。



Windows アプリケーションフォルダーを使用して、Windows アプリケーションを開くには、以下の操作を実行します。

- フォルダーをクリックし、アプリケーションを選択します。

Windows アプリケーションフォルダーを Dock に追加するには、以下の操作を実行します。

- 1 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
 - **Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。
- 2 [オプション]、[アプリケーション] の順にクリックします。
- 3 [Windows アプリケーションを Mac と共有する] が選択されていることを確認し、[Windows アプリケーションフォルダーを Dock に表示] を選択します。

Windows の [スタート] メニュー

[スタート] メニューから Windows アプリケーションを開くには、以下の操作を実行します。

- 1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[Windows スタートメニュー] を選択します。



- Windows がフルスクリーンまたはウィンドウモードである場合、通常通りに [スタート] メニューを開きます。

注: Control キーを押しながらクリックするか、Parallels Desktop アイコンを右クリックすることもできます。

2 使用するアプリケーションをクリックします。

Dock のアプリケーションアイコン

Windows アプリケーションを開くと、画面下部にある macOS の Dock にそのアイコンが表示されます。デフォルトでは、アプリケーションを閉じると、アイコンは Dock から消えます。アプリケーションのアイコンを Dock に保持すると、アプリケーションをいつでもすばやく開くことができます。

Windows アプリケーションのアイコンを Dock に保持しておくには、次のいずれかを実行します。

- Dock で Windows アプリケーションのアイコンを右クリックするか Control キー + クリックし、ショートカットメニューから [Dock に追加] を選択します。
- アプリケーションのアイコンを Finder から Dock にドラッグします。

Dock のアイコンをクリックすると、アプリケーションをいつでも開くことができます。

Spotlight

Spotlight を使用し、Windows アプリケーションを検索し、開くことができます。

- 画面右上隅の Spotlight アイコンをクリックするか、キーボードで Command キー + スペースバーを押します。次に、アプリケーションの名前を入力し、リストから選択します。

Windows アプリケーションのインストール

Windows PC に Windows アプリケーションをインストールするのと同じように、Mac に Windows アプリケーションをインストールできます。アプリケーションをインストールするには、一般的には以下の 2 つの方法があります。

- CD または DVD インストールディスクを使用する
- インターネットまたはネットワークからアプリケーションまたはインストールファイルをダウンロードする

CD または DVD インストールディスクからのアプリケーションのインストール

- 1 Windows を起動します。
- 2 インストールディスクを挿入します。
- 3 多くの場合は、自動再生ダイアログが開きます。セットアップまたはインストールファイルを実行するためのオプションをクリックし、画面上の指示に従います。

Parallels Desktop での CD または DVD ディスクの使用の詳細については、「CD/DVD-ROM」を参照してください。

インターネットまたはネットワークからのアプリケーションのインストール

- アプリケーションまたはインストールファイルをダウンロードし、アプリケーションのソースからの指示に従います。

多くの場合、インストールファイルを実行して画面上の指示に従うか、ダウンロードしたアプリケーションを開くだけです。

インターネットおよびネットワークへの接続の詳細については、「インターネットまたはネットワークへの接続」(p. 126) を参照してください。

Windows のシャットダウンまたはサスペンド

Windows アプリケーションの使用を終了した後に、Mac アプリケーションを使用している間、Windows をバックグラウンドで動作させておくことができます。または、Windows を停止し、コンピューターのリソースを Mac アプリケーションに多く割り当てることもできます。Windows を停止するには、いくつかの方法があります。色々な機能があります！

- Windows をサスペンドする
- Windows の一時停止
- Windows をシャットダウンする
- Windows を停止する

Windows をサスペンドする

Windows をサスペンドすると、実行中のすべての Windows アプリケーションと設定を、現在の状態のまま停止できます。

次のいずれかを実行します。

- Parallels Desktop を終了します。
- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[処理] > [サスペンド] を選択します。
- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [一時停止] を選択します。

Windows を次にスタートしたときや、Windows プログラムを開いたときには、サスPENDしたときの状態から作業を続けることができます。

Windows がサスPENDされると、Parallels Desktop を安全に終了し、後から作業を再開できます。

Windows の一時停止

Windows の使用を一時的に停止し、Mac アプリケーションで使用できるよう RAM やプロセッサのサイクルなどのコンピューターのリソースを解放するには、次のいずれかを実行します。

- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[処理] > [一時停止] を選択します。
- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [一時停止] を選択します。

一時停止後に Windows を再開するには、次のいずれかを実行します。

- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[処理] > [レジューム] を選択します。
- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [レジューム] を選択します。

Windows が一時停止しているときに Parallels Desktop を終了すると、先に Windows をサスPENDするか停止するよう指示されます。

Windows をシャットダウンする

Parallels Desktop で Windows をシャットダウンする方法は、PC で Windows をシャットダウンするのと同じです。Windows プログラムを終了する前に、変更内容を保存するための画面が開きます。変更を保存した後で、Windows が停止します。

Windows をシャットダウンするには、次のいずれかを実行します。

- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[処理] > [シャットダウン] を選択します。

- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [シャットダウン] を選択します。

Windows を停止する

Windows と、開いているすべての Windows アプリケーションをすぐに停止するには、次のいずれかを実行します。

- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[処理] > [停止] を選択します。
- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [停止] の順に選択します。

重要: このようにして Windows を停止すると、どのデータも進行状況も保存されません。

起動と終了の設定

[起動と終了] の設定を使用して、仮想マシンの起動と終了の方法を選択できます。

[起動と終了] 設定にアクセスするには、以下の操作を実行します。

- 1 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
 - Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。
- 2 [オプション] をクリックし、[起動と終了] を選択します。

仮想マシンの起動と終了を手動で設定する

常に仮想マシンの起動と終了を手動で設定したい場合、[手動で起動と終了] を選択します。

仮想マシンが自動的に起動するように設定する

Mac が起動すると自動的に仮想マシンを起動させたい場合、[常にバックグラウンドで待機] を選択します。

仮想マシンが自動的に起動および終了する方法の詳細を指定する

仮想マシンの起動および終了方法のみでなく、表示モードおよび仮想マシンウィンドウを閉じるときの動作を指定したい場合、[カスタム] を選択します。

Windows を自動的に開始するかどうかを設定する

[自動的に開始] メニューから次のいずれかを選択します。

注: この設定に関係なく、Windows アプリケーションを開くと Windows が開始されます。

- **使用しない:** Windows は自動的に開始しません。
- ウィンドウを開いたとき: コントロールセンターから Windows を開いたときに、Windows が自動的に開始されます。
- Parallels Desktop を起動したとき: Parallels Desktop を起動したときに、Windows が自動的に開始されます。
- Mac の起動時。Mac を起動したときに、Windows が自動的に開始されます。このオプションを選択すると、仮想マシンの起動を遅らせるように構成することもできます。

注: この機能は Parallels Desktop for Mac Pro Edition でのみ利用できます。

- ユーザーがログインするとき。macOS ユーザーが Mac のスタートアップで macOS にログインすると、Windows は自動的に起動します。

スタートアップ表示を設定する

この設定は、仮想マシンまたはゲスト OS アプリケーションを開始したときに Windows がどの表示モードで開始するかに影響します。

- [スタートアップ表示] メニューから [Coherence]、[ウィンドウ]、[フルスクリーン]、[ピクチャ・イン・ピクチャ]、[ヘッドレス]、または [前回と同じ] を選択します。

注: [ヘッドレス] モードは Parallels Desktop for Mac Pro Edition でのみ利用できます。

Windows をシャットダウンしたときの動作を設定する

[VM のシャットダウン時] メニューから次のいずれかを選択します。

- ウィンドウを開いたままにする: Windows が別のウィンドウに表示されるように設定されている (p. 52) 場合は、Windows を停止またはシャットダウンしても、ウィンドウは開いたままとなります。
- ウィンドウを閉じる: Windows が別のウィンドウに表示されるよう設定されている場合は、Windows を停止またはシャットダウンすると、ウィンドウは閉じられます。
- Parallels Desktop を終了する: Windows を停止またはシャットダウンすると、Parallels Desktop も終了します。

Mac をシャットダウンしたときの動作を設定する

これらの設定は、Mac をシャットダウンしたときの動作に影響します。

[Mac のシャットダウン時] メニューで [停止]、[シャットダウン]、または [サスペンション] を選択します。

Parallels Desktop ウィンドウを閉じたときの動作を設定する

これらの設定は、Windows が別のウィンドウに表示されるよう設定されている場合の動作にのみ影響します。

[ウィンドウを閉じたとき] メニューで [サスペンション]、[シャットダウン]、[強制的に停止]、[バックグラウンドで実行を継続]、または [処理を確認する] を選択します。

起動中のアプリケーションが存在しない場合に Windows を一時停止する

[指定時間後に Windows を一時停止] を選択して、非アクティブな時間を指定すると、その時間の経過後に Windows が自動的に一時停止されます。起動中のアプリケーションが存在しない場合は、Windows を一時停止して、Mac の CPU リソースを節約 (p. 134) できます。

macOS での Windows の動作の設定

Parallels Desktop for Mac では、Windows と macOS をシームレスに使用することができます。たとえば、この 2 つの OS 間で、テキストをカットアンドペーストしたり、ファイルを共有したりすることができます。

Windows と macOS の統合レベルを設定する方法はいくつかあります。たとえば、Windows アプリケーションを Mac デスクトップ上に Mac アプリケーションと並べて表示し、Mac アプリケーションのように動作させるなどです。または、Windows デスクトップとアプリケーションを別々のウィンドウで表示することもできます。

macOS での Windows の動作を設定する方法の詳細をご覧いただけます。

Windows と macOS のマージ

Windows と macOS を、1 つの OS のようにシームレスに連携させることができます。これは Coherence モードと呼ばれ、Windows アプリケーションが Mac デスクトップの Mac アプリケーションの隣に表示され、Windows アプリケーションと Mac アプリケーションの文書が同じフォルダー内に保存されます。

Mac で Windows を使用する

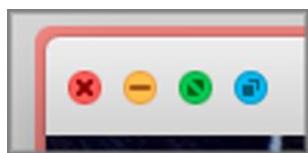
注: Coherence モードは、Parallels Desktop の App Store エディションではサポートされていません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。



Coherence モードへの切り替え

ウィンドウモードから Coherence モードに切り替えるには、次のいずれかを実行します。

- 仮想マシンウィンドウの左上隅の Coherence アイコン（青）をクリックします
 - 。



- [表示] > [Coherence] を選択します。
- Control-Command-C を押します。

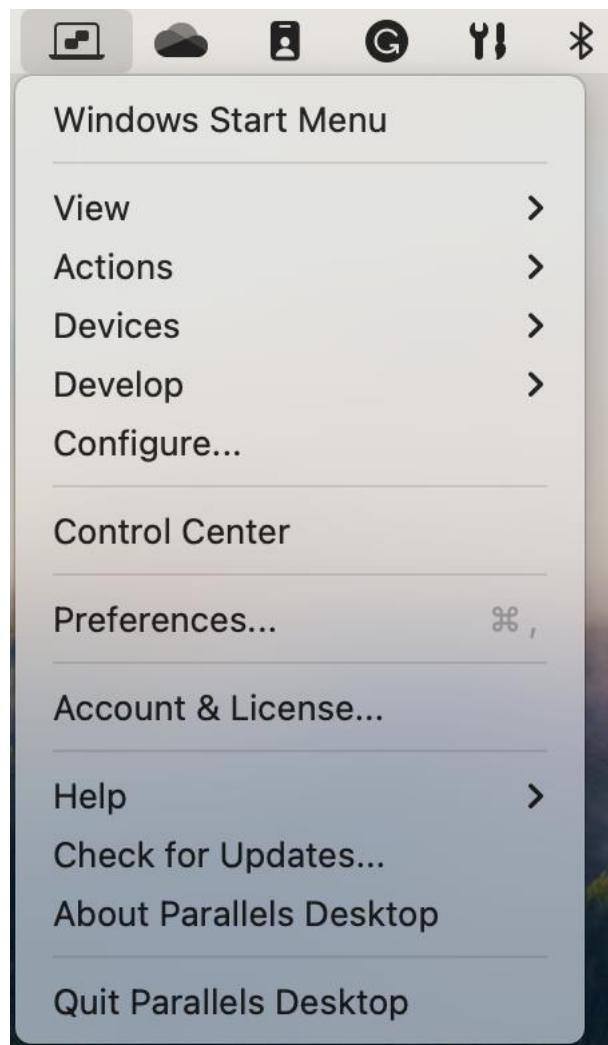
フルスクリーンモードを **Coherence** モードに切り替えるには、次のいずれかを実行します。

- Control-Command-F を押してフルスクリーンを終了します。次に、[表示] > [Coherence] をクリックします。
- macOS メニューバーが表示されるまで、画面上部にポインターを移動し、[表示] > [ウィンドウモード] をクリックします。次に、[表示] メニューをもう一度開き、[Coherence] をクリックします。ゲームに最適化されたフルスクリーンを使用している場合は、Control-Option (Alt) を押して Mac メニューバーを表示します。

注: Coherence 表示モードを有効にするには、**Parallels Tools** をインストールする必要があります。ほとんどの場合、**Parallels Tools** はデフォルトでインストールされています。

Parallels メニュー

Coherence モードでは、Parallels Desktop メニューは、画面上部のメニューバーに表示されます。



一般的な機能に対し、メニューを使用します。

- Parallels Desktop アイコンをクリックし、次のアイテムを含む基本的なメニューを開きます。
 - Windows の [スタート] メニュー: Windows の [スタート] メニューにアクセスします。
 - 表示: 仮想マシンの表示モードを切り替えます。

- アクション: このメニューを使用して、さまざまな操作を実行します。
 - デバイス: プリンターや DVD デバイスなどのハードウェアデバイスを管理します。
 - 構成: [仮想マシン構成] ダイアログボックスを開きます。
 - コントロールセンター: Parallels Desktop コントロールセンターを開きます。
 - 最新情報: 新しい仮想マシンを作成します。
 - 開く: 既存の仮想マシンを開きます。
 - 環境設定: Parallels Desktop の環境設定を開きます。
 - その他
- このアイコンを右クリックして、Windows の [スタート] メニューを開きます。

重要: Coherence モードで Parallels Desktop を終了し、メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[Parallels Desktop の終了] を選択します。

Windows システムトレイ

Parallels Desktop が Coherence モードになっている場合は、Windows システムトレイのアイコンが画面上部の macOS メニューバーに表示されます。



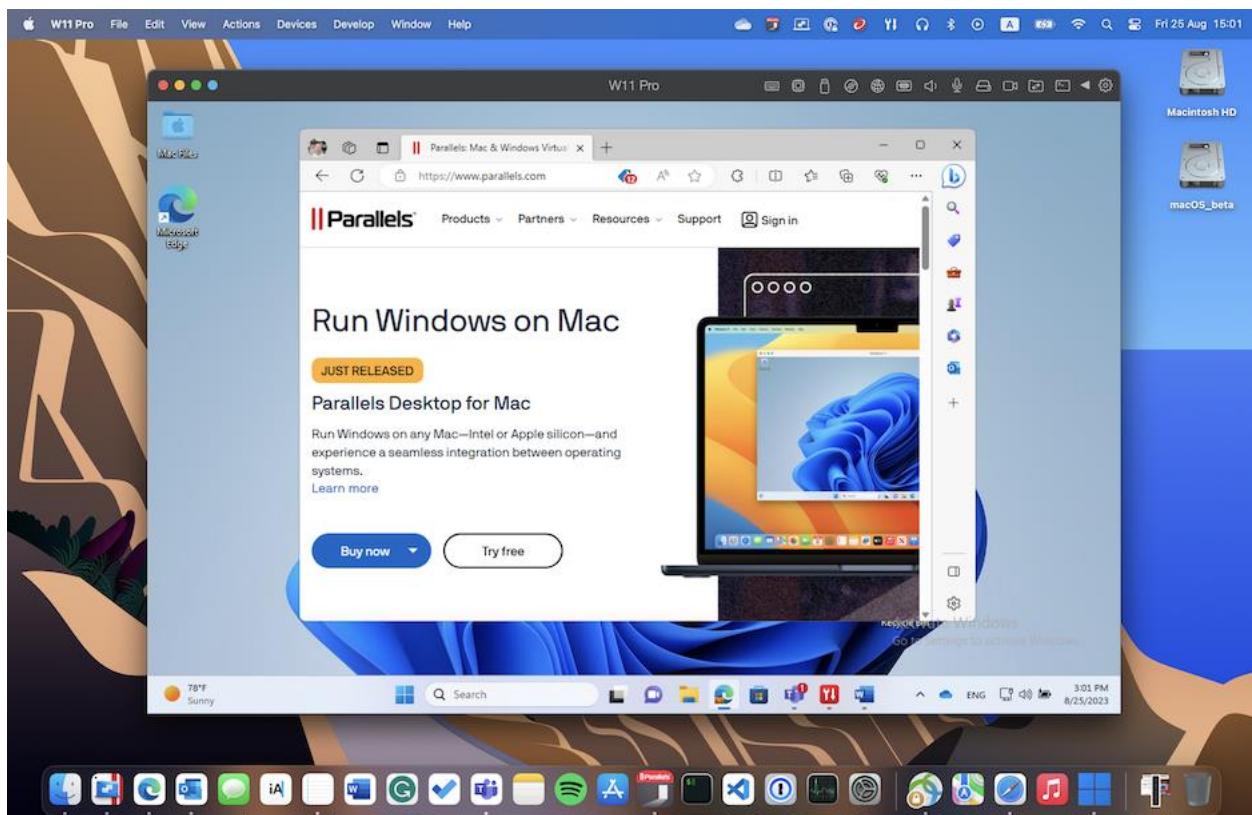
システムトレイアイコンは、Windows デスクトップと同じように使用できます。

Windows アプリケーションをデスクトップ (Spaces) 間で移動する

Windows が Coherence で動作しているときに、ゲスト OS アプリケーションのウィンドウを macOS デスクトップ (Spaces) 間で簡単に移動できます。

Windows を単独のウィンドウに表示するよう設定

Windows とアプリケーションを、独立したウィンドウと一緒に表示するよう設定できます。



注: Coherence モードは、Parallels Desktop の App Store エディションではサポートされていません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

Coherence モードからウィンドウモードに切り替えるには、次のいずれかを実行します。

- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[表示] > [Coherence の終了] を選択します。
- Parallels Desktop メニューが Mac のメニューバーで使用できる場合は、[表示] > [Coherence の終了] をクリックします。

フルスクリーンモードからウィンドウモードに切り替えるには、次のいずれかを実行します。

- Command-Control-F を押します。
- macOS メニューバーが表示されるまで、画面上部にポインターを移動し、[表示] > [ウィンドウモード] をクリックします。ゲームに最適化されたフルスクリーンを使用している場合は、Control-Option (Alt) を押して Mac メニューバーを表示します。

ウィンドウモードの設定の調整

ウィンドウモードでの **Parallels Desktop** の外観と動作をカスタマイズできます。

Dock に Windows アプリケーションを表示するかどうかを設定する:

ウィンドウモードのときに、macOS Dock に Window アプリケーションのアイコンを表示するかどうかを選択できます。アプリケーションを Windows デスクトップで操作する場合は、混乱をきたさないよう、Dock の macOS アプリケーションのアイコンの隣にアプリケーションを表示したくないことがあります。

- 1 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
 - **Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。
- 2 [オプション]、[アプリケーション] の順にクリックします。
- 3 ウィンドウモードで、Dock に Windows アプリケーションのアイコンを表示するには、[Dock アイコンを Coherence でのみ表示する] を選択解除します。

サイズ変更可能なウィンドウに Windows を表示

Windows は、任意の大きさにサイズを変更できるウィンドウ上に表示できます。画面表示の内容も、ウィンドウのサイズに合わせることができます。これは、ピクチャ・イン・ピクチャモードと呼ばれます。このモードは、macOS を使いながら、Windows で実行中のアプリケーションやその他のタスクをモニタリングする場合に便利です。

ピクチャ・イン・ピクチャモードに切り替えるには、以下の操作を実行します。

- ウィンドウモードで、[表示] > [ピクチャ・イン・ピクチャ] を選択します。

ピクチャ・イン・ピクチャモードの詳細については、ピクチャ・イン・ピクチャモードの設定についてのトピック (p. 278) を参照してください。

Windows を画面全体に表示するよう設定

Windows PC を使用しているように、Windows を画面全体に表示することができます。フルスクリーンモードでは、macOS および **Parallels Desktop** のすべてのコントロールが非表示になります。

フルスクリーンモードに切り替えるには、次のいずれかを実行します。

- Coherence モードで、メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[表示] > [Coherence の終了] を選択します。[表示] メニューをクリックして、[フルスクリーン] を選択します。
- ウィンドウモードで [表示] > [フルスクリーン] の順に選択するか、仮想マシンウィンドウの左上隅のフルスクリーンアイコン（緑）をクリックします。



フルスクリーンモードを終了するには、次のいずれかを実行します。

- Command-Control-F を押します。
- macOS メニューバーが表示されるまで、画面上部にポインターを移動し、[表示] > [ウィンドウモード] をクリックします。ゲームに最適化されたフルスクリーンを使用している場合は、Control-Option (Alt) を押して Mac メニューバーを表示します。

フルスクリーン設定の調整

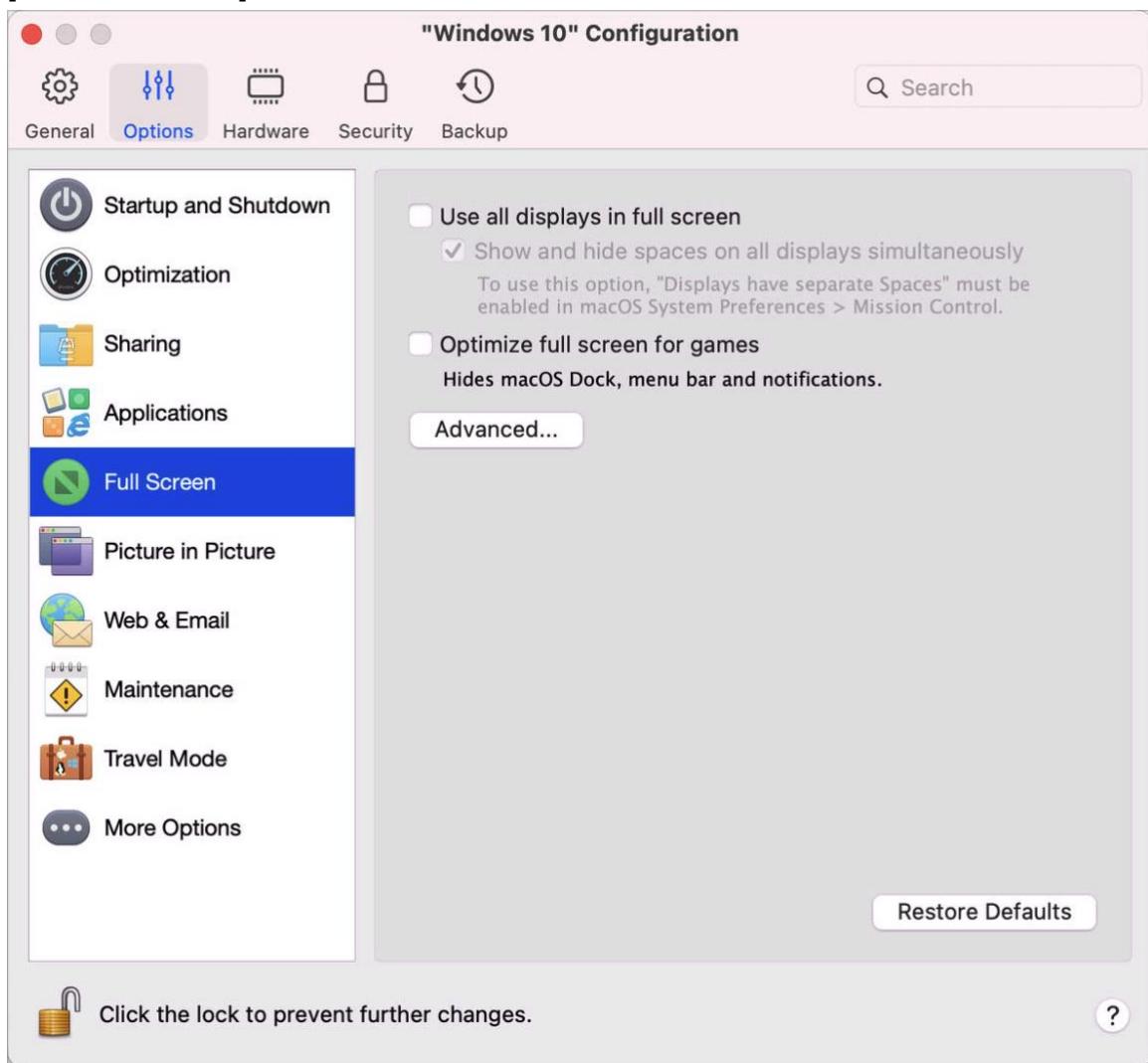
フルスクリーンモードでの Windows の外観と動作をカスタマイズできます。

[フルスクリーン] 設定にアクセスするには、以下の操作を実行します。

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] > [オプション] を選択します。
- Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択し、[オプション] をクリックします。

2 [フルスクリーン] をクリックします。



3 [フルスクリーン] ペインで、以下の設定を調整できます。

Mac で Windows を使用する

Mac に接続されたディスプレイへの表示の設定

Mac に 2 台目のディスプレイが接続されている場合は、フルスクリーンモードに切り替えると、デフォルトでプライマリディスプレイに Windows が表示され、macOS はセカンダリディスプレイに表示されます。



ウィンドウをディスプレイにドラッグし、緑のフルスクリーンアイコンをクリックすると、Windows を表示するディスプレイを選択できます

ディスプレイすべてに Windows を表示するには、[フルスクリーンですべてのディスプレイを使用] を選択します。



[フルスクリーン] に切り替えたとき、すべてのディスプレイに仮想マシンを表示するように選択した場合は、[すべてのディスプレイで同時に領域を表示するまたは隠す] も選択できます。

このオプションを選択している場合は、いずれかのディスプレイで仮想マシンをクリックすると、その他のすべてのディスプレイに仮想マシンが表示されます。また、いずれかのディスプレイでフォーカスの切り替えを行った場合、仮想マシンの領域はその他のすべてのモニターで非表示になります。

ゲーム用のフルスクリーンに最適化

仮想マシンを使用してフルスクリーン表示モードでビデオゲームをプレイする場合、[ゲーム用のフルスクリーンに最適化] を選択します。このオプションを選択すると、マウスポインターを画面の上部および下部に移動しても、macOS Dock、メニューバー、および通知は表示されません。

Windows によるディスプレイガンマの設定を許可する

Windows を使用してビデオゲームをプレイしているとき、Windows が異なる視覚効果を適切に表示するために Mac のディスプレイガンマの設定を一時的に変更しなければならない場合があります。Windows でガンマ設定を変更できるようにするには、[Windows のガンマ設定を使用する] を選択します。

画面に合わせてスケール

[画面に合わせてスケール] メニューを使用すると、フルスクリーンで作業を行うときに Windows がどのように表示されるかを構成できます。

- オフ: Parallels Tools (p. 269) がインストールされていると、Windows の解像度を Mac の解像度に合わせることができます。Parallels Tools (p. 269) がインストールされていない場合は、Windows の解像度は変更されません。Mac の解像度よりも低い場合は、Windows は黒の背景に表示されます。Mac の解像度よりも高い場合は、Windows にはスクロールバーが表示されます。
- 自動: Parallels Tools (p. 269) がインストールされていると、Windows の解像度を Mac の解像度に合わせることができます。Parallels Tools (p. 269) がインストールされていない場合は、Windows の解像度は変更されません。Mac の解像度よりも低い場合は、Windows は黒の背景に表示されます。Mac の解像度よりも高い場合は、Windows はスクロールバーなしに画面全体に表示されます。
- 比率を保つ: Parallels Tools (p. 269) がインストールされているかどうかにかかわらず、Windows の解像度は変更されません。Mac の解像度よりも低い場合は

- 、Windows は黒の背景に表示されます。Mac の解像度よりも高い場合は、Windows はスクロールバーなしに画面全体に表示されます。
- 拡張: **Parallels Tools** (p. 269) がインストールされているかどうかにかかわらず、Windows の解像度は変更されませんが、Windows は拡大され、画面全体に表示されます。

注: フルスクリーン設定に対して不正な変更が行われないように、ウィンドウの下部にあるカギのアイコンをクリックしてください。ロックされると、変更を加えるには管理者のパスワードが必要となります。

CD/DVD を挿入すると開くアプリケーションを設定する

音楽 CD、ピクチャ CD、ビデオ DVD、または空の CD/DVD を挿入すると開く Windows アプリケーションを選び、設定することができます。

- macOS Finder で、[アップルメニュー] > [システム環境設定] の順に選択します。
- [CD と DVD] をクリックします。
- いずれかの種類のディスクに対するメニューで、[ほかのアプリケーションを開く] を選択します。
- Windows アプリケーションを /username/Applications (Parallels)/Windows Applications から選択します。

選択した種類のディスクを挿入すると、選択されている Windows アプリケーションが自動的に開くようになります。

注: 1. CD/DVD の挿入時に開く Windows アプリケーションを設定できない場合は、macOS アプリケーションの共有 (p. 69) が有効になっていること、および CD/DVD の設定で macOS CD/DVD-ROM が選択されていることを確認してください。

2. CD/DVD を挿入すると Windows アプリケーションが開くようにするには、**Parallels Tools** をインストールする必要があります。ほとんどの場合、**Parallels Tools** はデフォルトでインストールされています。

macOS と Windows でアイテムを共有する

Parallels Desktop では、Windows プログラムを使用して macOS ファイルに簡単にアクセスすることや、macOS アプリケーションを使用して Windows ファイルにアクセスすることができます。

ここでは、macOS と Windows でフォルダー、ファイル、アプリケーションを共有する方法の詳細を説明します。

macOS と Windows 間でのコピーと貼り付け

Parallels Desktop を使用すると、macOS と Windows のアプリケーション間で画像、書式付きテキスト（斜体、太字、下線付き、色付き、フォント、サイズ）をコピーし、貼り付けることができます。

macOS と Windows 間でのコピーと貼り付けを有効にするには、次の操作を実行します。

- 1 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
 - Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。
- 2 [オプション] > [詳細オプション] をクリックします。
- 3 [Mac のクリップボードを共有する] を選択します。
- 4 テキストのコピーと貼り付け時にテキストの書式を維持するには、[テキスト書式を維持する] を選択します。

注: macOS と Windows 間のコピーと貼り付けを有効にするには、Parallels Tools がインストールされている必要があります。ほとんどの場合、Parallels Tools はデフォルトでインストールされています。macOS を Windows から分離すると、macOS と Windows 間のコピーと貼り付けが実行できなくなります。

ファイルのコピーと貼り付け

次のいずれかの方法を実行すると、Windows と macOS 間でファイルを簡単にコピーして貼り付けることができます。

- 1 ファイルを 1 つまたは複数選択し、キーボードで **Command+C** を押してコピーします。
- 2 他のオペレーティングシステムでフォルダーを開くか、デスクトップをクリックし、**Command+V** でファイルを貼り付けます。

ファイルおよびフォルダーの共有

Parallels Desktop を使用すると、macOS と Windows ファイルシステム間でフォルダーを共有できるため、Windows アプリケーションから macOS ファイルを開いたり、macOS アプリケーションから Windows ファイルを開いたりするのも簡単です。

注: これらの手順は、macOS と Linux 間でのフォルダー共有にも適用されます。

Windows アプリケーションから macOS のフォルダーまたはファイルにアクセスする

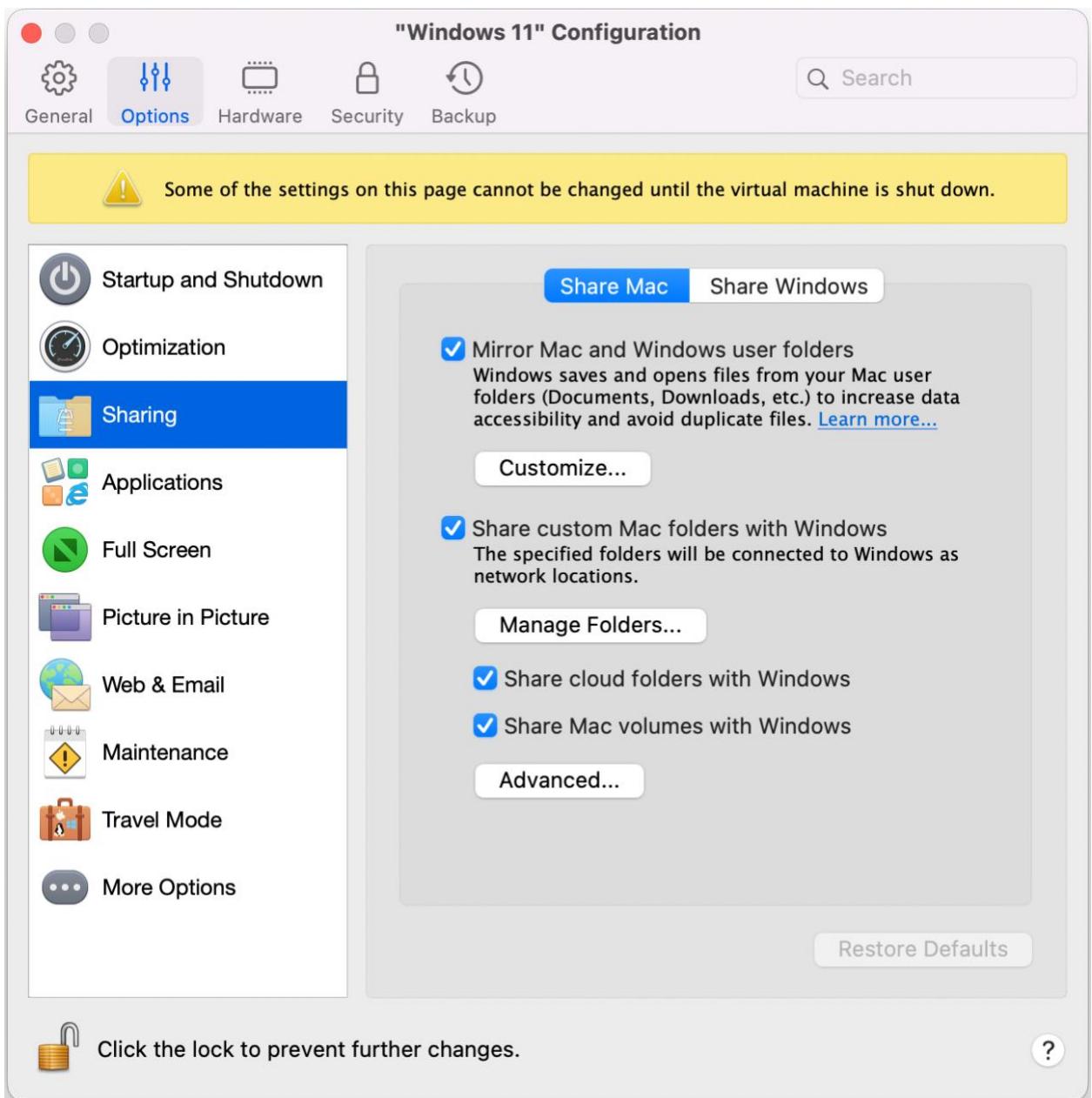
フォルダー共有が有効になると、共有されている macOS フォルダーに Windows アプリケーション内からアクセスできます。ファイルを開くと（多くのアプリケーションでは [ファイル] > [開く] を選択する）、共有されている macOS フォルダーは” Mac” というラベルが付いたネットワーク共有ディレクトリとして表示されます。

macOS フォルダーを Windows アプリケーションと共有できるようにするには、次の操作を行います。

- 1 Windows を起動します。
- 2 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。

- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

3 [オプション] をクリックし、[共有] > [Mac を共有] を選択します。



4 次のいずれかを実行します。

- ホームフォルダー内のフォルダーのみを共有するには [Windows と任意の Mac フォルダーを共有する] を有効にし、[フォルダーの管理...] をクリックします。その後ホームフォルダーを選択して、[OK] をクリックします。

macOS のすべてのフォルダーを共有するには、Mac の名前のフォルダーを選択し、[OK] をクリックします。

- 任意のフォルダーを共有するには、[フォルダーを管理...] をクリックし、追加 (+) ボタンをクリックし、共有するフォルダーを選択します。追加 (+) ボタンを再度クリックすると、その他のフォルダーも追加できます。

macOS のカスタムフォルダーを Windows と共有すると、次のことを行えるようになります。

- [オン] を選択解除し、フォルダーの共有を無効にする。
- [名前] カラムでフォルダーナー名をダブルクリックし、別の名前を入力して、Windows に表示されるフォルダーナー名を変更する。
- [権限] フォルダーで [読み取りおよび書き込み] をクリックして [読み取り専用] を選択することにより、このフォルダーへの書き込みを制限する。これにより、フォルダーにアイテムを追加できなくなります。

注: 1. フォルダーナー共有を有効にするには、[構成] ダイアログの [セキュリティ] タブで [Mac を Windows から分離する] オプションを無効にする必要があります。

2. Linux を実行している場合は、共有フォルダーは /media/psf または /mnt/psf ディレクトリにマウントされます。

macOS および Windows ユーザーフォルダーのミラーリング

デフォルトでは、ミュージック、ドキュメント、ピクチャ、デスクトップ、削除されたファイルなどに対し、macOS と Windows で同じフォルダーを使用するよう設定できます。たとえば、Documents フォルダーにファイルを保存すると、macOS アプリケーションを使っていても、Windows アプリケーションを使っていても、ファイルは Documents フォルダーに保存されます。この機能を管理するには、次の操作を実行します。

1 Windows を起動します。

2 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。

- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

- [オプション] をクリックし、[共有] を選択します。
- [Mac を共有] タブをクリックし、[Mac と Windows のユーザーフォルダーをミラーリングする] を選択します。
macOS の [デスクトップ]、[Documents]、[ピクチャ]、[ミュージック]、[ムービー]、および [Downloads] フォルダーを、対応する Windows のフォルダーと結合できます。
- 一部のフォルダーのみマッピングする場合は、[カスタマイズ...] をクリックします。その後、任意のフォルダーを選択します。

Windows で共有フォルダーからファイルを削除する方法

Windows アプリケーションとの互換性の問題を軽減するために、Parallels Desktop for Mac 19.4 では、共有プロファイル（ドキュメント、ダウンロードなどのユーザーフォルダー）および共有フォルダー（Windows で利用可能なその他の Mac フォルダー）の動作に変更が加えられました。

注: この情報は、Windows を実行している仮想マシンのみに適用されます。

以前はいずれについても、Mac オペレーティングシステムのフォルダーが Windows のネットワークフォルダーとしてマウントされていました。現在はシンボリックリンク（別名: symlinks https://en.wikipedia.org/wiki/Symbolic_link）が使用されるようになっています。

警告: ファイルを削除する際は、必ずシステムメッセージを注意深く読むことをお勧めします。

この変更により、Windows からフォルダーやファイルを削除するプロセスに影響が及びます。

処理	Parallels Desktop 19.3 以前では	Parallels Desktop 19.4 以上では
共有プロファイルフォルダー（ドキュメント、ダウンロードなど）からファイルを削除する	ファイルが Windows のごみ箱に移動される	警告とともに削除される

他の共有フォルダーからファイルを削除する	警告とともにファイルが完全に削除される	警告とともに
----------------------	---------------------	--------

Finder のファイルに表示される Windows の項目は、警告とともに完全に削除されます。

macOS の Finder で Windows のアイテムを表示できます。

- Windows でファイルかフォルダーを右クリック（または Control- クリック）し、ショートカットメニューから [Finder に表示] を選択します。

Finder では、たとえば、アイテムにカラーラベルを適用したり、Finder 内の別の場所に簡単にドラッグしたりできます。

注: これらのアクションは、共有フォルダー (p. 60) に保存されているファイルでのみ実行できます。

Mac サービス経由で Windows のファイルを共有

AirDrop、Mail、Twitter、Facebook などの Mac サービス経由で Windows からファイルを共有できます。

Windows でファイルかフォルダーを右クリック（または Control- クリック）し、ショートカットメニューから [Share on] を選択します。

注: これらのアクションは、共有フォルダーに保存されているファイルでのみ実行できます。

Windows ファイルエクスプローラーで Quicklook を使用する

macOS Quick Look 機能を使用すると、ファイルまたはファイルセットをすばやくプレビューできます。

- Windows の場合、プレビューするファイルまたはファイルセットを選択し、Space キーを押します。
- タッチパッドを使用している場合は、ファイルを選択し、3 本指でタップします（または、新しい Macbook の場合は強く押します）。

注: これらのアクションは、共有フォルダーに保存されているファイルでのみ実行できます。

macOS の Finder またはデスクトップから Windows ディスクにアクセス

Windows ディスクにすばやくアクセスする必要がある場合は、それを Finder またはデスクトップに追加できます。次の手順を実行します。

注: Windows ディスクを Finder またはデスクトップに追加する場合は、仮想マシンが実行されており、Finder 環境設定の [一般] タブで [接続しているサーバー] オプションが選択されている必要があります。

- 1 Finder を開いて、[共有] セクションで [すべて] を選択します。
- 2 仮想マシンを見つけて展開します。
- 3 Finder またはデスクトップに追加するディスクをダブルクリックします。ディスクがマウントされて、デスクトップに表示されます。次に以下の手順を実行します。
 - ディスクを Finder に追加するには、それをデスクトップから Finder の [お気に入り] セクションにドラッグします。
 - ディスクをデスクトップに表示するには、そのディスクの別名を作成します。ディスクを右クリックして、[別名の作成] を選択します。

iCloud、Dropbox、Google Drive フォルダーを Windows と共有する

iCloud、Dropbox、Google Drive をクラウドストレージとして macOS で使用している場合、これらのストレージの macOS フォルダーを Windows と簡単に共有することができます。共有を有効にすると、Windows 内部からこれらのサービスに保存したファイルをアップロード、ダウンロード、同期できるようになり、ハードディスクにファイルのコピーを作成する必要はありません。

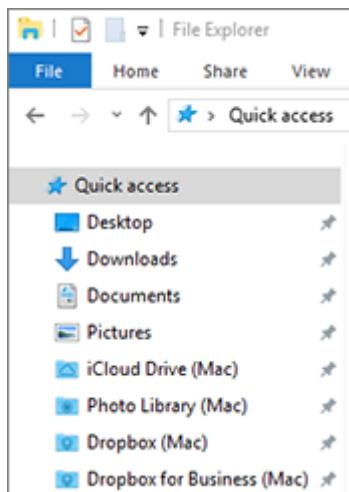
注意:

- 1 この機能は Linux 仮想マシンでも使用できます。
- 2 この機能は、Parallels Desktop の App Store エディションではサポートされていません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。
- 3 この機能を使用するには、Parallels Tools (p. 269) がインストールされている必要があります。

macOS iCloud、Dropbox、Google Drive フォルダーを Windows と共有するには、以下の操作を行います。

注: Parallels Desktop for Mac Pro Edition では、Dropbox for Business のフォルダーを Windows と共有できます。

- 1 macOS で iCloud、Dropbox、Google Drive をまだ設定していない場合、セットアップします。
- 2 Windows を起動します。
- 3 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
 - Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。
- 4 [オプション] をクリックし、[共有] > [Mac を共有] を選択します。
- 5 [クラウドフォルダーを Windows と共有] を選択します。
- 6 Windows にログインし、コンピューターを開きます。iCloud、Dropbox、Google Drive 用のフォルダーは [お気に入り] セクション（または Windows 10 の [クイックアクセス] セクション）に表示されます。これらを使用して、ファイルをクラウドにアップロードしたり、クラウドからダウンロードしたりできます。



Windows OneDrive フォルダーを macOS と共有する

Microsoft OneDrive を使用してクラウドにファイルを保存している場合は、OneDrive フォルダーを macOS と簡単に共有できます。その後、macOS で OneDrive ファイルをアップロードまたはダウンロードできます。その際、ハードディスクでファイルを複製する必要はありません。

注意:

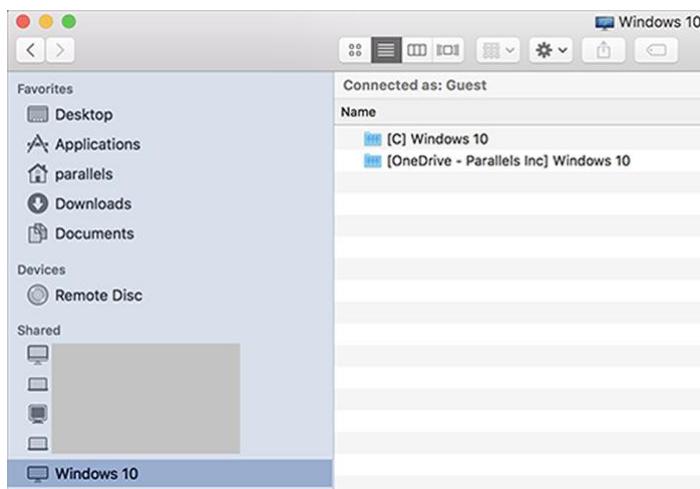
1. OneDrive フォルダーを macOS と共有するには、Windows に OneDrive デスクトップアプリをインストールする必要があります。プリインストールされた OneDrive アプリでは、OneDrive フォルダーを共有できません。これは、このアプリがローカルディレクトリを作成せず、クラウドストレージと直接連携するためです。
2. この機能は、Windows に Parallels Tools がインストールされている (p. 272) 場合にのみ使用できます。
3. この機能は、Parallels Desktop の App Store エディションではサポートされていません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

Windows OneDrive フォルダーを macOS と共有するには、次の手順に従います。

- 1 OneDrive を Windows でまだセットアップしていない場合、まずセットアップします。詳細は、<https://onedrive.live.com/about/ja-jp/> を参照してください。
- 2 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
 - Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。
- 3 [オプション] をクリックし、[共有] > [Windows を共有] を選択します。
- 4 [Mac から Windows フォルダーへのアクセス] を選択し、[OneDrive を Mac と共有する] を選択します。
- 5 macOS の Finder で、[Finder] > [環境設定] を選択し、[接続しているサーバー] を選択します。

- 6 Finder を開いて、[共有] セクションで仮想マシンをクリックします。仮想マシンが実行中である必要があります。

注: macOS 10.14 Mojave 以降では、仮想マシンが [ネットワーク] セクションにあります。



- 7 OneDrive ディスクをダブルクリックします。ディスクがマウントされて、デスクトップに表示されます。
- 8 OneDrive ディスクをデスクトップから Finder の [お気に入り] セクションにドラッグします。



Windows の OneDrive がいつでも Finder で利用できるようになりました。これをを利用して、macOS と OneDrive 間でのファイルのダウンロードまたはアップロードができます。

注: OneDrive を使用するには、Windows を実行中である必要があります。

アプリケーションの共有

macOS アプリケーションには Windows 内からアクセスできます。また、Windows アプリケーションに macOS からアクセスすることも可能です。たとえば、Windows アプリケーションの [開く] メニューでファイルを特定し、そのファイルを macOS アプリケーションを使用して開くことができます。

注意:

1. Linux に Parallels Tools がインストールされている (p. 273) ことを前提に、Linux アプリケーションを使用して macOS ファイルを開くこともできます。

2. この機能は、Parallels Desktop の App Store エディションではサポートされていません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

macOS アプリケーションの共有を有効にする

macOS アプリケーションの共有が有効になると、Windows または Windows アプリケーションから macOS アプリケーションを開くことができます。

有効になっていない場合でも、次の方法でいつでも有効にできます。

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

2 [オプション] > [アプリケーション] の順にクリックします。

3 [Mac アプリケーションを Windows と共有する] を選択します。

macOS アプリケーションの共有が有効になると、次のタスクを実行できます。

macOS アプリケーションで Windows のファイルを開く

macOS アプリケーションのファイルは、Windows エクスプローラー、ほとんどの Windows アプリケーションの [開く] ダイアログ、または Windows デスクトップ

(Windows が別のウィンドウに表示されるよう設定されているか、フルスクリーン (p. 54) 表示されるよう設定されている場合) から開くことができます。この操作は、ファイルを開くことができる Windows アプリケーションがない場合に行います。

- Windows でファイルを右クリック（または Control- クリック）し、次のいずれかを実行します。
 - ショートカットメニューの [Mac で開く] を選択します。そのファイルの種類に対するデフォルトの macOS アプリケーションでファイルが開きます。
 - ショートカットメニューから [このアプリケーションで開く] を選択し、アプリケーションを選択します。

注: これらのアクションは、共有フォルダーに保存されているファイルでのみ実行できます。

Windows の [スタート] メニューから Mac アプリケーションを開く

Windows の [スタート] メニューから、次のいずれかを実行します。

- [すべてのアプリケーション] > [Parallels 共有アプリケーション] を選択し、アプリケーションを選択します。
- 検索フィールドにアプリケーション名を入力し、リストからアプリケーションを選択します。

Windows アプリケーションの共有を有効にする

Windows アプリケーションの共有が有効になっていると、macOS の Finder から Windows アプリケーションを開くことができます。また、すべての Windows アプリケーションを含むフォルダーを Dock に追加すると簡単にアクセスできます。

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

2 [オプション] > [アプリケーション] の順にクリックします。

3 [Windows アプリケーションを Mac と共有する] を選択します。

Windows アプリケーションフォルダーを Dock に追加する

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- **Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

2 [オプション]、[アプリケーション] の順にクリックします。

3 [Windows アプリケーションを Mac と共有する] が選択されていることを確認し、[Windows アプリケーションフォルダーを Dock に表示] を選択します。

Dock アイコンがバウンドしてアラートするかどうかを構成する

タスクバーで Windows アプリケーションアイコンが点滅して Skype の新規メッセージや Microsoft Outlook の通知をアラートするとき、デフォルトでは macOS の Dock でも当該アイコンがバウンドします。

Windows アプリケーションアイコンのバウンドによるアラートを有効または無効にするには、次の操作を行います。

1 次のいずれかを実行します。

メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。

Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

2 [オプション] > [アプリケーション] の順にクリックします。

3 [Dock アイコンがバウンドしてアラート] を選択するか、選択を解除します。

注: Parallels Tools をインストールした Windows でアイコンのバウンドが有効になるのは、[アプリケーション] ペインで [Windows アプリケーションを Mac と共有する] を選択した場合です。

Windows アプリケーションを強制終了する

実行中のゲスト Windows OS アプリケーションが応答せず、フリーズした場合は、macOS アプリケーションと同じように簡単に強制終了できます。Windows アプリケーションを強制終了するには、次のいずれかを実行します。

- Dock で使用可能な Windows アプリケーションのアイコンを右クリックし、Option (Alt) を押して、[強制終了] を選択します。
- Option+Command+Esc (Alt+Command+Esc) を押し、終了する Windows アプリケーションの名前を選択し、[強制終了] をクリックします。

注: ゲスト Windows OS アプリケーションを強制終了するには、Parallels Tools がインストールされている必要があります。

アプリケーションまたは選択したアプリケーションでファイルを開くように設定する

macOS の Finder で開いた特定の種類のファイルを、選択した Windows アプリケーションで開くように設定することができます。たとえば、.txt で終わるファイルを、毎回 Windows のメモ帳で開くように設定できます。

また、Windows で開いたファイルを、毎回、選択した macOS アプリケーションで開くよう設定することもできます。

注: この機能は、Parallels Desktop の App Store エディションではサポートされていません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

特定の種類の macOS ファイルを Windows アプリケーションで開くように設定する

macOS ファイルを今回だけ Windows アプリケーションで開くには、次の操作を実行します。

- 1 Finder でファイルを右クリック（または Control キーを押しながらクリック）し、ショートカットメニューから [このアプリケーションで開く] を選択します。

2 Windows アプリケーションを選択します。

目的のアプリケーションが表示されていない場合は、[その他] をクリックし、
`/username/Applications (Parallels)/Windows Applications` から
Windows アプリケーションを選択します。

また、macOS ファイルを Dock 内の Windows アプリケーションのアイコンにドラッグして、その Windows アプリケーションで開くこともできます。

特定の種類のファイルを毎回 Windows アプリケーションで開くように設定するには、次の操作を実行します。

- 1 ファイルを右クリック（または Control キーを押しながらクリック）し、ショートカットメニューから [情報を見る] を選択します。
- 2 [このアプリケーションで開く] の横にある三角をクリックし、セクションを開けます。
- 3 ポップアップメニューから Windows アプリケーションを選択します。
目的のアプリケーションが表示されていない場合は、[その他] を選択し、
`/username/Applications (Parallels)/Windows Applications` から
Windows アプリケーションを選択します。
- 4 [すべてを変更] をクリックします。

以降、この種類のファイル（上記の例では .txt）を macOS Finder でダブルクリックすると、そのファイルは Windows アプリケーションで開かれます。Windows がシャットダウン、サスペンド、または一時停止されているときにファイルをダブルクリックすると、Windows が Coherence モードで開始またはレジュームされます。Windows が起動されると、ファイルが Windows アプリケーションで開かれます。

特定の種類の Windows ファイルを macOS アプリケーションで開くように設定する

Windows ファイルを今回だけ macOS アプリケーションで開くには、次の操作を実行します。

- Windows でファイルを右クリック（または Control キーを押しながらクリック）し、ショートカットメニューから [プログラムから開く] を選択し、アプリケーションを選択します。

特定の種類のファイルを毎回 macOS アプリケーションで開くように設定するには、次の操作を実行します。

1. Windows でファイルを右クリック（または Control キーを押しながらクリック）し、ショートカットメニューから [プログラムから開く] を選択し、[既定のアプリケーションの選択] をクリックします。
2. アプリケーションを選択し、[この種類のファイルは、いつもこのアプリケーションで開く] を選択し、[OK] をクリックします。

注: このアプリケーションまたは選択したアプリケーションでファイルを開くように設定するには、Parallels Tools がインストールされている必要があります。ほとんどの場合、Parallels Tools はデフォルトでインストールされています。また、[Mac を Windows から分離する] (p. 118) オプションが無効になっていること、および Windows のアプリケーション共有 (p. 69) が有効になっていることが必要です。

インターネットのリンクまたはメールを常に macOS または Windows で開くように設定する

デフォルトでは、Windows でリンクをクリックすると、そのリンクの種類に対してデフォルトの Windows アプリケーションが開きます。また、macOS でリンクをクリックすると、デフォルトの macOS アプリケーションが開きます。メールも同様で、Windows でメールを開くと Windows のデフォルトのメールクライアントが開き、macOS でメールを開くと macOS のデフォルトのメールアプリケーションが開きます。

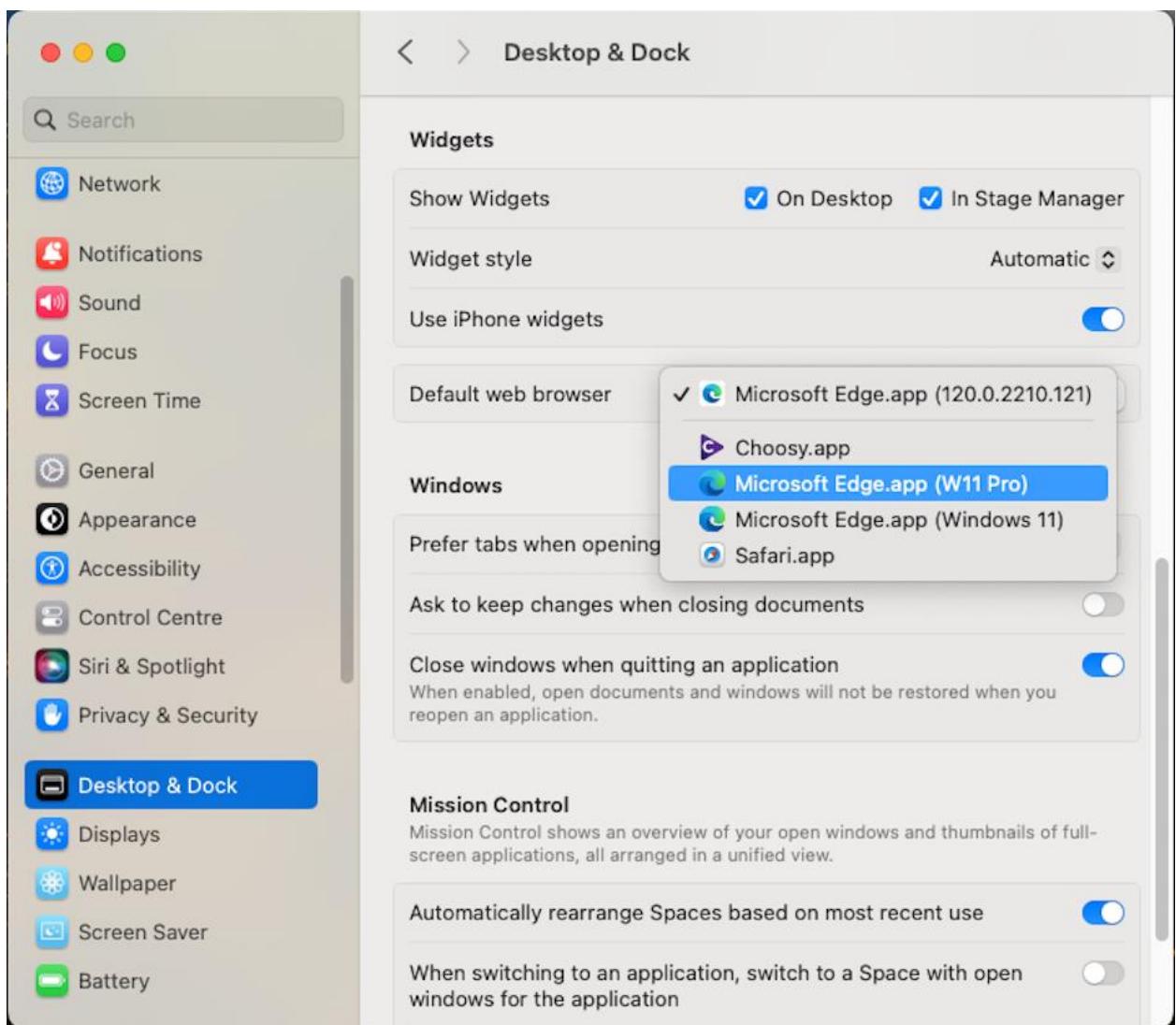
リンクやメールは macOS または Windows のどちらでクリックしても常に同じ方法で開くように設定できます。

注: この機能を使用するには、Parallels Tools をインストールする必要があります。ほとんどの場合、Parallels Tools はデフォルトでインストールされています。

インターネットリンクを常に Windows で開くように設定する

macOS でクリックしたリンクをすべて常に Windows で開くように設定するには、以下の手順を実行します。

- 1 macOS では、[システム設定] > [デスクトップと Dock] を開きます。
- 2 [デフォルトの Web ブラウザー] メニューで、Windows のブラウザーを選択します。



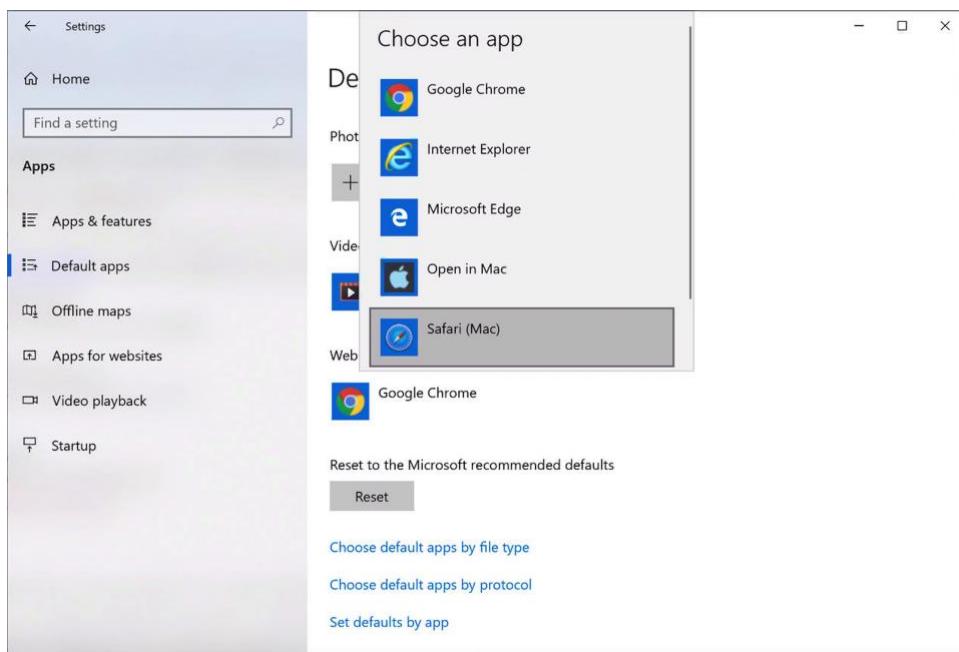
これで macOS でリンクをクリックすることで、選択した Windows のブラウザーで開けるようになりました。

注: Windows 11 以降では、Microsoft によるアップデートにより、デフォルトブラウザーの変更方法がより複雑になっています。この新しいプロセスでは、インターネット閲覧でよく使われるリンクやプロトコルの種類ごとに、デフォルトのアプリケーションを変更する必要があります。つまり、HTTP、HTTPS、FTP などです。

これを実行するには、[スタート] > [設定] > [アプリ] > [既定のアプリ] に進み、[リンクの種類で既定値を選択する] を選択します。

Windows 10 以前の場合、Windows でクリックしたリンクをすべて常に macOS で開くように設定するには、以下の手順を実行します。

- 1 Windows で、[スタート] ボタン > [設定] > [アプリ] > [既定のアプリ] をクリックします。
- 2 [Web ブラウザー] セクションでブラウザーをクリックして、macOS のブラウザーを選択します。

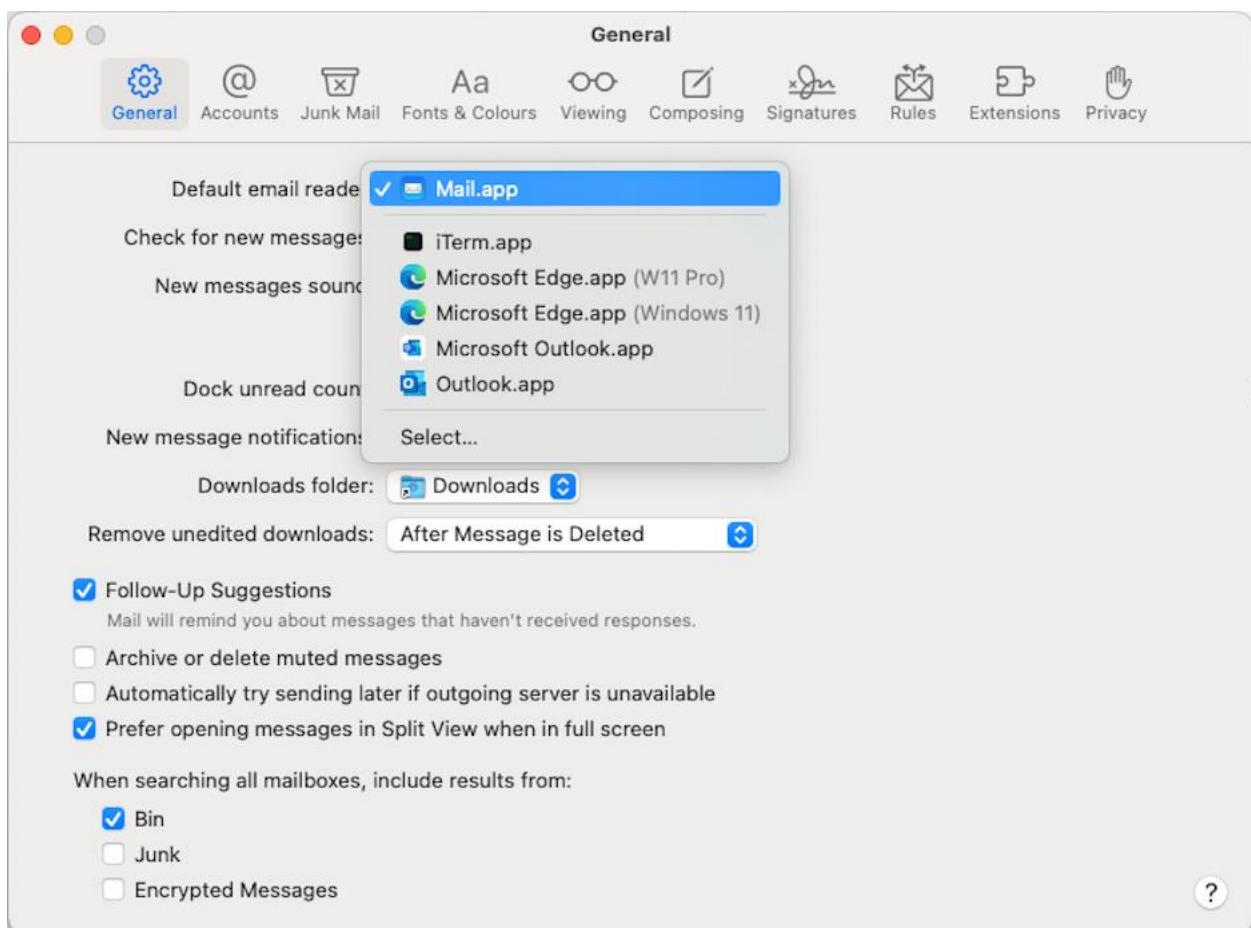


これで Windows でリンクをクリックすることで、選択した macOS のブラウザーで開けるようになりました。

メールを常に macOS または Windows で開くように設定する

macOS で開いたメールをすべて常に Windows で開くように設定するには、以下の手順を実行します。

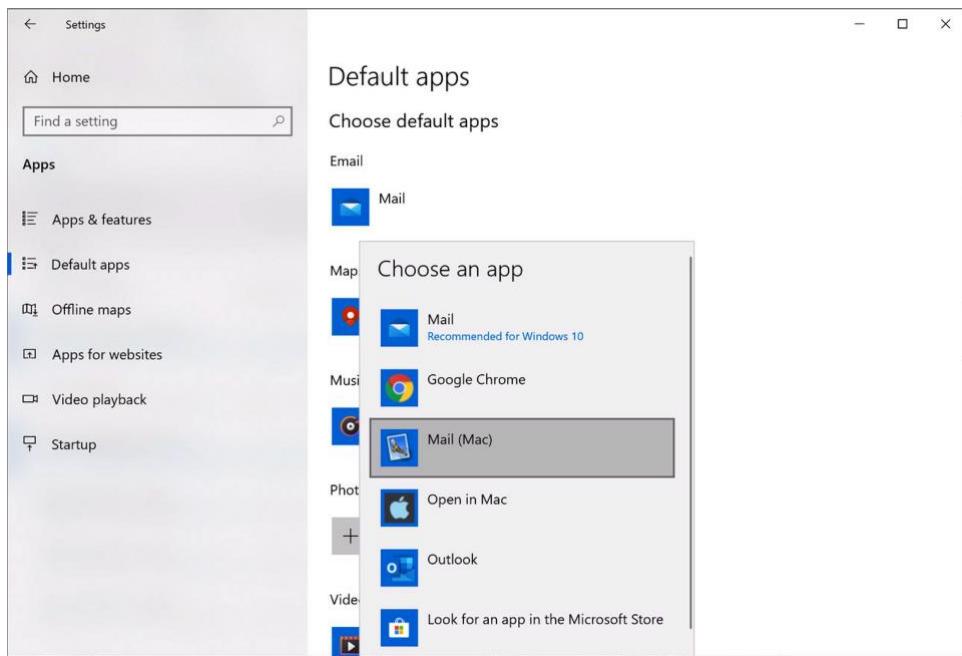
- 1 macOS で、[メール] アプリの [環境設定] > [一般] を開きます。
- 2 [デフォルトメールソフト] メニューで、メールアプリケーションを選択します。



これで macOS でメールをダブルクリックすることで、選択した Windows のメールアプリで開けるようになりました。

Windows で開いたメールをすべて常に macOS で開くように設定するには、以下の手順を実行します。

- 1 Windows で、[スタート] ボタン > [設定] > [アプリ] > [既定のアプリ] をクリックします。
- 2 [メール] セクションでメールアプリケーションをクリックして、macOS のメールアプリを選択します。



これで Windows でメールをダブルクリックすることで、選択した macOS のメールアプリで開けるようになりました。

Internet Explorer で現在の Safari ページを開く

一部の Web ページは、古い Internet Explorer 向けの実装を処理する機能を備えた、Microsoft Edge で表示するのが最適です。macOS で Safari を使用して閲覧している場合は、次の手順を実行すると、現在のページを Microsoft Edge ですばやく開くことができます。

- 1 まず、”Edge で開く” プラグインを有効にする必要があります。次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
 - **Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

- 2 [オプション] をクリックし、[Web と電子メール] を選択します。
- 3 [プラグインを有効化する] をクリックします。
- 4 プラグインが有効化されたら、Safari アドレスバーの左側にある、[Edge で開く] ボタンをクリックします

Windows が起動していない場合は起動し、Microsoft Edge で該当のページが開きます。

Windows のメールアプリケーションを使用して macOS のファイルを送信する

メールの送信に Windows のメールアプリケーションを使う機会が多い場合、メッセージに macOS のファイルを簡単に添付できます。次の手順を実行します。

注: この機能を使用するには、Parallels Tools (p. 269) をインストールする必要があります。

- 1 母親に写真を送ることにしたとしましょう。macOS で写真を右クリックして、[共有] > [その他] を選択します。macOS のシステム設定の [機能拡張] セクションが開きます。
- 2 機能拡張のリストを下方向にスクロールして、[Windows のメールアプリで送信] を選択します（これは一度だけ行う必要があります）。
- 3 写真をもう一度右クリックして、[共有] > [Windows のメールアプリで送信] を選択します。ファイルが添付済みの新しいメッセージが作成された状態で、Windows で既定のメールアプリケーションが起動します。必要なのはメールの受信者とメールの件名を入力するだけです。

外部ストレージデバイスとボリュームの共有

USB デバイスなどの外部ストレージデバイスを Mac に接続すると、macOS アプリケーションからコンテンツにアクセスできます。

自動的にストレージデバイスおよびボリュームを Windows にマウントするよう Parallels Desktop で設定できます。そうすると、macOS と Windows の両方からコンテンツにアクセスできます。

次のアイテムを Windows にマウントできます。

- リムーバブルドライブ: USB ハードディスクや USB フラッシュドライブなどの外部ストレージデバイス。
- CD/DVD ドライブ: CD および DVD ドライブまたは CD/DVD イメージ（多くの場合は .dmg、.iso、および .img の拡張子が付いたファイル）。
- ネットワークフォルダー: ネットワークで共有されるフォルダー。

こうしたアイテムが Windows に自動的にマウントされるようにするには、以下の操作を行います。

- 1 Windows を起動します。
- 2 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
 - Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。
- 3 [オプション] をクリックし、[共有] > [Mac を共有] を選択します。
- 4 [Mac のボリュームを Windows に割り当てる] を選択します。

ストレージデバイスまたはボリュームを接続すると、ネットワークドライブとしてマウントされます。たとえば、Mac に差し込まれた USB フラッシュドライブは、macOS の /Volumes フォルダーおよび Windows の [マイコンピューター] の両方からアクセスできます。

注: マウントされたデバイスに Windows からアクセスするための許可は、macOS のデバイスのアクセス許可設定と同じです。たとえば、macOS で USB フラッシュドライブに対して読み取りや書き込みが行える場合は、Windows でも同様に行えます。

例外: アクセス許可に関係なく、macOS は NTFS ボリュームには書き込みを行えません。

Windows 外部およびネットワークドライブを Mac と共有する

外部 NTFS ドライブを Windows に接続するか、Windows のネットワークドライブに接続すると、そのドライブは macOS でも使用できるようになります。

次の手順を実行します。

1 Windows を起動します。

2 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- **Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

3 [オプション] をクリックし、[共有] > [Windows を共有] を選択します。

4 [Windows ネットワークドライブを Mac と共有] および [Windows 接続ドライブを Mac と共有] を選択します。

Windows でネットワークドライブに接続するか、NTFS ドライブを Windows に接続すると、そのドライブは macOS で使用できるようになります。そのドライブにアクセスするには、[Finder] サイドバー > [共有] セクションを選択し、仮想マシンの名前をクリックします。

仮想 DVD ドライブでディスクイメージを使用する

Windows での作業中は、仮想 Windows DVD ドライブで使用するディスクイメージファイルを、物理ドライブに挿入した DVD と同じように選択することができます。このためには、次の操作を実行します。

- 1** Windows エクスプローラーで [コンピューター] または [PC] を開き、DVD ドライブのアイコンを右クリックして、[ディスクイメージの選択] を選択します。
- 2** 使用したいディスクイメージを探し、[開く] をクリックします。

注: この機能は、Parallels Tools がインストールされた Windows でのみ使用できます。

Windows ディスクを Finder に追加する

頻繁に Windows を操作する場合、Windows ディスクを Finder に追加して、常に Windows ファイルを手元に置いておくことができます。

次の手順を実行します。

- 1** 最初に、Windows ディスクが macOS と共有されていることを確認します。次のいずれかを実行します。

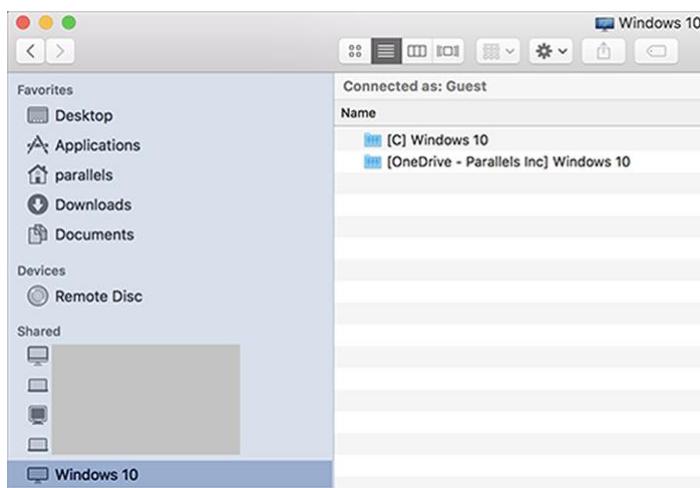
- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- メニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

次に、[オプション] をクリックし、[共有] > [Windows を共有] を選択します。

[Mac から Windows フォルダーへのアクセス] が選択されていることを確認します。Windows OneDrive も共有する場合は、[OneDrive を Mac と共有する] を選択します。

- 次のステップでは、Windows ディスクを macOS デスクトップにマウントすることを許可する必要があります。Finder を開き、[Finder] > [環境設定] を選択し、[接続中のサーバー] を選択します。
- 次に、Windows ディスクを macOS デスクトップにマウントする必要があります。Finder で、仮想マシンをクリックします。仮想マシンは、[共有] セクションでアクセスできます。仮想マシンが実行中である必要があります。

注: macOS 10.14 Mojave 以降では、仮想マシンが [ネットワーク] セクションにあります。



任意の Windows ディスクをダブルクリックします。ディスクがマウントされて、デスクトップに表示されます。

- 4 ディスクをデスクトップから Finder の【お気に入り】セクションにドロップします。



これで、macOS の Finder から Windows ファイルにアクセスできるようになりました。

注: ディスクは、Windows マシンが起動している間だけ macOS で利用できます。

マウス、トラックパッド、キーボード

Parallels Desktop では、マウス、トラックパッド、キーボードを希望通りに操作できるよう構成することができます。

また、トラックパッドジェスチャーを使用して、macOS アプリケーションを操作するように Windows アプリケーションを制御することができます。

ここでは、Windows アプリケーションでのマウス、トラックパッド、キーボードの機能をカスタマイズする方法を説明します。

マウスまたはトラックパッドへの右クリックおよび中央クリックの設定

ショートカットメニューを表示するなど、Windows の多くのタスクは、右クリックすることで行います。

デフォルトでは、**Parallels Desktop** は Shift+Control を押しながらマウスをクリックすることで、右クリックの動作を行うよう設定されています。右クリックの動作を行うキーの組み合わせを変更できます。

また、トラックパッドを右クリックできるように設定したり、**Apple Magic Mouse**をお持ちの場合は、マウスを右クリックできるように設定することも可能です。

その他のほとんどのマウスは、右クリックできるようあらかじめ設定されています。

トラックパッドで右クリックできるよう設定する

- 1 **Apple メニュー** > [システム設定] を選択し、[トラックパッド] をクリックします。
- 2 [セカンダリータップ] を選択します。

トラックパッドを 2 本指でタップすると、右クリックを模倣できます。

Apple Mighty Mouse で右クリックできるよう設定する

- 1 [アップルメニュー] > [システム設定] を選択し、[マウス] または [キーボードとマウス] をクリックします。
- 2 マウスの右側のメニューから [セカンダリボタン] を選択します。

これで、マウスの右側を押して、右クリックできるようになります。

Apple Magic Mouse で右クリックできるよう設定する

- 1 [アップルメニュー] > [システム設定] を選択し、[マウス] または [キーボードとマウス] をクリックします。
- 2 [セカンダリークリック] を選択します。

これで、マウスの右側を押して、右クリックできるようになります。

右クリックまたは中央クリックを行うキーの組み合わせを設定する

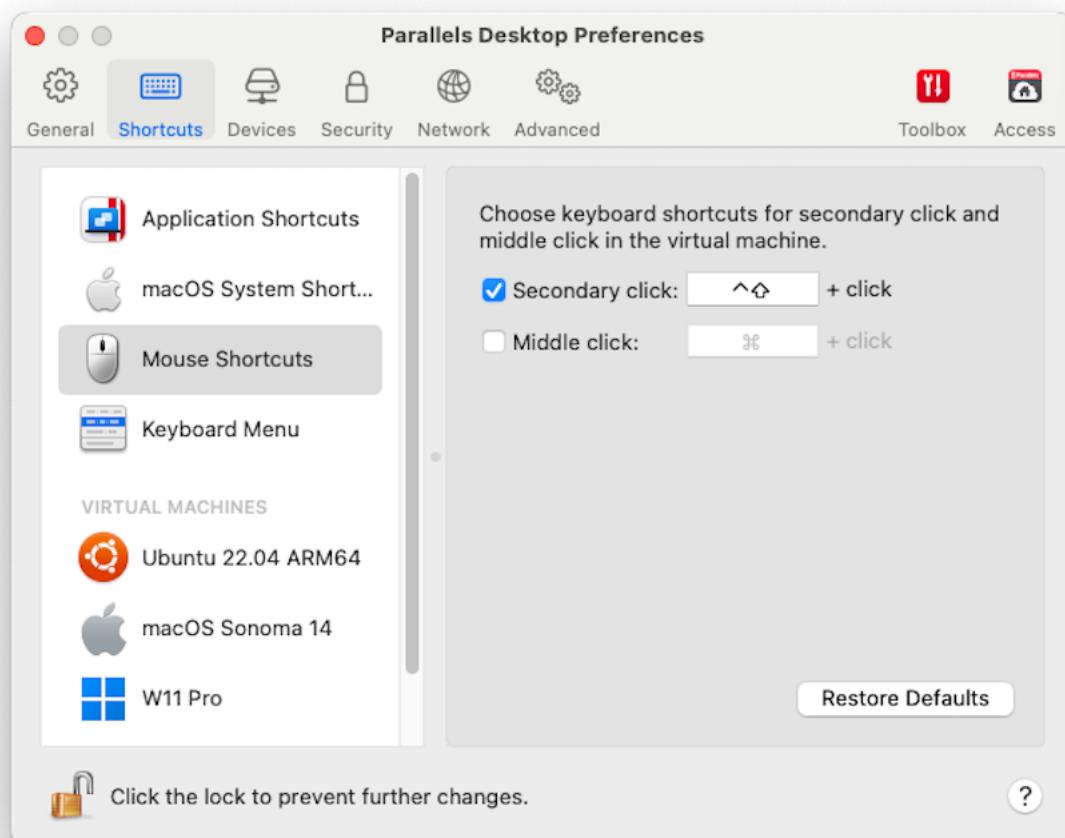
- 1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[環境設定] を選択します。
 - Dock 内の **Parallels Desktop** のアイコンを右クリックし、[環境設定] を選択します。

2 [ショートカット] をクリックします。

3 必要であれば、[カギ] アイコンをクリックして、管理者パスワードを入力します。

4 サイドバーの【マウスショートカット】を選択します。



5 「セカンダリクリック」(右クリック用) または「中央クリック」を選択します。

6 対応するテキストフィールドをクリックし、右クリックまたは中央クリックを実行するためにマウスをクリックしながら押すキー、またはキーの組み合わせを押します。

Control、Option (Alt) 、Shift、および Command キーの任意の組み合わせを使用できます。

キーボードショートカットの使用

macOS と Windows はどちらも、多数のキーボードショートカットを提供しています。たとえば、macOS では、Command キーを押しながら Q を押すと (Command-Q) 、現在のアプリケーションを終了できます。

注: Parallels Desktop から Cmd + W のキー入力を行うと、ウィンドウ全体が閉じられるのではなく、ゲストブラウザーのタブが閉じられるようになりました。以前の動作に戻すには、以下の「キーボードショートカットのカスタマイズ」セクションを参照してください。

キーボードショートカットを入力するには、キーボードでキーの組み合わせを押すだけです。

次のいずれかの方法でも入力できます。

- メニューバーで **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[デバイス] > [キーボード] の順に選択して、キーの組み合わせを選択します。
- [デバイス] > [キーボード] の順に選択して、キーの組み合わせを選択します。

これらの方法は、Mac キーボードに存在しないキー (Alt + PrintScreen など) が含まれるキーボードショートカットを使用したい場合に便利です。

注: MacBook で F1~F12 キーを使用するには、Fn キーを押しながら F キーを押します。

キーボードショートカットのカスタマイズ

Parallels Desktop では、デフォルトで一般的な macOS キーボードショートカットキーの組み合わせが、対応する Windows キーの組み合わせに割り当てられます。そのため、たとえば、Command-C を押して macOS でテキストをコピーするのに慣れている場合は、Windows の Control-C に切り替える必要がありません。

また、キーボードショートカットを使用およびカスタマイズして、Coherence、フルスクリーン、ウィンドウ表示モードを切り替えること、および Parallels Desktop の表示と非表示を切り替えることができます。

キーボードショートカットのカスタマイズ

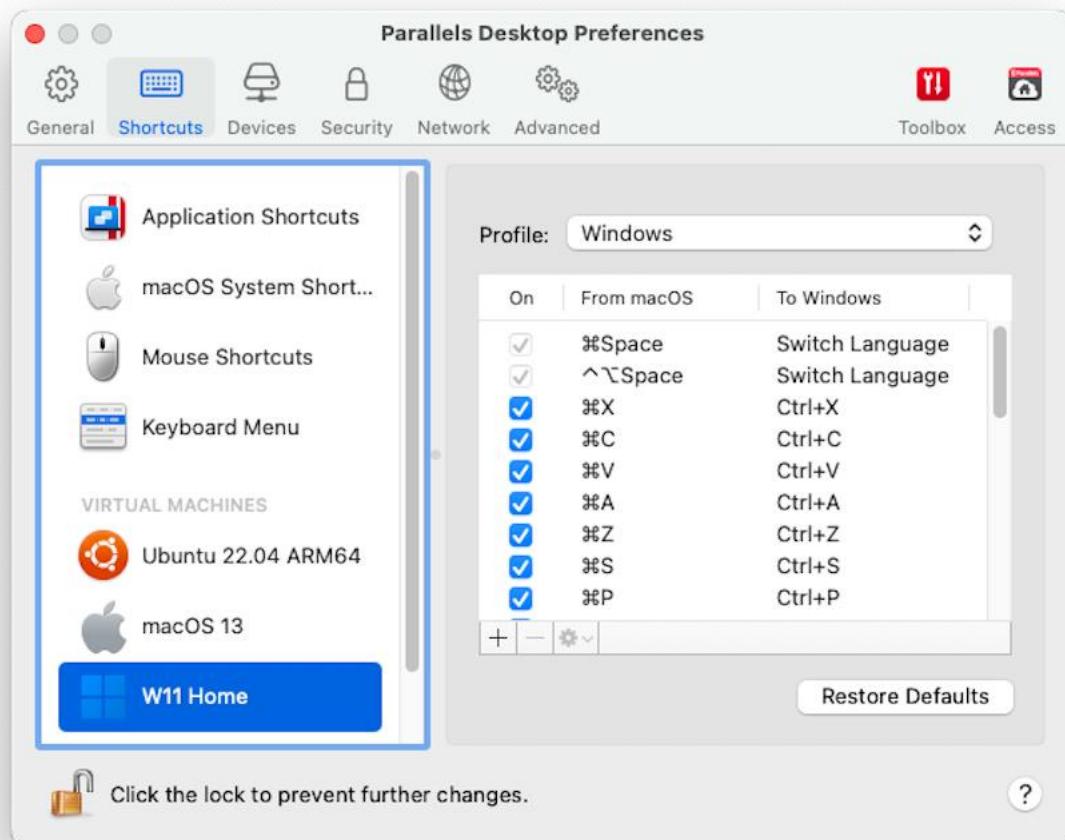
1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[環境設定] を選択します。
- Dock 内の **Parallels Desktop** のアイコンを右クリックし、[環境設定] を選択します。

2 [ショートカット] をクリックします

3 サイドバーの [仮想マシン] リストから **Windows** を選択します。

または、Parallels Desktop で別の OS を使用しており、キーボードショートカットをカスタマイズするには、サイドバーで OS を選択します。



Windows アプリケーションを使用している場合、上部の [再割り当て前] 列でキーの組み合わせを押すと、[再割り当て後] 列のキーの組み合わせがトリガーされます。

- 4 鍵アイコンがロックされている場合は、クリックして、管理者パスワードを入力します。
- 5 次のいずれかを実行します。
 - 既存のキーの組み合わせを編集するには、キーの組み合わせをダブルクリックするか、選択して、[編集] ボタン をクリックします修飾キーをクリック

し、選択または選択解除します。必要であれば、テキストフィールドの文字を変更します。



- キーの組み合わせを削除するには、選択して [削除] ボタン をクリックします。
- 新しいキーの組み合わせを追加するには、[追加] ボタン をクリックします。

Parallels Desktop で複数の OS を使用している場合は、各 OS のキーボードプロファイルを作成 (p. 262) できます。

注: 1.一部のキーの組み合わせは、編集または削除できません。

2. Mac のショートカットには、Windows に同様のショートカットがないものがあります。たとえば、F11 キーまたは Fn+F11 キーの組み合わせを使用して、Expose で macOS デスクトップを表示できますが、Windows には Expose がないため、同じ処理を行うキーまたはキーの組み合わせはありません。

macOS システムのショートカットを有効または無効にする

macOS では、キーボードのファンクションキー (F1、F2、F3 など) で、ダッシュボードや Mission Control のアクティベート、画面の明るさの調整、音量の調節などの機能を制御します。デフォルトでは、Windows アプリケーションがアクティブの場合、ファンクションキーとその他の Mac システムショートカットキーの組み合わせ (Cmd+Tab を押して開いているアプリケーションを切り替えるなど) を使用して macOS 機能をアクティベートできます。

ファンクションキーと macOS システムショートカットキーの組み合わせにより、macOS または Windows の機能をアクティベートするかどうかを設定するには、次の操作を実行します。

- 1 サイドバーの [macOS システムショートカット] をクリックします。
- 2 [macOS システムショートカットの送信] メニューから次のいずれかを選択します。
 - 常に: Windows または Windows アプリケーションがアクティブの場合は、ファンクションキーとその他のシステムショートカットは、常に Windows の機能をトリガーします。
 - 使用しない: ファンクションキーとその他のシステムショートカットは、常に macOS の機能をトリガーします。
 - 自動: Windows を使用している場合、Windows で機能しないシステムショートカット (Control- 上矢印ボタンを使用して Mission Control を表示するなど) は macOS の機能をトリガーします。macOS をゲスト OS として使用しており、ゲスト OS またはそのアプリケーションがアクティブの場合は、macOS 固有のシステムショートカットは、macOS のゲストバージョンで機能をトリガーします。

キーボードメニューをカスタマイズする

Window モードでキーの組み合わせを入力するには、[デバイス] > [キーボード] の順に選択し、キーの組み合わせを選びます。使用可能なキーの組み合わせをカスタマイズするには、次の手順に従います。

- 1 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[環境設定] を選択します。
 - Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[Parallels Desktop] > [環境設定] を選択します。
- 2 [ショートカット] > [キーボードメニュー] をクリックします。
- 3 鍵アイコンがロックされている場合は、クリックして、管理者パスワードを入力します。
- 4 次のいずれかを実行します。
 - 新しいキーの組み合わせを追加するには、[追加] (+) ボタンをクリックします

- キーの組み合わせをキーボードメニューから削除するには、選択して [削除] (-) ボタンをクリックします
- 既存のキーの組み合わせを編集するには、キーの組み合わせをダブルクリックするか、選択して、[編集] ボタンをクリックします修飾キーをクリックし、選択または選択解除します。必要であれば、テキストフィールドの文字を変更します。

新しいキーボードショートカットの作成

特定のキーの組み合わせ（キーボードショートカット）を使用すると、**Parallels Desktop** のさまざまな操作をすばやく行えます。たとえば、Command-Control-F を押すと、Windows をフルスクリーンモードに切り替えられます。既存のキーボードショートカットを使用することも（既存のショートカットは [**Parallels Desktop**] > [環境設定] > [ショートカット] > [アプリケーションショートカット] ペインで確認できます）、独自のショートカットを作成することもできます。

新しいキーボードショートカットを作成するには、以下の操作を実行します。

- ショートカットを作成するコマンドの名前は、**Parallels Desktop** のメニューに表示されるとおりにメモしておきます。たとえば、フルスクリーンモードに切り替えるための新しいショートカットを作成する場合は、**Parallels Desktop** の [表示] メニューを開くと、メニュー項目の名前は [フルスクリーン] であることがわかります。



- macOS で、[アップルメニュー] > [システム環境設定] の順に選択します。

- 3 システム環境設定で [キーボード] をクリックし、[ショートカット] をクリックします。
 - 4 サイドバーの [アプリケーションショートカット] を選択し、[追加] ボタン  をクリックします
 - 5 新しいショートカットを **Parallels Desktop** でのみ使用する場合は、[アプリケーション] メニューから **Parallels Desktop** を選択します。[全アプリケーション] を選択したままにしておくと、ショートカットは同じコマンド名を持ち、現在アクティブなすべてのアプリケーションで有効になります。
 - 6 手順 1 で確認したメニュー項目の名前を入力します。
- 重要:** **Parallels Desktop** メニューに記されているとおりに、正確にコマンド名を入力しなければ、新しいショートカットは動作しません。
- 7 [キーボードショートカット] フィールドで、操作を実行するためのキーの組み合わせを押します。

注: **Parallels Desktop** の状態によって、メニュー内の表示が変わるコマンドに対しては、別のショートカットを作成する必要があります（たとえば、[フルスクリーン] と [ウィンドウモード] など）。

macOS での Windows 入力言語の確認と変更

Windows または Windows アプリケーションで作業中、**Parallels Desktop** は macOS メニューバーに Windows の入力言語セットを表示します。ゲスト OS デスクトップが非表示のときに、Coherence (p. 47) モードの Windows で作業する際に便利です。



macOS メニューバーの入力言語は、Mac に切り替えると同時に、Windows で作業を開始する前に設定されていた言語に戻ります。

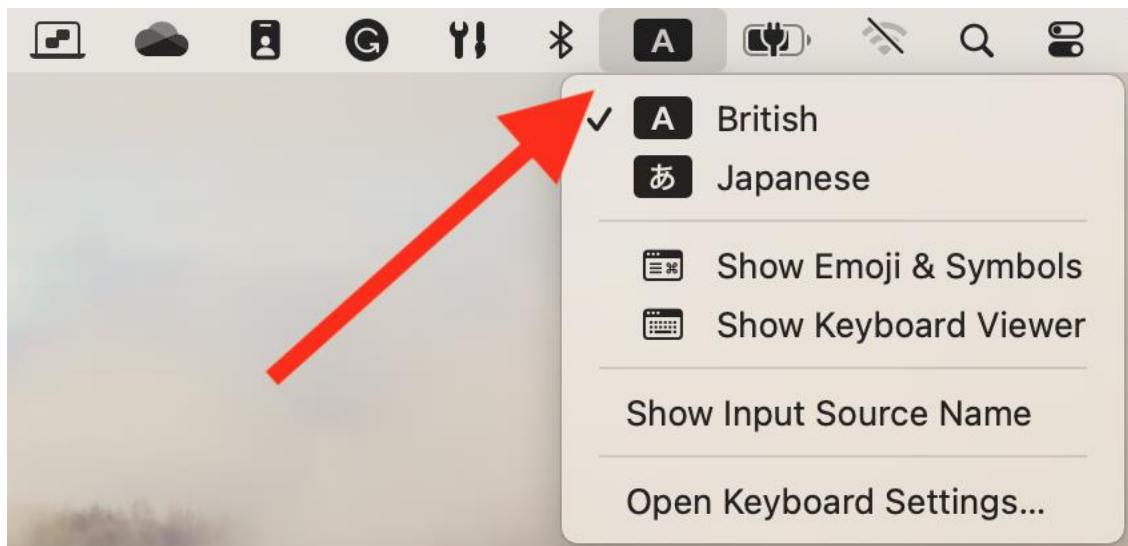
この機能を正常に使用するには、**Parallels Tools** (p. 272) がインストールされている必要があります、Windows と macOS で同じ入力言語が使用できる必要があります。入力言語を追加する方法については、これらのオペレーティングシステムのヘルプリソースを参照してください。

macOS メニューバーからの Windows 入力言語の変更

macOS メニューバーから Windows 入力言語を変更するには、次の操作を実行します。

1 Windows または Windows アプリケーションをクリックし、アクティブにします。

2 macOS メニューバーの [入力] メニューから、必要な言語を選択します。



注: [入力] メニューから選択する言語は、Windows でも使用可能でなければなりません。

Windows の入力ソース一覧に言語を追加する方法については、Windows のヘルプリソースを参照してください。

macOS メニューバーに [入力] メニューがない場合は、次の手順を実行することで、表示するよう設定できます。

- 1 macOS で [アップルメニュー] > [システム設定] を選択し、[言語とテキスト] をクリックします。
- 2 [入力ソース] をクリックします。
- 3 使用する言語（複数可）をサイドバーから選択します。
- 4 [メニューバーに入力メニューを表示] を選択します。

マウスとキーボードの設定

[マウスとキーボード] 設定を使用して、以下のことを行えます。

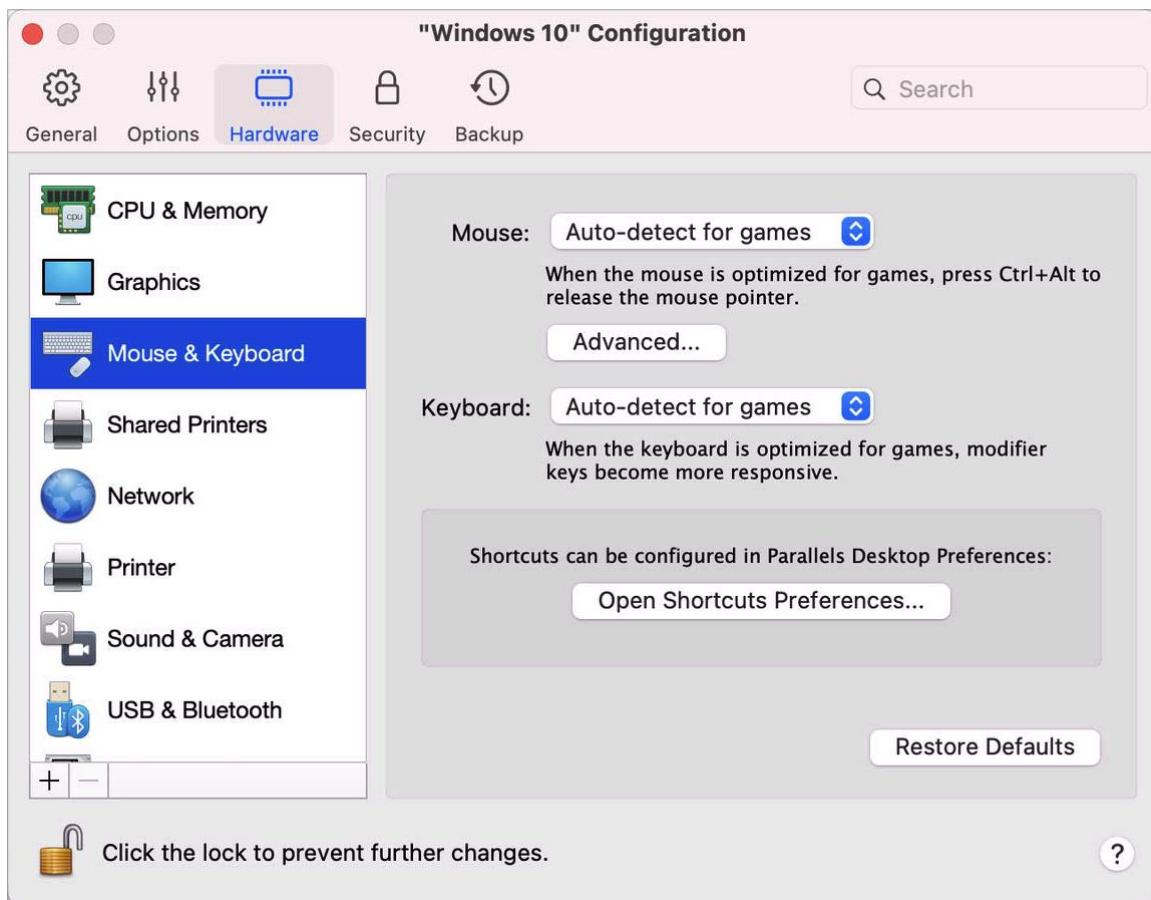
- マウスポインターの挙動をゲームに最適化するかどうかを設定する。
- ウィンドウモードでマウスポインターが画面の端にしばらく固定されるように設定する。
- 修飾キーをゲームに最適化するかどうかを設定する。

[マウスとキーボード] 設定にアクセスするには、次の操作を実行します。

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- **Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

2 【ハードウェア】をクリックし、サイドバーで【マウスとキーボード】を選択します。



マウス

仮想マシンでゲームをプレイする場合は、【マウス】メニューでマウスをどのように使用するかを設定できます。

- 【ゲームを自動検出する】: これは、推奨されるデフォルト設定です。ゲスト OS アプリケーションを使用している場合は、ゲスト OS と macOS の間でマウスを自由に動かすことができます。ただし、ゲームを開始すると、SmartMouse により仮想マシンのマウス入力が自動的にキャプチャされるため、誤ってマウスが macOS に移動される心配がなくなります。ゲームを終了すると、自動的にマウスが解放されます。

- [ゲームに最適化する]: ゲームのプレイ中に誤ってマウスが macOS に移動される心配がある場合は、このオプションを選択すると、マウスが仮想マシン内でのみ機能するようになります。
- [ゲームに最適化しない]: 稽に、SmartMouse がアプリケーションをゲームと誤認識し、マウスがアプリケーションで正しく機能しなくなることがあります。このような問題が生じた場合、[ゲームに最適化しない] を選択します。

修飾キーの最適化

アクションゲームで修飾キー Option (Alt) 、Ctrl、Shift をアクティブに使用するときは、[キーボード] メニューで [ゲームに最適化する] を選択します。このオプションを選択すると、これらのキーからの信号はより速く処理されます。

注: ゲームをプレイしていないときに、キーボードをゲームに最適化することはお勧めしません。

マウスポインターをウィンドウの端に固定する

ウィンドウ表示モードで仮想マシンを使用中、さまざまなゲスト OS アイテムを表示するために、仮想マシンウィンドウの端にマウスポインターを動かさなければならぬ場合があります。たとえば、Windows 8 のスタートメニューを表示したり、Windows XP の隠れたタスクバーを表示したり、ゲスト macOS アプリケーションをフルスクリーン表示しているときに macOS メニューバーを表示したりする場合などです。

[マウスポインタをウィンドウの端に固定する] オプションを使用すると、マウスポインタは仮想マシンウィンドウの端にしばらく固定され、マウスが仮想マシンウィンドウの外に誤って移動することがなくなります。端から離すには、マウスをしばらく動かします。

外部デバイスの接続

Parallels Desktop では、USB、Thunderbolt、FireWire デバイスを Windows で使用することができます。

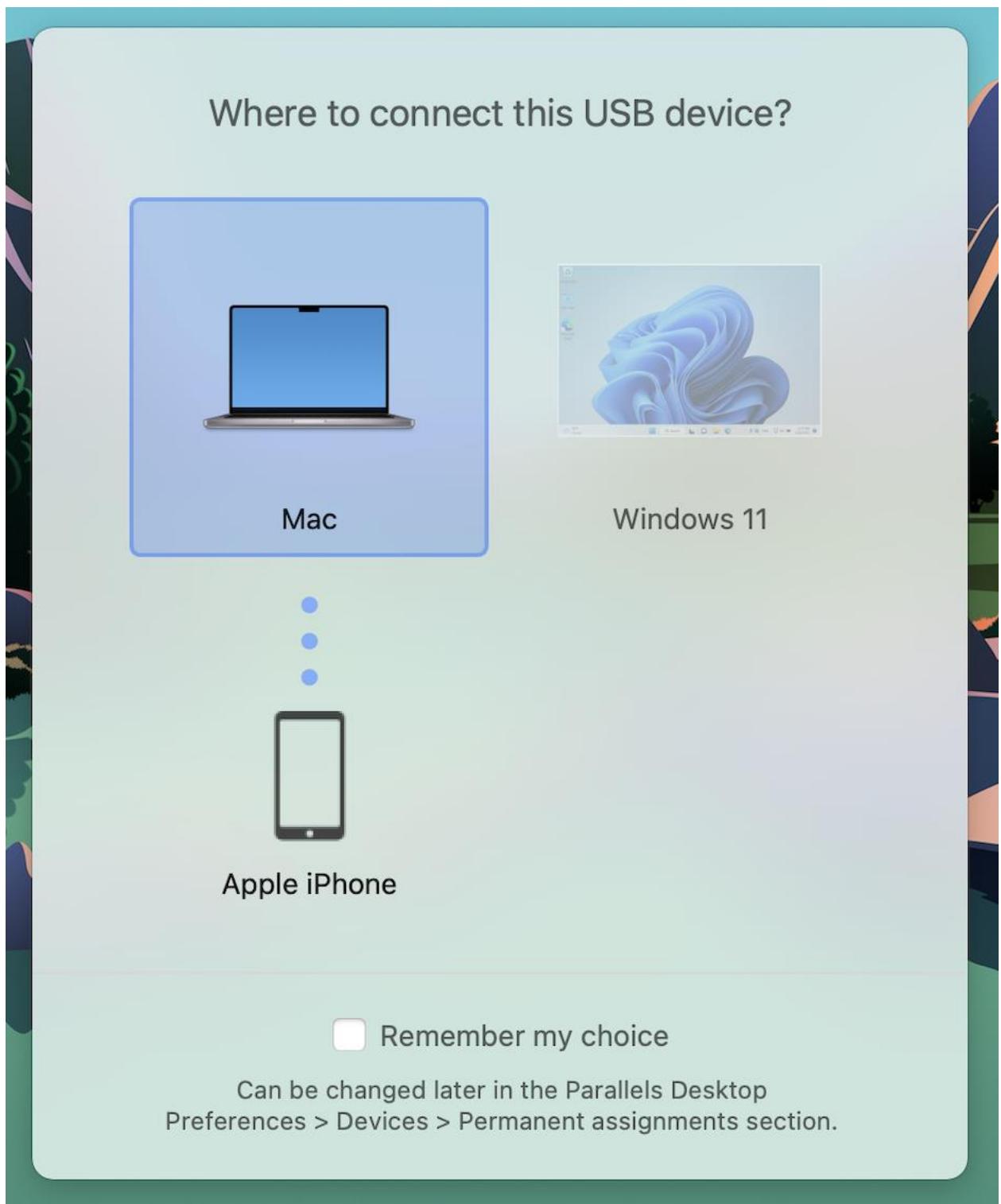
マウスやプリンターなどの多くの外部デバイスを Mac に接続すると、デフォルトで Windows でも macOS でも使用できるようになります。

一方、Apple iPhone などの一部の外部デバイスは、macOS アプリケーションと Windows アプリケーションのいずれかで使用できますが、同時に両方で使用することはできません。このようなデバイスを接続する際には、macOS と Windows のどちらで使用するかを選択できます。

外部デバイスを接続するには、以下の操作を実行します。

- 1 デバイスを Mac に接続します。
- 2 Windows が動作中で、Windows と macOS で同時使用できないデバイスである場合は、どちらで使用するかを選択するよう求められます。Parallels Desktop にこの選択を記憶させる場合は、対応するチェックボックスを選択します。デバイスを macOS アプリケーションで使用する場合は、Mac アイコンをクリック

します。Windows アプリケーションで使用する場合は、Windows の画面をクリックします。

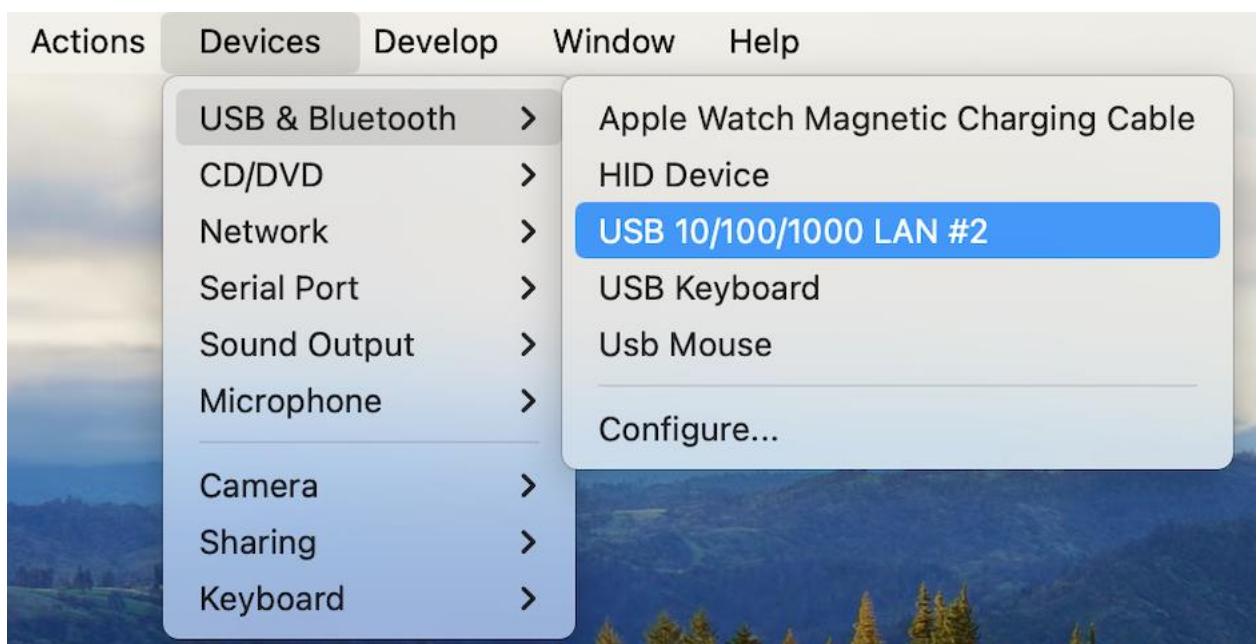


重要: USB デバイスを Windows アプリケーションで使用できるようにするには、デバイス用の Windows ドライバーのインストールが必要になる場合があります。通常、ドライバーは製造元の Web サイトでダウンロードできます。

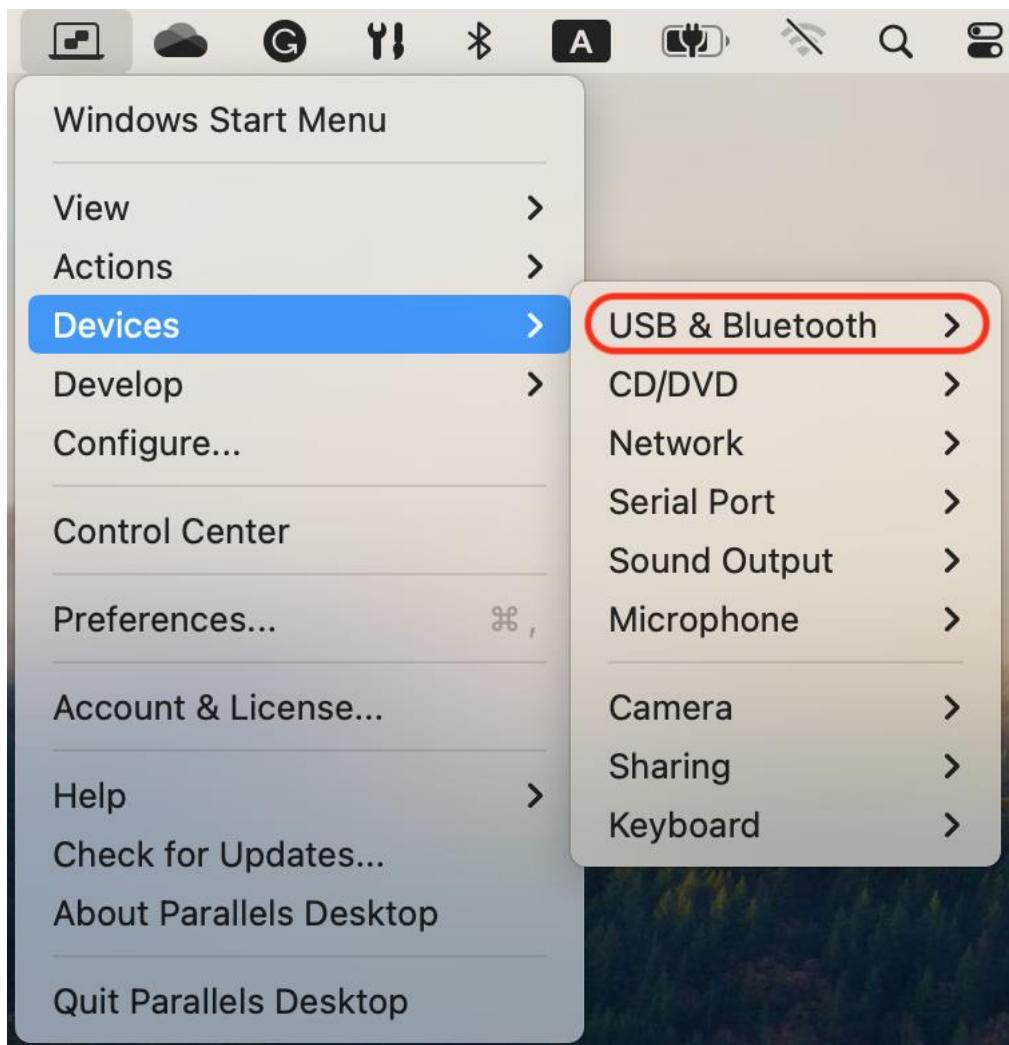
また、新しい外部デバイスが接続されたときの動作を設定したり、特定の外部デバイスが必ず macOS または Windows で使用されるよう設定したりすること（p. 101）もできます。

すでに Mac に接続されている USB デバイスがある場合、以下の手順を実行して Windows に接続できます。

- Windows がフルスクリーンモードまたはウィンドウモードで動作している場合、画面の上部にマウスポインターを動かして、[デバイス] > [USB と Bluetooth] の順に選択し、接続先のデバイスを選択します。



- Windows が Coherence モードで実行されている場合は、メニューバーで Parallels Desktop アイコンをクリックし、[デバイス] > [USB と Bluetooth] を選択して、接続先のデバイスを選択します。



注: 接続しようとしているデバイスが macOS アプリケーションに使用されている場合、警告メッセージが表示されます。この場合、まずそのアプリケーションを終了してから、もう一度デバイスを接続してみます。

CAC (Common Access Card) リーダーを接続する

CAC (Common Access Card) リーダーは、macOS と Windows で同時に稼動できます。

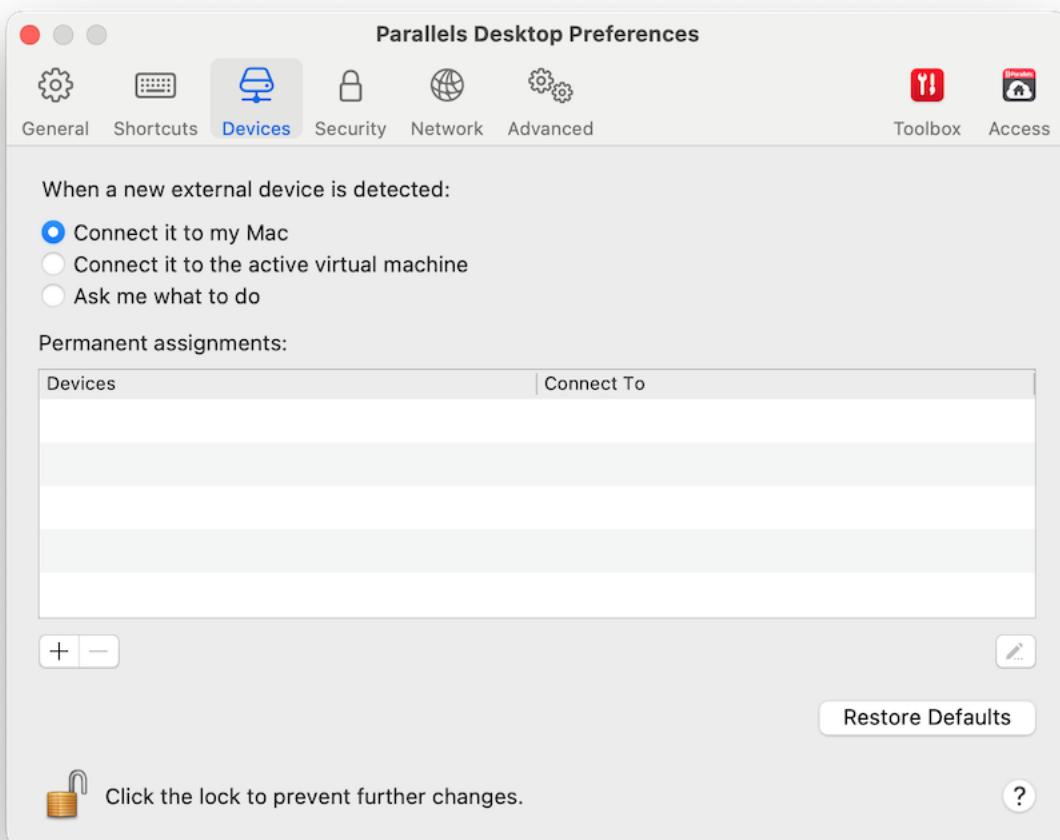
1 CAC リーダーを Mac に接続します。

- 2 Windows か Mac を選ぶよう求められたら、Windows 画面をクリックします。CAC リーダーは Windows でも macOS でも使用できるようになります。

デバイス設定の調整

Parallels Desktop 環境設定の [デバイス] ペインで、次の操作を実行できます。

- 新しい USB、Thunderbolt、または FireWire デバイスを Mac に接続したときに、どのような動作を行うかを設定する。
- 特定の外部デバイスが macOS または Windows で常に使用されるように設定する。
- Windows に接続された外部 NTFS ドライブを Mac にマウントすることを選択する。



デバイス設定にアクセスするには、以下の操作を実行します。

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[環境設定] を選択します。
- Dock 内の **Parallels Desktop** のアイコンを右クリックし、[環境設定] を選択します。

2 [デバイス] をクリックします。

新しい外部デバイスを Mac に接続したときに、どのような動作を行うかを設定する

次のいずれかを選択します。

- 自分の Mac に接続する。新しい外部デバイスは、macOS アプリケーションで自動的に使用できるようになります。
- デバイスをアクティブな仮想マシンに接続する。新しい外部デバイスは、Windows アプリケーションで自動的に使用できるようになります。Windows が実行されていない場合は、外部デバイスは macOS に接続されます。
- 処理を確認する。外部デバイスを接続するたびに、デバイスを Windows に接続するか、Mac に接続するかの確認が表示されます。

特定の外部デバイスが常に macOS または Windows で使用されるように設定します

特定の外部デバイスを常に macOS か Windows のいずれかで使用するかがわかつている場合は、次の手順に従って設定を行います。デバイスは、少なくとも 1 回は Mac に接続されている必要があります。

1 ウィンドウの下部にある [追加] (+) ボタンをクリックします。

2 リストからデバイスを選択します。

3 [接続先] 列に表示される単語 ([コンピューター] や [Windows] など) をダブルクリックします。その単語がポップアップメニューとして表示されます。

4 次のいずれかを実行します。

- デバイスを常に macOS アプリケーションで使用できるようにするには、メニューから [コンピューター] を選択します。
- デバイスを常に Windows アプリケーションで使用できるようにするには、メニューから [Windows] を選択します。

既存の割り当てを解除し、そのデバイスが macOS または Windows に自動的に接続されないようにするには、[外部デバイス] 列でデバイスを選択し、[削除] (-) ボタンをクリックします。

注: 外部デバイスを Windows アプリケーションで使用できるようにするには、デバイス用の Windows ドライバーのインストールが必要になる場合があります。通常、ドライバーは製造元の Web サイトでダウンロードできます。

Bluetooth デバイスの接続

Parallels Desktop では、Bluetooth デバイスを Windows に直接接続できます。

注: 1.この機能は、Parallels Desktop の App Store エディションではサポートされていません。
スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク
<https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

2.Windows で Bluetooth ゲームコントローラーを使用する場合、Windows 側でデバイスの Bluetooth 接続を行う必要はありません。詳細については、こちらのページを参照してください。

Bluetooth デバイスを接続する前に、Bluetooth を有効にする必要があります。

Bluetooth を有効にするには、以下の操作を実行します。

- Bluetooth が macOS でオフになっている場合は、オンにする必要があります。
[アップルメニュー] > [システム環境設定] を選択し、[Bluetooth] をクリックします。そして、[オン] を選択します。
- Parallels Desktop で、Windows が開始されていない場合は Windows を開始します。
- 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- **Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

4 [ハードウェア] をクリックし、サイドバーで [USB と Bluetooth] をクリックします。

5 [Bluetooth デバイス] を選択します。

Bluetooth を有効にすると、Bluetooth デバイスとコンピューターをペアリングできます。これは、Windows と macOS の両方で動作します。Bluetooth デバイスとコンピューターのペアリングの手順については、デバイスに付属しているマニュアルを参照してください。

Windows 7 以降を利用している場合、ファイル受信に対応したペアリング済み Bluetooth デバイスにファイルを送信できます。これを実行するには、ファイルを右クリックし、[送る] > [Bluetooth] を選択します。

Windows 以外にも、USB Bluetooth アダプタをサポートしているゲスト OS であれば (Linux または macOS) 、Bluetooth デバイスを接続できます。

第 7 章

Bluetooth ゲームコントローラーを接続する

Parallels Desktop for Mac 18 以降では、一般的に使用されている Bluetooth ゲームコントローラーをよりシームレスに統合することができるようになっています。コントローラーは、仮想マシンではなく、Mac に直接接続する必要があり、Parallels Desktop が自動的に Windows と共有します。ゲームコントローラーは、実際のメーカー名やモデルに関係なく、Windows 上に”Virtual Xbox Controller (Xbox の仮想コントローラー) ”として表示されますのでご注意ください。

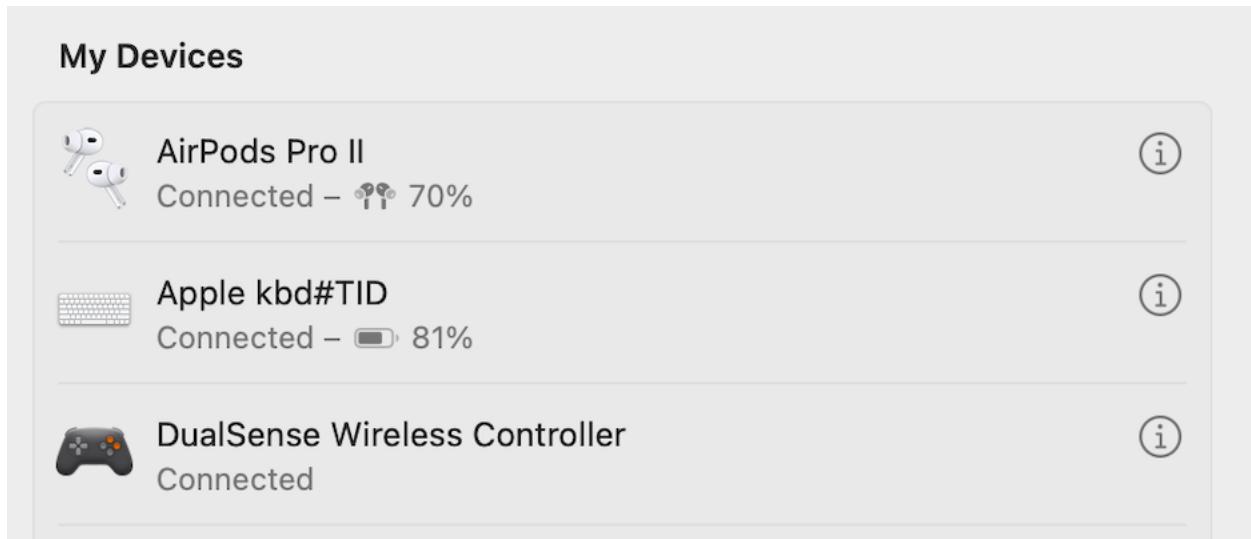
要件:

- 1 仮想マシンに Windows 10 以降がインストールされていること
- 2 macOS Game Controller フレームワークでサポートされているすべてのゲームコントローラー。以下のコントローラーは動作確認済みです。
 - Microsoft Xbox ワイヤレスコントローラー（直近 2 世代）。
 - Sony PlayStation の DualShock および DualSense*。
 - Nintendo Joy-Con

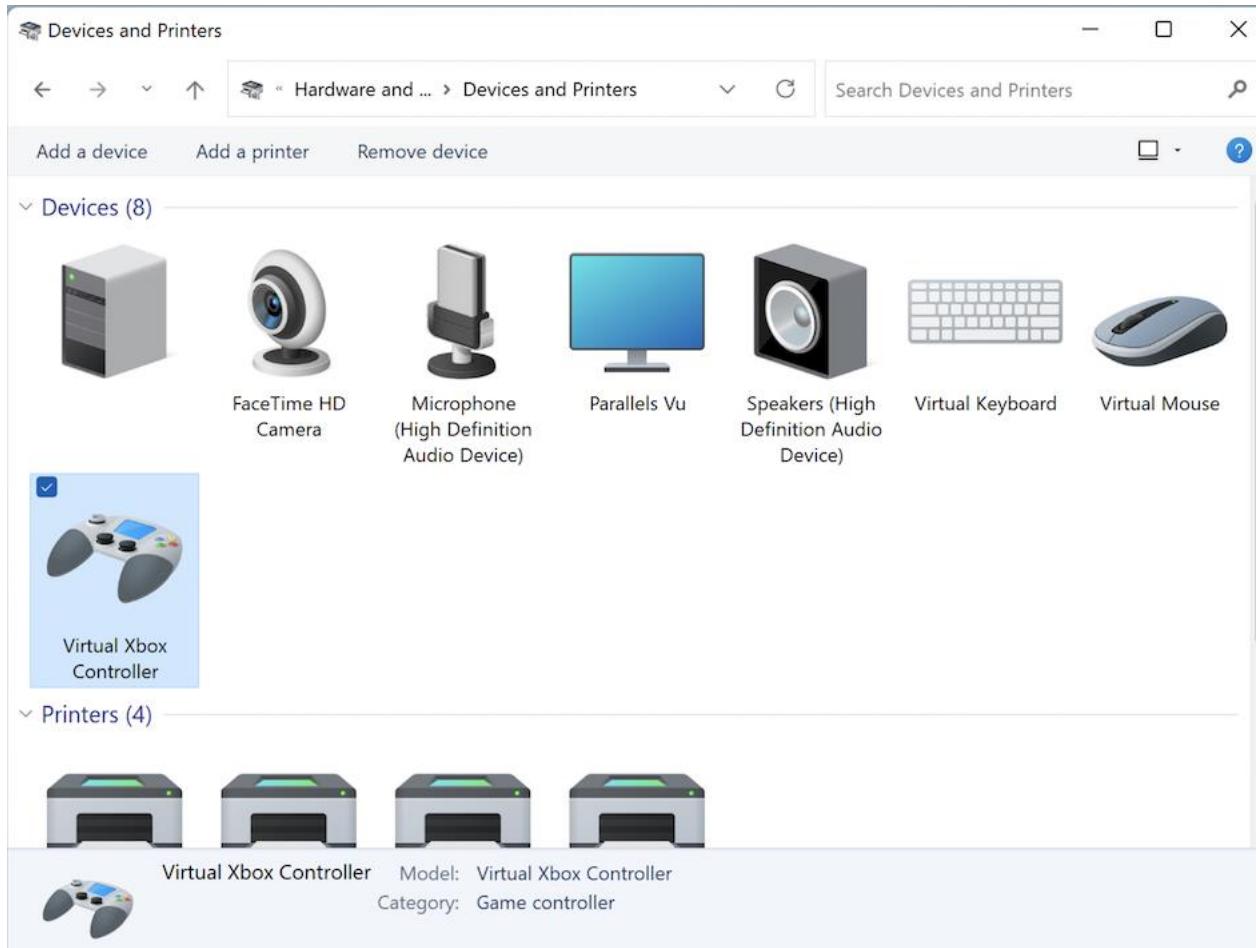
DualSense のタッチパッドとモーションセンサーには未対応です。

コントローラーの設定

- 1 内蔵バッテリーが十分に充電されていることを確認する
- 2 コントローラーを Mac に接続します。[システム設定] > [Bluetooth] の接続済みデバイス一覧にコントローラーが表示されるはずです。



- 3 お使いのデバイスが Windows 仮想マシンに接続されていることを確認するには、Windows を起動し、Windows の検索バーで、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] に入力すれば、Virtual Xbox Controller (Xbox の仮想コントローラー) として表示されるはずです。



Windows からの印刷

デフォルトでは、Windows で macOS と同じデフォルトプリンターが使用されるように設定されています。通常通り、Windows アプリケーションから印刷します。

注: macOS Sonoma 14 の変更に伴い、Sonoma の Mac をホストとして動作する Parallels Desktop 19 の印刷機能が変更されます。

また、Windows で別のプリンターを使用するように設定することもできます。Windows で印刷設定をセットアップするには、いくつかの方法があります。

- Mac に接続された任意のプリンターを共有する
- ネットワークプリンターに接続する

- USB プリンターを Windows に直接接続する

Mac に接続されたプリンターの共有

Mac に接続したプリンターを Windows アプリケーションで使用できます。

注: この機能は、Parallels Tools がインストールされた (p. 273) Linux でも使用できます。

Windows アプリケーションからドキュメントを印刷するには、次の操作を実行します。

- ドキュメントを開き、通常の手順に従って印刷します（たとえば、[ファイル] > [印刷] を選択）。

印刷ウィンドウで、Mac に接続されたプリンターを選択できます。

Mac に接続されたプリンターを共有する

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

2 [ハードウェア] をクリックし、[共有プリンター] をクリックします。

3 [Mac プリンターを Windows と共有する] を選択します。

新しいデフォルトプリンターを設定する

デフォルトでは、Windows は Mac と同じデフォルトプリンターを使用するよう設定されています。Windows で別のデフォルトプリンターを使用するには、次の操作を行います。

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。

- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

2 [ハードウェア] をクリックし、[共有プリンター] をクリックします。

3 [Mac のデフォルトプリンターに同期] の選択を解除します。

これで、通常どおりの手順に従い、Windows で新しいデフォルトプリンターを設定できます。

印刷の前にページ設定を表示する

Windows からドキュメントを印刷するよう選択した場合、最初にドキュメントの印刷方法を設定する必要があります。通常、縦方向または横方向、ページサイズ、ドキュメントの片面または両面印刷など、様々な印刷設定を指定する必要があります。すべて準備が整い、Windows で [印刷] をクリックすると、印刷設定と共に macOS ウィンドウも表示されます。ドキュメントを印刷したい方法で確実に印刷できるように、デフォルトでこのように設定されています。

ドキュメントの印刷を macOS ページ設定ウィンドウの表示なしに実行するには、次の操作を行います。

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

2 [ハードウェア] をクリックし、[共有プリンター] をクリックします。

3 [印刷前にページ設定オプションを表示] の選択を解除します。

Linux でプリンターを追加する

ゲスト Linux オペレーティングシステムでのプリンターの追加手順は、Linux のディストリビューションによって異なります。ここでは、RHEL 5.4 Server を実行している仮想マシンでのプリンターの追加方法について説明します。このガイドラインは、Linux 仮想マシンへのプリンターの追加手順に関する一般的な説明として活用できます。

- 1 Linux 仮想マシンを起動して、ゲストオペレーティングシステムが起動したら、ログインします。

注: root としてログインするか、ログインの成功後に root 権限を取得する必要があります。これを行わない場合、次のステップで system-config-printer 管理ツールを起動すると、root パスワードの入力を求められます。

- 2 次のいずれかの操作を実行して、system-config-printer 管理ツールを開始します。
 - [System] > [Administration] > [Printing] の順にクリックする。
 - ターミナルを開き、次のコマンドを入力する。

system-config-printer

- 3 表示されたウィンドウで、[New Printer] をクリックします。
- 4 次に表示されるウィンドウで、プリンターの名前を入力します。プリンターはこの名前でゲスト Linux オペレーティングシステムに表示されます。プリンターの説明と場所も入力できます。準備が整ったら、[Forward] をクリックします。
- 5 次に、Mac プリンターを仮想マシンと共有する方法を指定します。プリンターは仮想マシンのプリンターポートに接続されるため、[LPT #1]（または、プリンターを接続する別のポート）を選択して [Forward] をクリックします。
- 6 次に、プリンターの製造元とモデルを指定します。使用するプリンターにかかわらず、HP Color LaserJet 8500 PS または Apple Color LW 12/660 PS を選択します。準備が整ったら、[Forward] をクリックします。
- 7 [Apply] をクリックして、プリンターの設定を完了します。

これで、プリンターが適切に構成されました。このプリンターを使用して Linux 仮想マシンのドキュメントを印刷できます。

ネットワークプリンターの設定

ネットワークプリンターを、Windows に直接インストールできます。

Windows にネットワークプリンターをインストールする前に、以下を確認してください。

- Mac がインターネットにアクセスできる。

- Windows が、共有ネットワークモード (p. 126) またはブリッジネットワークモード (p. 128) のいずれかで動作するように構成されており、インターネットにもアクセスできる。
- Windows のユーザー アカウントに、ネットワークプリンターにアクセスする権限がある。
- プリンターの IP アドレスを知っている。

上記の項目を確認したら、Windows にログインしてネットワークプリンターをインストールします。

Windows の場合

Windows にネットワークプリンターを追加する前に、適切なプリンタードライバーをダウンロードしてインストールします。プリンタードライバーのインストールの詳細については、プリンターの製造元のマニュアルを参照してください。

Windows 11 にネットワークプリンターを追加するには、次の操作を実行します。

- 1 ネットワークプリンターの電源が入っており、イーサネットケーブルまたは Wi-Fi 経由でネットワークに接続されていることを確認します。
- 2 Windows のスタートメニューを開き、[設定] > [Bluetooth とデバイス] を選択します。
- 3 [プリンターとスキャナー] > [プリンターまたはスキャナーを追加します] を選択し、[デバイスの追加] をクリックします。
- 4 Windows は利用可能なネットワークをスキャンしてプリンターを検出します。ほとんどの場合、これで Windows により自動的にプリンターを検出されます。[デバイスの追加] を選択します。
- 5 Windows が自動的に処理を完了できない場合は、次の操作を実行してください。
 1. [手動で追加] オプションを選択します。
 2. [IP アドレスまたはホスト名を使ってプリンターを追加する] オプションを選択して、[次へ] をクリックします。

3. [デバイスの種類]で [IPP デバイス] オプションを選択します。これは、ほとんどの TCP/IP ベースのネットワークプリンターをカバーしています。[ホスト名または IP アドレス] フィールドに IP アドレスを入力します。[次へ] をクリックします。
4. 準備が整ったら、[次へ] をクリックします。

これでプリンターがインストールされ、印刷の準備が整いました。

注: 旧バージョンの Windows をお使いの場合は、Microsoft のヘルプセンター <https://support.microsoft.com/> で、お使いの Windows のバージョン固有の情報をご確認ください。

Linux の場合

Linux または FreeBSD のゲスト OS でのネットワークプリンターの設定手順は、Linux または FreeBSD ディストリビューションとプリンターによって異なります。ここでは、RHEL 5.4 Server を実行している仮想マシンでのネットワークプリンターの設定方法について説明します。このガイドラインは、Linux または FreeBSD 仮想マシンでのネットワークプリンターの設定方法に関する一般的な手順として活用できます。

注: 詳しい情報については、CUPS ドキュメントを参照してください。

ネットワークプリンターを設定するには、次の操作を実行します。

- 1 仮想マシンを起動します。
- 2 以下のコンポーネントが、ゲスト OS にインストールされていることを確認します。
 - Common UNIX Printing System (CUPS)。インストール方法は、CUPS サイトを参照してください。
 - Samba サービス。インストール方法は、Samba サイトを参照してください。
 - Web ブラウザー。Web インターフェイスを使用して CUPS を制御します。

注: ネットワークプリンターを設定するには、root 権限が必要です。

- 3 適切なプリンタードライバーをダウンロードおよびインストールします。プリンタードライバーのインストールの詳細については、プリンターの製造元のマニュアルを参照してください。
- 4 Common UNIX Printing System を起動します。ターミナルで次のコマンドを入力します。

```
/etc/init.d/cups start
```

- 5 Web ブラウザーを起動し、仮想マシンの IP アドレスまたは `http://127.0.0.1:631` を入力します。
- 6 [プリンターの追加] ボタンをクリックします。
- 7 [Add New Printer] ウィンドウで、プリンターの名前を入力します。プリンターはこの名前でゲスト OS に表示されます。プリンターの説明と場所も入力できます。準備が整ったら、[Forward] をクリックします。
- 8 [Device for <プリンターナイム>] ウィンドウで [AppSocket/HP JetDirect] を選択して [Continue] をクリックします。
- 9 [Device URI for <プリンターナイム>] ウィンドウで、プリンターの IP アドレスを次のフォーマットで指定します。
`socket://<プリンターの IP アドレス>`
準備が整ったら、[続行] をクリックします。
- 10 [Make/Manufacturer for <プリンターナイム>] ウィンドウでプリンターのメーカーを選択して、[Continue] をクリックします。
- 11 [Model/Driver for <プリンターナイム>] ウィンドウでプリンターのモデルを選択して、[Add Printer] をクリックします。
- 12 パスワードの入力を求めるメッセージが表示されたら、root のパスワードを入力します。

CUPS によってインストールが実行されます。インストールが正常に終了すると、「Printer <名前> has been configured successfully」というメッセージが表示されます。これで、このプリンターを使用して仮想マシンからドキュメントを印刷できます。

USB プリンターの設定

USB プリンターを Windows に直接接続することができます。この場合、このプリンターは macOS では使用できません。プリンターを macOS と Windows の両方で印刷に使用するには、「Mac プリンターの共有」(p. 108) を参照してください。

USB プリンターを Windows に直接接続するには、次の操作を実行します。

- 1 Parallels Desktop を開き、Windows を起動します。
- 2 Windows が起動したら、プリンタードライバーをインストールします。この手順の詳細については、プリンターメーカーのマニュアルを参照してください。通常、ドライバーはメーカーの Web サイトで提供されています。
- 3 次のいずれかを実行します。
 - USB プリンターがすでに Mac に接続されている場合:
Windows が Coherence モードの場合は、メニューバーで Parallels Desktop アイコンをクリックし、[デバイス] > [USB] を選択して、一覧からこのプリンターを選択します。
Windows が別ウィンドウで機能している場合、Mac メニューバーで [デバイス] > [プリンター] > [プリンター] を選択し、一覧からこのプリンターを選択します。
 - USB プリンターが Mac に接続されていない場合、接続します。【新しい USB デバイスが検出されました】ウィンドウで、プリンターを Windows に接続します。
- 4 Windows で、[新しいハードウェアの追加] ウィザードの指示に従って操作します。

組み込みの外部 Webcam の使用

Mac またはディスプレイにカメラが組み込まれている場合、または互換性のある外付け Webcam を接続すると、デフォルトでは Windows でもそれを使用できます。

組み込みまたは外付けのカメラを **Windows** で使用するには、以下の操作を実行します。

- カメラを使用する **Windows** アプリケーションを開くと、プログラムで使用する iSight または外付けのカメラを選択できます。

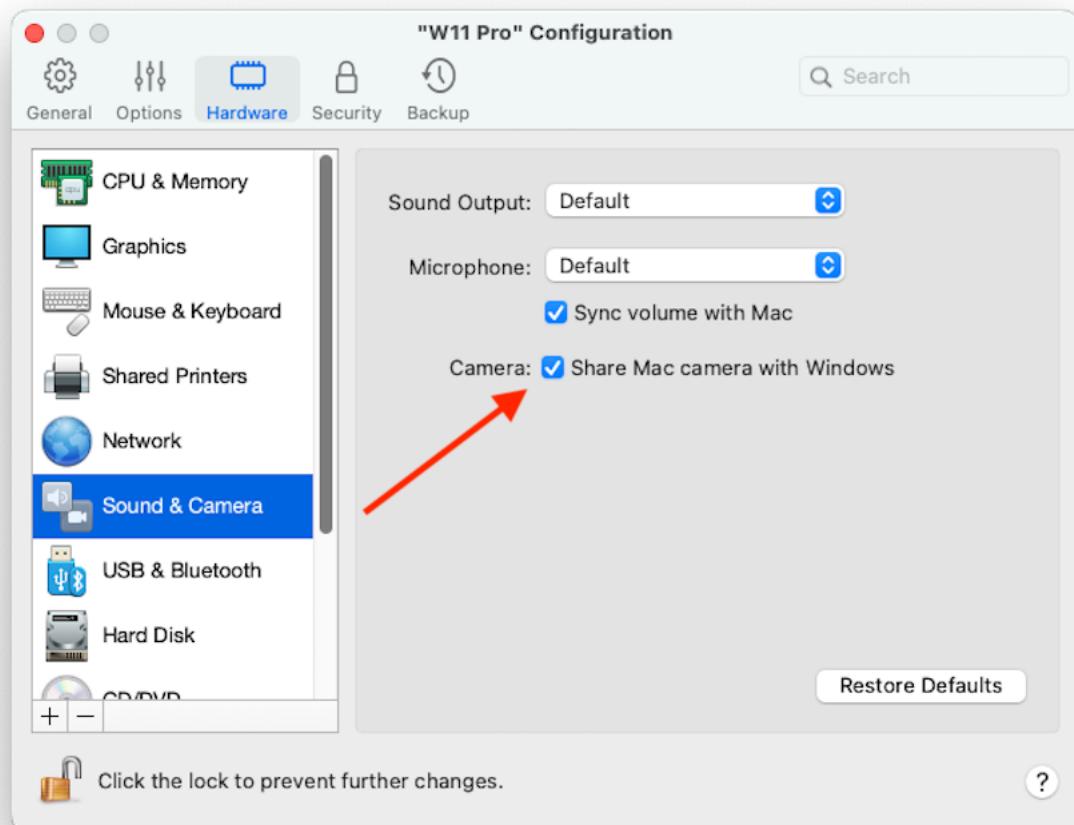
注: Windows 10/11 以外のゲスト OS を実行している場合は、USB ビデオデバイスクラス（UVC）ドライバーがインストールされていることを確認してください。

カメラの共有を無効にする

Windows アプリケーションが Webcam や組み込みのカメラに接続できないようにするには、次の操作を実行し、カメラの共有を無効にします。

- 1 コントロールセンターを開いて選択する仮想マシンを右クリックし、[構成] を選択します。
- 2 [ハードウェア] をクリックし、[サウンドとカメラ] をクリックします。

3 [カメラ] の選択を解除します。



4

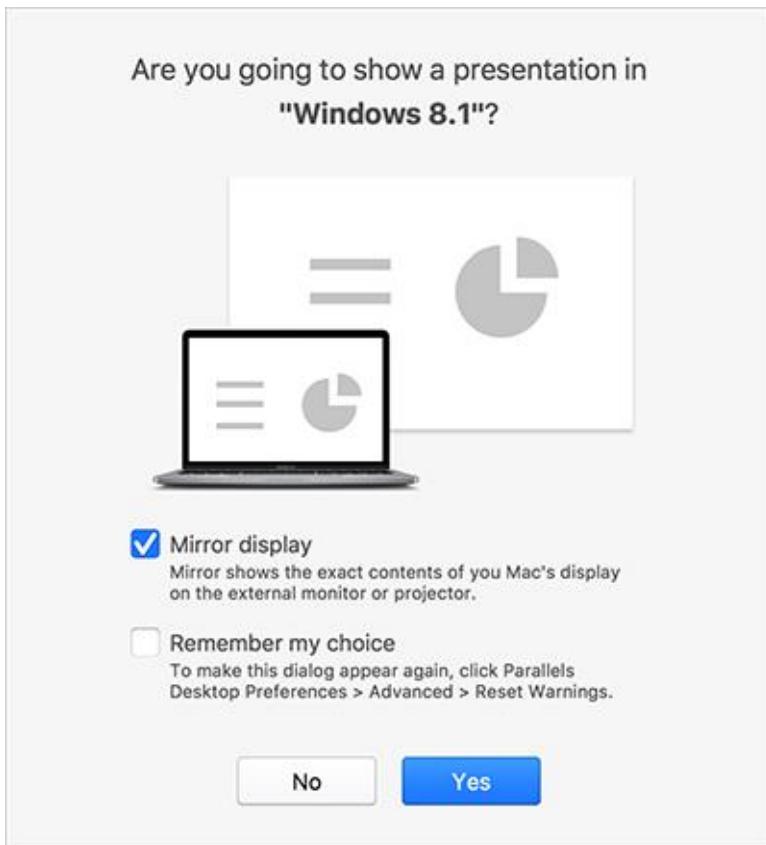
外部モニターまたはプロジェクターでのプレゼンテーションの表示

Mac を外部モニターまたはプロジェクターに簡単に接続し、わずかな設定を行うだけで、Windows アプリケーションからプレゼンテーションを表示できます。

このためには、次の操作を実行します。

1 Windows が実行されていない場合は、Windows を開始します。

- 2 Mac を、通常どおりの手順で外部モニターまたはプロジェクターに接続します。プレゼンテーションを表示するかどうかを確認するメッセージが表示されます。



- 3 コンピューターに表示されている内容とまったく同じ内容を外部ディスプレイまたはプロジェクターに表示するには、[ミラー表示] を選択します。

[ミラー表示] を選択しなければ、Microsoft PowerPoint などのいくつかのアプリケーションは、コンピューターには発表者ビューで表示され、外部ディスプレイまたはプロジェクターにはプレゼンテーションだけが表示されます。

- 4 [はい] をクリックします。Windows はプレゼンテーションモードに切り替わり、コンピューターのディスプレイにも、外部ディスプレイまたはプロジェクターにも、全画面で表示されます。その後、プレゼンテーションの表示を開始できます。

注: プrezentationを表示するディスプレイの選択方法については、プレゼンテーションに使用するアプリケーションのヘルプを参照してください。

重要！ プレゼンテーションモードの使用中に、Windows のディスプレイ設定を変更すると、プレゼンテーションが不正になることがあります。

データの保護

多くのユーザーは、重要な書類、写真、その他のファイルを Mac に保存しています。Mac で Windows を使用するときは、これらのデータをウイルスや不正な使用から保護することが重要です。こちらのセクションでは、その方法を説明します。

Mac から Windows を分離する

Windows を macOS から分離すると、フォルダー、プロファイル、およびアプリケーションの共有、接続された外部デバイスへの Windows からの自動アクセス、Windows と Mac のボリュームの同期が行われなくなり、Windows と macOS 間でのオブジェクトのコピーと移動が実行できなくなります。Windows を OS X から分離すると、片方の OS から破損されたアイテムが他方の OS に送られなくなるため、セキュリティを強化することができます。

macOS から Windows を分離するには、以下の操作を実行します。

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

2 [セキュリティ] をクリックします。

3 [Windows を Mac から分離する] を選択します。

変更を保存せずに Windows で作業

作業中のセッションで Windows に加える変更を保存したくない場合（Windows に損害を与える可能性がある Windows アプリケーションをテストする場合など）、Windows をロールバックモードで起動できます。

注: この機能は Parallels Desktop for Mac Pro Edition でのみ利用できます。

- 1 Parallels Desktop を開きます。
- 2 コントロールセンターから、ロールバックモードで開始したい Windows を選択し、[処理] > [ロールバックモードで開始] をクリックします。

Windows が常にロールバックモードで起動するように設定する

Windows を常にロールバックモードで起動したい場合:

- 1 Parallels Desktop を開きます。
- 2 コントロールセンターから Windows を選択し、[処理] > [構成] > [セキュリティ] をクリックします。
- 3 [ロールバックモード] メニューで [処理を確認する] を選択します。

注: ロールバックモードを有効にすると、仮想ディスクの自動圧縮が自動的に (p. 132) 無効になります。

パスワード要件の設定

セキュリティを強化するため、Parallels Desktop で特定の操作を実行する際に管理者パスワードを要求するよう設定することができます。

- 1 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
 - Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。
- 2 [セキュリティ] をクリックします。
- 3 選択されたアクションを実行するために macOS 管理者パスワードを要求するには、次のいずれかを選択します。
 - [仮想マシンの状態の変更]: Windows を開始、停止、サスPEND、一時停止、またはシャットダウン (p. 42) するには、パスワードが必要になります。

- フルスクリーンモードの終了: フルスクリーンモードを終了するには、パスワードが必要になります。
- スナップショットの管理: スナップショットを作成または削除、またはスナップショットに戻るには、パスワードが必要になります。
- 仮想マシンの構成を変更する: 仮想マシン構成を変更するにはパスワードが必要です。

Apple Touch ID を使って Windows にログインする

Parallels Desktop 19 では、Apple の Touch ID 指紋スキャナーを使用して Windows マシンにログインできます。設定が完了すると、この機能により、パスワードや PIN コードの入力を指先のタッチで代替し、より迅速に起動することができます。

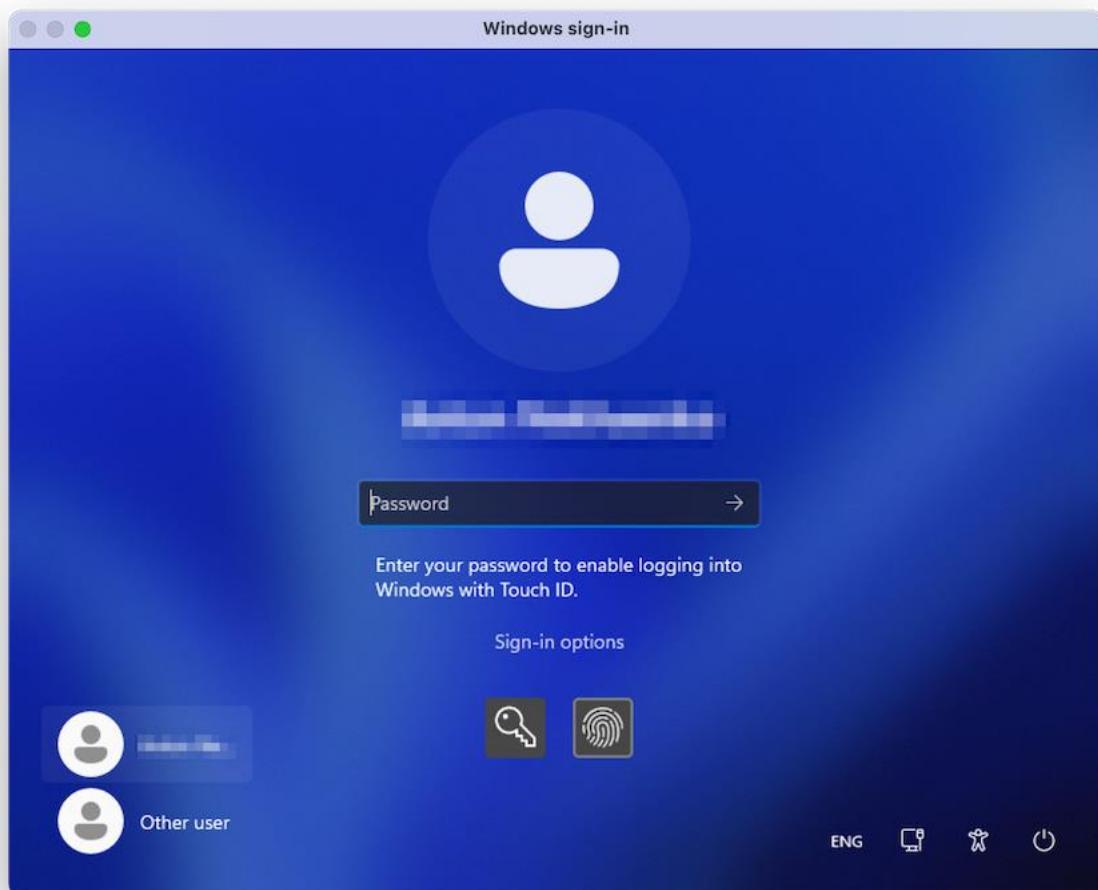
注: この統合は、macOS 側で生体認証チェックが完了した後に、Windows にカスタムの認証プロバイダーを追加し、サインインプロセスを処理することによって機能します。Windows には仮想指紋リーダーは追加されず、Windows Hello はこのプロセスに関与しません。

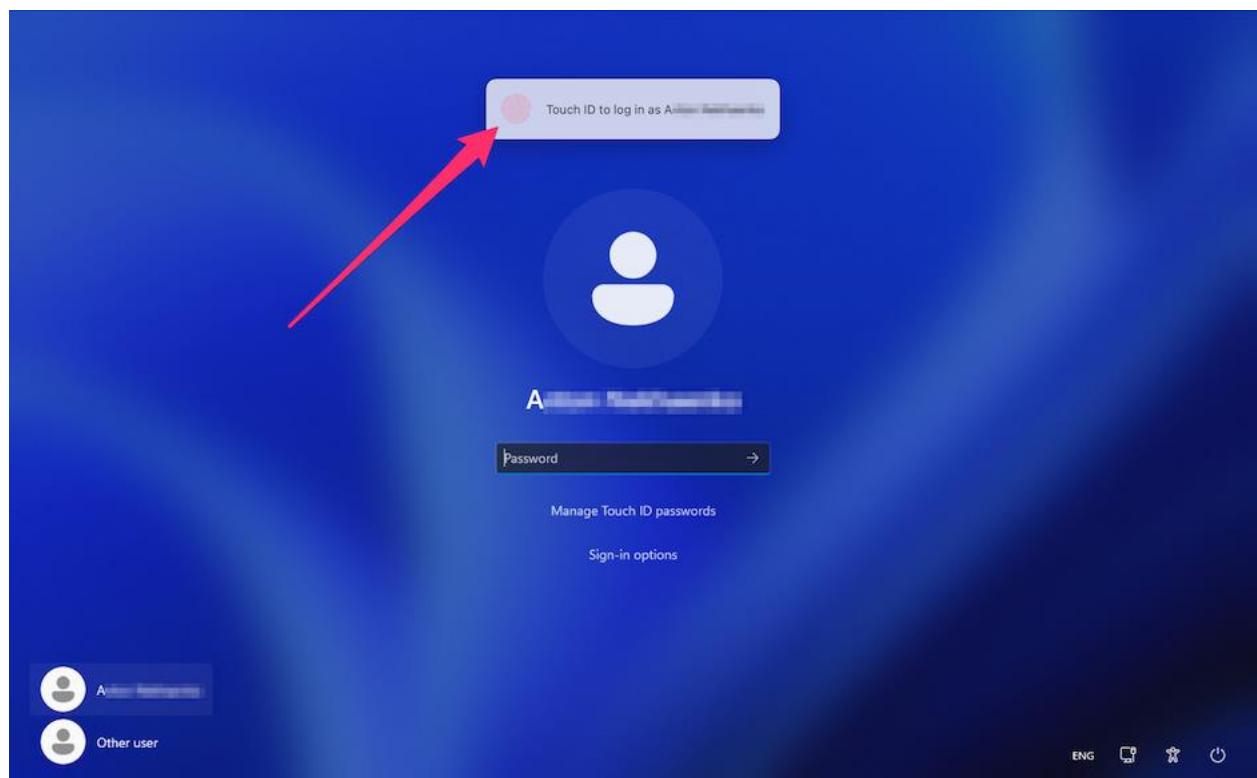
以下の要件を満たしていることを確認してください:

- 指紋認証スキャナーを内蔵した Mac、または Touch ID を搭載した Apple Magic Keyboard を利用できる。
- Mac コンピューターで Touch ID を設定している。
- Parallels Desktop バージョン 19 がインストールされている。
- ゲストマシンが Windows 10 以降である。
- ゲストマシンの Parallels Tools が最新バージョンに更新されている。

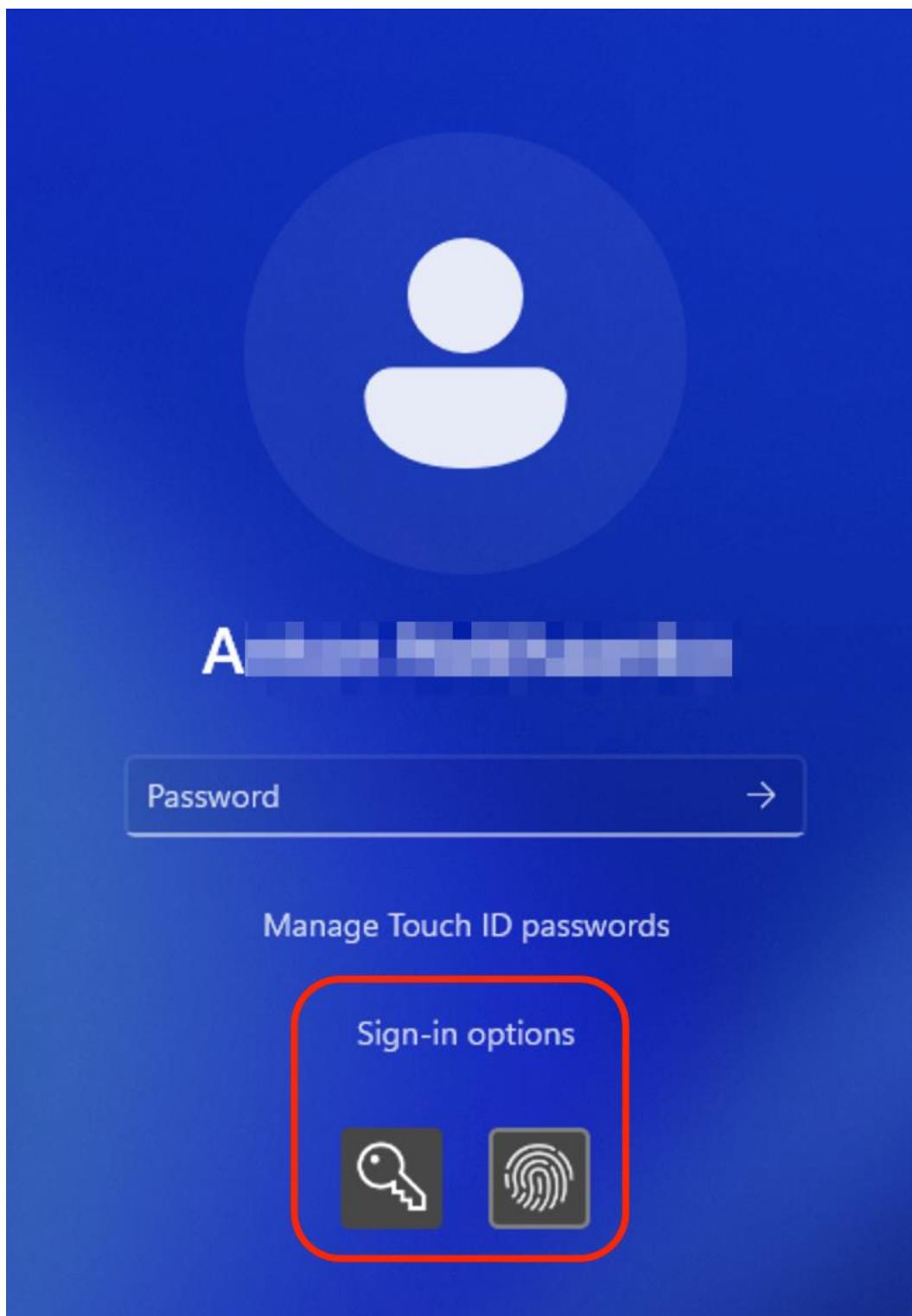
すべての要件が満たされると、次に Windows マシンを起動したときにログイン画面が表示され、Touch ID でログインできるようにパスワードの入力が求められます。その後、ログイン画面に「Touch ID で {user_name} としてログインします」という通知が表示されます。Touch ID を使用すると、Windows のロックが解除され

ます。この通知が表示されない場合は、[サインインオプション] を選択し、指紋のアイコンが表示されている画面上のボタンを選択します。





また、プロンプトを無視して通常通りパスワードを入力してログインすることもできます。その場合は、画面上の鍵のアイコンが表示されているボタンを選択してください。



注: Windows のパスワードは Apple のクラウドサービスに保存されません。パスワードは、ローカルの暗号化されたセキュアな領域に保存され、Touch ID の検証にのみ使用されます。

[Touch ID のパスワードを管理] オプションを選択し、指紋のスキャンにより確認することで、保存された Windows の認証情報を管理または削除することができます。

Windows を暗号化して不正使用から保護する

Windows アプリケーションを使用して重要なデータを保管する場合は、不正使用からデータを保護するために Windows を暗号化することをお勧めします。

Windows の暗号化

Windows を暗号化するには（シャットダウンしてから行ってください）、次の操作を実行します。

- 1 Windows を選択し、[処理] > [構成] > [セキュリティ] をクリックします。
- 2 [セキュリティ] タブで [暗号化する] をクリックし、[OK] をクリックします。

警告: 指定したパスワードは非常に重要です。どこかに記録しておくようにしてください。このパスワードがなければ、Windows を開始できなくなります。

パスワードの変更

暗号化した Windows のパスワードを変更するには（シャットダウンしてから行ってください）、次の操作を実行します。

- 1 Windows を選択し、[処理] > [構成] > [セキュリティ] をクリックします。
- 2 [セキュリティ] タブで [パスワードを変更] をクリックし、パスワードを指定して、[OK] をクリックします。

Windows の暗号化の解除

Windows の暗号化を解除するには（シャットダウンしてから行ってください）、次の操作を実行します。

- 1 Windows を選択し、[処理] > [構成] > [セキュリティ] をクリックします。
- 2 [セキュリティ] タブで、[暗号化を解除] をクリックします。

インターネットまたはネットワークへの接続

Parallels Desktop では、Windows で次の 3 種類のネットワークを使用できます。

- 共有ネットワーク: Windows アプリケーションは、macOS とネットワーク接続を共有します。これがデフォルト設定です。
- ブリッジイーサネット: Windows は、Mac のいずれかのネットワークアダプタを使用できます。これにより、仮想マシンがネットワーク上で別個のコンピューターと見えるようになります。
- ホストオンリネットワーク: Windows は、Mac のみにアクセスできます。

ほとんどの場合、ネットワーク設定を調整する必要はありません。Mac がネットワークまたはインターネットに接続するように設定されている場合は、Windows アプリケーションで同じネットワークおよびインターネットにアクセスできます。

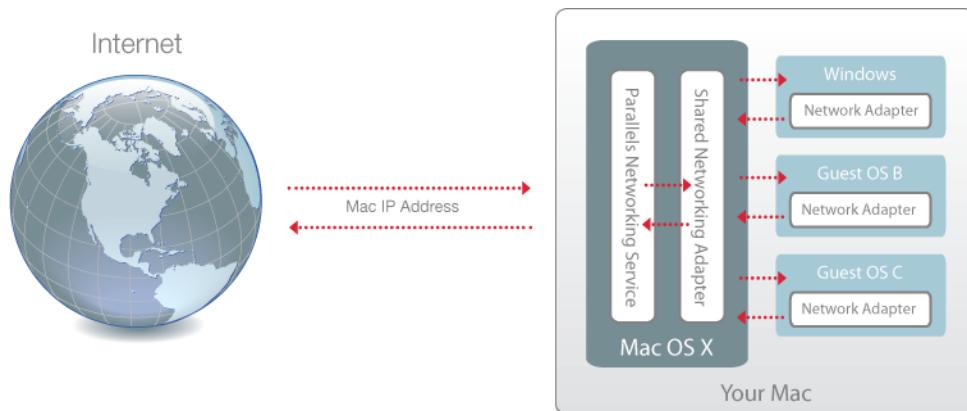
ブリッジイーサネットネットワークモードは複雑なため、正しく設定するためにはシステム管理者に相談する必要があります。

これらのネットワークの概要およびその構成方法については、これから詳しく説明します。

macOS と Windows でネットワークアクセスを共有する

デフォルトでは、Windows は macOS 経由でネットワークにアクセスするように設定されます。Windows アプリケーションは Mac の IP アドレスを使用してローカルネットワーク上の他のコンピューターやインターネットにアクセスできます。Windows は、ネットワーク上で独自の IP アドレスを持ちません。

ほとんどの場合、ネットワーク設定を調整する必要はありません。Mac がネットワークまたはインターネットに接続するよう設定されている場合は、Windows アプリケーションも同じネットワークおよびインターネットにアクセスできます。



以下のような場合に、共有ネットワークモードを使用します。

- Mac が、モデムまたは別の非イーサネットデバイス経由でインターネットにアクセスする。
- Windows からインターネットにアクセスする必要があるが、セキュリティの心配がある。
- ブリッジイーサネットモードでの作業に問題がある。

Windows で共有ネットワークを使用するよう設定するには、以下の操作を実行します。

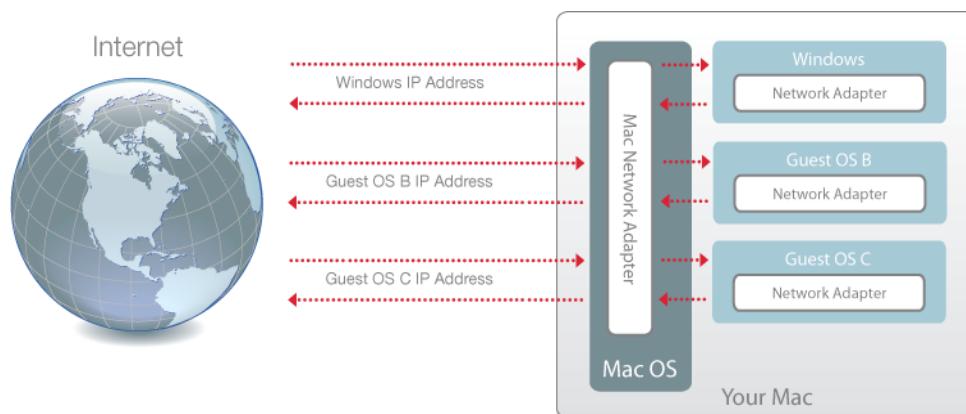
- 1 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
 - **Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。
- 2 [ハードウェア]、[ネットワーク] の順にクリックします。
- 3 [ネットワーク] ペインで、[共有ネットワーク] オプションが選択されていることを確認します。

ネットワーク問題のトラブルシューティングについては、Parallels Web サイトの Parallels 技術情報 (<https://kb.parallels.com/128867>) を参照してください。

Windows への個別のネットワーク設定の適用

ブリッジイーサネットモードを使用すると、Windows はネットワーク上に独自の IP アドレスとネットワーク名を持つスタンダードアロンのコンピューターとして表示されます。

注: ブリッジイーサネットモードは共有ネットワークモードよりも複雑であるため、その適切な構成にはシステム管理者と連携が必要になる場合があります。



ブリッジイーサネットモードで動作するよう Windows を構成するには、以下の操作を実行します。

- 1 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
 - **Parallels Desktop** のメニューが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。
- 2 [ハードウェア]、[ネットワーク] の順にクリックします。
- 3 [ネットワーク] ペインで、適切なネットワークアダプタを一覧から選択します。仮想マシンのアダプタを Mac のアクティブなネットワークアダプタに接続するには、[デフォルトのアダプタ] を選択します。

注: [MAC アドレス] フィールドでは、現在 Windows に割り当てられている MAC アドレスを変更できます。MAC アドレスは、Windows の初回セットアップ時に自動的に生成されます。デフォルトの MAC アドレスは、[MAC アドレス] フィールドに別の値を入力するか、[生成] ボ

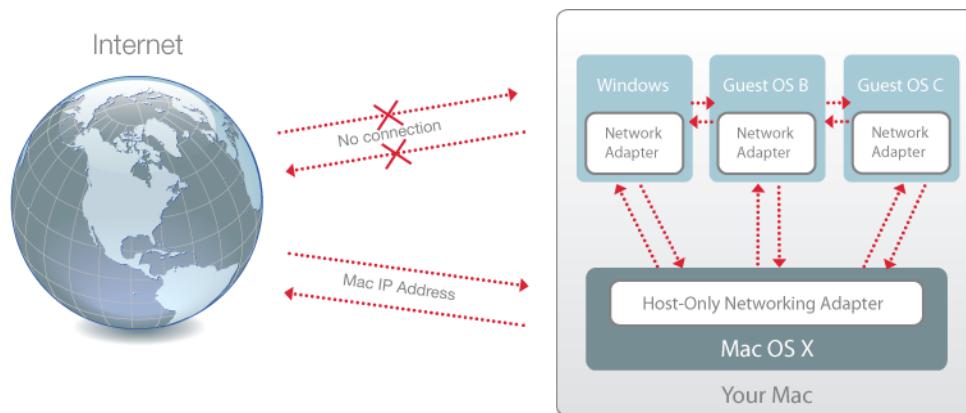
タンをクリックすることで変更できます。新しい MAC アドレスを入力した場合、ネットワーク内で一意であることを確認してください。

Windows をブリッジイーサネットモードで動作するように構成できない場合は、共有ネットワーク (p. 126) を使用することを検討してください。

ネットワーク問題のトラブルシューティングについては、Parallels Web サイトの Parallels 技術情報 (<https://kb.parallels.com/128867>) を参照してください。

ホストオンリネットワーク設定の使用

Parallels Desktop では、macOS と Windows にのみアクセスできる閉じたネットワークが提供されます。macOS は、Parallels Desktop のインストール時に Mac に自動的に作成される Parallels ホストオンリネットワークアダプタを介して、このネットワークに接続されます。Windows のアドレスは、Parallels DHCP サーバーによって提供されます。



Windows でホストオンリネットワークを使用するよう設定するには、以下の操作を実行します。

- 1 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
 - Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。
- 2 [ハードウェア]、[ネットワーク] の順にクリックします。

3 [ネットワーク] ペインで、[ホストオンリ] オプションが選択されていることを確認します。

ネットワーク問題のトラブルシューティングについては、Parallels Web サイトの Parallels 技術情報 (<https://kb.parallels.com/128867>) を参照してください。

Windows での Wi-Fi の使用

Mac がインターネットにワイヤレス接続されている場合は、デフォルトでは、Windows でも設定を行わずにインターネットにワイヤレスでアクセスできます。

仮想マシンを Wi-Fi にブリッジすることもできます。このモードを使用すると、Windows はネットワーク上に独自の IP アドレスとネットワーク名を持つスタンダードアロンコンピューターとして表示されます。

仮想マシンを Wi-Fi にブリッジするには、以下の操作を実行します。

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- **Parallels Desktop** のメニューが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

2 [ハードウェア]、[ネットワーク] の順にクリックします。

3 [ネットワーク] ペインで、一覧から **[Wi-Fi]** を選択します。

これらの手順を実行すると、Windows は Mac の Wi-Fi アダプターを介してインターネットに接続できるようになります。

仮想マシンをブリッジイーサネットモードで動作するように構成できない場合は、共有ネットワーク (p. 126) の使用を検討してください。

ネットワーク問題のトラブルシューティングについては、Parallels Web サイトの Parallels 技術情報 (<https://kb.parallels.com/128867>) を参照してください。

Windows の VLAN に接続する

Mac が VLAN（仮想ローカルエリアネットワーク）のメンバーの場合、Parallels Desktop では Windows をこの VLAN にブリッジできます。

Windows を VLAN にブリッジするには、次のいずれかを実行します。

- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- Parallels Desktop のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

その後、次の操作を実行します。

- [ハードウェア]、[ネットワーク] の順にクリックします。
- [ブリッジネットワーク] > [VLAN] を [ソース] の一覧から選択します。

Windows が、選択された VLAN にブリッジされます。

パフォーマンスの最適化

Windows の動作が低速な場合、いくつかの簡単な方法でパフォーマンスを最適化することができます。このセクションでは、パフォーマンス最適化のために役に立つ情報の数々をご紹介します。

Windows に割り当てるメモリ容量の設定

Parallels Desktop は、使用可能な Mac の RAM メモリを Windows に一定量割り当てて、残りを macOS に割り当てるように設定されています。Windows に割り当てられるメモリが多すぎると、macOS の動作が遅くなります。そうすると、Windows アプリケーションは macOS 上で実行されているため、結果的に Windows アプリケーションの動作が遅くなる可能性があります。一方、macOS に割り当てられるメモリが多すぎると、macOS アプリケーションは正常に動作するかもしれません、Windows アプリケーションの動作が遅くなる可能性があります。

Windows と macOS の両方のパフォーマンスを最適化するには、Windows に割り当てるメモリを推奨範囲内に設定します。

Windows に割り当てるメモリ容量を設定するには、以下の操作を実行します。

- 1 Windows をシャットダウンします。
 - 2 [処理] > [構成] > [ハードウェア] > [CPU とメモリ] の順に選択します。
 - 3 メモリスライダーを推奨範囲内に移動します。範囲はスライダーの下のグラフィックで表示されます（上記参照）。
- 3D またはビデオ作成アプリケーションなど大量のメモリを必要とする Windows アプリケーションを使用する場合は、推奨範囲内の上限値に設定するのが最適です（スライダーを右に移動します）。そうでない場合は、中間に近い値に設定すれば通常は問題ありません。

注: Mac に搭載しているメモリ (RAM) の量がどれだけ増えても、Windows に割り当て可能な最大メモリは 8 GB です。ただし、Parallels Desktop for Mac Pro Edition を使用している場合、Windows に割り当て可能な最大メモリは、Intel Mac の場合は 128 GB、Apple Silicon Mac の場合は 62 GB です。

この設定を変更しても Windows のパフォーマンスに満足できない場合は、別の設定をお試しください。

注: 仮想マシン構成を未承認の変更から保護する場合は、ウィンドウの下部の [カギ] アイコンをクリックします。次に仮想マシン構成のいずれかのペインで設定を変更する場合は、管理者のパスワードを要求されます。

最適化設定

[最適化] 設定を使用して、仮想マシンリソースの使用を制限できます。

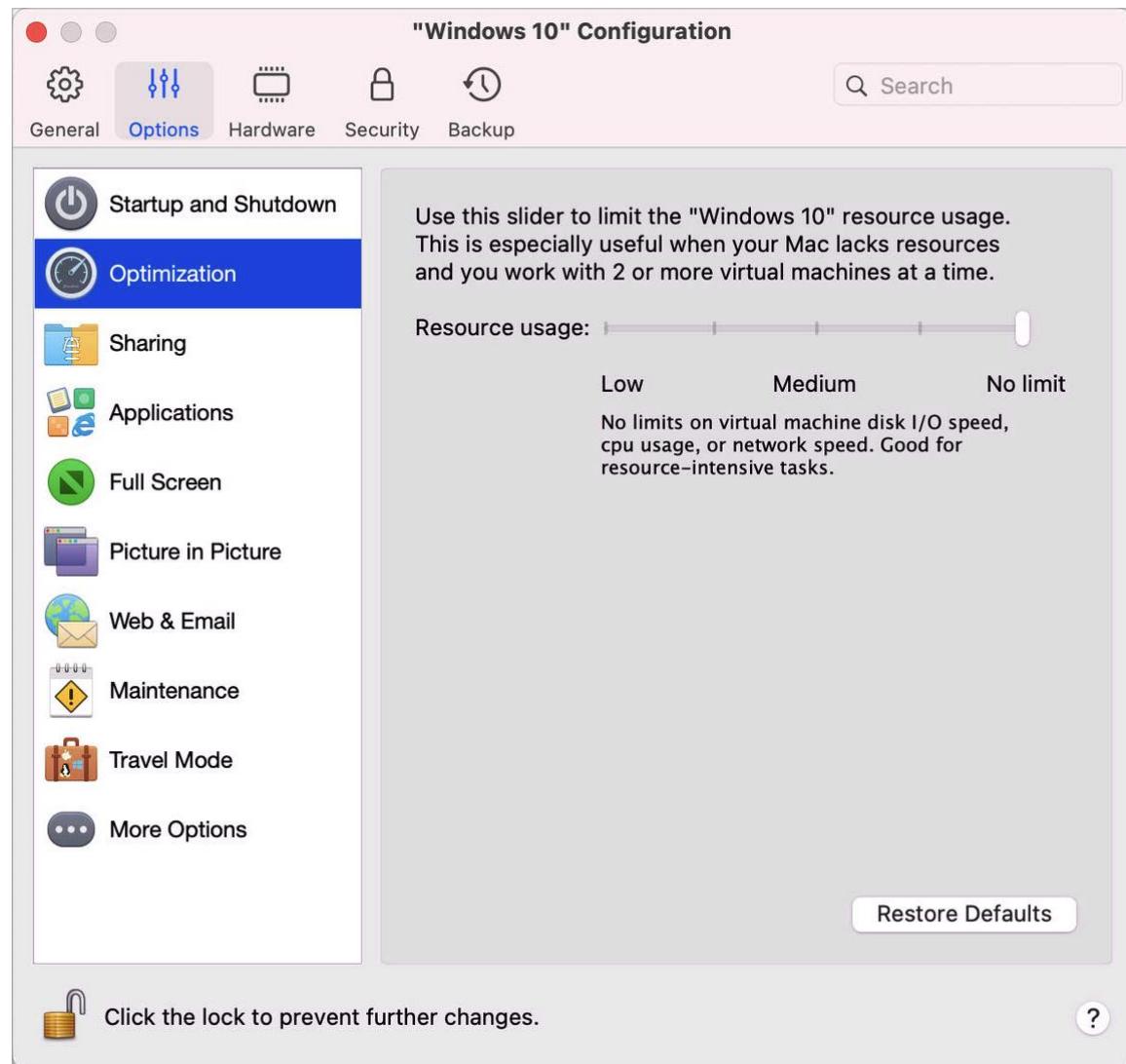
注: [最適化] ペインは、Parallels Desktop for Mac Pro と Business Editions でのみ利用できます。この機能は、Parallels Desktop の App Store エディションでは利用できません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

[最適化] 設定にアクセスするには、以下の操作を実行します。

- 1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

2 [オプション] をクリックし、[最適化] を選択します。



Mac に 2 つ以上の仮想マシンを同時に実行できるだけのリソースがない場合は、より重要な作業を行っている仮想マシンでさらに多くのリソースを使用できるように、仮想マシンのリソース使用率を制限できます。スライダーを [低]、[中]、および [無制限] の間でドラッグします。この設定を変更しても Windows のパフォーマンスに満足できない場合は、別の設定をお試しください。

起動中のアプリケーションが存在しない場合に Windows を一時停止する

Windows アプリケーションが開いていないときに、Windows を自動的に一時停止するよう設定すると、Mac の CPU リソースを節約できます。そうすることで、Windows のサービスによって使用される CPU リソースが減少し、バッテリーを節約して環境を保護することができます。

アプリケーションが開いてないときに Windows を一時停止するよう設定するには、次の操作を実行します。

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- **Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

2 [オプション] をクリックし、[起動と終了] を選択します。

3 [指定時間後に Windows を一時停止] を選択して、非アクティブな時間を指定すると、その時間の経過後に Windows が自動的に一時停止されます。

ゲーム、グラフィック、業務用ツール、または開発用に仮想マシンを最適化する

仮想マシンの作成時に、用途に応じて仮想マシンを最適化することができます。次のいずれかの用途のために、仮想マシンの設定を選択することができます。

プロファイル	プロパティ
生産性	<p>このプロファイルは、Windows アプリケーションの使用、Web ブラウジング、電子メールなどの日常的なタスクに最適化されています。CPU とメモリのリソースをバランスよく割り当て、スムーズなパフォーマンスとマルチタスク機能を実現します。バッテリー寿命よりもパフォーマンスが優先されます。</p> <p>こんなユーザーに最適: ほぼすべてのユーザー。主に標準的なオフィスワークや生産性向上のために VM を使用しているユーザーにとって、このプロファイルは大きなメリットがあります。</p>

ゲームのみ	<p>ゲーム専用に設計されたこのプロファイルは、グラフィック性能を最大限に引き出し、最高のゲーム体験を提供します。キーボード、マウス、ディスプレイの設定をチューニングし、ゲームプレイをより快適にします。仮想マシンはデフォルトでフルスクリーンモードで起動します。</p> <p>こんなユーザーに最適: Mac で Windows のゲームをプレイするユーザー。</p>
設計 (Pro Edition と Business Edition でのみ利用可能)	<p>グラフィックデザイナーや、グラフィックを多用するソフトウェアを使用するユーザー向けに最適化されています。このプロファイルでは、大きいメモリ容量が割り当てられ、強化されたグラフィックス性能が提供されます。リソース集約型の設計アプリケーションやツールのスムーズな動作を保証できます。</p> <p>こんなユーザーに最適: グラフィックデザイナー、エンジニア、クリエイティブプロフェッショナルなど、グラフィックを多用するアプリケーションを実行する必要があるユーザー。</p>
ソフトウェア開発 (Pro Edition と Business Edition でのみ利用可能)	<p>このプロファイルは、コーディング、開発ツールの実行、ソフトウェアのテストに堅牢な環境を必要とするソフトウェア開発者向けにカスタマイズされています。コードのコンパイル、仮想サーバーの実行、自動テストの効率的な実行をサポートするため、構成設定が強化されています。また、Intel Mac ではデフォルトでネストされた仮想化 (p. 196) が有効化されています。</p> <p>こんなユーザーに最適: ソフトウェア開発ワークフロー向けに安定した高パフォーマンスな環境を必要とするユーザー。</p> <p>注: 開発者は、無料の Parallels Desktop 向け VS コード拡張 https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=ParallelsDesktop.parallels-desktop を使用することもできます。</p>
ソフトウェアのテスト (Pro Edition と Business Edition でのみ利用可能)	<p>このプロファイルは、Mac から分離された仮想マシンで、厳格なソフトウェアテストと品質保証プロセスをサポートするように構成されています。堅牢な CPU リソースとメモリ容量が割り当てられ、さらに複数のテスト環境、仮想マシン、自動テストツールの同時実行に最適化されたネットワーク構成が提供されます。</p> <p>こんなユーザーに最適: 広範なソフトウェアテストのために信頼性が高く高性能な環境を必要とする QA エンジニアやテスター。</p>

Parallels Desktop がプロファイルに応じて仮想 CPU コアを自動的に割り当てる方法については、ガイドのこちらのページ (p. 257) を参照してください。

仮想マシンのパフォーマンスプロファイルを変更する方法

仮想マシンを作成した後で、この設定を変更することができます。

- 1 Parallels Desktop を起動します。

- 2 コントロールセンターで、仮想マシンを右クリックし（シャットダウンされている必要があります）、「構成」を選択します。
- 3 「一般」タブで「変更」をクリックします。
- 4 用途に最も適したプロファイルを選択します。

注: 仮想マシン構成を変更してから新しいプロファイルを選択すると、変更内容がこのプロファイルのデフォルト値にリセットされる場合があります。

Windows を Travel Mode で操作する

MacBook を携帯して出張することが多い場合、Mac のバッテリーを充電する電源アダプタが手元になかったり、パブリックネットワークへの接続時に問題が発生したりすることがあります。

Travel Mode では、Windows が使用する電力を削減して Mac のバッテリー寿命を延長し、また、パブリックネットワークへの接続設定を調整します。

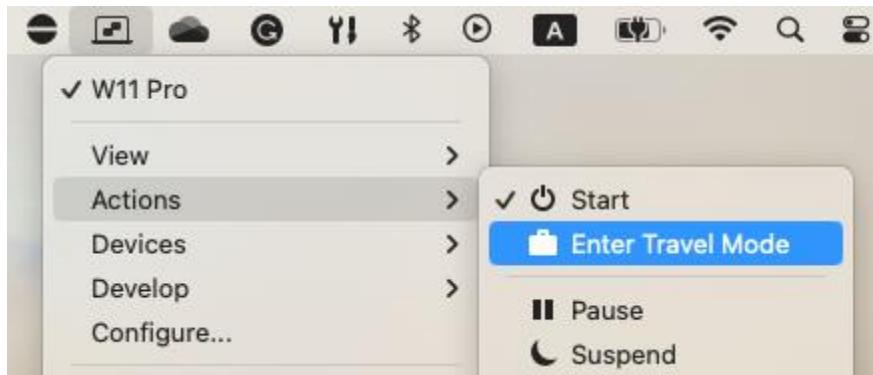
Travel Mode を開始する

Windows を Travel Mode に切り替えるには、次のいずれかを実行します。

- Windows がフルスクリーンモードまたはウィンドウモードで動作している場合、画面の上部にマウスポインターを動かして、「処理」>[Travel Mode を開始する] の順に選択します。



- Windows が Coherence で実行中の場合、メニューバーで Parallels Desktop アイコンをクリックして、[処理] > [Travel Mode を開始する] の順に選択します。



Travel Mode を終了する

Travel Mode を終了するには、次のいずれかを実行します。

- Windows がフルスクリーンモードまたはウィンドウモードで動作している場合、画面の上部にマウスポインターを動かして、[処理] > [Travel Mode を終了する] の順にクリックします。
- Windows が Coherence で実行中の場合、メニューバーで Parallels Desktop アイコンをクリックして、[処理] > [Travel Mode を終了する] の順に選択します。

Travel Mode に自動的に移行および終了する

Travel Mode に自動的に移行したり、Travel Mode を自動的に終了したりするよう に仮想マシンを構成することもできます。

- 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
 - 画面上部にある Parallels Desktop のメニューバーの [処理] をクリックし、[構成] を選択します。
- [オプション] をクリックし、[Travel Mode] を選択します。
- Travel Mode に自動的に入るには、次のいずれかを実行します。
 - バッテリー電源を使用する場合: Mac がバッテリー電源での動作を開始すると、仮想マシンは Travel Mode に移行します。

- バッテリー電源: 仮想マシンを **Travel Mode** に移行するには、メニューから選択します。
- 使用しない: 仮想マシンは、**Travel Mode** に自動的に移行しません。

4 **Travel Mode** を自動的に終了するには、次のいずれかを実行します。

- 電源に接続している場合: Mac を電源に接続すると、仮想マシンは **Travel Mode** を終了します。
- 使用しない: 仮想マシンは、**Travel Mode** を自動的に終了しません。

Windows メンテナンスのスケジュール

時々、Windows では、アップデートのインストール、クリーニング、およびディスクのデフラグなど、様々なメンテナンス作業を実行する必要があります。Windows でこれらの作業を実行しているとき、パフォーマンスが低下することがあります。

重要な作業で忙しいときにパフォーマンスが低下することを避けるために、Windows メンテナンスの実行を退席中または他の都合のよい時間にスケジュールしてください。

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- 画面上部にある **Parallels Desktop** のメニューバーの [処理] をクリックし、[構成] を選択します。

2 [オプション] をクリックし、[メンテナンス] を選択します。

3 [メンテナンスを開始] を選択し、対応するメニューから日付と時間を選択します。

一度設定すると、Windows では指定された時間にメンテナンスを実行します。

Parallels Toolbox を使用して時間を節約

Parallels Toolbox は、日課の中でお客様の時間の節約をサポートする便利なツールセットです。Parallels Toolbox は、以下の操作を実現します。

- スクリーンショットを取得
- 音声を録音
- ファイルのアーカイブおよび解凍
- 不正アクセスを防止するため、Mac のカメラのブロックおよびマイクロフォンの消音化
- 特定のイベント向けに日付をカウントするためのカウントダウンの設定
- 退席中に他のユーザーがデスクトップにアクセスできないように、Mac の画面をロック
- Mac のスリープ機能の作動防止
- など。

Mac への Parallels Toolbox のインストール

Parallels Toolbox をインストールするには、以下の操作を実行します。

- 1 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[環境設定] を選択します。[Toolbox] をクリックします。
 - Dock 内の **Parallels Desktop** のアイコンを右クリックし、[環境設定] を選択します。[Toolbox] をクリックします。
- 2 [インストール] をクリックし、画面上の指示に従います。

画面の写真の保存

Windows の写真をウィンドウモードで保存するには、以下の操作を実行します。

- [表示]>[スクリーンショットの取得] を選択します。

Parallels Picture.png というファイルが macOS のデスクトップに保存されます。

このほか、Command-Shift-3 を押しても、画面全体の写真を撮ることができます。デフォルトでは、写真是 macOS のデスクトップに保存されます。

仮想マシンの Dock アイコンの外観を設定する

仮想マシンが開いているか実行中のときに macOS の Dock に表示されるアイコンの種類を選択できます。

注: この機能は、Parallels Desktop の App Store エディションではサポートされていません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの Parallels Desktop アイコンをクリックし、[環境設定] を選択します。そして、[一般] をクリックします。
- Dock 内の Parallels Desktop のアイコンを右クリックし、[環境設定] を選択します。そして、[一般] をクリックします。

2 [仮想マシンの Dock アイコン] メニューから、次のいずれかを選択します。

- OS アイコン: Dock アイコンには、仮想マシンにインストールされた OS のアイコンが表示されます。
- ライブスクリーンショット: Dock アイコンに、仮想マシンに表示されるイメージの縮小版が表示されます。
- なし: 仮想マシンでは、Dock に独立したアイコンが表示されません。

Mac がスリープ中でも Windows アップデートを許可する

Parallels Desktop は macOS Power Nap 技術をサポートしており、Mac がスリープ中でも Windows を最新状態に保つことができます。Power Nap を有効にすると、通常は Windows がスリープ状態から復帰した後で情報を更新するようなサービス（電子メールプログラムの新着メールや、予定表のイベントの更新通知など）が、Mac がスリープ中でも更新されるようになります。

注: M シリーズチップを搭載した Mac では、Power Nap はサポートされていません。

Power Nap を使用するためには、コンピューターが Power Nap に対応している必要があります。詳細については、<https://support.apple.com/ja-jp/HT204032> を参照してください。

Power Nap を有効にするには、以下の操作を実行します。

- 1 Mac で、[アップルメニュー] > [システム環境設定] を選択し、[省エネルギー] をクリックします。
- 2 Mac がバッテリーで動作している場合は [バッテリー電源使用時は Power Nap を入にする]、電源に接続している場合は [電源アダプタに接続中に Power Nap を入にする] が選択されていることを確認します。

注: Power Nap の詳細は、macOS のヘルプソースを参照してください。

Windows で知らない単語の意味を調べる

Windows を使用中に、知らない単語が見つかった場合、macOS の辞書で簡単に意味を調べることができます。その単語の上にマウスポインターを動かして、Control-Command-D を押す、またはタッチパッドを 3 本指でタップします（クリックではありません）。

注意:

1. Windows に Parallels Tools (p. 272) がインストールされている必要があります。
2. 単語の上にマウスポインターを動かすと、カーソルの形が矢印からテキスト選択に変わります。画像に埋め込まれた単語は検索できません。

Windows で Touch Bar を使用する

Touch Bar を搭載している MacBook を使用している場合、Touch Bar を使用して Windows と Windows アプリケーションを操作できます。

注: この機能は、Parallels Tools (p. 272) がインストールされた、Windows 7 以降で使用できます。

Windows を操作していて、最前面にアプリケーションがない場合、Touch Bar には Windows タスクバーのアプリケーションが表示されます。



アプリケーションを開くか最前面に移動すると、Touch Bar には、このアプリケーションの最も使用頻度の高いボタンが表示されます。たとえば、Microsoft Outlook を選択すると、Touch Bar は次のようにになります。



Windows アプリケーションの Touch Bar をカスタマイズする

Touch Bar は必要に応じてカスタマイズできます。Touch Bar で新しいコントロールを追加、または削除するには

- 1 次のいずれかを実行します。
 - Windows がウィンドウまたはフルスクリーン表示モードで動作している場合、Touch Bar をカスタマイズするアプリケーションを選択し、macOS メニューバーで [表示] をクリックして、[<app_name> の Touch Bar のカスタマイズ] を選択します。
 - Windows が Coherence で実行中の場合、Touch Bar をカスタマイズするアプリケーションを選択し、macOS メニューバーで [表示] をクリックして、[Touch Bar のカスタマイズ] を選択します。
- 2 カスタマイズウィンドウが表示されます。次のいずれかを実行します。
 - Touch Bar に新しいコントロールを追加するには、必要なアイテムが Touch Bar に表示されるまで、一番下にドラッグします。アイテムを左右にドロップして、並べ替えることもできます。

- 複数のコントロールを削除する場合は、マウスカーソルを画面の一番下に移動させます。コントロールの上にカーソルを移動すると、コントロールが強調表示されます。削除するコントロールを選択し、上にドラッグして、ツールパネルに戻します。

第 9 章

3 完了したら、[終了] をタップします。

Parallels Desktop 環境設定と仮想マシン設定

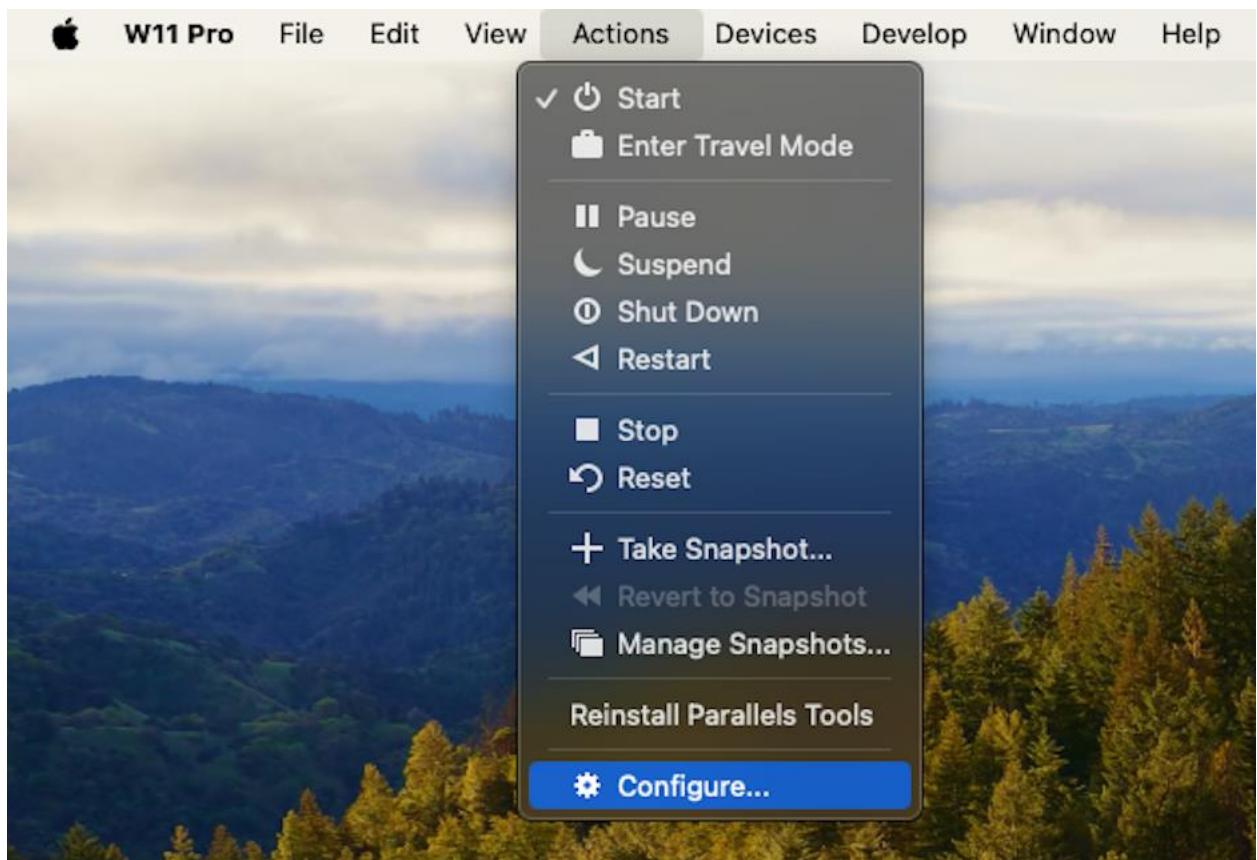
この章では、Parallels Desktop 環境設定と仮想マシン設定で利用できるオプション、それらのオプションの仕組み、ハードディスクまたは DVD ドライブなどの新しいデバイスを仮想マシン構成に追加する方法について説明します。

Parallels Desktop 環境設定にアクセスするには、Dock 内の Parallels Desktop アイコンを右クリックし、[環境設定] を選択します。



仮想マシン設定にアクセスするには、次のいずれかを実行します。

- 仮想マシンがフルスクリーンモードまたはウィンドウモードで動作している場合、画面の上部にマウスポインターを動かして、[処理] をクリックし、[構成] の順にクリックします。



- 仮想マシンが Coherence モードで動作している場合、macOS メニューバーの右上隅にある Parallels Desktop アイコンをクリックして、[構成] を選択します。



この章の内容

Parallels Desktop 環境設定	146
仮想マシン設定	166
デバイスの追加と削除	228

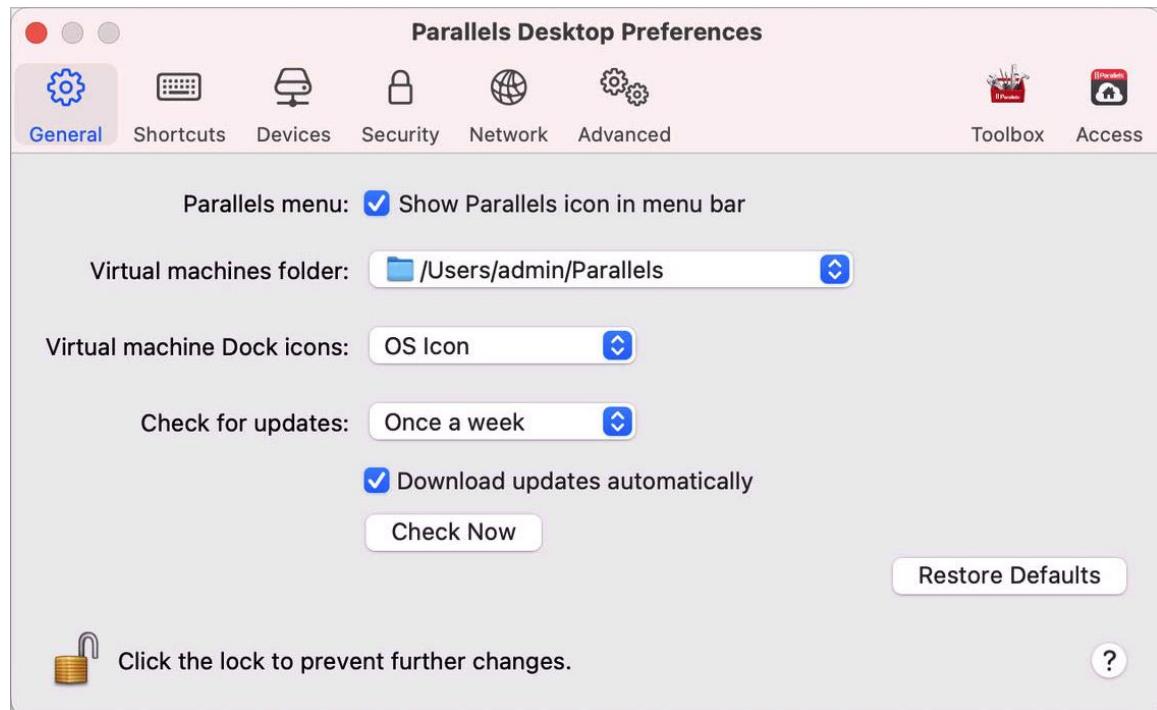
Parallels Desktop 環境設定

このセクションでは、Parallels Desktop のすべての環境設定について説明します。

一般的な環境設定

[一般] 環境設定を使用すると、macOS メニューバーで Parallels メニューを使用可能にするかどうかを指定したり、仮想マシンの保存先フォルダーを変更したりできます。

これらの環境設定を開くには、[Parallels Desktop] > [環境設定] を選択し、[一般] をクリックします。



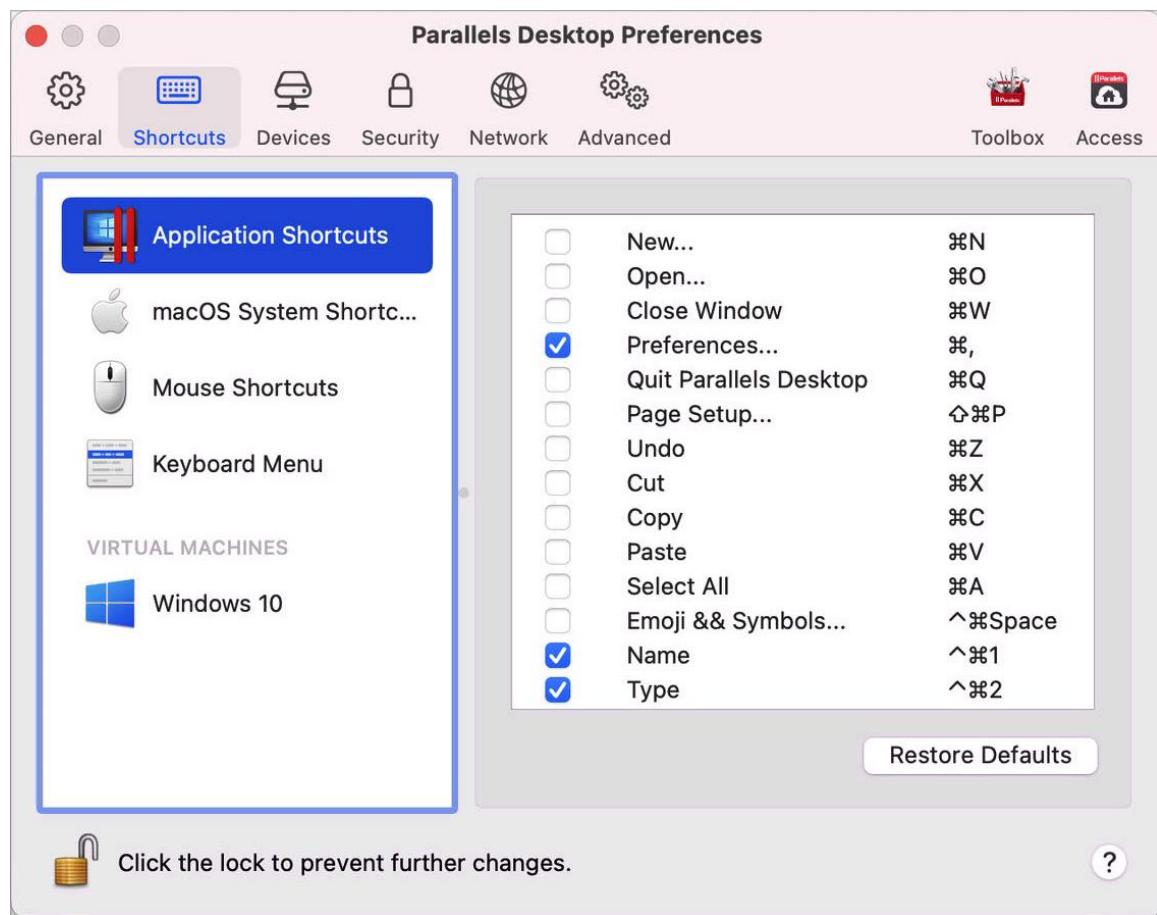
オプション	説明
Parallels メニュー	macOS メニューバーで Parallels Desktop メニューを利用可能にするかどうかを選択します。このメニューでは、Parallels Desktop メニュー、環境設定、コントロールセンター、ヘルプリソース、仮想マシンの操作などに簡単にアクセスできます。
仮想マシンのフォルダー	新しい仮想マシンの保存場所を設定します。デフォルトでは、ユーザーのホームフォルダー内の <i>Parallels</i> フォルダーに保存されます。
仮想マシンの Dock アイコン	仮想マシンが Dock で使用するアイコンのタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> OS アイコン: Dock アイコンは、ゲストオペレーティングシステムのタイプを示します。 ライブスクリーンショット: Dock アイコンに、ゲストオペレーティングシステムに表示されるイメージの縮小版が表示されます。 なし: Dock に仮想マシンのアイコンが表示されません。
アップデートの確認	Parallels Desktop がソフトウェアのアップデートを確認する頻度を設定します。
自動的にアップデートをダウンロード	このオプションを選択すると、Parallels Desktop は自動的にアップデートをダウンロードし、インストールするかどうかを確認します。
すぐにチェック	アップデートを手動で確認するには、このボタンをクリックします。 [Parallels Desktop] アプリケーションメニューから [アップデートの確認] を選択することもできます。

ショートカットの設定

[ショートカット] 環境設定を使用して、キーボードショートカットのカスタマイズ、複数のオペレーティングシステム用のキーボードプロファイルの作成、macOS システムのショートカットの有効化と無効化などを行います。

これらの環境設定を開くには、[Parallels Desktop] > [環境設定] を選択し、[ショートカット] をクリックします。

アプリケーションショートカット



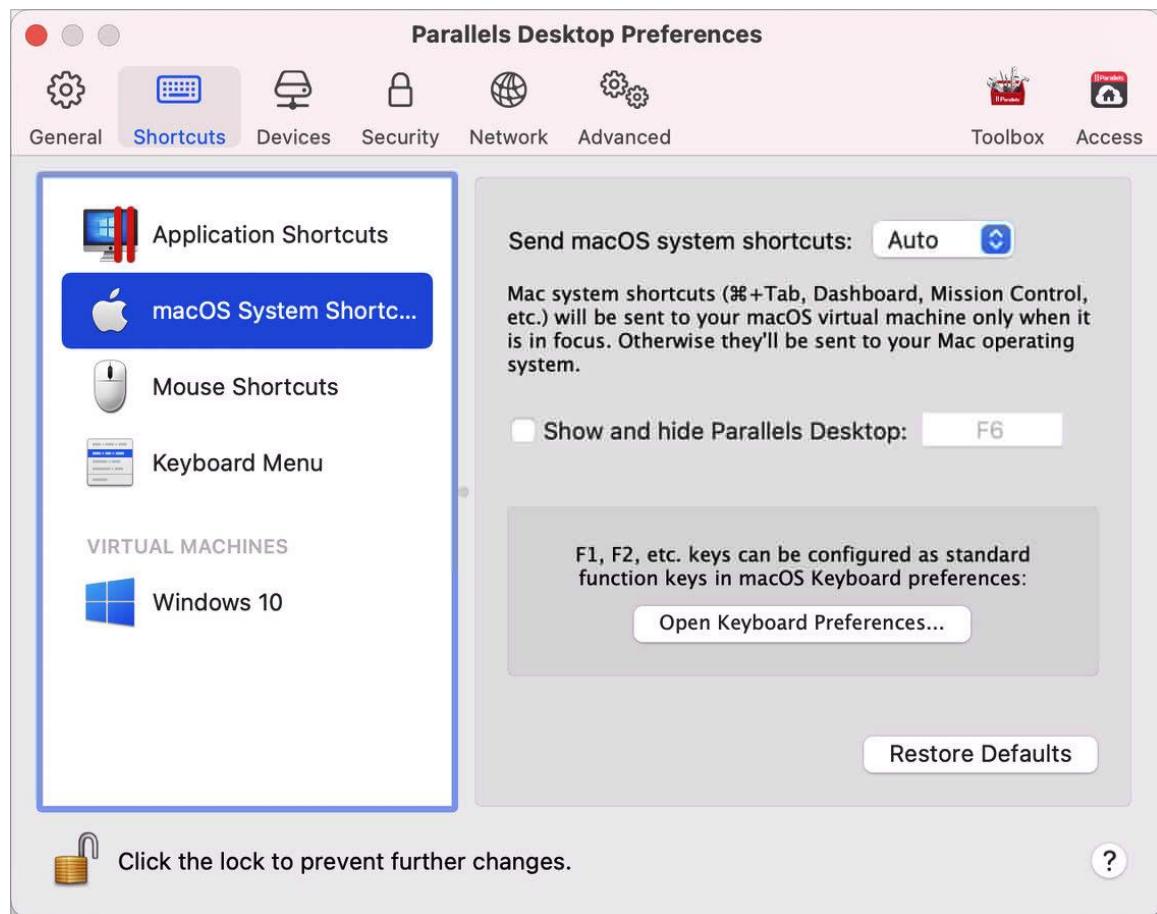
Parallels Desktop では、対応するメニューからメニューアイテムを選択するか、キーの組み合わせを押すことによって、さまざまな操作を実行できます。たとえば、[ファイル] > [開く] をクリックするか、**Command + O** を押すと、既存の仮想マシンを開くことができます。ただし、このキーの組み合わせの選択を解除すると、ショートカットは機能しません。

キーの組み合わせを押して実行できる操作をカスタマイズするには、次の手順に従います。

- 1 [ショートカット] タブの [アプリケーションショートカット] を選択します。

- 2 キーの組み合わせを押して実行できる操作を有効または無効にします。

macOS システムショートカット



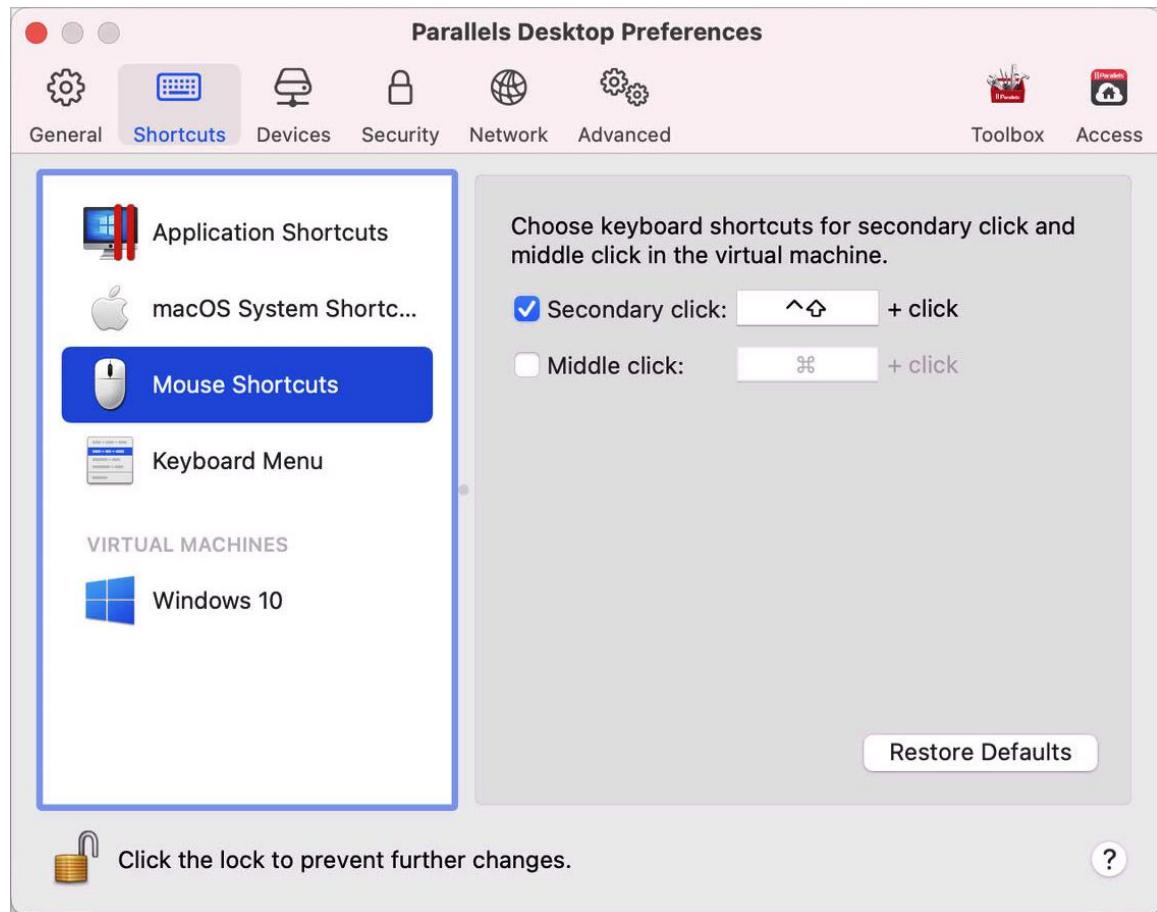
macOS では、キーボードのファンクションキー (F1、F2、F3 など) で、ダッシュボードや Mission Control のアクティベート、画面の明るさの調整、音量の調節などの機能を制御します。デフォルトでは、Windows アプリケーションがアクティブの場合、ファンクションキーとその他の Mac システムショートカットキーの組み合わせ (Cmd+Tab を押して開いているアプリケーションを切り替えるなど) を使用して macOS 機能をアクティベートできます。

ファンクションキーと macOS システムショートカットキーの組み合わせにより、macOS または Windows の機能をアクティベートするかどうかを設定するには、次の操作を実行します。

- 1 [ショートカット] タブの [macOS システムショートカット] を選択します。
- 2 [macOS システムショートカットの送信] メニューから次のいずれかを選択します。
 - 自動: Windows を使用している場合、Windows で機能しないシステムショートカット (Control- 上矢印ボタンを使用して Mission Control を表示するなど) は macOS の機能をトリガーします。macOS をゲスト OS として使用しており、ゲスト OS またはそのアプリケーションがアクティブの場合は、macOS 固有のシステムショートカットは、macOS のゲストバージョンで機能をトリガーします。
 - 常に: Windows または Windows アプリケーションがアクティブの場合は、ファンクションキーとその他のシステムショートカットは、常に Windows の機能をトリガーします。
 - 使用しない: ファンクションキーとその他のシステムショートカットは、常に macOS の機能をトリガーします。

Parallels Desktop の表示と非表示には、Fn + F6 キーの組み合わせを使用します。F6 の代わりに他のキーを使用する場合は、対応するテキストフィールドをクリックしてから、使用するキーを押します。

マウスショートカット



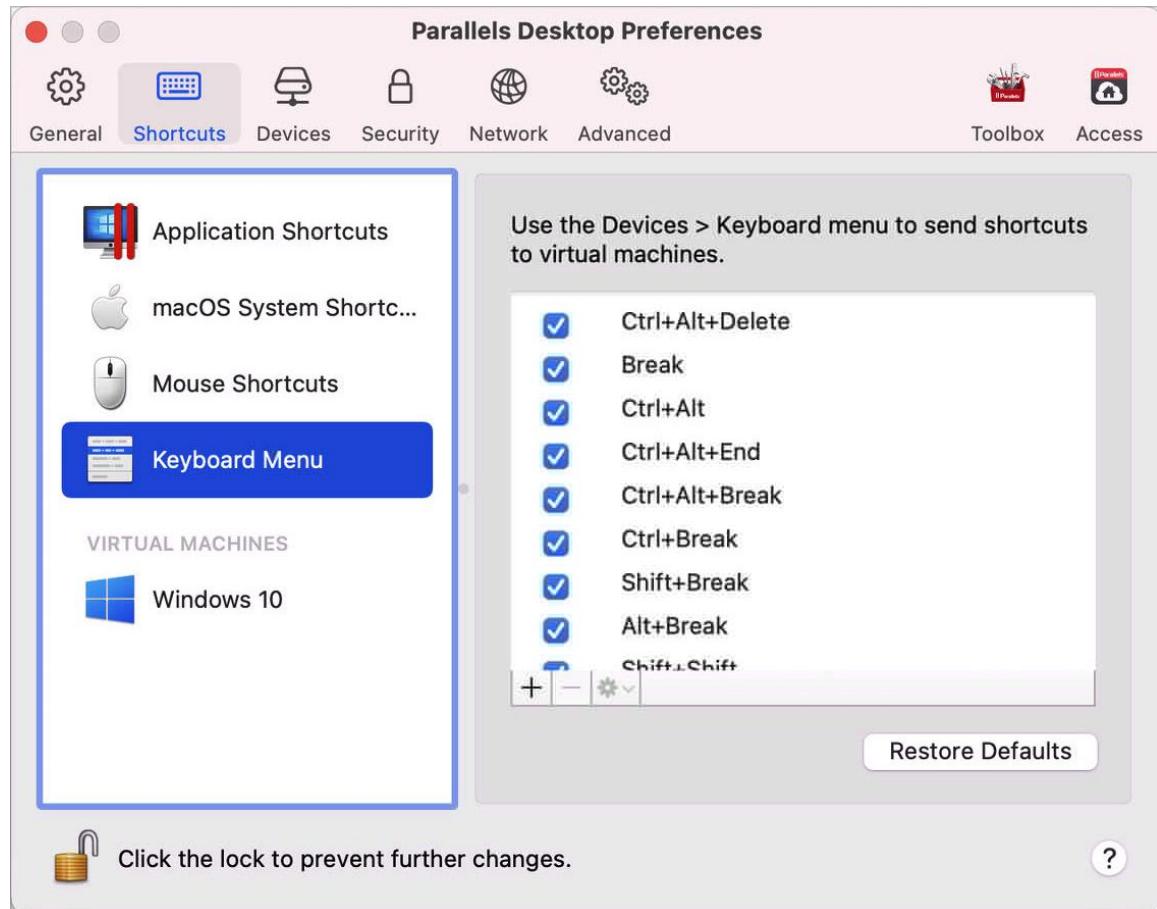
ショートカットメニューを表示するなど、Windows の多くのタスクは、右クリックすることで行います。デフォルトでは、Parallels Desktop は Shift+Control を押しながらマウスをクリックすることで、右クリックの動作を行うよう設定されています。右クリックの動作を行うキーの組み合わせを変更できます。次の手順を実行します。

- 1 [ショートカット] タブの [マウスショートカット] を選択します。
- 2 [セカンダリクリック] (右クリック用) または [中央クリック] を選択します。

3 対応するテキストフィールドをクリックし、右クリックまたは中央クリックを実行するためにマウスをクリックしながら押すキー、またはキーの組み合わせを押します。

Control、Option (Alt) 、Shift、および Command キーの任意の組み合わせを使用できます。

キーボードメニュー



仮想マシンでの作業中にキーの組み合わせを使用する場合は、macOS メニューバーの [デバイス] > [キーボード] を選択し、キーの組み合わせを選択します。使用可能なキーの組み合わせをカスタマイズするには、次の手順に従います。

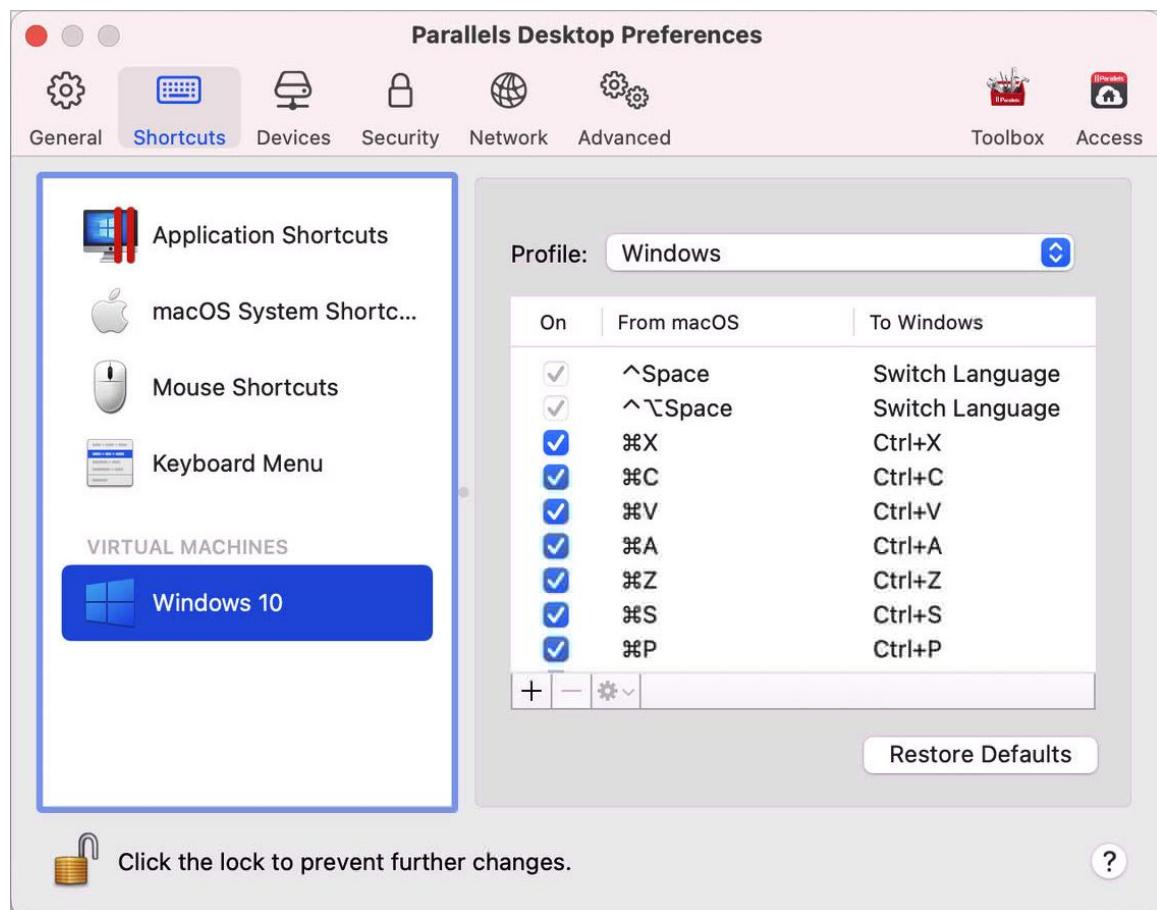
1 [ショートカット] タブの [キーボードメニュー] を選択します。

2 次のいずれかを実行します。

- 新しいキーの組み合わせを追加するには、[追加] ボタン をクリックします。
- キーの組み合わせをキーボードメニューから削除するには、選択して [削除] ボタン をクリックします。
- 既存のキーの組み合わせを編集するには、キーの組み合わせをダブルクリックするか、選択して、[編集] ボタン をクリックします修飾キーをクリックし、選択または選択解除します。必要であれば、テキストフィールドの文字を変更します。



仮想マシンのショートカット



Parallels Desktop では、デフォルトで一般的な macOS キーボードショートカットキーの組み合わせが、対応する Windows キーの組み合わせに割り当てられます。そのため、たとえば、Command-C を押して macOS でテキストをコピーするのに慣れている場合は、Windows の Control-C に切り替える必要がありません。

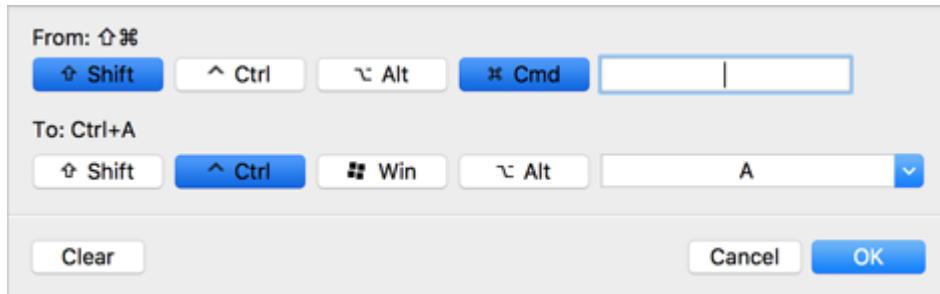
キーボードショートカットをカスタマイズするには、次の手順に従います。

- 1 [ショートカット] タブにある [仮想マシン] の一覧から仮想マシンを選択します。Windows アプリケーションを使用している場合、上部の [macOS から] 列でキーの組み合わせを押すと、[Windows へ] 列のキーの組み合わせがトリガーされます。

2 鍵アイコンがロックされている場合は、クリックして、管理者パスワードを入力します。

3 次のいずれかを実行します。

- 既存のキーの組み合わせを編集するには、キーの組み合わせをダブルクリックするか、選択して、[編集] ボタン  をクリックします修飾キーをクリックし、選択または選択解除します。必要であれば、テキストフィールドの文字を変更します。



[OK] をクリックして変更を保存します。

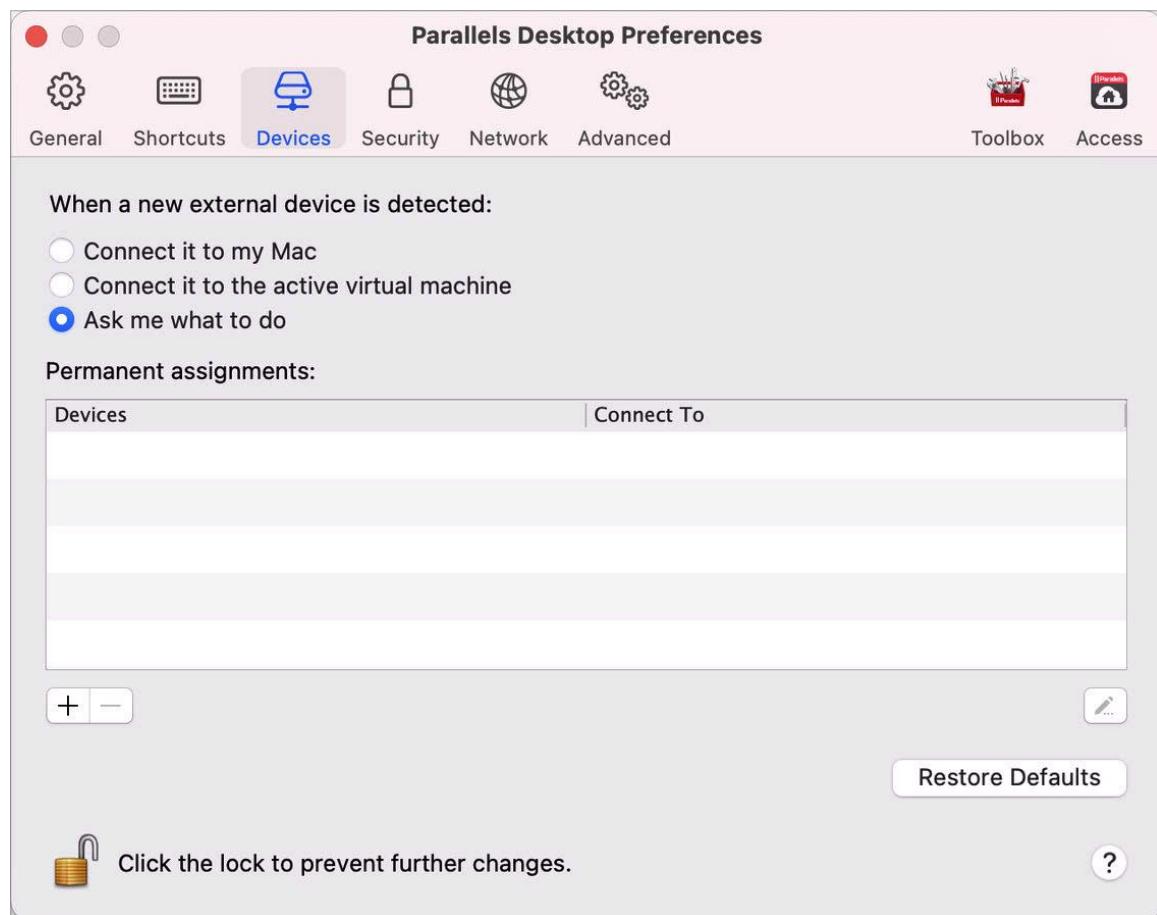
- キーの組み合わせを削除するには、選択して [削除] ボタン  をクリックします。
- 新しいキーの組み合わせを追加するには、[追加] ボタン  をクリックします。

デバイス環境設定

[デバイス] 環境設定を使用して、新しい外部デバイスを接続する場所を指定したり、デバイスを Mac や仮想マシンに永久的に割り当てたりします。

Parallels Desktop 環境設定と仮想マシン設定

これらの環境設定を開くには、[Parallels Desktop] > [環境設定] を選択し、[デバイス] をクリックします。

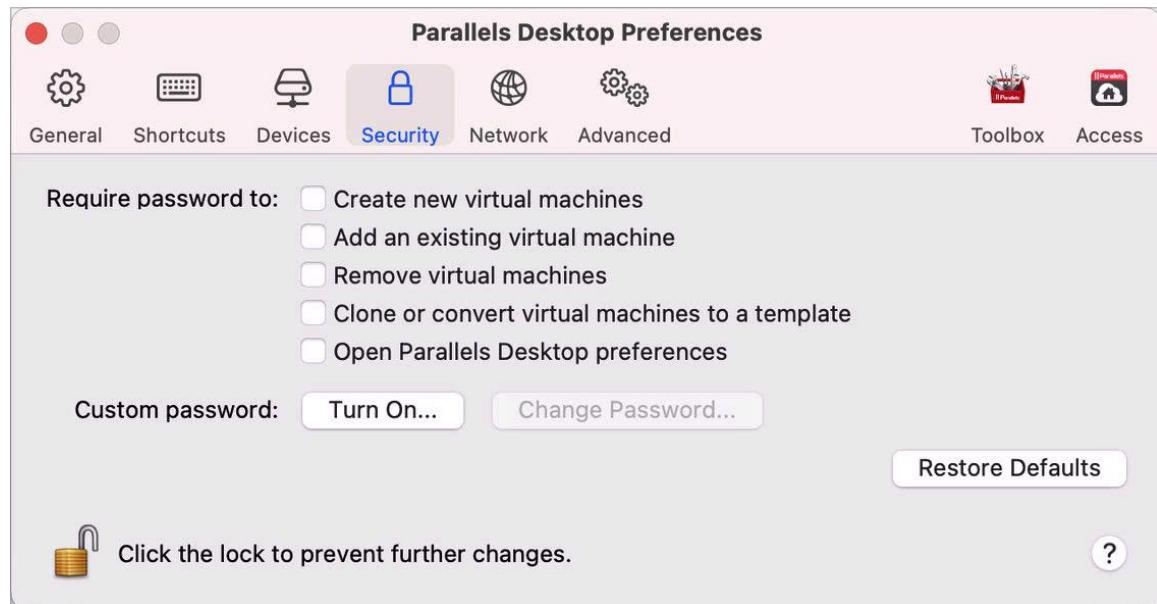


オプション	説明
新しい外部デバイスが検出された場合の処理	<p>新しい外部デバイスが Mac に接続されたときの処理を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Mac に接続する: 新しい外部デバイスは、Mac に自動的に接続され、macOS アプリケーションで使用可能になります。このようなデバイスを仮想マシンに接続する場合は、[デバイス] > [USB と Bluetooth] メニューを使用します。 アクティブな仮想マシンに接続する: 新しい外部デバイスは、現在使用している仮想マシンに自動的に接続され、ゲスト OS アプリケーションで使用可能になります。実行中の仮想マシンがない場合は、外部デバイスは macOS に接続されます。 処理を確認する: 外部デバイスを接続するたびに、デバイスを仮想マシンに接続するか、Mac に接続するかを選択するプロンプトが表示されます。
固定した割り当て	<p>特定の外部デバイスを Mac または仮想マシンで常に使用できるようにする場合は、次の操作を行います。</p> <p>ウィンドウの下部にある [追加] (+) ボタンをクリックします。</p> <p>リストからデバイスを選択します。</p> <p>[接続先] 列に表示される単語 ([お使いの Mac] または仮想マシン) をダブルクリックします。その単語がポップアップメニューとして表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> デバイスを Mac で常に使用できるように設定するには、メニューから [お使いの Mac] を選択します。 デバイスを仮想マシンで常に使用できるように設定するには、メニューからその仮想マシンを選択します。 <p>既存の割り当てを解除し、そのデバイスが Mac または仮想マシンに自動的に接続されないようにするには、[デバイス] 列でデバイスを選択し、[削除] (-) ボタンをクリックします。</p>

セキュリティ環境設定

[セキュリティ] 環境設定を使用して、パスワード要件を設定します。

これらの環境設定を開くには、[Parallels Desktop] > [環境設定] を選択し、[セキュリティ] をクリックします。



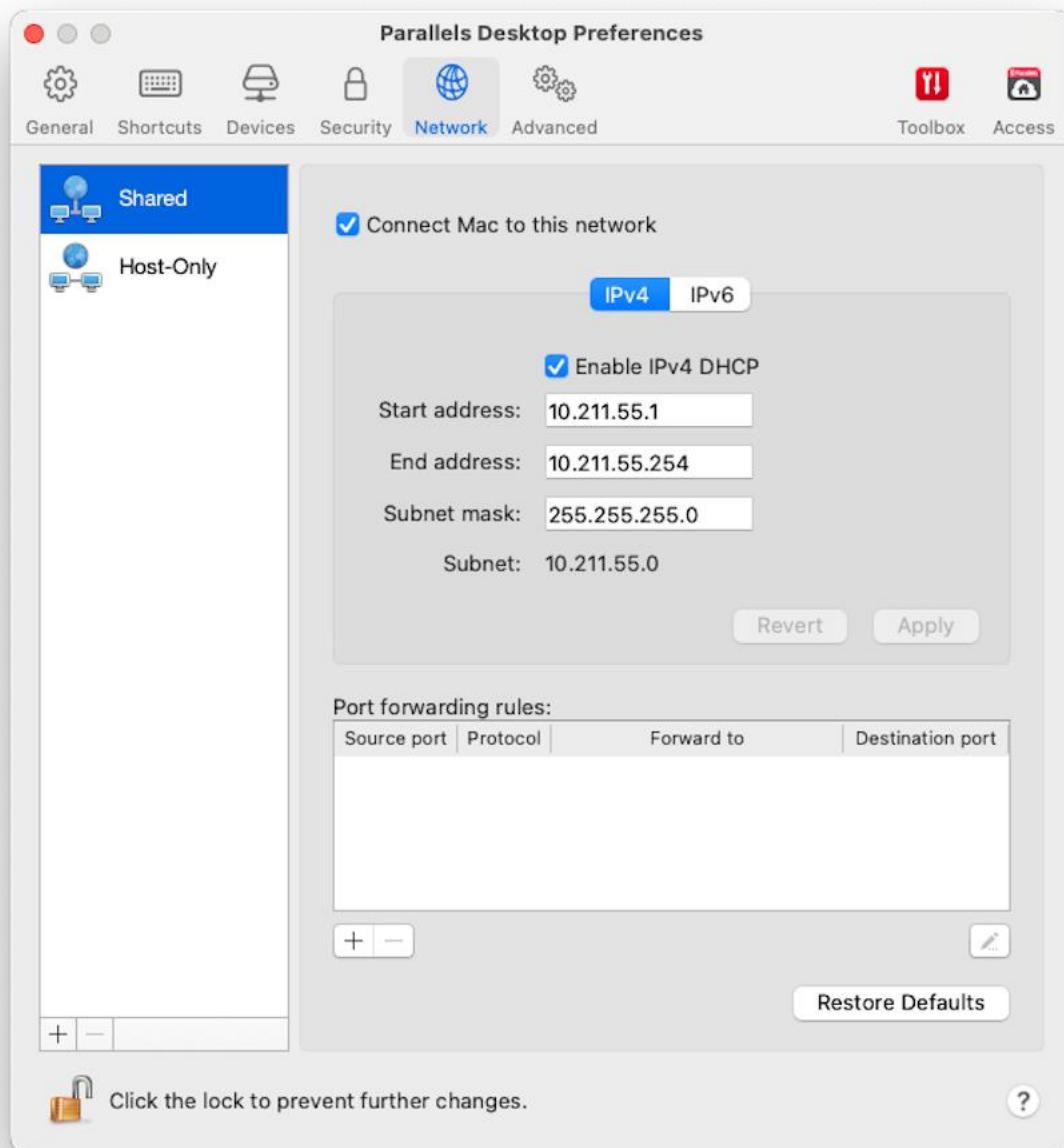
オプション	説明
次の場合にパスワードを要求する	<p>このセクションで、Parallels Desktop が管理者パスワードを要求する処理を選択できます。</p> <p>注: [Parallels Desktop 環境設定を開く] は、Parallels Desktop for Mac Pro と Business Editions でのみ利用できます。</p>
カスタムパスワード (Parallels Desktop for Mac Pro Edition と Business Edition でのみ利用できます)	<p>カスタムパスワードを作成して、上記の操作を制限できます。このパスワードで保護する操作を選択し、[暗号化する] をクリックして、パスワードを指定します。</p> <p>パスワードを変更、またはオフにするには、[パスワードを変更] または [オフにする] をクリックします。</p>

ネットワークの環境設定

共有ネットワークおよびホストオンリネットワーク設定を変更または新規のホストオンリネットワークを追加するには、ネットワークの環境設定を使用します。

これらの環境設定を開くには、[Parallels Desktop] > [環境設定] を選択し、[ネットワーク] をクリックします。

注: このタブは Parallels Desktop for Mac Pro Edition と Business Edition でのみ利用できます。



共有ネットワーク

デフォルトでは、仮想マシンは macOS とネットワーク設定を共有するように設定されています。仮想マシンが共有ネットワークに接続されているとき、その仮想マシンは Mac、Mac 上のその他の仮想マシン、ローカルネットワーク上のコンピューター、およびインターネットにアクセスできます。

共有ネットワークの設定を変更するには、[共有] をクリックして、IPv4 および IPv6 向けの Parallels DHCP サーバーの設定に必要な変更を加えます。これらのサーバーはデフォルトで有効になっており、共有ネットワークモードで動作する仮想マシンに IP アドレスを自動的に割り当てます。なお、このネットワークでの Mac の IPv4 アドレスは 10.211.55.1 ではなく、10.211.55.2 となります。

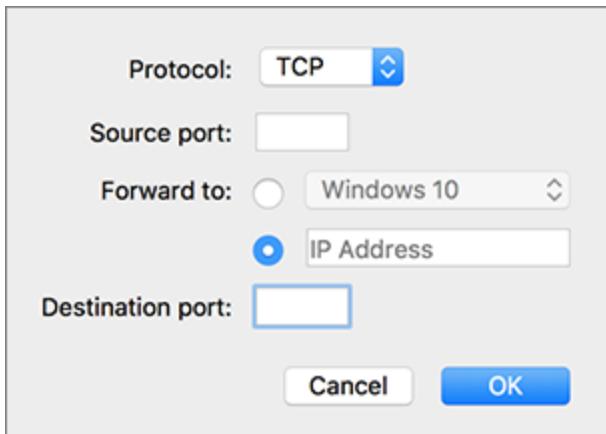
[Mac をこのネットワークに接続する] チェックボックスをオフにすると、ネットワーク経由で仮想マシンから Mac にアクセスできなくなります。

通常、共有ネットワークモードで動作するよう設定されている仮想マシンには外部コンピューターからアクセスできません。ポートフォワーディング機能を使用すると、ローカルネットワークやインターネット上のコンピューターから、共有ネットワークモードを使用している仮想マシンにデータを転送できます。Mac の特定ポートに送信されるデータは、ポートフォワーディングルールに基づいて仮想マシンの特定のポートにリダイレクトされます。

ポートフォワーディングルールを追加するには、以下の操作を実行します。

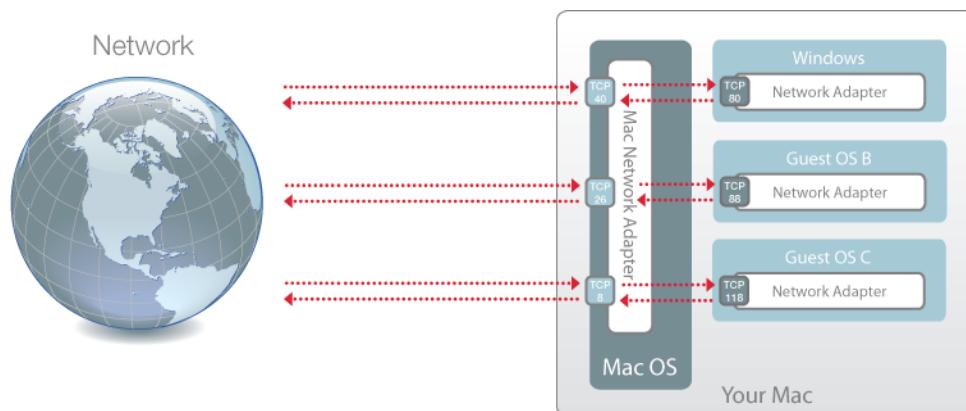
- 1 [ポートフォワーディングルール] リストの下にある [追加] ボタン (+) をクリックします。
- 2 表示されたウィンドウで、次の操作を実行します。
 - [プロトコル] フィールドで、ネットワーク接続の確立に使用するポートの種類を指定します。TCP または UDP のポートを選択できます。
 - [ソースポート] フィールドに、Mac の受信ポート番号を入力します。
 - [転送先] セクションに、接続先の仮想マシンの IP アドレス名を指定します。

- 【宛先ポート】 フィールドに、データの転送先となる仮想マシンのポートを入力します。



3 [OK] をクリックしてルールを追加します。

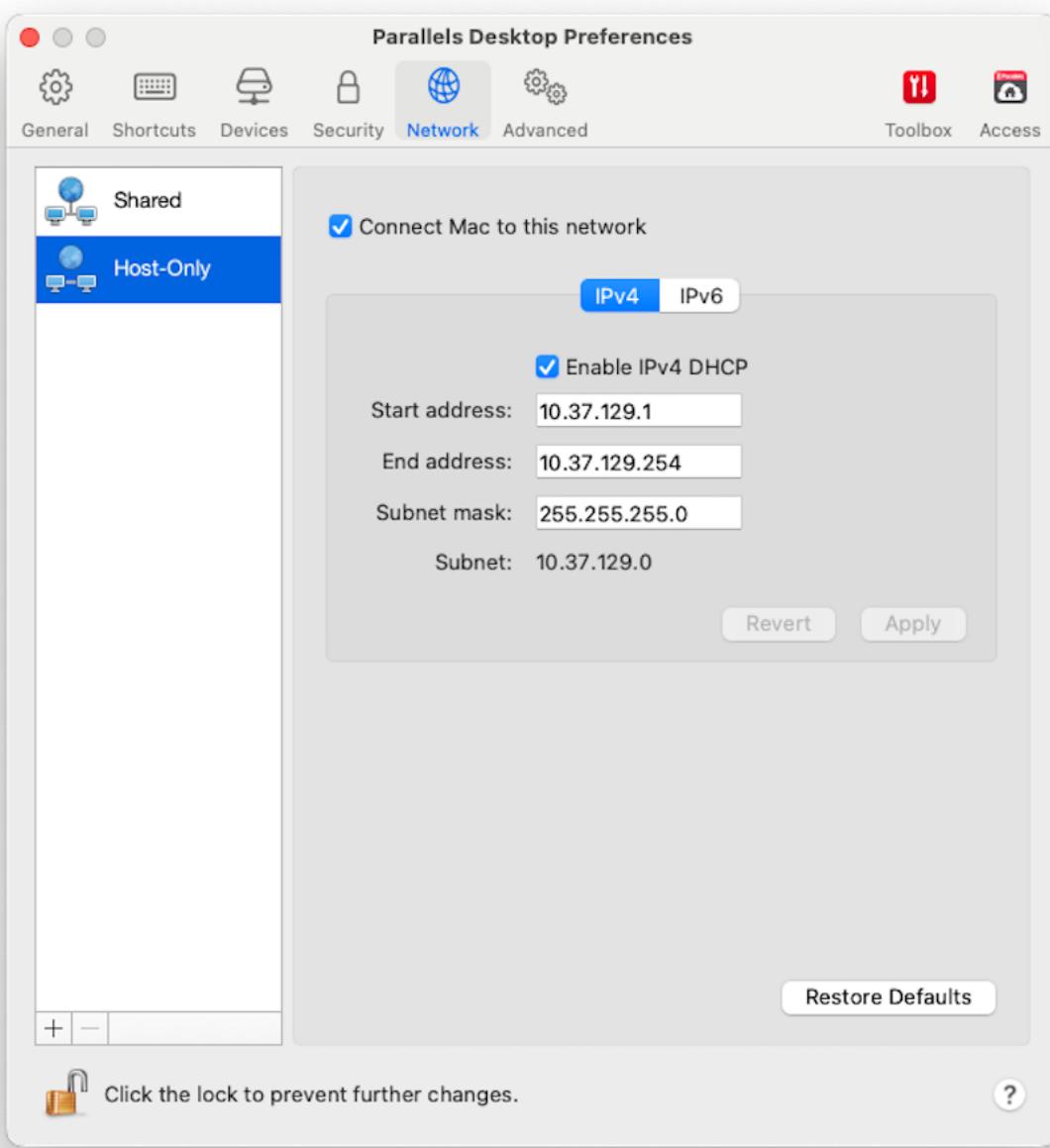
ルールを追加する場合、仮想マシンに対する外部接続には IP アドレスの組み合わせとして、<Mac の IP アドレス>:<受信ポート> を使用します。



ルールを編集するには、【ポートフォワーディングルール】リストでそのルールを選択し、[編集] ボタンをクリックします。必要な設定を変更後、[OK] をクリックして変更を適用します。

ポートフォワーディングルールを削除するには、【ポートフォワーディングルール】リストでそのルールを選択し、[削除] ボタン (-) をクリックします

ホストオンリネットワーク



仮想マシンがホストオンリネットワークに接続されているとき、その仮想マシンは Mac および Mac 上のその他の仮想マシンにアクセスできます。

ホストオンリネットワークの設定を変更するには、[ホストオンリ] をクリックして、IPv4 および IPv6 向けの **Parallels DHCP** サーバーの設定に必要な変更を加えます。これらのサーバーはデフォルトで有効になっており、ホストオンリネットワークモードで動作する仮想マシンに IP アドレスを自動的に割り当てます。なお、このネットワークでの Mac の IPv4 アドレスは 10.37.129.1 ではなく、10.37.129.2 となります。

[Mac をこのネットワークに接続する] チェックボックスをオフにすると、ネットワーク経由で仮想マシンから Mac にアクセスできなくなります。

新規のホストオンリネットワークを追加する

仮想マシン間のネットワークトラフィックを管理する必要がある場合、新規のホストオンリネットワークを追加できます。

新規のホストオンリネットワークを追加するには、[追加] ボタン (+) をクリックします。新規のホストオンリネットワークが追加されたら、必要な方法で設定を構成します。

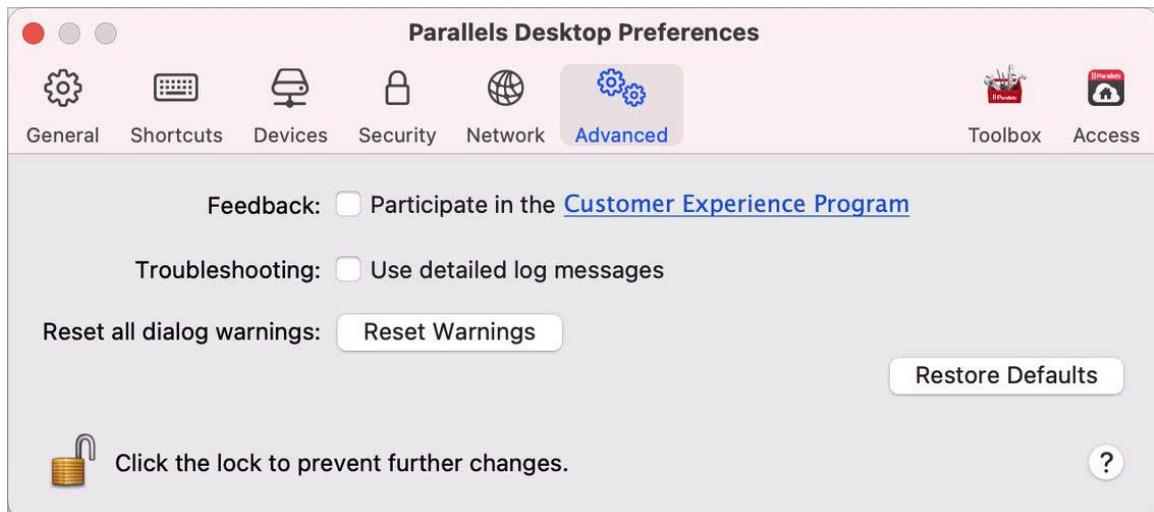
注: 新しいホストオンリネットワークの名前を変更するには、名前をダブルクリックして、別の名前を入力します。

カスタムホストオンリネットワークを削除するには、選択して [削除] ボタン (-) をクリックします

詳細な環境設定

[詳細] 環境設定を使用して、カスタマエクスペリエンスプログラムへの参加、非表示メッセージの再表示、および **Parallels Desktop** のより詳細なログファイルの作成が可能です。

これらの環境設定を開くには、[Parallels Desktop] > [環境設定] を選択し、[詳細] をクリックします。



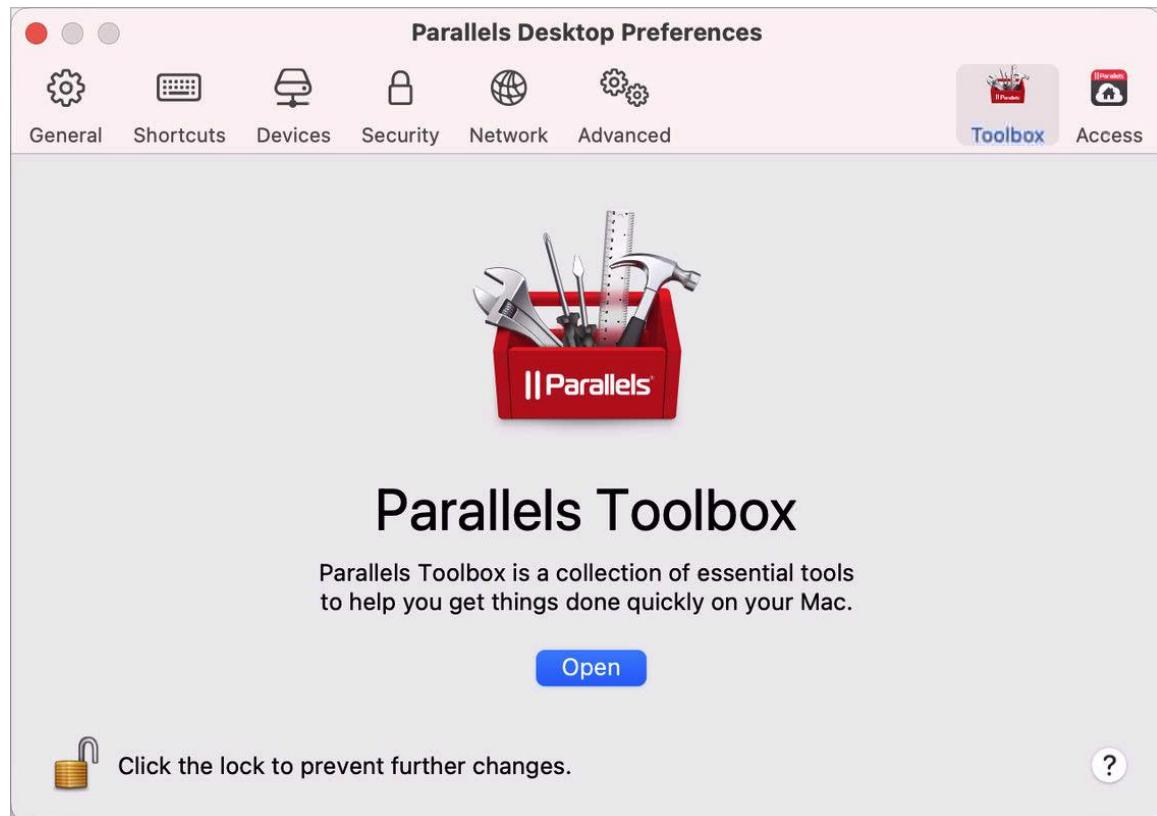
オプション	説明
フィードバック	<p>お客様のニーズにより適するように、Parallels Desktop の改善にご協力いただける場合は、[カスタマーエクスペリエンスプログラムに参加する] を選択してください。Parallels はご使用の Mac と仮想マシンの構成に関する情報を収集します。</p> <p>注: 名前、電子メール、住所、電話番号などの個人情報、およびキーボード入力は収集されません。</p>
トラブルシューティング	<p>Parallels Desktop はその動作中に、ログファイルを自動的に作成します。Parallels サポートチームは、このファイルを活用して問題の解決や製品の改善にあたります。[詳細ログメッセージを使用する] オプションを選択すると、Parallels Desktop はより詳細なログファイルの作成を開始します。これは Parallels サポートチームにとって有益なファイルとなりますが、ハードディスク領域の使用量が増加するだけでなく、システムのパフォーマンスが低下する可能性があります。Parallels サポートチームから依頼があるまで、このオプションを有効にすることはお勧めしません。</p>
すべてのダイアログ警告をリセット	<p>Parallels Desktop の一部のダイアログボックスやウィンドウには、[今後、このメッセージを表示しない] オプションが表示されます。このオプションを選択すると、次に同じ操作を実行した場合にこのダイアログボックスが表示されなくなります。[警告をリセット] ボタンを使用して、このオプションが選択されているすべてのダイアログボックスやウィンドウをリセットすると、その操作を開始するたびに再びメッセージが表示されるようになります。</p>

Parallels Toolbox

Parallels Desktop のお客様は Parallels Toolbox の無償サブスクリプションを利用できます。毎日のタスクを大幅に簡素化するツールのセットです。

注: App Store エディションの Parallels Desktop には、Parallels Toolbox の無料サブスクリプションは付属していません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

[Toolbox] タブから、Mac に Parallels Toolbox をインストールできます。これらの環境設定を開くには、[Parallels Desktop] > [環境設定] を選択し、[Toolbox] をクリックします。



Parallels Toolbox がインストールされていない場合は、[インストール] をクリックします。Parallels Toolbox がすでにインストールされている場合は、[開く] をクリックして、ツールのリストを開きます。

Parallels Toolbox を使えば、多数の機能をワンクリックで実行できます。

- ・ インターネットからビデオをダウンロード、
- ・ スクリーンショットを取得、
- ・ 画面を録画、
- ・ 音声を録音、
- ・ マイクをミュート、
- ・ カメラを無効にする、
- ・ その他多数の機能

Parallels Toolbox について詳しくは、Parallels Toolbox の Web ページ
<https://www.parallels.com/products/toolbox/> を参照してください

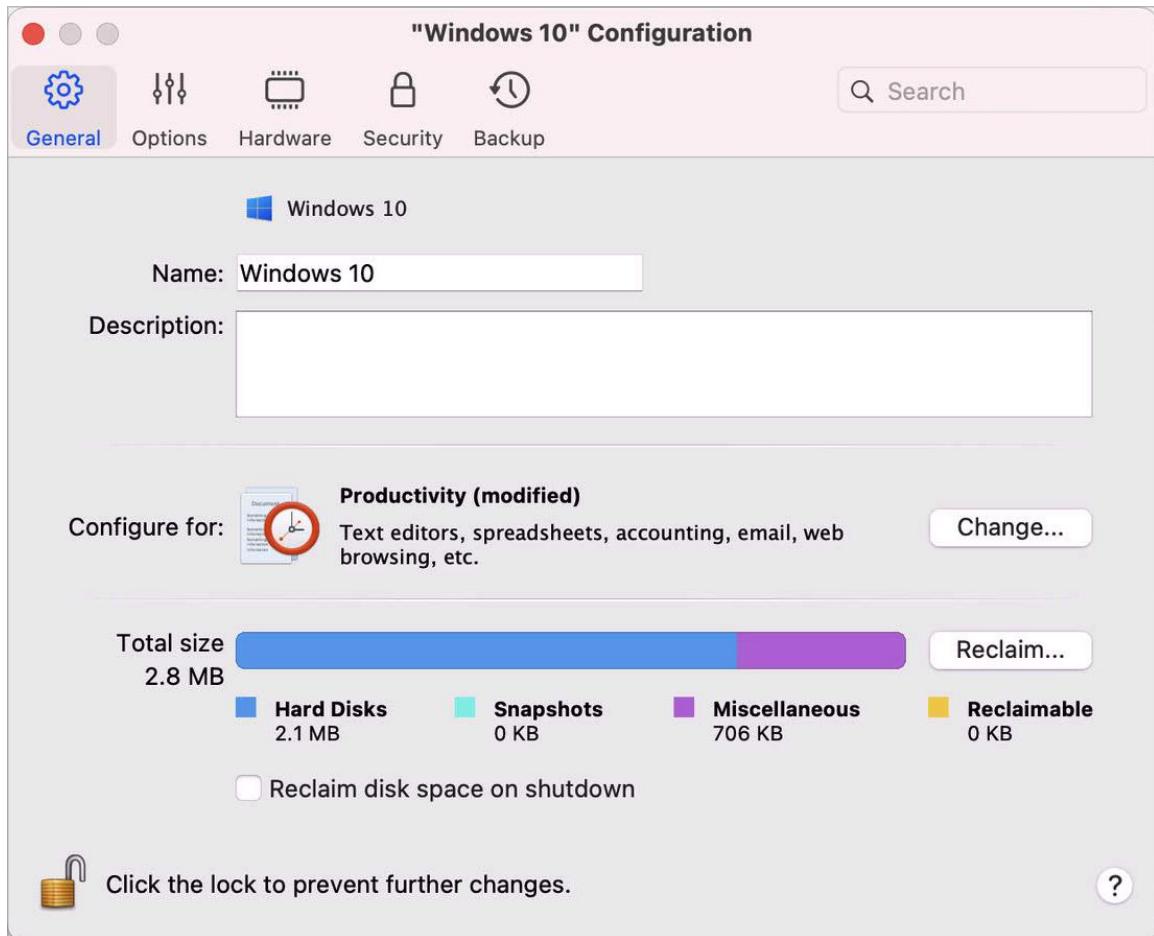
仮想マシン設定

このセクションでは、Parallels Desktop で使用可能なすべての仮想マシン設定について説明します。

一般設定

仮想マシンの構成の [一般] タブで、仮想マシン名の編集、ニーズに合わせた仮想マシンの構成、仮想マシンサイズの削減などを行うことができます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] を選択し、[一般] をクリックします。



オプション	説明
ゲスト OS の種類	ゲスト OS の種類とバージョンを変更するには、[一般] タブの上部にあるメニューをクリックします。この操作を行う前に、オペレーティングシステムのアップグレード（Windows 7 から Windows 10 など）が必要になる場合があります。このメニューに示される OS は、仮想マシンに実際にインストールされている OS と一致する必要があります。一致していない場合は、Parallels Tools が正しく機能しない場合があります。
名前	このフィールドで、仮想マシン名を編集できます。
説明	このフィールドを使用して、仮想マシンの説明を追加します。この説明は、Control Center で仮想マシン名と一緒に表示されます。
仮想マシンの構成	このオプションを使用して、ニーズに合ったプロファイル（p. 134）を選択します。[変更] をクリックして、仮想マシンの通常の用途を選択します。仮想マシンの設定が、ニーズに応じて最適化されます。

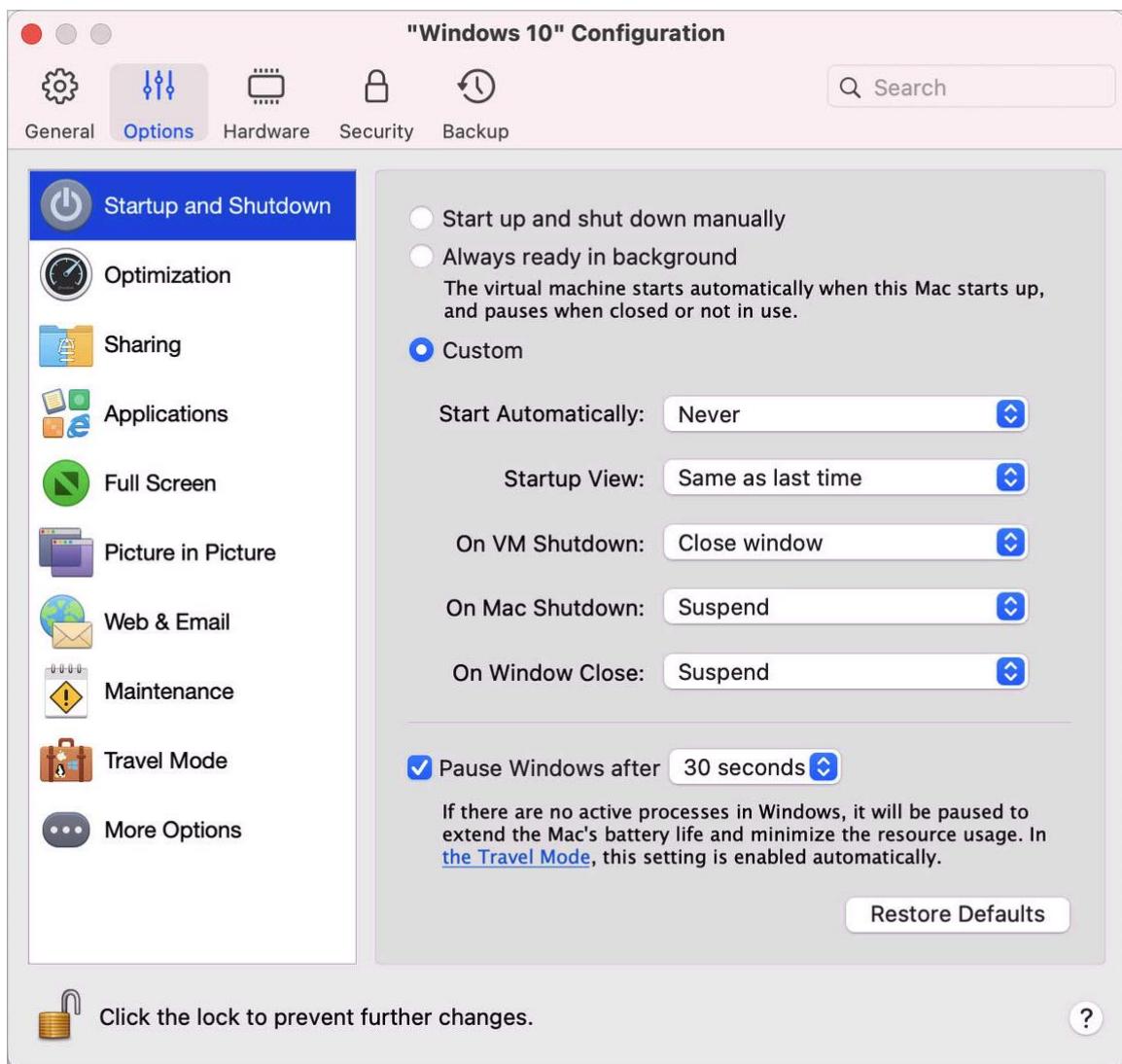
合計サイズ	[再利用] をクリックすると、仮想マシンのハードディスクが圧縮され、不要なファイルが削除されてディスク領域が解放されます。
シャットダウン時にハードディスク領域は再利用されます	このオプションを選択して、仮想マシンの毎回のシャットダウン時に自動的にディスク領域を解放します。

オプション

起動と終了の設定

[起動と終了] ペインでは、仮想マシンの起動と終了の方法を構成できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [オプション] を選択し、[起動と終了] をクリックします。



オプション	説明
マニュアル起動とシャットダウン	仮想マシンを常に手動で起動、終了する場合に、このオプションを選択します。
常にバックグラウンドで待機	Mac が起動するとき、自動的に仮想マシンを起動させたい場合は、このオプションを選択します。

カスタム	<p>仮想マシンの起動、終了方法のみでなく、表示モードと、仮想マシンウィンドウを閉じるときの動作を指定する場合は、[カスタム] を選択し、次を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動的にスタート: 仮想マシンを自動的に起動させるかどうかを設定する場合に、このメニューを使用します。 <ul style="list-style-type: none"> 使用しない: 仮想マシンを自動的に起動しません。 ウィンドウを開いたとき: コントロールセンターから仮想マシンを開いたときに、仮想マシンを自動的に起動します。 Parallels Desktop を起動したとき: Parallels Desktop を起動したとき、仮想マシンが自動的に起動します。 Mac の起動時。Mac を起動したときに、仮想マシンが自動的に起動します。このオプションを選択すると、仮想マシンの起動を遅らせるように構成することもできます。 ユーザーがログインするとき。macOS ユーザーが Mac のスタートアップで macOS にログインすると、Windows は自動的に起動します。 スタートアップ表示: このメニューを使用すると、仮想マシンまたはゲスト OS アプリケーションを開始したときに仮想マシンをどの表示モードで起動するかを選択できます。 VM のシャットダウン時: 仮想マシンの終了時の動作を設定する場合に、このメニューを使用します。 <ul style="list-style-type: none"> ウィンドウを開いたままにする: 仮想マシンが別のウィンドウに表示されるよう設定されている場合は、仮想マシンを停止またはシャットダウンしても、ウィンドウは開いたままになります。 ウィンドウを閉じる: 仮想マシンが別のウィンドウに表示されるよう設定されている場合は、仮想マシンを停止またはシャットダウンすると、ウィンドウは閉じられます。 Parallels Desktop を終了する: 仮想マシンを停止またはシャットダウンすると、Parallels Desktop も終了します。 Mac のシャットダウン時。このメニューを使用して、Mac をシャットダウンしたときの動作を指定します（Parallels Desktop for Mac Pro と Business Editions のみ）。
------	---

	<ul style="list-style-type: none">・ ウィンドウを閉じたとき: Parallels Desktop ウィンドウを閉じたときの動作を設定する場合に、このメニューを使用します。これらの設定は、仮想マシンが別のウィンドウに表示されるよう設定されている場合の動作にのみ影響します。
指定時間後に Windows を一時停止	Windows にアクティブなプロセスがない場合でも、Mac の CPU リソースを消費します。このオプションを選択して、非アクティブな時間を指定すると、その時間の経過後に Windows が自動的に一時停止されます。そうすることで、Windows のサービスによって使用される CPU リソースが減少し、バッテリーを節約して環境を保護することができます。

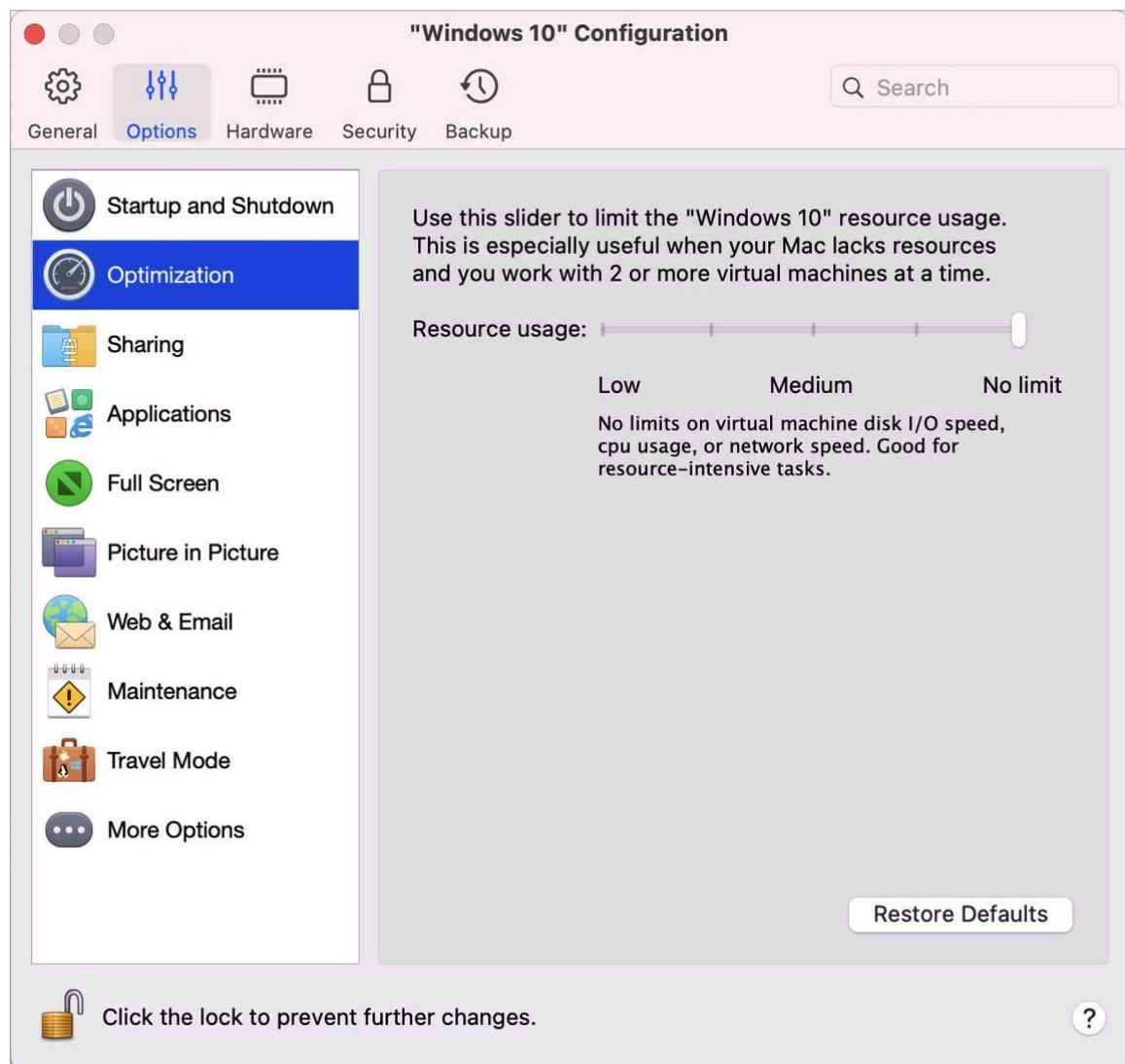
最適化設定

[最適化] ペインで、仮想マシンのリソース使用量を制限できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [オプション] を選択し、[最適化] をクリックします。

Parallels Desktop 環境設定と仮想マシン設定

注: このタブは Parallels Desktop for Mac Pro Edition と Business Edition でのみ利用できます。

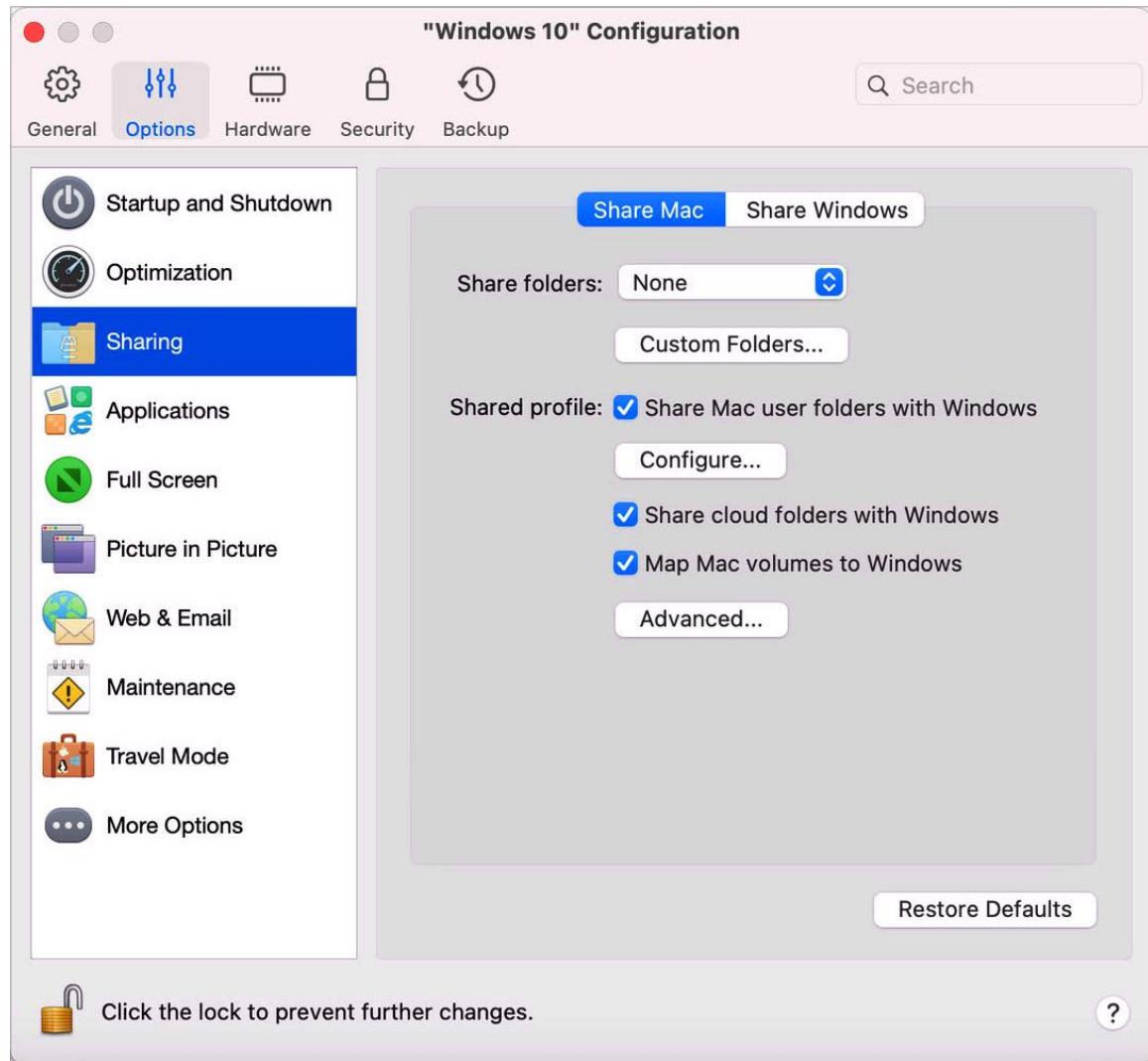


オプション	説明
リソース使用量	Mac に 2 つ以上の仮想マシンを同時に実行できるだけのリソースがない場合は、より重要な作業を行っている仮想マシンでさらに多くのリソースを使用できるように、仮想マシンのリソース使用率を制限できます。スライダーを [低]、[中]、および [無制限] の間でドラッグします。この設定を変更しても Windows のパフォーマンスに満足できない場合は、別の設定をお試しください。

共有設定

[共有] ペインで、仮想マシンの共有設定を表示および構成できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [オプション] を選択し、[共有] をクリックします。



Mac を共有する

オプション	説明
Mac のカスタムフォルダーを Windows と共有する	<p>フォルダー共有が有効になると、共有されている macOS フォルダーに Windows アプリケーション内からアクセスできます。ファイルを開くと（たとえば、多くのアプリケーションでは [ファイル] > [開く] を選択する）、共有されている macOS フォルダーは "\Mac" とラベルの付いたネットワーク共有ディレクトリとして表示されます。</p> <p>macOS フォルダーを Windows アプリケーションと共有できるようにするには、以下のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームフォルダー内のフォルダーのみを共有するには [Windows と任意の Mac フォルダーを共有する] を有効にし、[フォルダーの管理...] をクリックします。その後ホームフォルダーを選択して、[OK] をクリックします。macOS のすべてのフォルダーを共有するには、Mac の名前のフォルダーを選択し、[OK] をクリックします。 任意のフォルダーを共有するには、[フォルダーを管理...] をクリックし、追加 (+) ボタンをクリックして、共有するフォルダーを選択します。追加 (+) ボタンを再度クリックすると、他のフォルダーも追加できます。macOS フォルダーを Windows と共有すると、次のことを行えるようになります。 <ul style="list-style-type: none"> [オン] を選択解除し、フォルダーの共有を無効にする。 [名前] カラムでフォルダーネームをダブルクリックし、別の名前を入力して、Windows に表示されるフォルダーネームを変更する。 [権限] フォルダーで [読み取りおよび書き込み] をクリックして [読み取り専用] を選択することにより、このフォルダーへの書き込みを制限する。これにより、フォルダーにアイテムを追加できなくなります。

Mac および Windows ユーザーフォルダのミラーリング

ミュージック、ドキュメント、ピクチャ、デスクトップ、削除されたファイルなどに対し、macOS と Windows で同じフォルダーを使用するよう設定できます。たとえば、Documents フォルダーにファイルを保存すると、macOS アプリケーションを使っていても、Windows アプリケーションを使っていても、ファイルは Documents フォルダーに保存されます。

この機能を有効にするには、[Mac および Windows ユーザーフォルダのミラーリング] を選択します。

macOS の [デスクトップ]、[Documents]、[ピクチャ]、[ミュージック]、[ムービー]、および [Downloads] フォルダーを、対応する Windows のフォルダーと結合できます。

一部のフォルダーのみをマッピングする場合は、[カスタマイズ] をクリックし、必要なフォルダーを選択します。

[クラウドフォルダーを Windows と共有]
(macOS 仮想マシンでは、このオプションは、[クラウドフォルダーを Windows と共有] と呼ばれます)

iCloud、Dropbox、Google Drive をクラウドストレージとして macOS で使用している場合、これらのストレージの macOS フォルダーを Windows と簡単に共有することができます。共有を有効にすると、Windows 内部からこれらのサービスに保存したファイルをアップロード、ダウンロード、同期できるようになり、ハードディスクにファイルのコピーを作成する必要はありません。

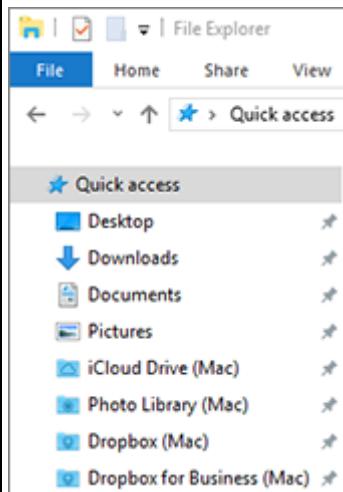
macOS iCloud、Dropbox、Google Drive フォルダーを Windows と共有するには、以下の操作を行います。

注: Parallels Desktop for Mac Pro Edition では、Dropbox for Business および Box のフォルダーを Windows と共有できます。

macOS で iCloud、Dropbox、Google Drive をまだ設定していない場合、セットアップします。

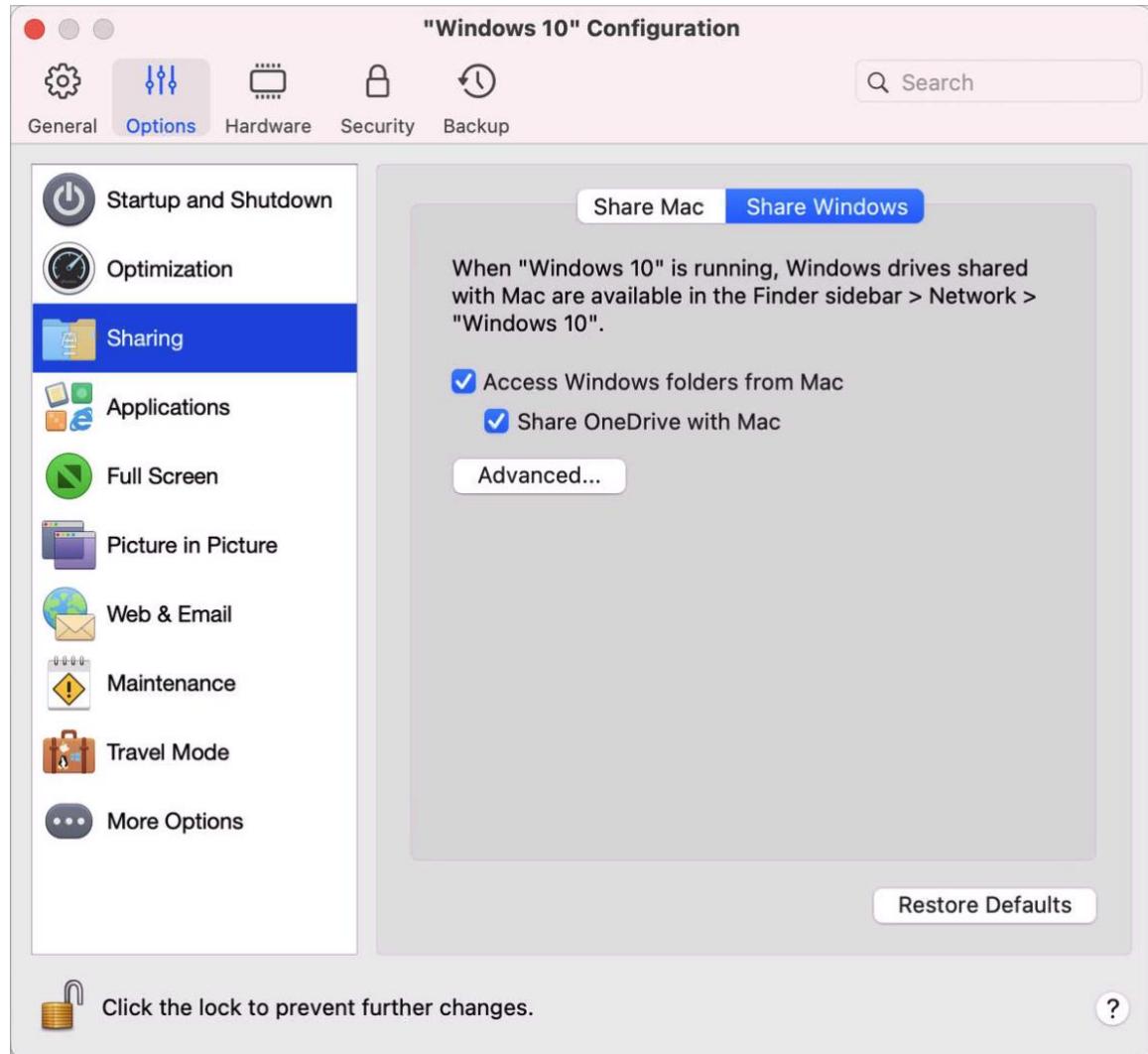
[クラウドフォルダーを Windows と共有] を選択します。

Windows にログインし、コンピューターを開きます。iCloud、Dropbox、Google Drive 用のフォルダーは [クイックアクセス] (または [お気に入り]) セクションで利用できます。これらを使用して、ファイルをクラウドにアップロードしたり、クラウドからダウンロードしたりできます。



<p>[Mac のボリュームを Windows に割り当てる] (macOS 仮想マシンでは、このオプションは、[Mac のボリュームを Windows に割り当てる] と呼ばれます)</p>	<p>USB デバイスなどの外部ストレージデバイスを Mac に接続すると、macOS アプリケーションからコンテンツにアクセスできます。</p> <p>自動的にストレージデバイスおよびボリュームを Windows にマウントするよう Parallels Desktop で設定できます。そうすると、macOS と Windows の両方からコンテンツにアクセスできます。</p> <p>次のアイテムを Windows にマウントできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> リムーバブルドライブ: USB ハードディスクや USB フラッシュドライブなどの外部ストレージデバイス。 CD/DVD ドライブ: CD および DVD ドライブ、またはマウントされた CD/DVD イメージ。 ネットワークフォルダー: ネットワークで共有されるフォルダー。 <p>これらのアイテムを Windows に自動的にマウントするには、[Mac のボリュームを Windows に割り当てる]を選択します。</p> <p>ストレージデバイスまたはボリュームを接続すると、ネットワークドライブとしてマウントされます。たとえば、Mac に差し込まれた USB フラッシュドライブは、macOS の /Volumes フォルダーおよび Windows の [マイコンピューター] の両方からアクセスできます。</p>
<p>[ドライブ文字を共有フォルダーに割り当てる] (Parallels Desktop for Mac Pro と Business Editions のみ)</p>	<p>Windows と共有するすべての Mac フォルダーにドライブ文字を割り当てるには、このオプションを選択します。Mac 共有フォルダーに文字があると、Windows で容易にアクセスできます。このようなフォルダーは、[エクスプローラー]の [PC] セクションに表示されます。</p>
<p>[実行ファイルの作成を許可する] (Parallels Desktop for Mac Pro と Business Editions のみ)</p>	<p>Windows と共有するすべての Mac フォルダーで実行可能ファイルを作成するには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、新しく作成したすべてのファイルが実行可能になります。</p>
<p>[DOS 8.3 ファイル名を有効にする] (Parallels Desktop for Mac Pro と Business Editions のみ)</p>	<p>macOS で作成されたファイルには DOS 8.3 の名前がなく、一部の Windows アプリケーションはこのようなファイルでは正しく動作しません。Windows と共有するすべての Mac フォルダーにあるファイルに DOS 8.3 の名前を追加で作成するには、このオプションを選択します。</p>

Windows を共有する



オプション	説明
[Mac から Windows フォルダーへのアクセス]	Mac から Windows フォルダーへのアクセスを許可するには、このオプションを選択します。

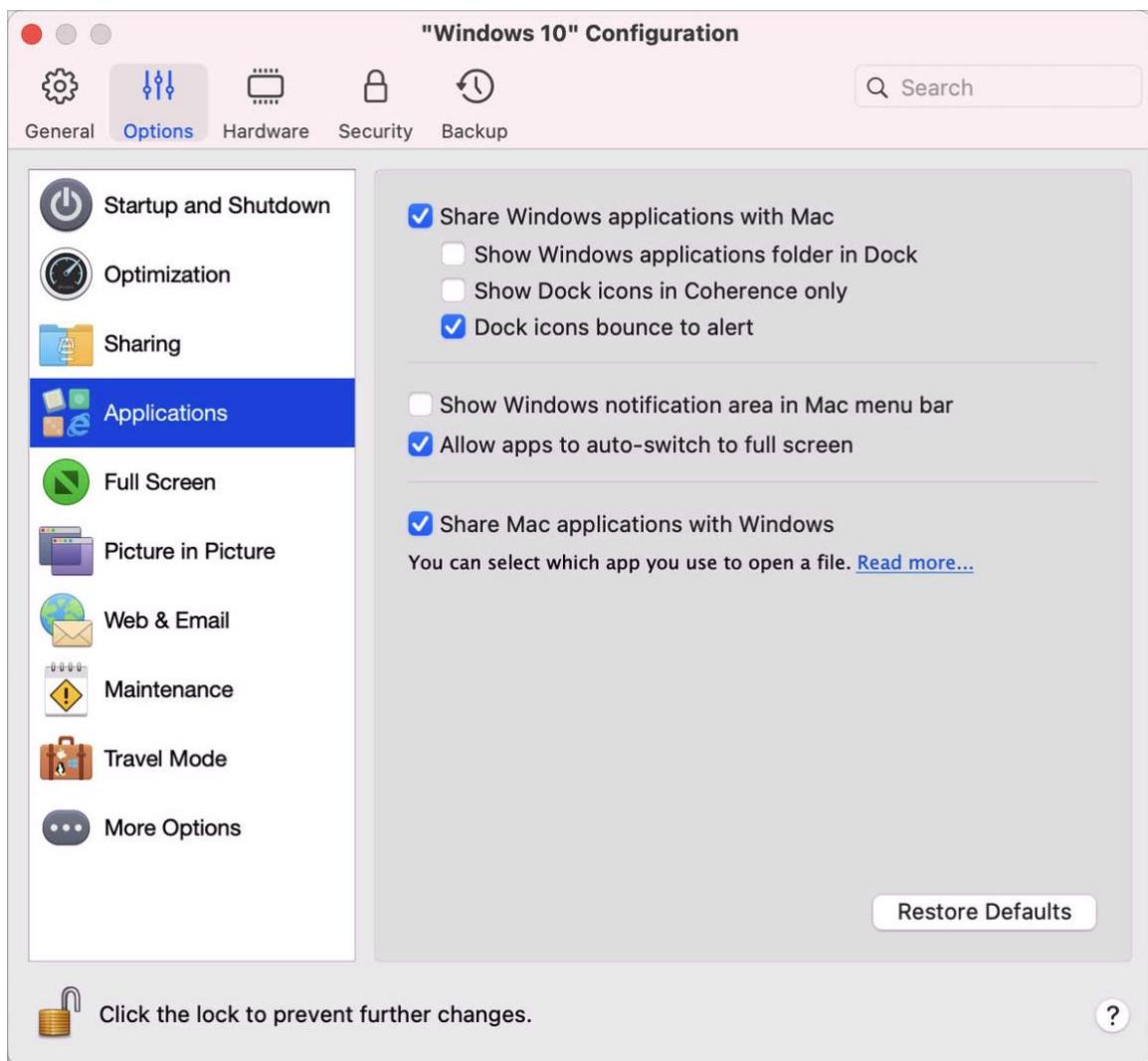
<p>OneDrive を Mac と共有する</p>	<p>Microsoft OneDrive を使用してクラウドにファイルを保存している場合は、OneDrive フォルダーを macOS と簡単に共有できます。その後、macOS で OneDrive ファイルをアップロードまたはダウンロードできます。その際、ハードディスクでファイルを複製する必要はありません。</p> <p>注: OneDrive フォルダーを macOS と共有するには、Windows に OneDrive デスクトップアプリをインストールする必要があります。プリインストールされた OneDrive アプリでは、OneDrive フォルダーを共有できません。これは、このアプリがローカルディレクトリを作成せず、クラウドストレージと直接連携するためです。</p> <p>Windows OneDrive フォルダーを macOS と共有するには、次の手順に従います。</p> <p>OneDrive を Windows でまだセットアップしていない場合、まずセットアップします。</p> <p>[Mac から Windows フォルダーへのアクセス] を選択し、[OneDrive を Mac と共有する] を選択します。</p> <p>macOS の Finder で、[Finder] > [環境設定] を選択し、[接続しているサーバー] を選択します。</p> <p>選択すると、Microsoft OneDrive フォルダーが macOS デスクトップにハードディスクとして表示されます。これらを使用して、ファイルを OneDrive にアップロードしたり、OneDrive からダウンロードしたりできます。</p> <p>注: これらの共有フォルダーが macOS デスクトップに表示され、これを使用して macOS からファイルをアップロードできるのは、Windows の実行中だけです。</p>
<p>[Windows ネットワークドライブを Mac と共有] (Parallels Desktop for Mac Pro と Business Editions のみ)</p>	<p>選択すると、Windows でネットワークドライブに接続したとき、これらのドライブが macOS で利用できるようになります。そのドライブにアクセスするには、[Finder] サイドバー > [共有] セクションを選択し、仮想マシンの名前をクリックします。</p> <p>注: macOS 10.14 Mojave でこれらのドライブにアクセスするには、Finder サイドバー > [ネットワーク] セクションの順に移動して、仮想マシンの名前をクリックします。</p>

Windows 接続ドライブを Mac と共有	選択すると、Windows に外部ドライブを接続したとき、これらのドライブが macOS で利用できるようになります。そのドライブにアクセスするには、[Finder] サイドバー > [共有] セクションを選択し、仮想マシンの名前をクリックします。
	<p>注: macOS 10.14 Mojave でこれらのドライブにアクセスするには、Finder サイドバー > [ネットワーク] セクションの順に移動して、仮想マシンの名前をクリックします。</p>

アプリケーション設定

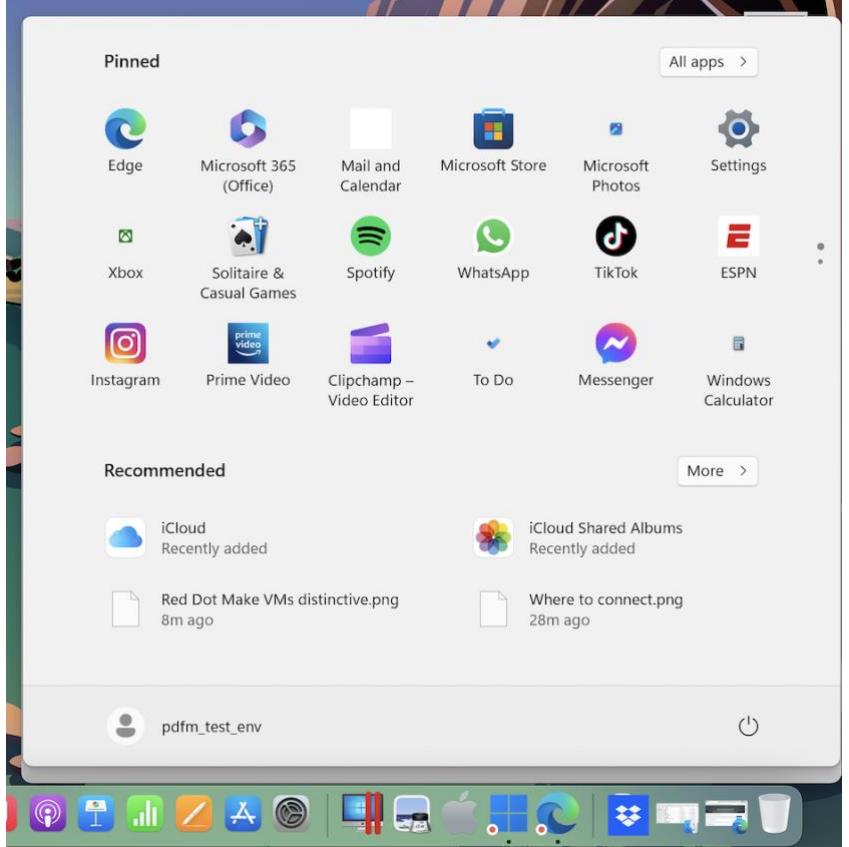
[Applications] ペインで、Windows アプリケーションを macOS と共有し、macOS アプリケーションを Windows と共有するかどうかを選択する、Windows アプリケーションを含むフォルダーを Dock に追加する、Dock でアラート時に Windows アプリケーションがバウンドするかどうかを設定することができます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [オプション] を選択し、[アプリケーション] をクリックします。



オプション	説明
Windows アプリケーションを Mac と共有する	Windows アプリケーションの共有が有効になっていると、macOS の Finder から Windows アプリケーションを開くことができます。また、すべての Windows アプリケーションを含むフォルダーを Dock に追加すると簡単にアクセスできます。

Parallels Desktop 環境設定と仮想マシン設定

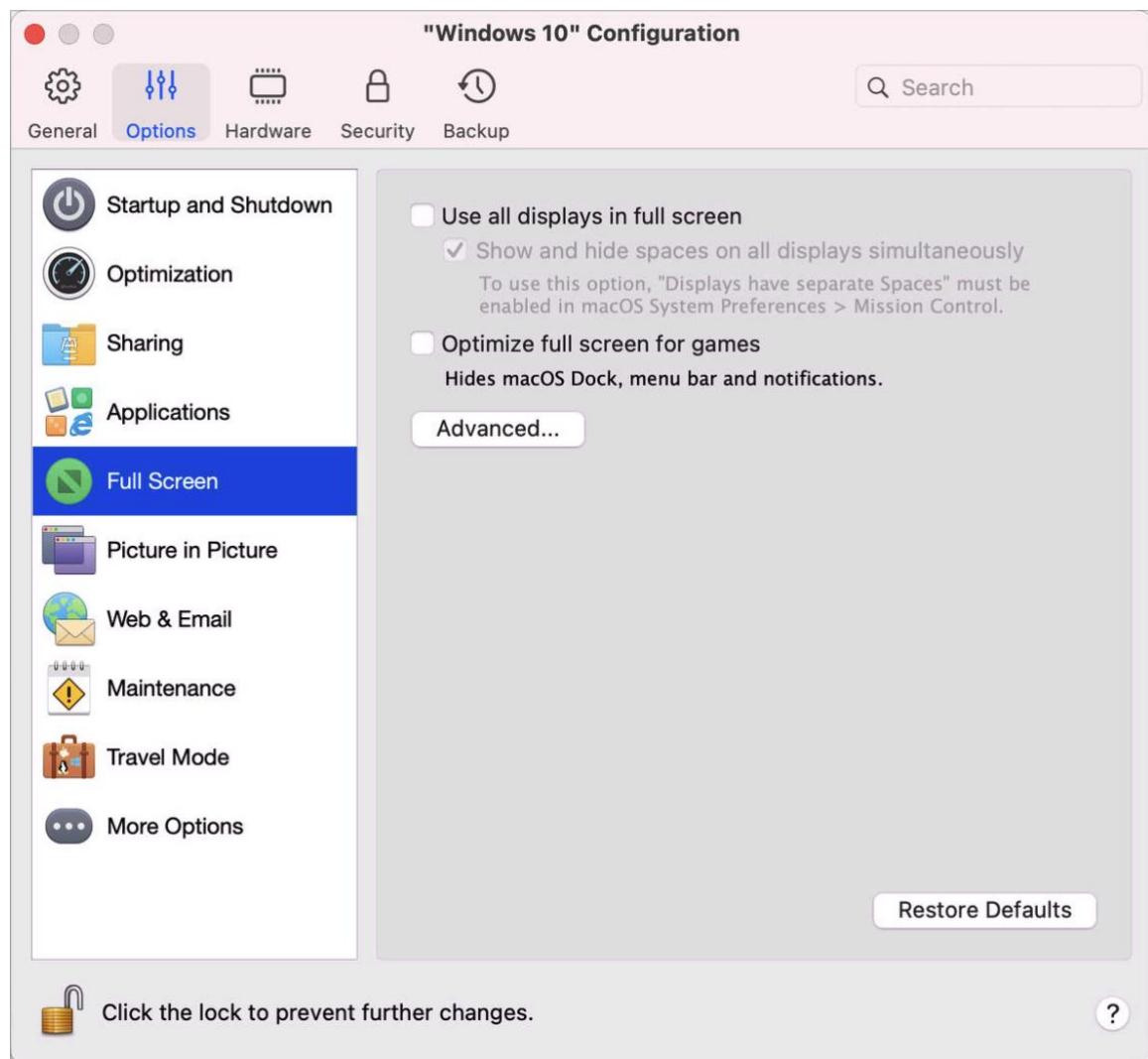
<p>Dock に Windows アプリケーションフォルダーを表示する</p>	<p>Windows アプリケーションフォルダーを Dock に追加するには、このオプションを選択します。</p> <p>このフォルダーは macOS の Dock にあり、Windows アプリケーションがすべて含まれています。さらにアプリケーションをインストールすると、そのアプリケーションも自動的に追加されます。</p>  <p>Windows アプリケーションフォルダーを使用して、Windows アプリケーションを開くには、フォルダーをクリックし、アプリケーションを選択します。</p>
Dock アイコンを Coherence でのみ表示する	ウィンドウモードまたはフルスクリーンモードのときに、macOS Dock に Windows アプリケーションのアイコンを表示するかどうかを選択できます。アプリケーションを Windows デスクトップで操作する場合は、混乱をきたさないよう、Dock の macOS アプリケーションのアイコンの隣にアプリケーションを表示したくないことがあります。

Dock アイコンがバウンドしてアラート	Windows タスクバーで Windows アプリケーションアイコンが点滅して Skype の新規メッセージや Microsoft Outlook の通知をアラートするとき、デフォルトでは macOS の Dock でも当該アイコンがバウンドします。Windows アプリケーションアイコンのバウンドによるアラートを有効または無効にするには、[Dock アイコンがバウンドしてアラート] を選択するか、選択を解除します。
Mac メニューバーに Windows 通知領域を表示する	このオプション選択すると、macOS メニューバーに Windows システムトレイのアイコンが表示されます。
アプリケーションのフルスクリーンへの自動切り替えを許可する	一部のアプリケーション（特に 3D ゲーム）は、フルスクリーンで表示するのが最適です。Coherence ビューモードでこのようなアプリケーションを開き、フルスクリーン表示にするには、このオプションを選択します。
Mac アプリケーションを Windows と共有する	このオプションは、macOS アプリケーションを共有する場合に選択します。有効にすると、Windows または Windows アプリケーションから macOS アプリケーションを開くことができます。

フルスクリーン設定

[フルスクリーン] ペインで、このビューモード関連の設定を構成できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [オプション] を選択し、[フルスクリーン] をクリックします。



オプション	説明
フルスクリーンですべてのディスプレイを使用	<p>Mac に 2 台目のディスプレイが接続されている場合、フルスクリーンモードに切り替えたとき、デフォルトでは Windows が 1 つのディスプレイにのみ表示されます。</p> 
	<p>ウィンドウをディスプレイにドラッグし、緑のフルスクリーンアイコンをクリックすると、Windows を表示するディスプレイを選択できます</p> <p>ディスプレイすべてに Windows を表示するには、[フルスクリーンですべてのディスプレイを使用] を選択します。</p> 
すべてのディスプレイで同時に領域を表示するまたは隠す	<p>[フルスクリーン] に切り替えたとき、すべてのディスプレイに仮想マシンを表示するように選択した場合は、[すべてのディスプレイで同時に領域を表示するまたは隠す] も選択できます。</p>
	<p>このオプションを選択している場合は、いずれかのディスプレイで仮想マシンをクリックすると、他のすべてのディスプレイに仮想マシンが表示されます。また、いずれかのディスプレイでフォーカスの切り替えを行った場合、仮想マシンの領域は他のすべてのモニターで非表示になります。</p>
ゲーム用のフルスクリーンに最適化	<p>仮想マシンを使用してフルスクリーン表示モードでビデオゲームをプレイする場合、[ゲーム用のフルスクリーンに最適化] を選択します。このオプションを選択すると、macOS Dock、メニューバー、通知が表示されません。マウス入力を解放するには、Ctrl+Alt キーを押します。</p>
Windows のガンマ設定を使用する	<p>仮想マシンを使用してビデオゲームをプレイする場合、さまざまな視覚効果を適切に表示するために仮想マシンで Mac のディスプレイガンマの設定を一時的に変更しなければならない場合があります。仮想マシンでガンマ設定の変更を許可するには、[Windows のガンマ設定を使用する] を選択します。このオプションは、フルスクリーン表示モードでのみ動作します。</p>

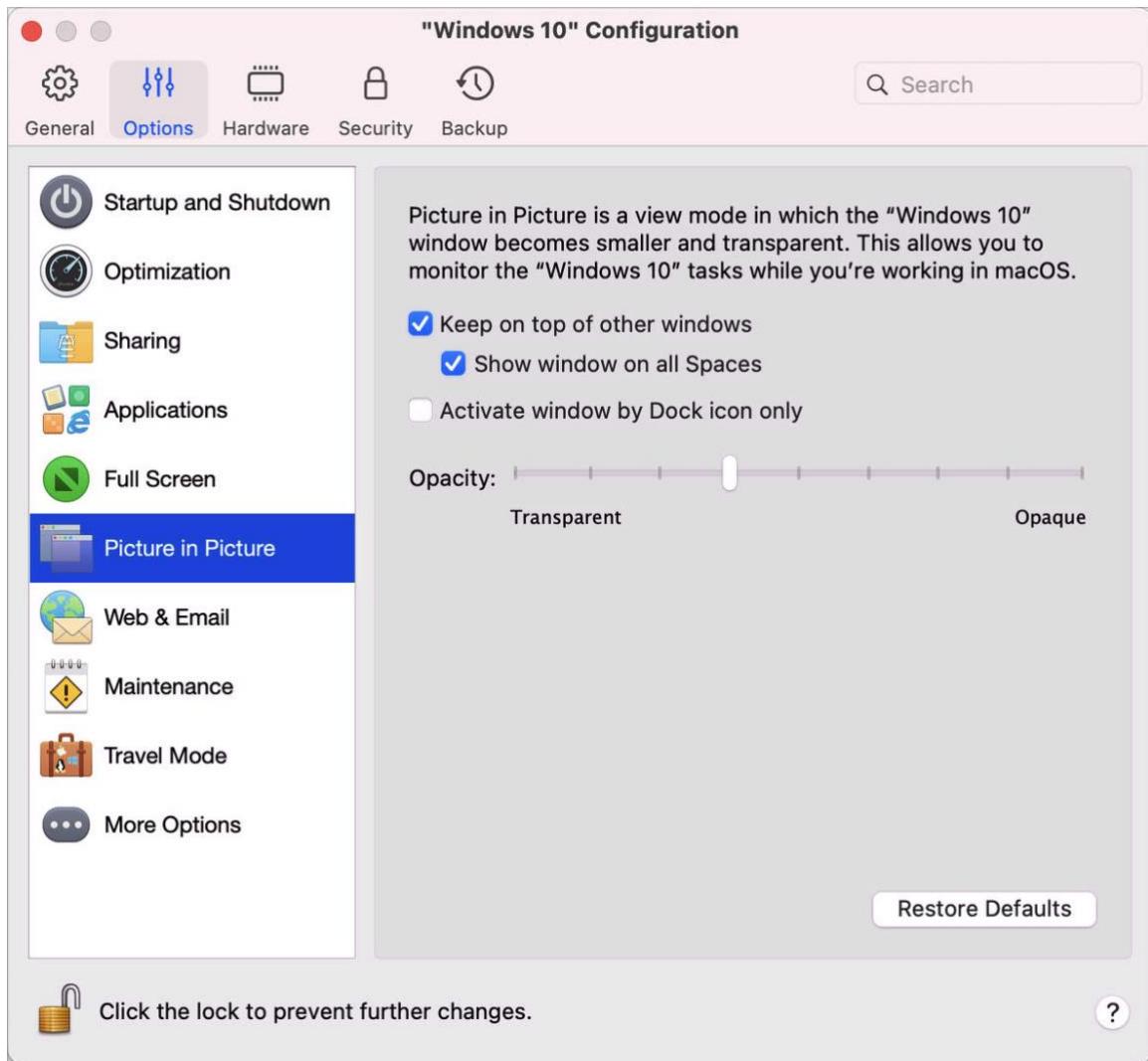
画面に合わせてスケール	<p>このメニューを使用して、フルスクリーンで作業するときの仮想マシンの表示方法を構成します。</p> <ul style="list-style-type: none">オフ: Parallels Tools がインストールされている場合は、仮想マシンの解像度は Mac の解像度に合わせられます。Parallels Tools がインストールされていない場合は、仮想マシンの解像度は変更されません。Mac の解像度よりも低い場合は、仮想マシンは黒の背景に表示されます。Mac の解像度よりも高い場合は、仮想マシンにはスクロールバーが表示されます。自動: Parallels Tools がインストールされている場合は、仮想マシンの解像度は Mac の解像度に合わせられます。Parallels Tools がインストールされていない場合は、仮想マシンの解像度は変更されません。Mac の解像度よりも低い場合は、仮想マシンは黒の背景に表示されます。Mac の解像度よりも高い場合は、仮想マシンはスクロールバーなしで画面全体に表示されます。比率を保つ: Parallels Tools がインストールされているかどうかにかかわらず、仮想マシンの解像度は変更されません。Mac の解像度よりも低い場合は、仮想マシンは黒の背景に表示されます。Mac の解像度よりも高い場合は、仮想マシンはスクロールバーなしで画面全体に表示されます。拡張: Parallels Tools がインストールされているかどうかにかかわらず、仮想マシンの解像度は変更されませんが、仮想マシンは拡大され、画面全体に表示されます。
-------------	--

ピクチャ・イン・ピクチャ設定

[ピクチャ・イン・ピクチャ] ペインで、この表示モード関連の設定を構成できます

◦

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [オプション] を選択し、[ピクチャ・イン・ピクチャ] をクリックします。



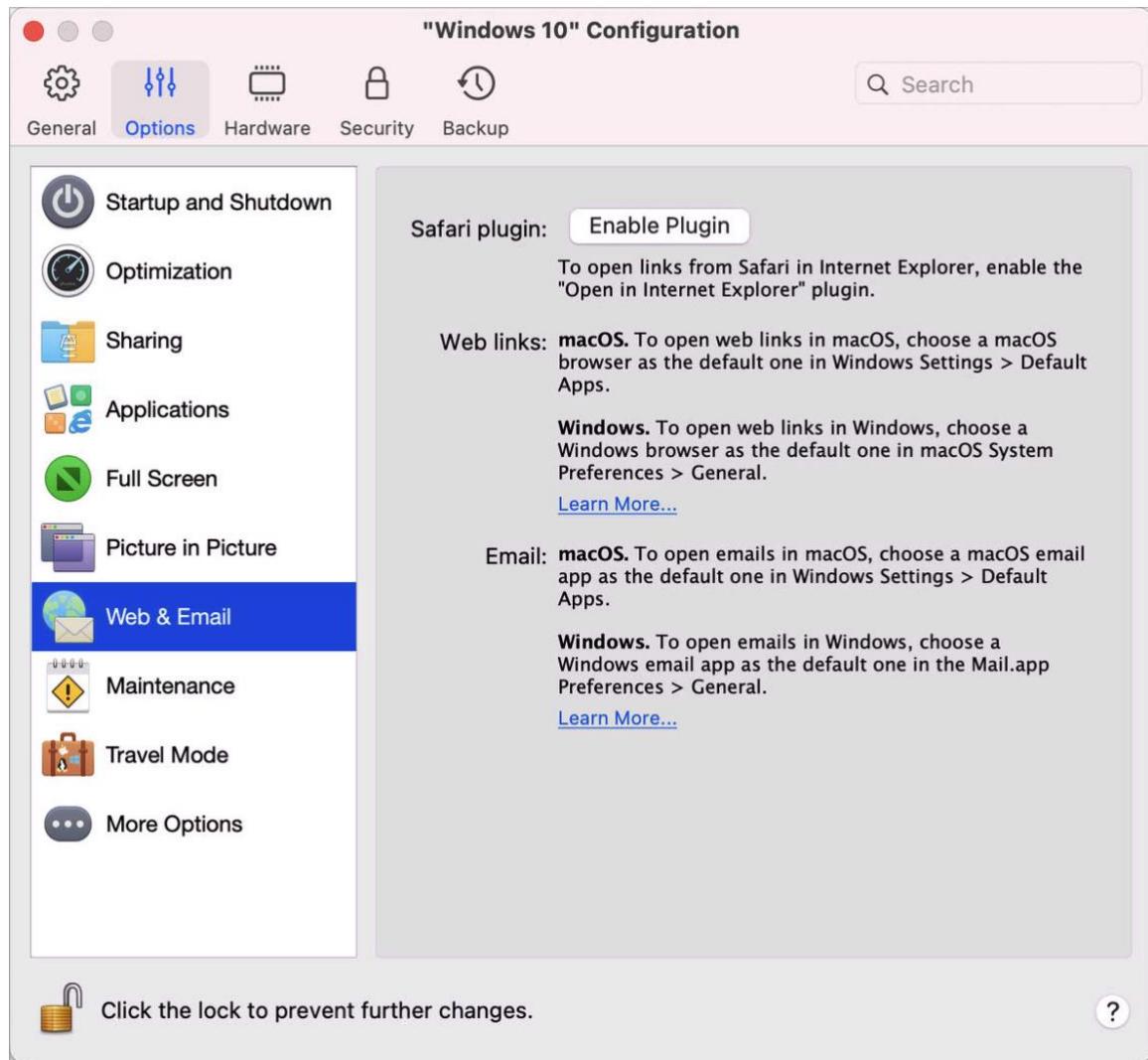
オプション	説明
不透明度	ピクチャ・イン・ピクチャモードでは、仮想マシンのウィンドウはデフォルトで透明になります。[透明] と [不透明] の間でスライダーをドラッグして、[不透明度] フィールドで可視性のレベルを指定できます。
常に他のウィンドウの前面に表示する	仮想マシンがピクチャ・イン・ピクチャモードの場合に、この他の開かれているすべてのウィンドウの前面にこの仮想マシンが表示されないようにするには、このオプションをオフにします。

すべての操作スペースにウィンドウを表示	仮想マシンのウィンドウをすべてのスペースに表示しないようにするには、このオプションをオフにします。
Dock アイコンのみでウィンドウをアクティブ化	仮想マシンのウィンドウを非アクティブにするには、このオプションを選択します。選択したら、ウィンドウをクリック「スルー」します。ウィンドウを再度アクティブにしてマウスまたはキーボードによる入力をキャプチャするには、Dock 内の仮想マシンのアイコンをクリックします。

ウェブとメール設定

[ウェブとメール] ペインで、Microsoft Edge で Web ページを開くための Safari のプラグインを有効化できます。また、Windows で開いたリンクやメールを macOS の Web ブラウザーやメールアプリで常に開くように設定する方法や、その逆の方法 (p. 74) もご確認いただけます。

このペインを開くには、[処理] > [構成] > [オプション] を選択し、[ウェブとメール] をクリックします。

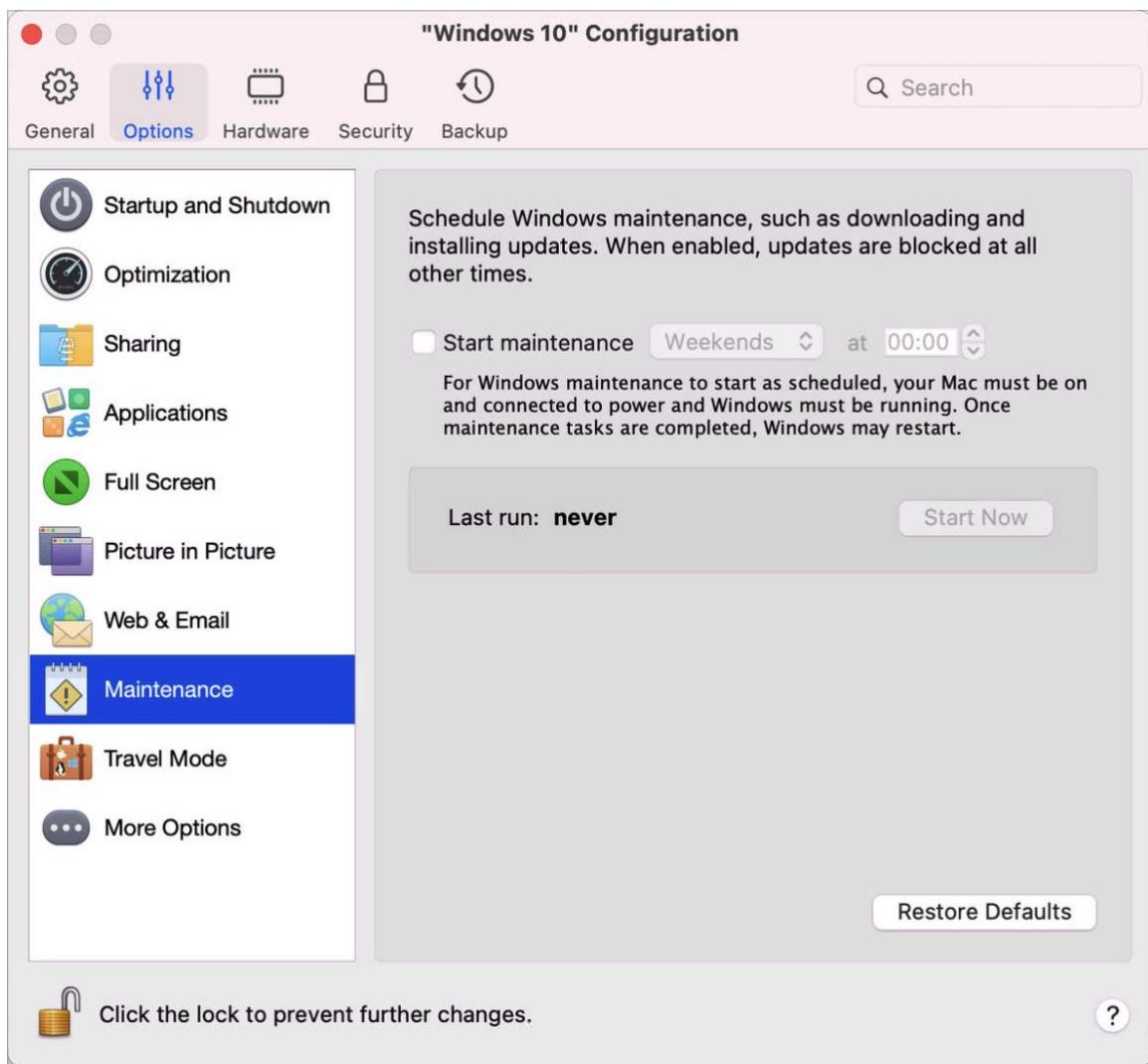


オプション	説明
Safari プラグイン	<p>一部の Web ページは、Microsoft Edge で表示するのが最適です。macOS で Safari を使用して閲覧している場合は、次の手順を実行すると、現在のページを Microsoft Edge ですばやく開くことができます。</p> <p>[プラグインを有効化する] をクリックし、”Edge で開く” プラグインを有効化します。</p> <p>プラグインが有効化されたら、Safari ツールバーの [Edge で開く] ボタンをクリックします</p> <p>Windows が起動していない場合は起動し、Microsoft Edge で該当のページが開きます。</p>

メンテナンス設定

[メンテナンス] ペインで、Windows にアップデートのダウンロードとインストール、およびその他のメンテナンスタスクの実行が許可される時間を指定できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [オプション] を選択し、[メンテナンス] をクリックします。

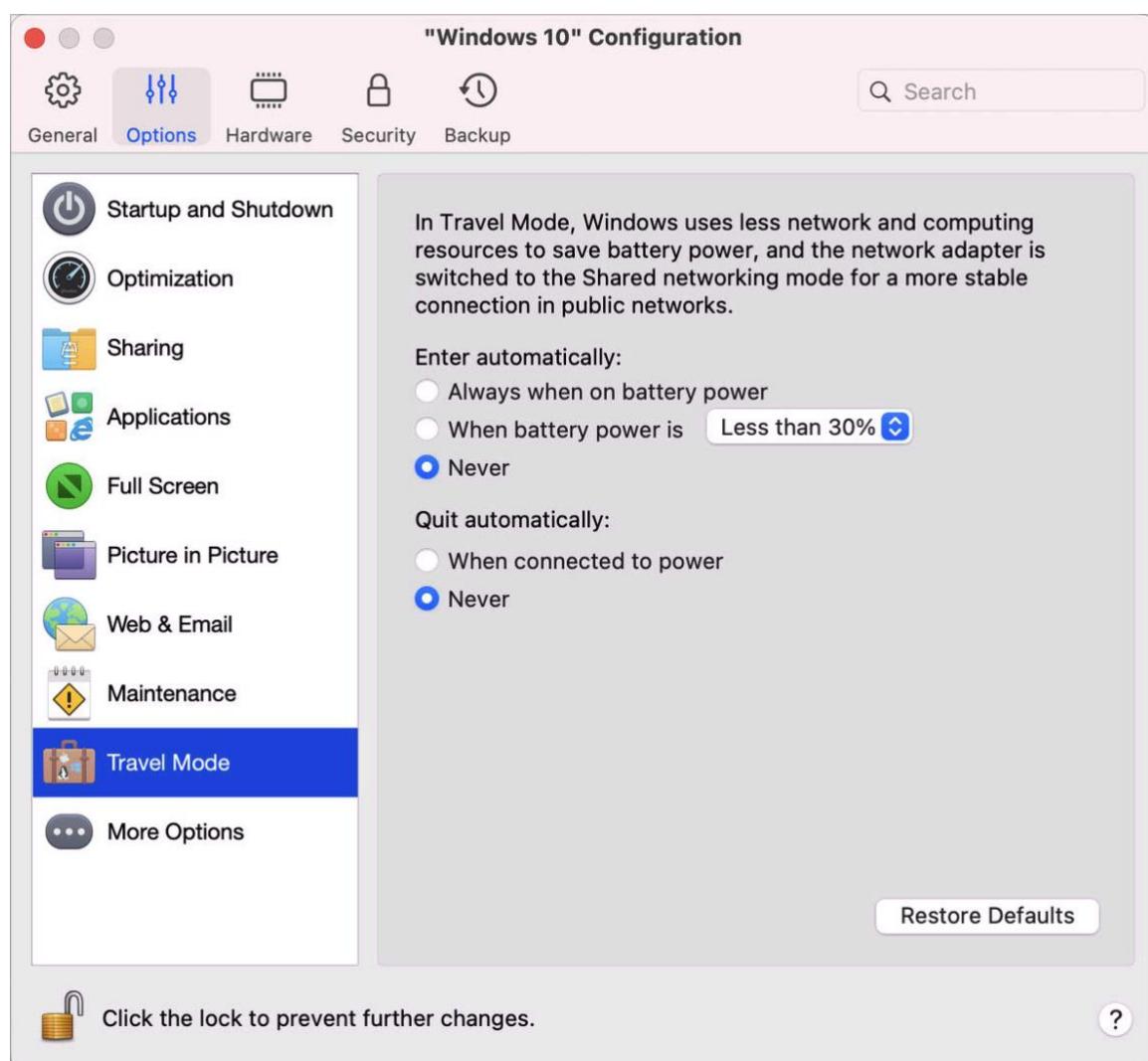


オプション	説明
[メンテナンスを開始]	<p>このオプションを選択し、Windows がいつメンテナンスタスクの実行を許可されるかを指定します。Mac の電源がオンで、重要な作業で忙しくない時間を指定することをお勧めします。</p> <p>注: 指定された時間に仮想マシンが動作している必要があります。</p>

トラベルモードの設定

Mac のバッテリー寿命を延ばすには、仮想マシンをトラベルモードで使用します。このモードは、外出が多く Mac をバッテリー電源で使用することが多いユーザーに便利です。

[トラベルモード] ペインで、仮想マシンでトラベルモードを開始、終了するタイミングを設定できます。この設定を開くには、[処理] > [構成] > [オプション] を選択し、[トラベルモード] をクリックします。



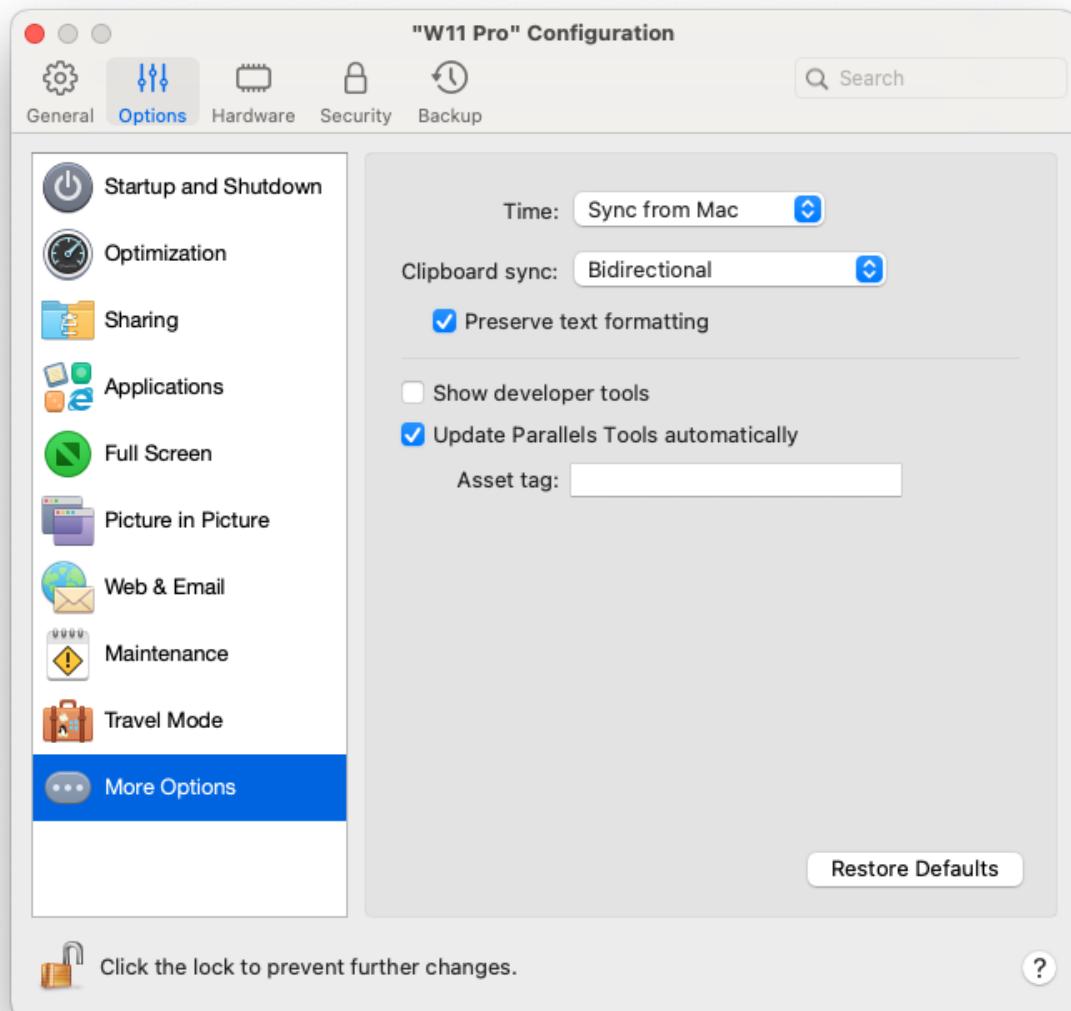
オプション	説明
自動入力	<p>このセクションでは、仮想マシンでトラベルモードを自動的に開始するタイミングを選択します。次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> バッテリ電源を使用する場合: Mac の電源が外され、Mac がバッテリ電源で動作を開始したときに、仮想マシンをトラベルモードに常に切り替える場合は、このオプションを選択します。 バッテリ電源: このメニューでは、仮想マシンでトラベルモードを開始するときの充電レベルを選択します。 使用しない: 仮想マシンをトラベルモードに切り替えない場合は、このオプションを選択します。
自動終了	<p>このセクションでは、仮想マシンでトラベルモードを自動的に終了するタイミングを選択します。次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源に接続している場合: Mac が電源に接続されているときに仮想マシンでトラベルモードを終了する場合は、このオプションを選択します。 使用しない: 仮想マシンのトラベルモードを自動的に終了しない場合は、このオプションを選択します。手動での操作のみ許可されます。

詳細オプション

[詳細オプション] ペインで、Mac クリップボードを共有するかどうかを選択したり、macOS と時刻を同期するかどうかを設定したりすることができます。

Parallels Desktop 環境設定と仮想マシン設定

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [オプション] を選択し、[CPU およびメモリ] をクリックします。



オプション	説明
時間	<p>仮想マシンの時刻設定を Mac の時刻設定と同期するには、[Mac と同期] を選択します。</p> <p>仮想マシンと macOS の時刻設定を常に同じにするには、[いずれかの OS に同期] を選択します。このオプションが選択されている場合、仮想マシンの時刻設定を手動で変更すると、macOS にも反映されます（その逆も同様です）。</p> <p>仮想マシンで設定されているタイムゾーンが Mac のタイムゾーンと異なる場合は、[同期しない] を選択することで時間の相違を維持できます。</p>
クリップボードの同期 (Apple Silicon Mac 上で動作する macOS 仮想マシンでは利用できません)	<p>この設定により、Mac と仮想マシン間におけるクリップボードの内容の利用（コピー & ペーストのバッファ）を管理します。</p> <p>デフォルトの双方向オプションでは、Mac と仮想マシンの間で、双方向のコピー & ペーストが可能です。</p> <p>無効オプションでは、双方向のコピー & ペーストがブロックされます。</p> <p>{virtual_machine} から Mac および Mac から {virtual_machine} オプションを使用すると、コピー & ペーストが許可される方向を制限することができます。この機能は、Parallels Desktop for Mac Pro および Business Edition でのみ使用できます。</p>
Mac のクリップボードを共有する	ホスト OS とゲストの OS 間でデータのコピーと貼り付けを実行する場合は、[Mac のクリップボードを共有する] を選択します。macOS と仮想マシンの間でコピーと貼り付けを実行するデータがテキストデータで、そのテキストの書式を維持する場合は、[テキスト書式を維持する] を選択します。

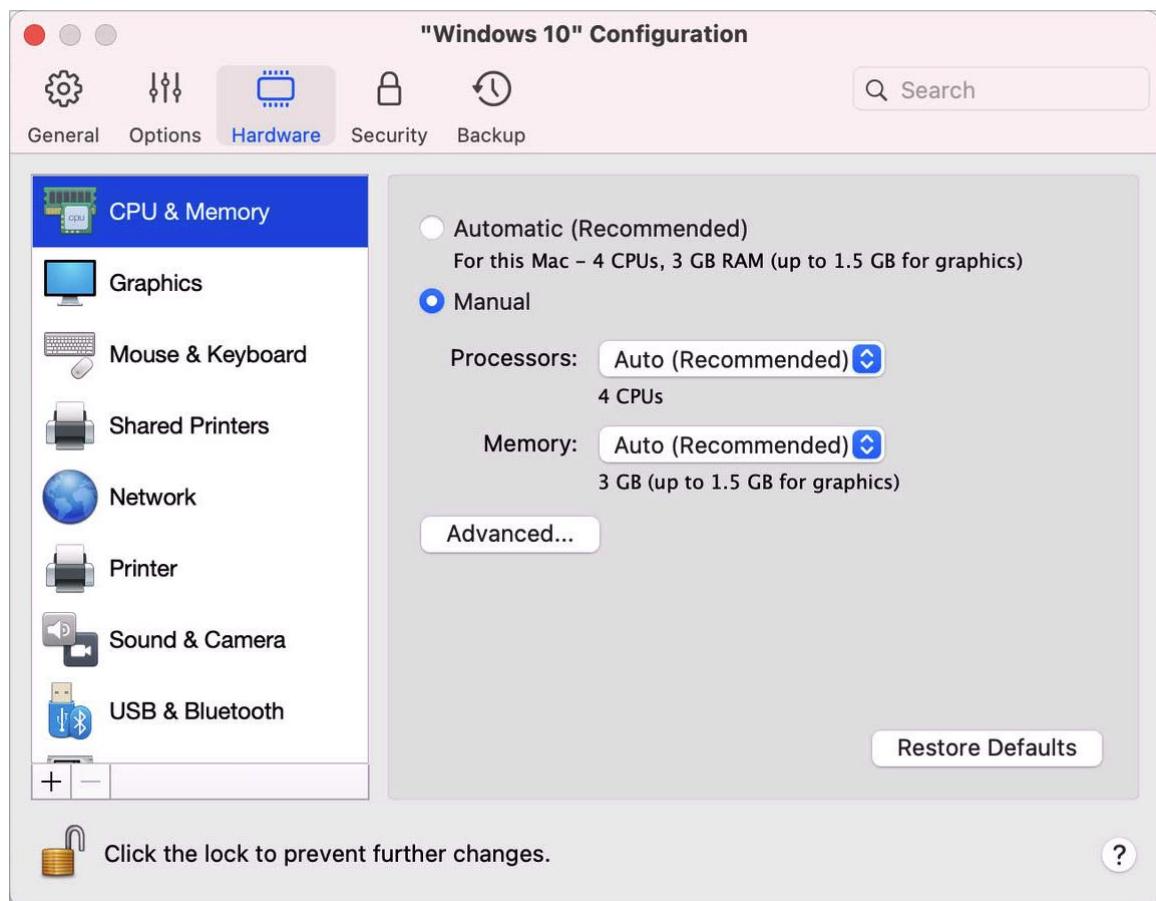
<p>[開発者ツールを表示する] (Parallels Desktop for Mac Pro と Business Editions のみ)。</p>	<p>Parallels Desktop にはソフトウェア開発者に役立つ複数の機能があります。macOS メニューバーに [開発] メニューを表示する場合は、このオプションを選択します。このメニューでは、以下を行うことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SSH セッションを開始する。 • macOS のデフォルトの Web ブラウザで仮想マシンの IP アドレスを開く。 • デバッグセッションを開始する。 • 仮想マシンのメモリダンプを生成する。 <p>次のポイントは Windows 仮想マシンでのみ利用可能です（ポイントの一部が表示されない場合があります。これは Windows のバージョンによって異なります）。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべてのタスク（別名「神モード」）のリストを開きます。 • ステップ記録を開きます。 • レジストリエディターを開きます。 • コマンドプロンプトを開きます。 • [実行] ウィンドウを開きます。
<p>Parallels Tools を自動的にアップデートする (Parallels Desktop for Mac Pro と Business Editions のみ) :</p>	<p>Parallels Tools を自動的にアップデートする場合は、このオプションを選択します。</p>
<p>[資産タグ] (Parallels Desktop for Mac Business Edition でのみ利用できます)</p>	<p>資産タグは、組織内でコンピューター資産を識別、制御、追跡するのに役立ちます。Parallels Desktop では、仮想マシンの BIOS に資産タグを設定できます。資産タグは、ゲスト OS の標準ツールを使って読み取ることができます。資産タグを設定するには、対応するフィールドにタグを入力します。</p>

ハードウェア設定

CPU とメモリの設定

[CPU およびメモリ] ペインで、CPU とメモリ関連の設定を表示および構成できます。

この設定を開くには、[処理] > [設定] > [ハードウェア] の順に選択して、[CPU およびメモリ] をクリックします。



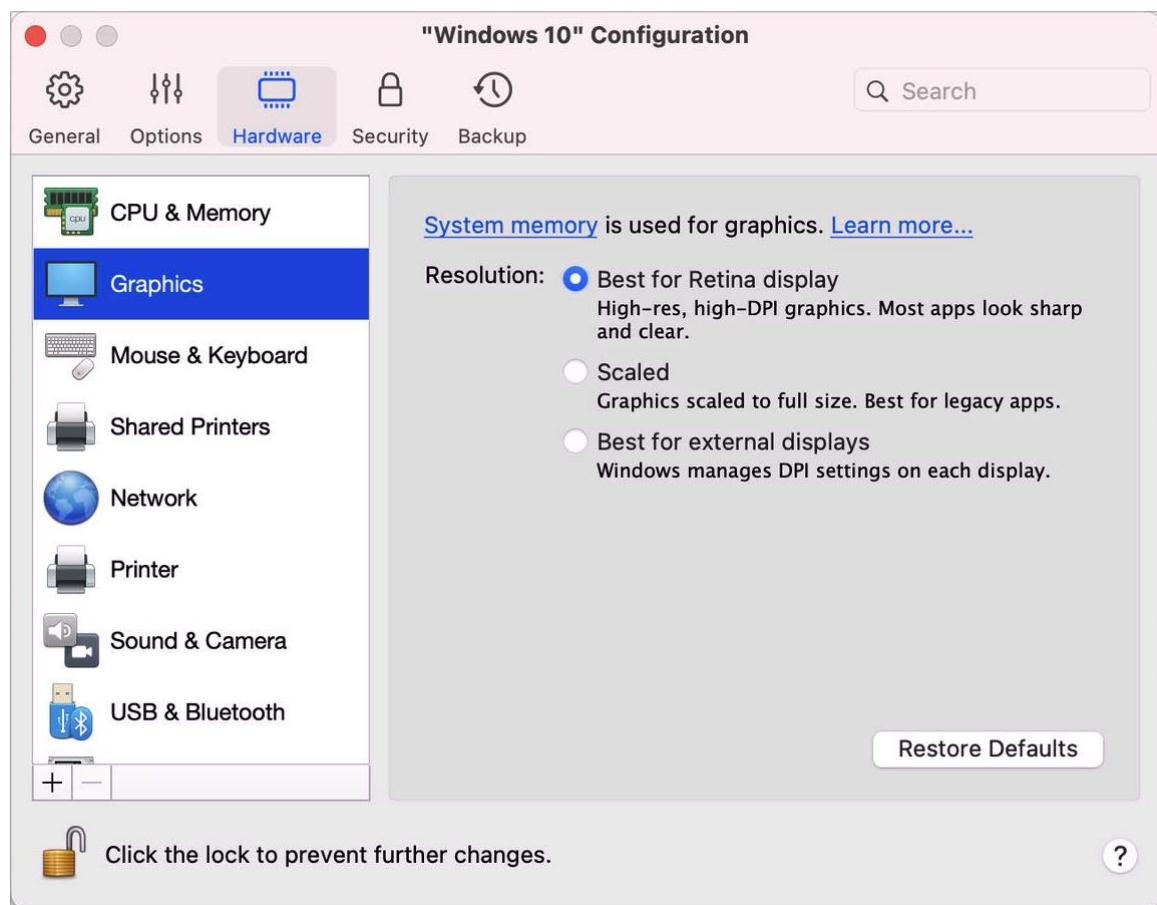
オプション	説明
CPU とメモリの割り当て	<p>Windows 10 以降を使用している場合、Parallels Desktop が仮想マシンに必要な CPU のコア数とメモリ容量を自動的に割り当てるため、最適なパフォーマンスと優れた使用感を得ることができます。デフォルト設定の使用をお勧めします。</p> <p>ただし、仮想マシンのパフォーマンスに不足がある場合は、仮想マシンで利用できる CPU やメモリ容量を手動で指定できます。[手動] を選択し、対応するフィールドから任意の値を選択します。</p> <p>Parallels Desktop for Mac Standard Edition で作成および実行される仮想マシンのリソースには、4 つの vCPU コアおよび 8GB の vRAM の制限があります。Pro Edition および Business Edition には以下の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> Intel Mac の場合は最大 32 個の vCPU コア、Apple Silicon Mac の場合は最大 18 個の vCPU コア（テスト済み最大数）。 Intel Mac の場合は最大 128GB の RAM、Apple Silicon Mac の場合、 <ul style="list-style-type: none"> ホストが macOS 12 Monterey またはそれ以前を実行し、39 ビット中間アドレス空間を実装していない場合、最大 63GB (M1 および M2 チップのベースバージョン)。 その他の場合は最大 128GB。 <p>ただし、必ずしも大きな値を指定すればパフォーマンスが向上するわけではありません。まず、デフォルト設定で仮想マシンを動作させてみてください。スムーズに動作しない場合は、メモリや CPU のコア数を増加させてみてください。仮想マシンのパフォーマンスが向上したでしょうか。そうでない場合は、CPU やメモリの割り当てをさらに変更してみてください。仮想マシンのパフォーマンスは、Mac のハードウェア、Mac 上で実行されているアプリ、仮想マシン内で実行されているアプリなどに依存するため、特定のベストプラクティスに言及することは簡単ではありません。</p> <p>Windows 8.1 以前、Linux または macOS のオペレーティングシステムを搭載した仮想マシンの場合、[プロセッサー] と [メモリ] メニューで、仮想マシンが利用できる CPU コアとメモリ容量を選択できます。</p>
メモリの上限の拡張 (Intel プロセッサーを搭載した Mac にインストール済みの Parallels Desktop for Mac Pro Edition および Business Edition のみ)	このオプションにより、Mac の物理メモリよりも多くのメモリを仮想マシンに割り当することができます。このオプションは、必要な場合にのみ、注意して使用してください（システムの動作が大幅に遅くなる可能性があります）。たとえば、仮想マシンにデータベースをインストールするとき、インストーラーからメモリが不十分であるという警告が発せられた場合にこのオプションを利用します。

ハイパーバイザー	<p>このメニューは、Intel プロセッサーを搭載した Mac でのみ利用可能です。Apple Silicon Mac で作成された仮想マシンは、常に Apple のハイパーバイザーを使用します。</p> <p>このメニューで、Parallels または Apple からハイパーバイザーを使用するかどうかを選択できます。Parallels ハイパーバイザーの使用をお勧めします。</p>
アダプティブハイパーバイザー	<p>使用しているアプリケーションに応じて、仮想マシンまたは macOS のパフォーマンスを自動的に最適化するように Parallels Desktop を設定する場合に、このオプションを選択します。仮想マシンのアプリケーションを使用しているときは仮想マシンに多くのリソースが与えられ、macOS のアプリケーションを使用しているときは macOS により多くのリソースが与えられます。</p>
多段仮想化を有効にする	<p>このオプションは、ネストされた仮想化のサポートを有効にする場合に選択します。Parallels Desktop では、以下を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows 8 以降または Windows Server 2012 以降仮想マシン内の Hyper-V 仮想マシン。 macOS 仮想マシン内の Parallels Desktop。 VMware ESXi 仮想マシン、 Xen および KVM をサポートする Linux バージョンでの Xen およびカーネルベースの仮想マシン。 <p>注: 仮想マシン内で仮想マシンを実行すると、macOS と仮想マシンのパフォーマンスが劇的に低下する可能性があります。</p> <p>Parallels 仮想マシンを使用してアプリケーションを構築、デバッグ、テストする場合は、多段仮想化を有効にして、次の環境をインストールして作業します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Visual Studio 用 Android エミュレーター、 Visual Studio 用 iPhone エミュレーター、 Xamarin.Android、 Android Studio、 Embarcadero RAD Studio、 Docker for Windows、 Microsoft Visual Studio + TwinCat 3（TwinCat 3 のサポートはテスト中で、バグがある可能性があります）。

グラフィック設定

[グラフィックス] ペインで、仮想マシンのビデオカードで使用できるビデオメモリ量の表示と構成、および解像度の設定などを実行できます。

この設定を開くには、[処理] > [設定] > [ハードウェア] の順に選択して、[グラフィックス] をクリックします。



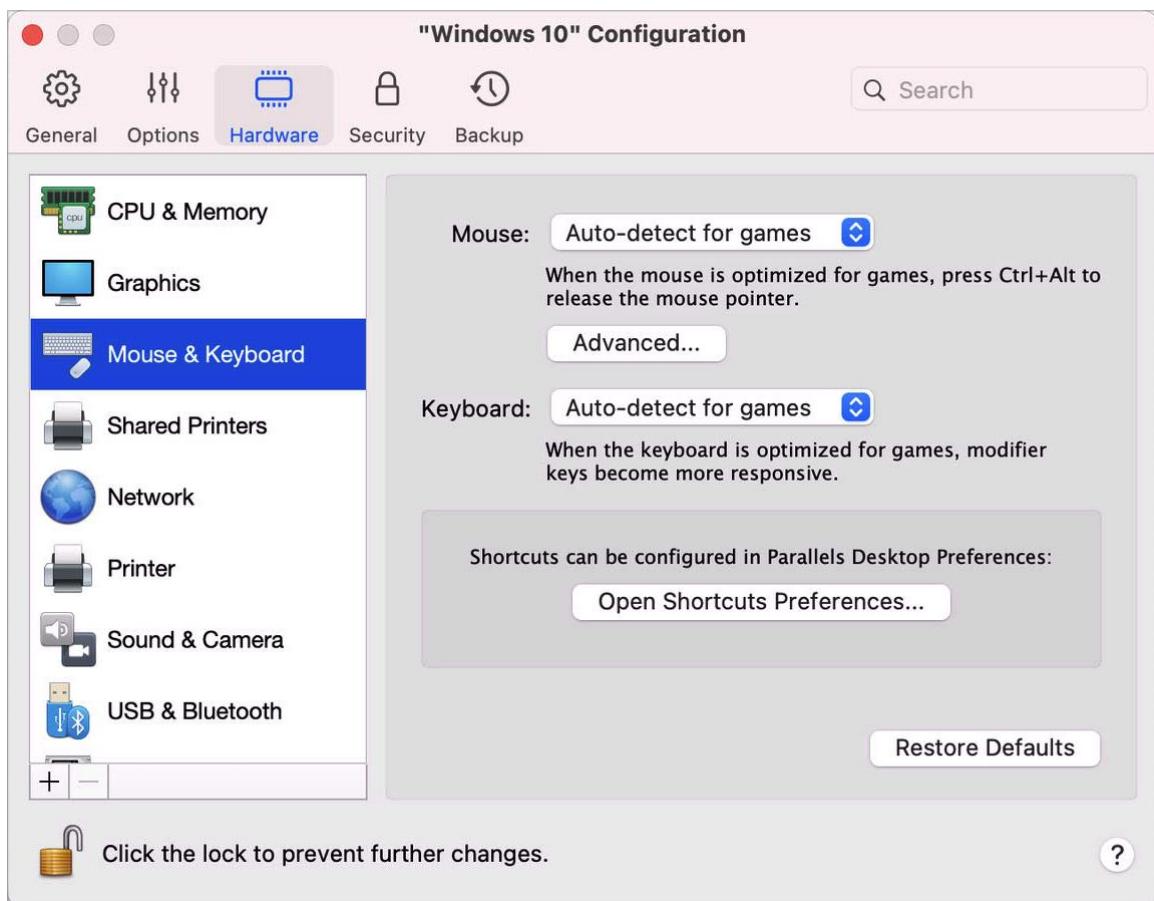
オプション	説明
メモリ	<p>Windows 8 以降の仮想マシンを使用している場合: Parallels Desktop はグラフィック用にシステムメモリを使用します。仮想マシンに割り当てられるグラフィックメモリの容量を増やすには、[CPU およびメモリ] ペインでシステムメモリの容量を増やします。</p> <p>Windows 7 以前、Linux または macOS のオペレーティングシステムを搭載した仮想マシンの場合: [メモリ] メニューで、仮想マシンが利用できるビデオメモリの容量を設定できます。</p>
解像度	<p>Retina ディスプレイ搭載の Mac で Windows 7 またはそれ以降を使用して作業する場合は、画面上の Windows の表示方法を選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Retina ディスプレイに最適: Windows の解像度は Retina ディスプレイの解像度と同じになり、DPI 設定が増加されます。Windows のインターフェイス要素とテキストは、フルサイズでクリアかつシャープになります。このオプションは、Windows 7 以降でサポートされています。 サイズ調整される: Windows の解像度と DPI 設定は変更されません。代わりに、Windows がフルサイズに調整されます。この結果、Windows のインターフェイス要素とテキストはシャープではなくなります。このオプションは、Windows アプリケーションが高い DPI 設定をサポートしていない場合や画面に小さく表示されるものである場合に便利です。 外部ディスプレイに最適: Retina ではないマルチディスプレイの 1 つで Windows を使用して作業する場合は、このオプションを使用してください。このオプションは、Windows 8 以降でサポートされています。 <p>Windows XP の場合:</p> <p>Retina ディスプレイ搭載の Mac で Windows XP を使用して作業する場合、Windows のサイズは変更されますが、解像度は変更されません。この結果、Windows のインターフェイス要素とテキストはシャープではなくなります。</p> <p>ただし、[Retina 解像度を有効化] を選択すると、Windows で Retina のフル (2880x1800) 解像度を有効にできます。このような高解像度では、Windows のインターフェイス要素とテキストは、シャープになりますが小さくなります。</p>

3D アクセラレーション	<p>このメニューは Linux 仮想マシンのみで利用可能で、3D アクセラレーションオプションはデフォルトで有効になっています。Linux で GUI に問題がある場合は、3D アクセラレーションメニューから [オフ] を選択してください。</p> <p>Linux ゲストオペレーティングシステムの場合、Parallels Desktop は OpenGL 4.1（互換性プロファイル）をサポートします。</p> <p>Windows 仮想マシンの場合、3D アクセラレーションがデフォルトでオンになっているためこのメニューは利用できません。Windows では、Parallels Desktop は OpenGL 4.1（互換性プロファイル）と DirectX 11.1 をサポートしています。</p> <p>macOS の場合、macOS 12 Monterey 以降を搭載した Mac コンピューター上で、macOS 12 Monterey 以降の仮想マシンが動作する場合、Metal グラフィックに対応します。ただし、その仮想マシンに Parallels Tools がインストールされていることが条件となります。</p> <ul style="list-style-type: none">ご使用の Windows または Linux アプリから、もっと上のバージョンの DirectX または OpenGL が必要であるという警告が発された場合は、Parallels のフォーラムでお知らせください。フォーラムにアクセスするには、[ヘルプ] > [お勧めの機能] をクリックするか、最新の関連トピックから検索します。
必ず高パフォーマンスグラフィックを使用してください (Apple Silicon Mac では利用できません)	お使いの Mac でグラフィックの切り替えがサポートされている場合にのみ、このオプションが表示されます。このオプションを選択すれば、パフォーマンスが向上します。選択を解除すればバッテリー持続時間を延長できます。

マウスとキーボードの設定

[マウスとキーボード] ペインでは、マウスおよびキーボード関連の設定を表示および構成できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [ハードウェア] を選択し、[マウスとキーボード] をクリックします。



オプション	説明
マウス	<p>仮想マシンでゲームをプレイする場合、[マウス] メニューでマウスをどのように使用するかを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ゲームを自動検出する]: これは、推奨されるデフォルト設定です。ゲスト OS アプリケーションを使用している場合は、ゲスト OS と macOS の間でマウスを自由に動かすことができます。ただし、ゲームを開始すると、マウスの入力が仮想マシンで自動的にキャプチャーされるため、誤って macOS にマウスを移動してしまうことはありません。ゲームを終了すると、マウスは自動的に解放されます。 [ゲームに最適化する]: ゲームのプレイ中に誤ってマウスが macOS に移動される心配がある場合は、このオプションを選択すると、マウスが仮想マシン内でのみ機能するようになります。マウスの入力を解放して macOS に切り替えるには、Ctrl + Alt キーを押します。 [ゲームに最適化しない]: まれに、Parallels Desktop がアプリケーションをゲームと誤認識し、マウスがアプリケーションで正しく機能しなくなることがあります。このような問題が生じた場合、[ゲームに最適化しない] を選択します。
マウスポインタをウィンドウの端に固定する	<p>ウィンドウ表示モードで仮想マシンを使用中、さまざまなゲスト OS アイテムを表示するために、仮想マシンウィンドウの端にマウスポインターを動かさなければならない場合があります。たとえば、Windows 8 のスタートメニューを表示したり、Windows XP の隠れたタスクバーを表示したり、ゲスト macOS アプリケーションをフルスクリーン表示しているときに macOS メニューバーを表示したりする場合などです。</p> <p>[マウスポインタをウィンドウの端に固定する] オプションを使用すると、マウスポインタは仮想マシンウィンドウの端にしばらく固定され、マウスが仮想マシンウィンドウの外に誤って移動することがなくなります。端から離すには、マウスをすばやく動かします。</p>
キーボード	<p>アクションゲームで修飾キー Option (Alt) 、Ctrl、Shift をアクティブに使用するときは、[キーボード] メニューで [ゲームに最適化する] を選択します。このオプションを選択すると、これらのキーからの信号が即座に処理されます。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注: ゲームをプレイしていないときは、キーボードをゲームに最適化することはお勧めしません。Ctrl、Alt、Shift、オプションキーと一緒に一部のキーの組み合わせは、機能しない場合があります。</p> </div>

Linux でスクロールの問題を軽減する

Intel および Apple Silicon Mac 上の Linux 仮想マシンでは、場合によってスクロールの感度に問題があることが知られており、トラックパッドを使ってスクロールすると、マウスポインターの挙動に異常が見られることがあります。このような問題が発生した場合、macOS のターミナルで以下のコマンドを実行することで、スクロールの感度を任意に調整することができます。

```
$ defaults write "com.parallels.Parallels Desktop" "HID Host Hook.Scroll Sensitivity" X
```

ここで X は逆スクロールの感度の値です。デフォルトは 20 で、最大は 120 です。120 は、最も低い感度を意味します。値が 120 に設定されている場合、Linux VM でスクロールを実行するには、トラックパッドの操作量がかなり大きくなります。

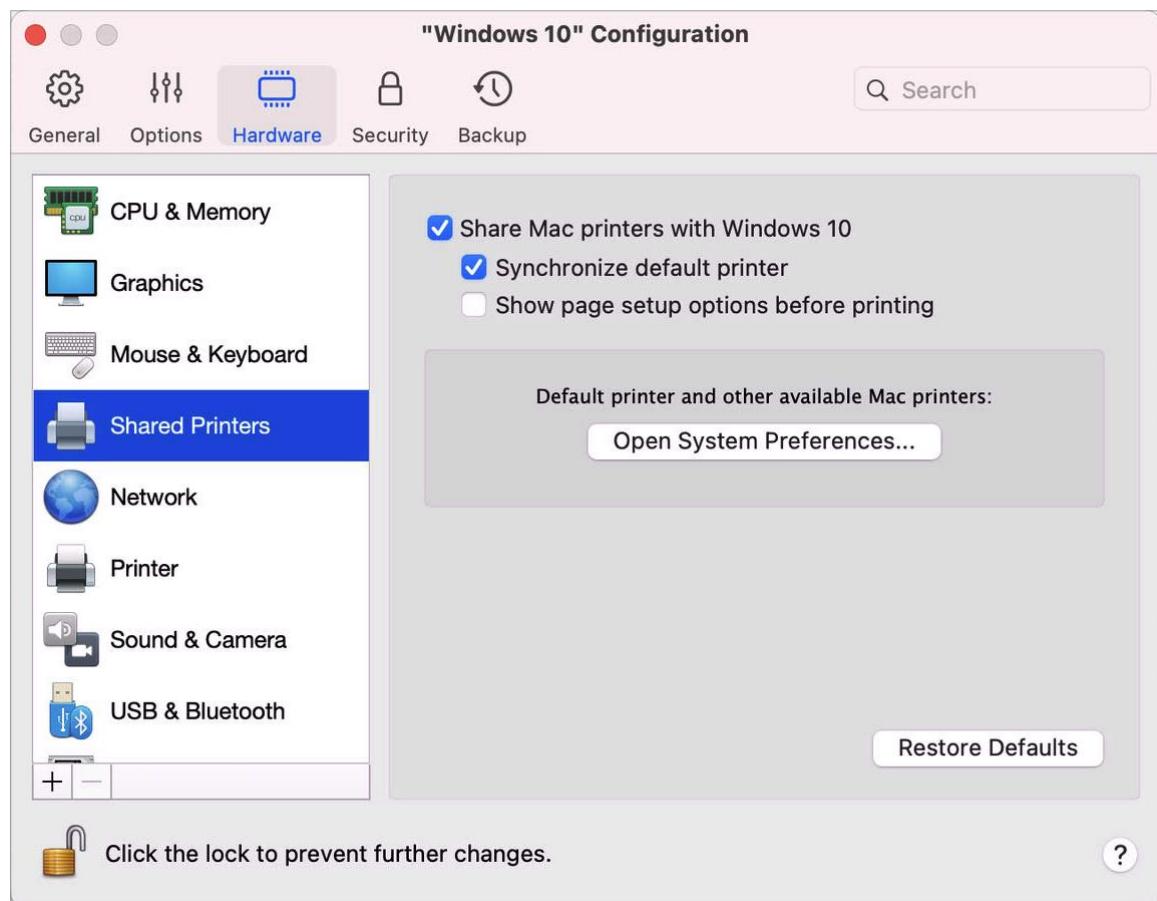
注: このコマンドは Parallels Desktop for Mac 19.3 以降でのみ動作し、メインの macOS システムではなく仮想マシンのスクロール感度に影響します。

共有プリンターの設定

[共有プリンター] ペインでは、Mac プリンターを仮想マシンと共有したり、デフォルトのプリンターを同期したりできます。

Parallels Desktop 環境設定と仮想マシン設定

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [ハードウェア] を選択し、[共有プリンター] をクリックします。



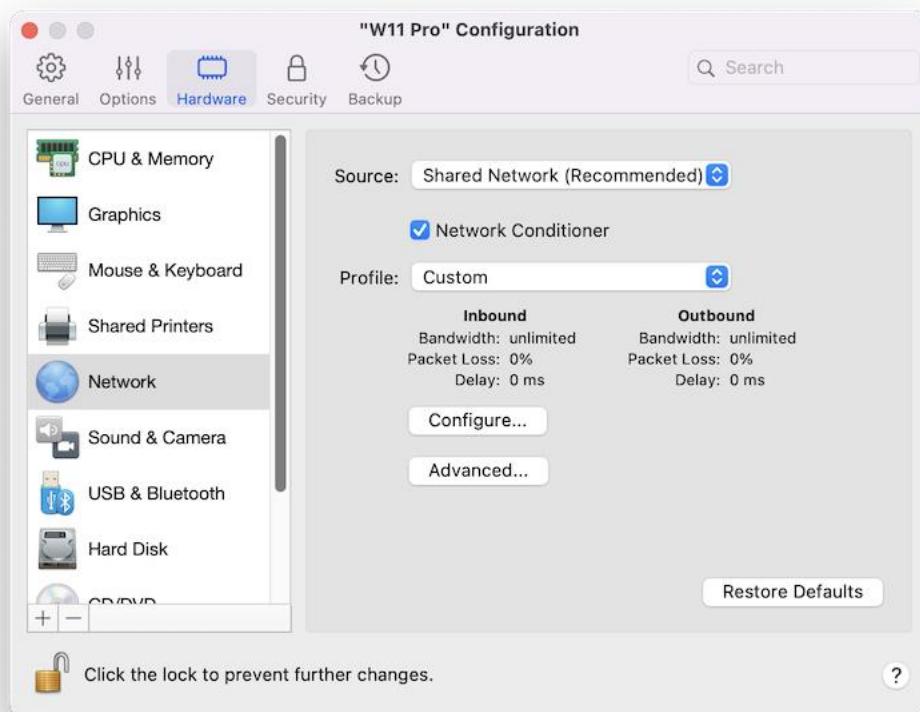
オプション	説明
Mac プリンターを Windows と共有する	Mac に接続されているプリンターを仮想マシンと共有するには、このオプションを選択します。
デフォルトプリンターに同期	デフォルトでは、仮想マシンは Mac と同じデフォルトプリンターを使用するよう設定されています。 仮想マシンで別のデフォルトプリンターを使用するには、[のデフォルトプリンターに同期] の選択を解除します。その後、通常の手順に従い、ゲスト OS で新しいデフォルトプリンターを設定できます。

印刷前にページ設定オプションを表示	仮想マシンからドキュメントを印刷するよう選択した場合、最初にドキュメントの印刷方法を設定する必要があります。通常、縦方向または横方向、ページサイズ、ドキュメントの片面または両面印刷など、さまざまな印刷設定を指定する必要があります。すべて準備が整い、仮想マシンで [印刷] をクリックすると、印刷設定と共に macOS ウィンドウも表示されます。ドキュメントを印刷したい方法で確実に印刷できるように、デフォルトでこのように設定されています。また、印刷の代わりに [PDF に保存] を選択するなど、詳細設定を指定することもできます。 macOS ページ設定ウィンドウを表示させずに、ドキュメントを印刷するには、[印刷前にページ設定オプションを表示] オプションの選択を解除します。
-------------------	--

ネットワーク設定

[ネットワーク] ペインで、仮想マシンのネットワークアダプター関連の設定を表示および構成できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [ハードウェア] を選択し、[ネットワーク] をクリックします。

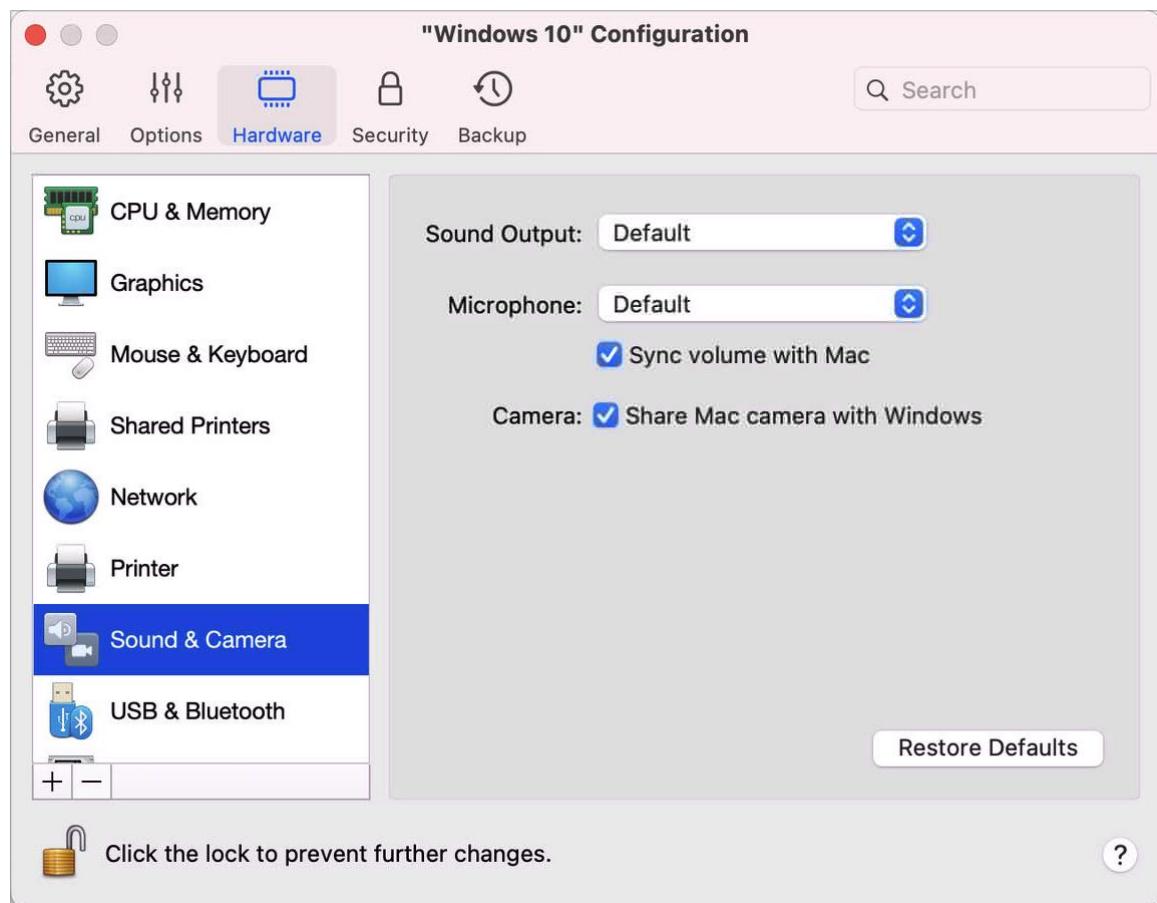


オプション	説明
ソース	<p>このメニューを使用して、仮想マシンのネットワークアダプターに対して以下のいずれかの種類のネットワークを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 共有ネットワーク: このオプションは、仮想マシンで NAT (Network Address Translation) 機能を有効にする場合に選択します。この場合、仮想マシンは、Mac で現在使用されているネットワーク接続の種類に関係なく、ネットワークを共有します。 ブリッジネットワーク。仮想マシンが、Mac にインストールされているいずれかのネットワークアダプターを通じてローカルネットワークやインターネットにアクセスできるようにする場合には、このオプションを選択します。この場合、仮想マシンはネットワーク上のスタンドアロンコンピューターとして扱われ、実コンピューターと同様に構成されます。仮想マシンアダプタのブリッジ先となる物理アダプタを、[ブリッジネットワーク] オプションの下に表示される一覧で選択できます。 [ホストオンリネットワーク]。仮想マシンをご利用の Mac や Mac 上の仮想マシンに接続できるようにすると同時に、Mac の外部で非表示とする場合に、このオプションを選択します。このオプションを選択した場合、仮想マシンをインターネットに接続することはできません。 切断: 仮想マシンをネットワークから完全に切り離します。
ネットワーク調整 (macOS 仮想マシンでは利用できません)	このオプションは、[プロファイル] ドロップダウンメニューに列挙された特定タイプのネットワーク接続に特徴的な動作を再現するために使用します。カスタムプロファイルを設定し、[構成] ボタンをクリックして、必要に応じて速度、遅延、パケットロスを調整できます。
高度 -> MAC	[MAC] フィールドで、仮想マシンに現在割り当てられている MAC アドレスを変更できます。MAC アドレスは、仮想マシンの作成中に自動的に生成されますが、デフォルトの MAC アドレスは、[MAC] フィールドに別の値を入力するか、[生成] ボタンをクリックすることで変更できます。新しい MAC アドレスを入力した場合、ネットワーク内で一意であることを確認してください。このオプションは上級ユーザー向けです。
詳細 -> 種類 (Intel Mac でのみ利用可能)	ネットワークインターフェイスカードの種類を変更することができます。Parallels サポートチームからの指示がない限り、デフォルト設定の変更はお勧めしません。このオプションは上級ユーザー向けです。 Apple Silicon Mac では、仮想マシンが Virtio ネットワークアダプターを使用するように設定されています。
高度 -> ネットワークの環境設定を開く	このボタンをクリックすると、Parallels Desktop 環境設定パネルの [ネットワーク] タブが表示されます。詳細については、こちらのページ (p. 126) を参照してください。

サウンドとカメラの設定

[サウンドとカメラ] ペインで、サウンドデバイスのパラメーターを表示および構成し、Mac のカメラを仮想マシンと共有できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [ハードウェア] を選択し、[サウンドとカメラ] をクリックします。

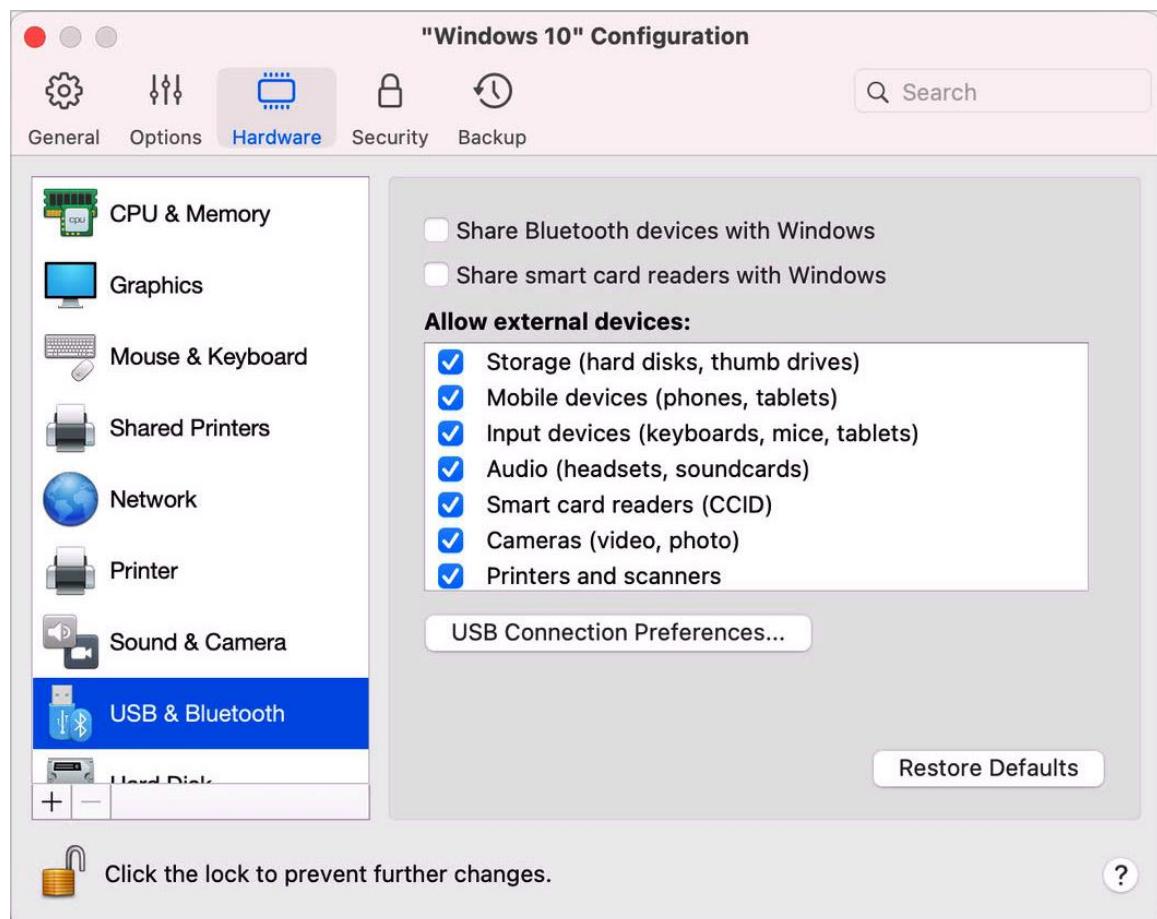


オプション	説明
サウンド出力	<p>【サウンド出力】の一覧を使用して、必要なデバイスを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルト: macOS でデフォルトとして設定された出力デバイスを使用する場合は、このオプションを選択します。 内蔵出力: Mac の出力デバイスの 1 つを使用する場合には、このオプションを選択します。 無効: 出力デバイスの音を無効にする場合は、このオプションを選択します。
マイク	<p>【マイク】の一覧を使用して、必要なデバイスを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルト: macOS でデフォルトとして設定されたマイクを使用する場合は、このオプションを選択します。 内蔵マイク: 内蔵のマイクを使用する場合は、このオプションを選択します。 無効: マイクの音を無効にする場合は、このオプションを選択します。
Mac のボリュームと同期する	<p>Parallels Tools がインストールされている Windows XP 以降では、Windows と macOS のボリュームレベルを常に同一に設定することができます。【Mac のボリュームと同期する】オプションが選択されている場合、Windows のボリュームレベルを手動で変更すると、macOS にも反映されます（その逆も同様です）。</p> <p>Parallels Tools がインストールされていない場合、このオプションは【Mac の音声ボリュームを使用する】と呼ばれます。選択すると、Windows の音声ボリュームが macOS と同じになります。</p>
Mac カメラを Windows と共有する	このオプションを使用して、カメラの共有を有効または無効にします。
タイプ	<p>【タイプ】メニューから、仮想マシンで使用するサウンドカードのタイプを選択できます。[AC'97] か [HD Audio] から選択できます。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>注: このメニューは、Intel Mac でのみ利用可能です。Apple Silicon Mac の仮想マシンでは、常に HD Audio が使用されます。</p> </div>

USB と Bluetooth の設定

[USB と Bluetooth] ペインで、USB および Bluetooth 関連の設定を表示および構成できます。

これらの設定を開くには、[処理] > [構成] > [ハードウェア] を選択し、[USB と Bluetooth] をクリックします。



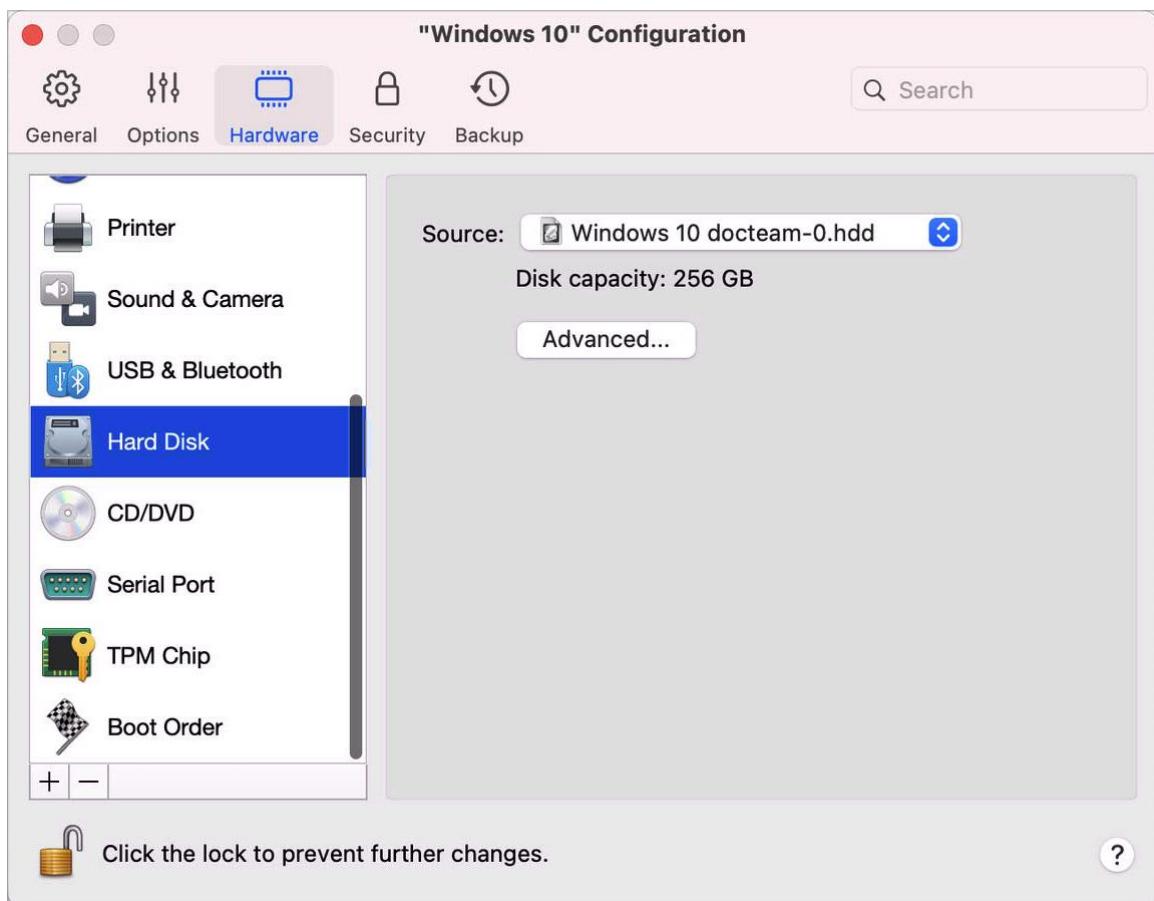
オプション	説明
Bluetooth デバイスを Windows と共有する	このオプションを使用して、Bluetooth デバイスの共有を有効または無効にします。
[Windows とスマートカードリーダーを共有する]	このオプションを選択すると、Windows で Mac のスマートカードリーダーを使用できます。 macOS で正しく機能する（つまり、必要なドライバーがインストールされている）スマートカードリーダーのみ使用できることに注意してください。 スマートカードリーダーが macOS では機能するのに、何らかの理由で Windows に表示されない場合、ここで説明されているように (p. 96) 、[デバイス] > [USB と Bluetooth] メニューを使用して接続してみてください。

外部デバイスを許可 (Parallels Desktop for Mac Business Edition でのみ利用できます)	この一覧を使用して、USB 経由で仮想マシンに接続できるデバイスを指定します
USB 3.1 を有効化	<p>このオプションは、Intel プロセッサーを搭載した Mac コンピューターでのみ利用可能です。USB 3.1 のサポートを有効にするもので、デフォルトで選択されています。仮想マシンに USB デバイスを接続しても (p. 96) 検出されない、または動作しない場合は、このオプションの選択を解除し、仮想マシンを再起動してから、もう一度デバイスを接続してみてください。</p> <p>Apple Silicon Mac では、USB 3.1 サポートは常に有効になっています。そうでない場合、仮想マシンでキーボードとマウスが使用できなくなります。</p>

ハードディスク設定

[ハードディスク] ペインで、仮想マシンのハードディスク関連の設定を表示および構成できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [ハードウェア] を選択し、[ハードディスク] をクリックします。



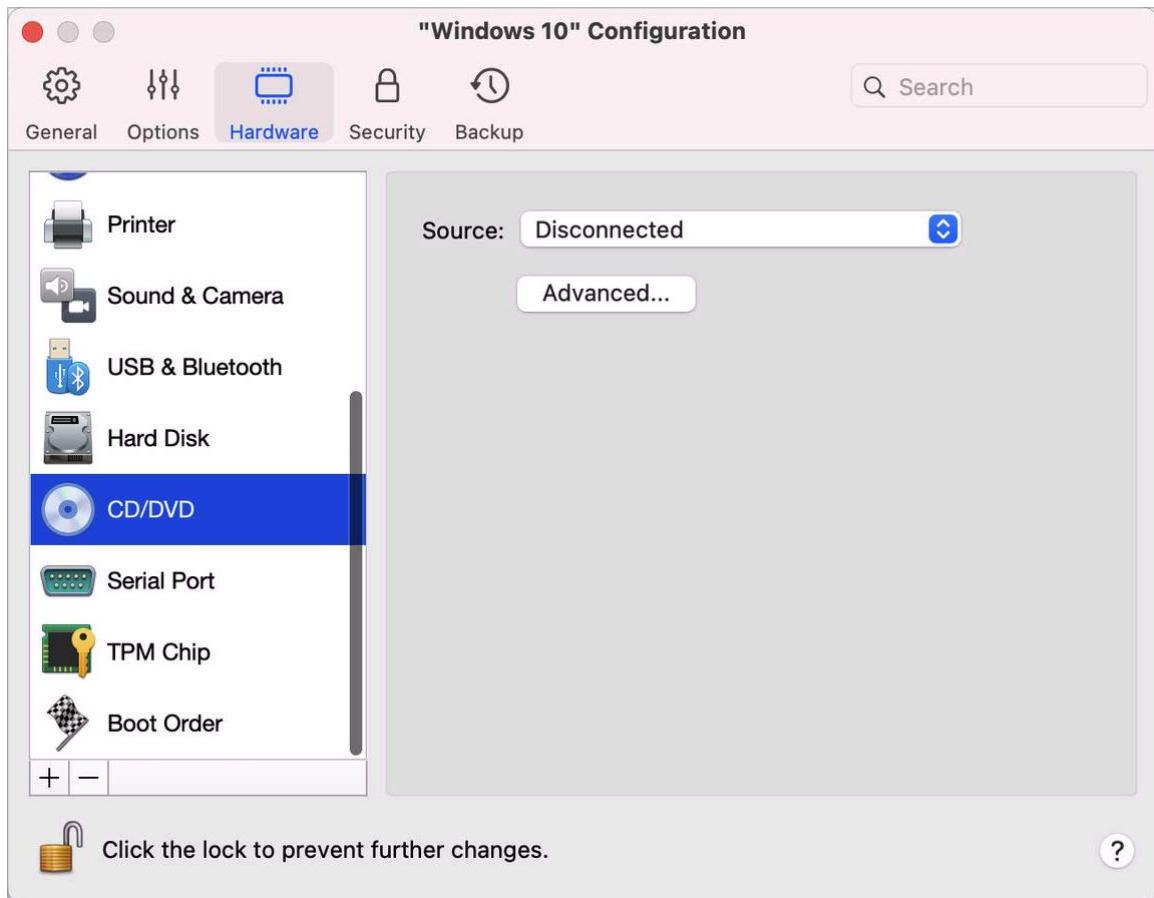
オプション	説明
ソース	<p>このフィールドを使用して、仮想マシンのハードディスクをエミュレートする仮想ハードディスクファイル (.hdd) を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Boot Camp パーティションを使用するには、リストから選択します。 <p>注: Boot Camp を選択できるのは、Intel Mac の場合のみです。 Boot Camp は Apple Silicon Mac では利用できません</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮想ハードディスクファイルを使用するには、一覧から仮想ハードディスクファイルを選択するか、[イメージファイルの選択] をクリックしてイメージファイル (.hdd) へのパスを指定します。

プロパティ	このボタンをクリックして、ハードディスクのサイズを編集します
場所	このフィールドを使用して、ハードディスクを接続するインターフェイスの種類を指定します。このオプションは上級ユーザー向けです。
TRIM を有効にする	多くの場合、仮想マシンが使用するハードディスク領域は、ファイルやその他のデータを追加すると拡大しますが、データを削除しても減少しません。Parallels Desktop で、ディスク領域を自動的に削減するように設定するには、[TRIM を有効にする] を選択します。このオプションは、HDD (SSD ではなく) ディスクのパフォーマンスに影響を与える可能性があります。

CD/DVD 設定

[CD/DVD] ペインで、仮想マシンの CD/DVD-ROM の設定を表示および構成できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [ハードウェア] を選択し、[CD/DVD] をクリックします。

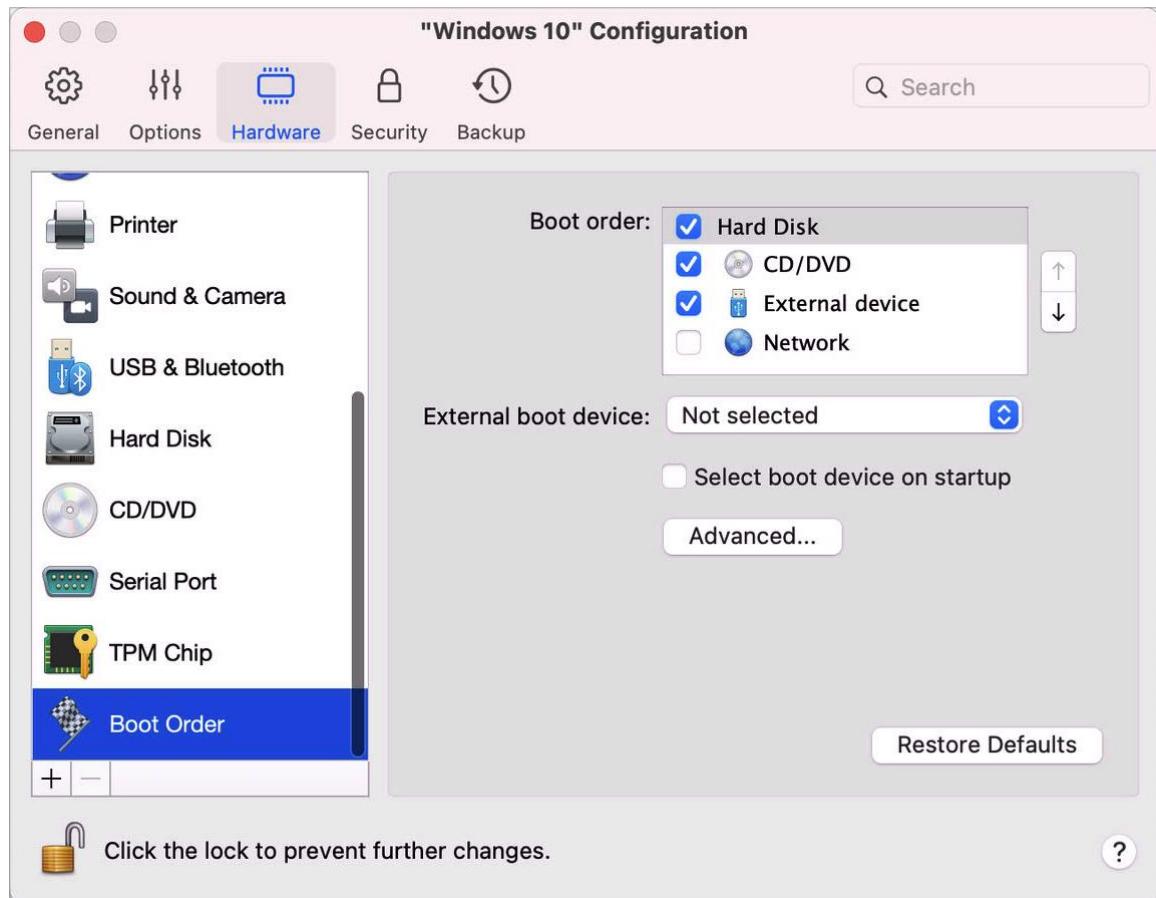


オプション	説明
ソース	<p>このフィールドを使用して、仮想マシンの CD/DVD ドライブをエミュレートするソースデバイスまたはイメージファイルを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">物理 CD/DVD ドライブを仮想マシンの CD/DVD ドライブとして使用するには、一覧から物理デバイス名を選択します。イメージファイルを仮想マシンの CD/DVD ドライブとして使用するには、一覧からイメージファイルを選択するか、【イメージファイルの選択】をクリックしてイメージファイルへのパスを指定します。
場所	このフィールドを使用して、デバイスを接続するインターフェイスの種類を指定します。このオプションは上級ユーザー向けです。

ブート順序の設定

[ブート順序] ペインで、仮想マシンのブートシーケンス、すなわち、仮想マシンがさまざまなブートデバイスから OS のロードを試みる順序を表示および構成できます。

これらの設定を開くには、[処理] > [構成] > [ハードウェア] を選択し、[ブート順序] をクリックします。

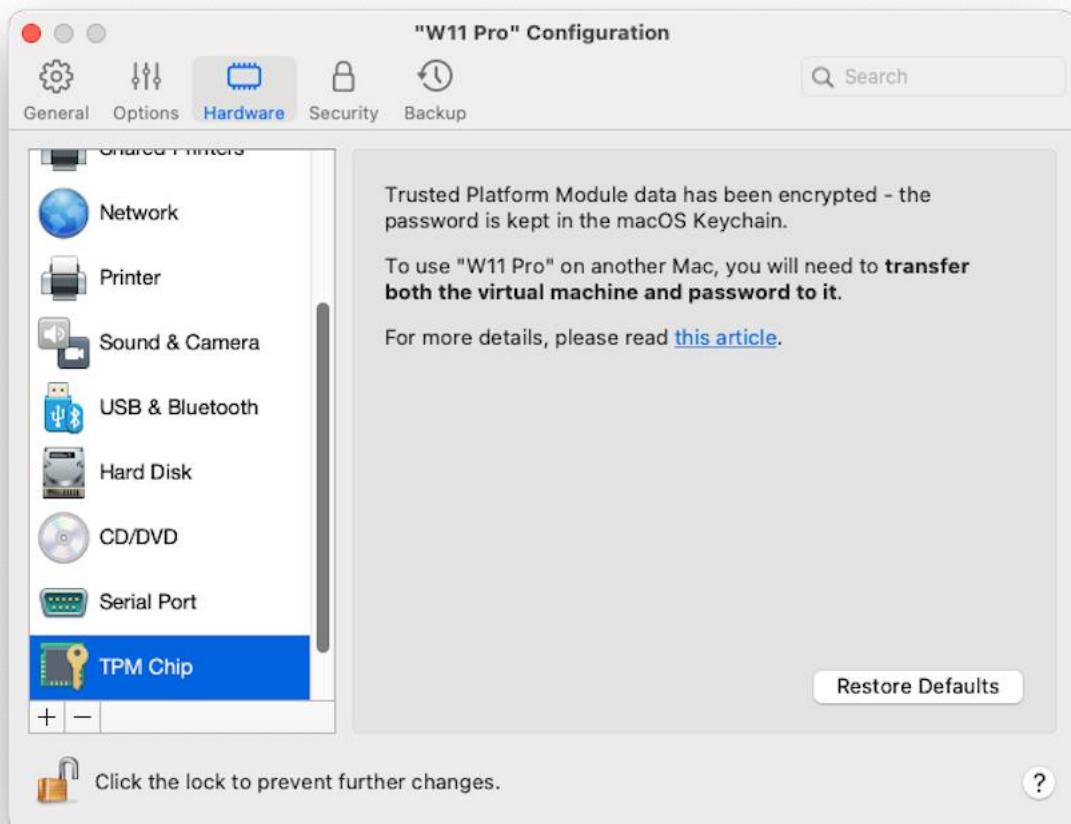


オプション	説明
ブート順序	<p>この一覧を使用して、ブート順序の設定を編集します。現在サポートされているブートデバイスは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードディスク: このデバイスは、仮想マシンをその仮想ハードディスクドライブから起動させる場合に選択します。 CD/DVD-ROM: このデバイスは、仮想マシンをその仮想CD/DVD-ROMドライブに接続されているメディアから起動させる場合に選択します。 <p>注: 仮想マシンは、その構成で [CD/DVD-ROM] として指定されている CD/DVD-ROM ドライブを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部デバイス。このデバイスは、Mac に接続された起動可能な外部デバイス (USB、FireWire、Thunderbolt など) から仮想マシンを起動させる場合に選択します。選択後、下の [外部ブートデバイス] メニューからデバイスを選択します。 フロッピーディスク: このデバイスは、仮想マシンをその仮想フロッピーディスクドライブに接続されているフロッピーディスクイメージから起動させる場合に選択します。 ネットワーク: このデバイスは、仮想マシンを PXE (Pre-Execution Environment) を使用してネットワークアダプターから起動する場合に選択します。 <p>注: 仮想マシンは、その構成で [ネットワーク] として指定されているネットワークアダプターを使用します。</p> <p>仮想マシンを開始するたびに、[ブート順序] の一覧で 1 番目のデバイスとして指定したデバイスから起動しようとなります。仮想マシンが 1 番目のデバイスから起動できない (メディアが接続されていない場合など) 場合、仮想マシンは一覧の 2 番目のデバイスに進み、そのデバイスからの起動を試みます。それ以降も同様です。</p> <p>この一覧では、以下の操作を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対応するブートデバイスの名前を選択し、それを一覧の右側の矢印を使用して上下に移動することで、現在設定されているブートシーケンスを変更できます。 デバイス名の横のチェックボックスをオフにして、シーケンスからブートデバイスを削除できます。
外部ブートデバイス	[ブート順序] メニューから [外部デバイス] を選択した場合は、このメニューを使用して外部ブートデバイスを選択します。

スタートアップ時のブートデバイスを選択	<p>このオプションを選択すると、仮想マシンのスタートアップ時に、メッセージ "Press ESC to select boot device" が表示されます。ESC キーを 5 秒間押し続けると、ブートデバイスを選択できます。ESC キーを押さない場合には、仮想マシンは [ブート順序] の一覧で指定されたデバイスからのブートを試みます。</p> <p>注: 仮想マシンのブートに使用するデバイス（ハードディスクドライブ、CD-ROM ドライブ、フロッピーディスクドライブ、またはネットワークアダプタ）が仮想マシンで使用可能で、正しく構成されていることを確認してください。仮想マシンにブートデバイスが構成されていない場合には、仮想マシンの起動後に "No boot device is available..." というエラーメッセージが表示されます。この場合、仮想マシンを停止し、最低 1 つのブートデバイスを構成してください。</p>
ブートフラグ	<p>[ブートフラグ] フィールドは、仮想マシンシステムの動作を変更する可能性があるフラグを指定するためのものです。システムフラグは、お使いの仮想マシンで何らかの不具合が発生した場合に、Parallels お客様サポートチームによって使用されます。お客様サポートスタッフの指示がない限り、このフィールドには何も入力しないでください。</p>

TPM チップ

Trusted Platform Module (TPM) を仮想マシンの構成に追加すると、不正なアクセスからデータを保護したり、BitLocker や Windows Hello などの Windows の追加セキュリティ機能を使用したりできるようになります。



仮想マシンに TPM を追加すると、デフォルトで有効化されます。

注: Windows 11 仮想マシンは、常にデフォルトで TPM が有効な状態で作成され、TPM なしでは起動できません。

BitLocker を使用する予定がない場合は、TPM を追加することは推奨されません。誤って TPM を追加した場合でも、Windows で BitLocker を設定していなければ、大きな影響を受けることなく TPM を削除できます。ただし、BitLocker を設定

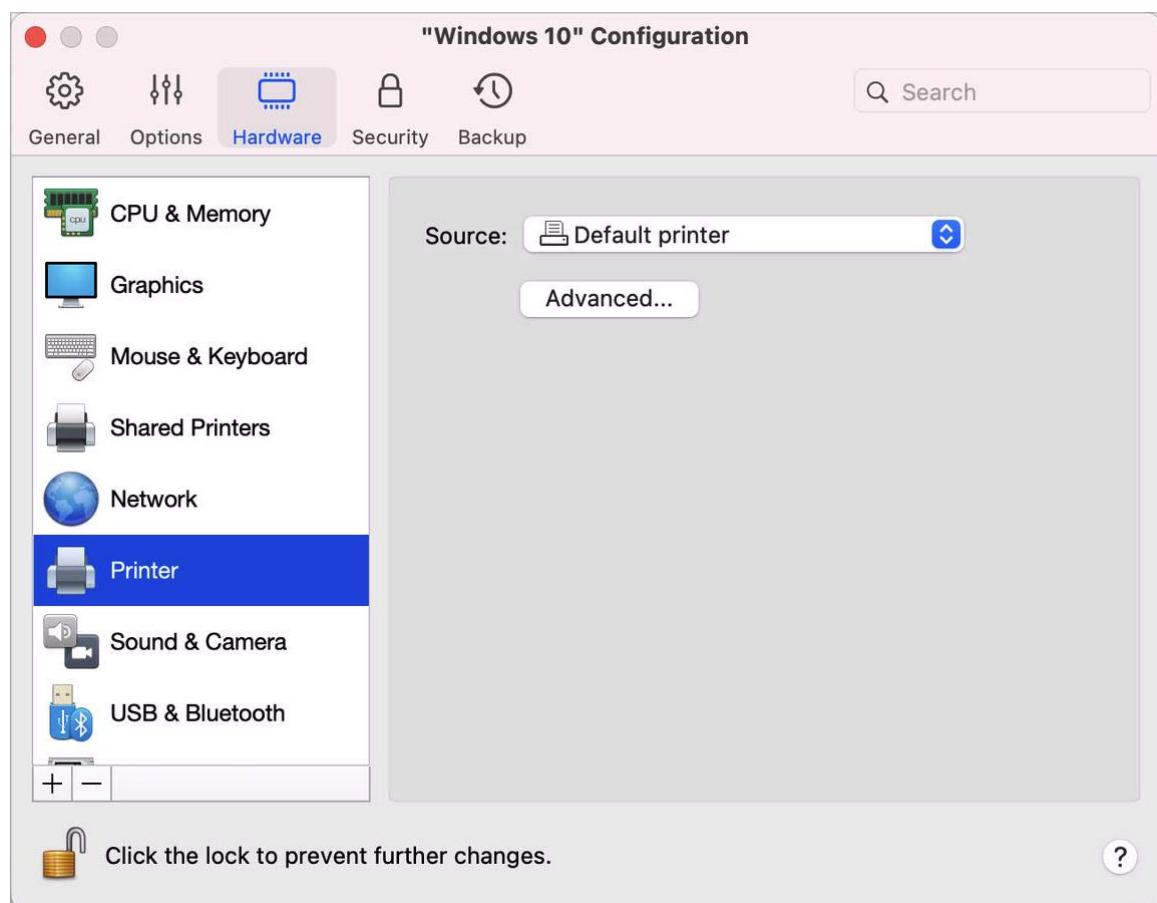
した後に TPM を削除すると、たとえば起動時に Windows から回復キーの入力を求められるなど、起動やログインに問題が発生する場合があります。この場合の対処方法については、こちらのナレッジベースの記事を参照してください。

注: TPM に関する情報は、Mac キーチェーンに保存されます。Mac が同じ iCloud アカウントにログインしていて、キーチェーン同期オプションが有効になっていない限り、この情報なしで別の Mac 上で仮想マシンを起動することはできません。TPM 関連情報を手動で転送するには、前述の KB 記事を参照してください。

プリンターの設定

[プリンター] ペインで、仮想マシンのプリンターポート設定を表示および構成できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [ハードウェア] を選択し、[プリンター] をクリックします。

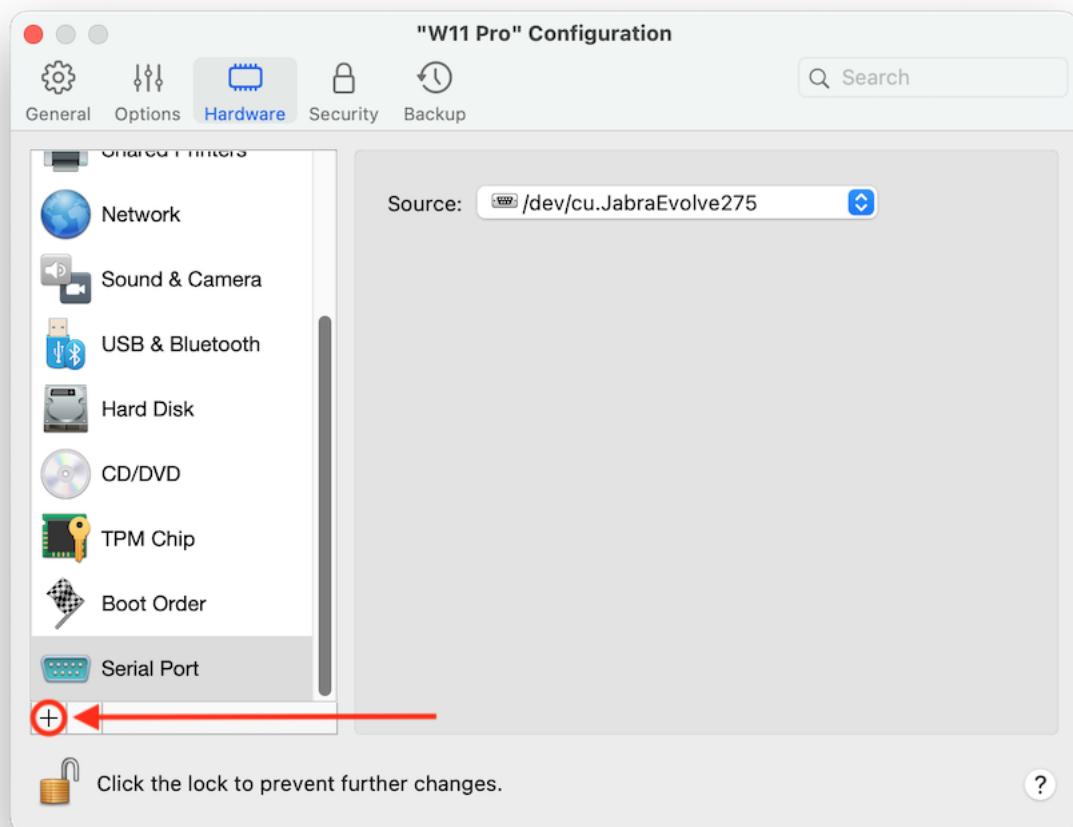


オプション	説明
ソース	<p>【ソース】 フィールドで、このプリンターポートをエミュレートするソースデバイスを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリンター: Mac に接続したプリンターを仮想マシンで使用できます。適切なプリンターを一覧から選択します。 • 出力ファイル: 出力ファイルを使用して、仮想マシンのプリンターポートをエミュレートできます。一覧から出力ファイルを選択するか、【出力ファイルの選択】をクリックして目的の出力ファイルへのパスを指定します。
ポート:	<p>【ポート】 フィールドで、ポートの種類を選択します。可能であれば、USB の使用をお勧めします。USB を使用してプリンターを仮想マシンに接続すると、LPT 経由で接続するよりもデータ転送レートが高速になります。</p>

シリアルポート設定

[シリアルポート] ペインで、仮想マシンのシリアルポート設定を表示および構成できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] > [ハードウェア] を選択し、[シリアルポート] をクリックします。シリアルポートが存在しない場合は、[+] をクリックして追加し、以下の手順に従って構成します。

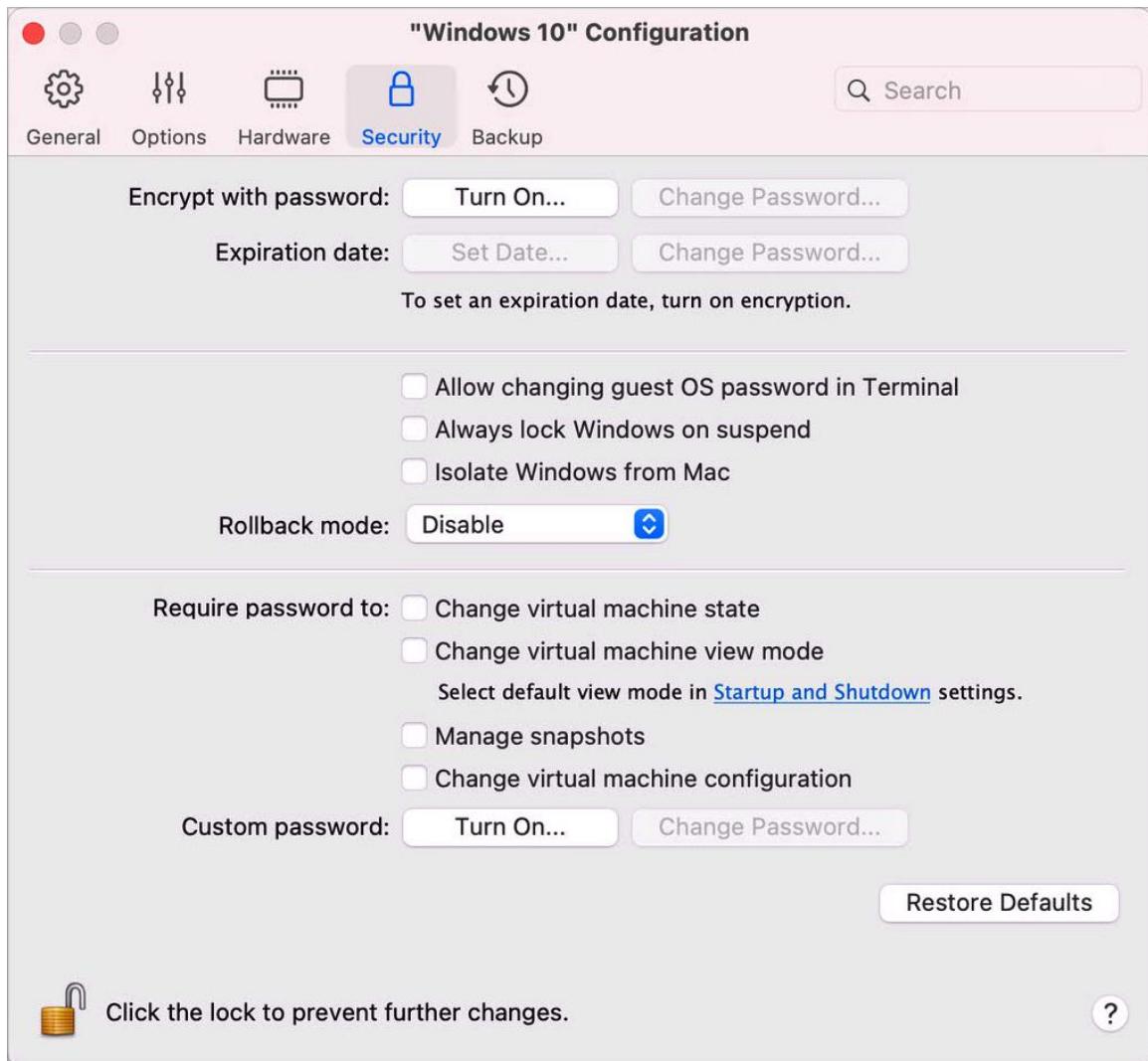


オプション	説明
ソース	<p>[ソース] フィールドで、このシリアルポートをエミュレートするソースデバイスを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 物理シリアルポート: 仮想マシンのシリアルポートを Mac 上の既存のシリアルポートのいずれかに接続するには、適切なポートを選択します。 ソケット: ソケットを介して 2 つの仮想マシンを接続するには、適切なソケットを選択します。使用可能なソケットが存在しない場合は、[新しいソケット] をクリックして、その名前を [ソケット名を入力してください] フィールドで指定します。また、[モード] の一覧で必要な役割を選択して、接続における仮想マシンの役割を構成します。[サーバー] を選択すると、この仮想マシンを使用して他の仮想マシンに指示できます。[クライアント] を選択すると、他の仮想マシンからこの仮想マシンに指示できます。 出力ファイル: 仮想マシンのシリアルポートを出力ファイルに接続するには、適切な出力ファイルを選択するか、[出力ファイルの選択] をクリックして必要なファイルを指定します。

セキュリティ設定

仮想マシンの構成の [セキュリティ] タブで、仮想マシンの Mac からの独立、仮想マシンの操作の際に加えた変更を保存するか破棄するかの選択、特定のタスクのパスワード必須の設定などを実行できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] を選択し、[セキュリティ] をクリックします。



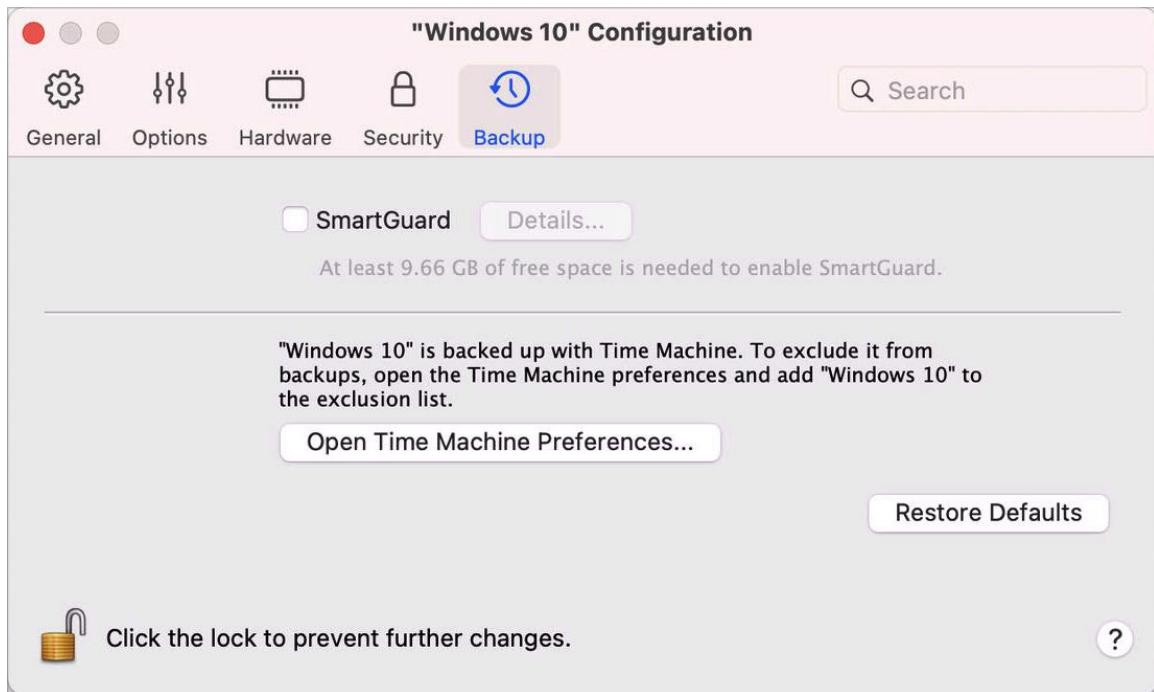
オプション	説明
パスワードで暗号化	この設定を使用して、仮想マシンの暗号化で使用されるパスワードを指定、変更、またはオフにすることができます。
[有効期限] (Parallels Desktop for Mac Business Edition でのみ利用できます)	仮想マシンが暗号化される場合、仮想マシンの有効期間が切れるまでの有効期限を設定できます。

[ターミナルでゲスト OS のパスワードの変更を許可する] (Parallels Desktop for Mac Business Edition でのみ利用できます)	ターミナルでゲスト OS のパスワードを変更できるようにするには、このオプションを選択します。
[サスPEND時は常に Windows をロック] (Parallels Desktop for Mac Business Edition でのみ利用できます)	サスPEND時に Windows をロックする場合は、このオプションを選択します。仮想マシンがレジュームされたら、Windows にログインしてロックを解除する必要があります。
Mac から Windows を分離する	macOS から仮想マシンを分離するには、このオプションを選択します。これにより、フォルダー、プロファイル、およびアプリケーションの共有、接続された外部デバイスへのゲスト OS からの自動的なアクセス、仮想マシンと Mac の間のボリュームの同期、仮想マシンと macOS の間のオブジェクトのコピーおよび移動は、すべて行われなくなります。仮想マシンを macOS から分離すると、片方の OS で感染したアイテムがもう一方の OS に接触することがなくなるため、セキュリティを強化することができます。
ロールバックモード (Parallels Desktop for Mac Pro Edition と Business Edition でのみ利用できます)	<p>このメニューを使用して、仮想マシンをロールバックモードで起動するかどうかを指定します。このモードにより、仮想マシンの操作中に加えた変更を保存または破棄することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効: 仮想マシンをロールバックモードで操作しない場合は、このオプションを選択します。 変更を破棄する: 変更を保存しない場合は、このオプションを選択します。 処理を確認する: 変更を保存するかどうかを判断する場合は、このオプションを選択します。仮想マシンをシャットダウンするとき、変更を保存するか破棄するかを確認するメッセージが表示されます。
次の場合にパスワードを要求する	セキュリティを強化するため、Parallels Desktop が管理者パスワードを要求する処理を選択できます。
カスタムパスワード (Parallels Desktop for Mac Pro Edition と Business Edition でのみ利用できます)	この設定を使用して、[次の場合にパスワードを要求する] セクションの処理を実行するときに要求されるカスタムパスワードを指定します。

バックアップ設定

仮想マシン構成の [バックアップ] タブで、仮想マシンスナップショットの保存を自動化し、仮想マシンを Time Machine でバックアップするかどうかを選択できます。

この設定を開くには、[処理] > [構成] を選択し、[バックアップ] をクリックします。



オプション	説明
SmartGuard	仮想マシンのスナップショットを自動的に作成する場合は、[SmartGuard] > [詳細] を選択して、スナップショットの作成頻度、保存するスナップショットの数、新しいスナップショットの作成前に通知を表示するかどうかなどの詳細を指定します。
Time Machine の環境設定	デフォルトでは、Time Machine により、仮想マシンが macOS ファイルと共に自動的にバックアップされます。 仮想マシンを Time Machine のバックアップから除外するには、Time Machine の環境設定を開き、仮想マシンを除外リストに追加します。 後から再度仮想マシンをバックアップする必要がある場合は、Time Machine 環境設定を開き、除外リストから仮想マシンを削除します。

デバイスの追加と削除

新しいデバイスを仮想マシンに追加するのは、新しいデバイスを物理的なコンピューターに接続するよりも容易です。デバイスを削除または切断することも簡単です。次の仮想デバイスを、構成に追加したり、構成から削除したりできます。

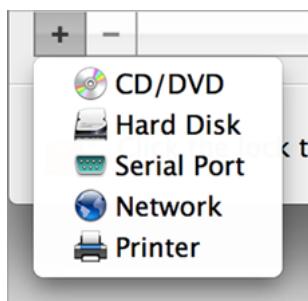
- ハードディスク (p. 213)
- CD/DVD ドライブ (p. 215)
- ネットワークアダプター (p. 207)
- プリンターポート (p. 221)
- シリアルポート (p. 222)
- TPM チップ (p. 220)

これらのデバイスは、対応する仮想マシンが停止している場合のみ追加できます。

新しいデバイスの仮想マシンへの追加

- 1 [処理] メニューの [構成] を選択して仮想マシン構成を開きます。
- 2 [仮想マシン構成] ダイアログボックスの一番上にある [ハードウェア] ボタンをクリックし、ハードウェアデバイスを編集するためのペインを開きます。
- 3 [仮想マシン構成] ダイアログボックスの一番下にある [追加] ボタン (+) をクリックし、仮想マシンに追加するデバイスを選択します。

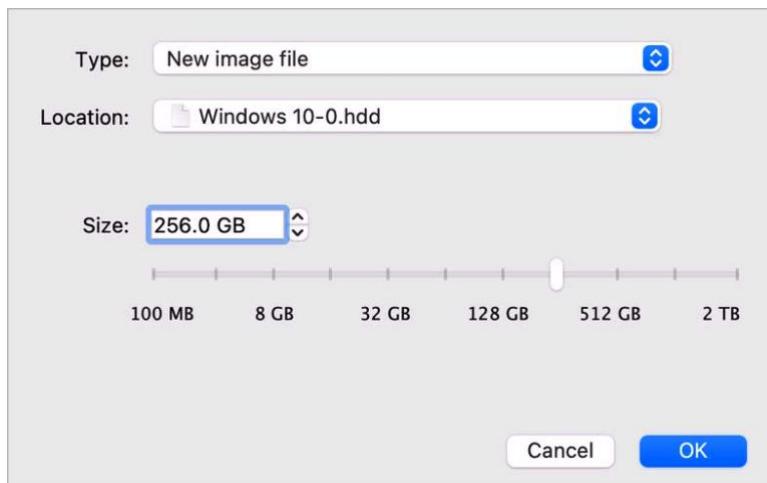
注: 仮想マシンの実行中は [追加] ボタンが無効になっています。このボタンを使用するには、仮想マシンを停止する必要があります。



- 4 ハードディスク以外のデバイスを選択した場合は、対応するデバイスが一般的な構成で直ちに追加され、使用できるようになります。

ハードディスクを選択した場合は、以下のようないくつかのパラメーターを指定する必要があります。

- ハードディスクの種類: 新しいイメージファイル、既存のイメージファイル、または物理ディスク。既存の Boot Camp パーティションをハードディスクとして仮想マシンに追加する場合は、Boot Camp を選択します。
- 既存のイメージファイルを追加する場合は、Mac のパスを指定してください。Boot Camp や物理ディスクを追加する場合は、そのロケーションを指定します。
- 新しいハードディスクイメージファイルのハードディスクサイズ。



[OK] をクリックしてハードディスクを追加します。新しい仮想ハードディスクを仮想マシン構成に追加しても、それを初期化するまでは仮想マシンにインストールされている OS には表示されません。新しく追加されたハードディスクの初期化方法の詳細については、仮想マシンにインストールされている OS のドキュメントおよびヘルプリソースを参照してください。

新しいデバイスが追加された後は、そのプロパティを通常通りに管理し、使用を開始できます。

仮想マシン構成からのデバイスの削除

- 1 [処理] メニューの [構成] を選択して仮想マシン構成を開きます。
- 2 [仮想マシン構成] ダイアログボックスの一番上にある [ハードウェア] ボタンをクリックし、ハードウェアデバイスを編集するためのペインを開きます。

- 3 削除するデバイスを選択して、[仮想マシン構成] ダイアログボックスの一番下の [削除] ボタン (-) をクリックします。

仮想ディスクと物理ディスクのサポート

ここでは、**Parallels** 仮想マシンで使用できるディスクの種類の一覧を示し、これらのディスクで実行できる基本的な操作について説明します。

サポートされるハードディスクの種類

Parallels 仮想マシンでは、ハードディスクとして、仮想ハードディスク/Boot Camp パーティションまたは物理ディスクのいずれかを使用できます。

仮想ハードディスク

仮想ハードディスクの容量は 100 MB~2 TB の範囲で設定できます。仮想マシンを作成すると、ディスクは拡張フォーマットで作成されるため、アプリケーションのインストール、ムービーや音楽などのダウンロードを実行できます。ディスクのサイズはそれに比例して大きくなります。

Boot Camp パーティション

Parallels Desktop では、Boot Camp の Windows XP（以降）のオペレーティングシステムの使用方法として、ネイティブに（Boot Camp を使用して）ブートするか、仮想マシンで（**Parallels Desktop** を使用して）ブートするかを選択できます。

Boot Camp の Windows パーティションは、**Parallels** 仮想マシンではブート可能ディスクまたはデータディスクとして使用できます。詳細な情報については、「**Parallels Desktop** で Boot Camp を使用する」を参照してください。

物理ディスク

Parallels Desktop では、物理ディスクを内部ディスクとして仮想マシンに直接接続することができます。この方法で接続すると、物理的なディスクは USB 経由よりも高速に動作します。このようなディスクから仮想マシンを起動したり、セカンダリとして接続してディスクデータを利用したりできます。

CD/DVD ディスクとそのイメージ

Parallels Desktop では、実 CD/DVD ディスクと CD/DVD ディスクのイメージにアクセスできます。

Parallels Desktop には、マルチセッション CD/DVD ディスクの使用に関する制限はありません。仮想マシンは、コピー保護ディスクに関する制限に関係なく、オーディオ CD を再生できます。

Mac コンピューターに記録可能光学式ドライブがある場合は、それを使用して仮想マシンで CD または DVD ディスクを作成できます。

Parallels Desktop は、ISO、CUE、および CCD フォーマットの CD/DVD ディスクイメージをサポートします。

注: macOS ディスクユーティリティで作成された DMG ディスクイメージも Parallels Desktop でサポートされています。この形式のイメージを作成する場合は、読み取り専用であること、非圧縮であること、およびイメージを暗号化していないことを確認してください。

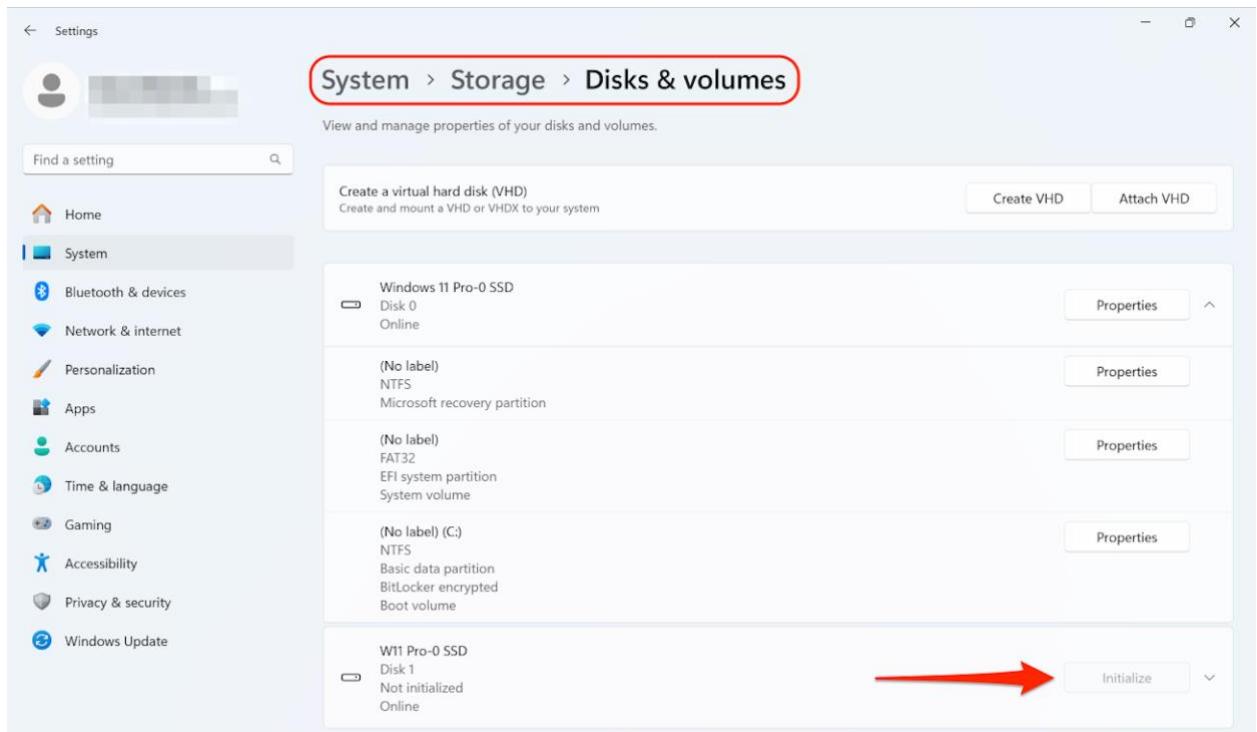
新しく追加されたディスクの初期化

新しいブランクの仮想ハードディスクを仮想マシン構成に追加しても、初期化するまでは仮想マシンにインストールされている OS には表示されません。

Windows 11 での新しい仮想ハードディスクの初期化

Windows 11 で新しいハードディスクドライブを初期化するには、以下の手順を実行します。

- 1 Windows ロゴをクリックしてスタートメニューを開き、[設定] を選択します。
- 2 左側で、[システム] を選択し、[ストレージ] メニュー項目までスクロールします。
- 3 [ストレージ管理] で、[ストレージの詳細設定] サブメニューを展開し、[ディスクとボリューム] を選択します。



- 4 リストから新しい仮想ハードディスクドライブを見つけ、[初期化] をクリックします。

Windows の旧バージョンにおける新しい仮想ハードディスクの初期化

新しい仮想ハードディスクをゲスト Windows OS で初期化するには、ディスク管理ユーティリティを使用する必要があります。たとえば、Windows 7（またはそれ以降）と Windows XP では、次の手順でこのユーティリティにアクセスできます。

- Windows 7（またはそれ以降）で [スタート] > [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [管理ツール] > [コンピューターの管理] > [記憶域] > [ディスクの管理] をクリックします。
- Windows XP で、[スタート] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [コンピューターの管理] > [記憶域] > [ディスクの管理] の順にクリックします。

ディスク管理ユーティリティを開くと、構成に追加された新しいハードディスクが自動的に検出され、ディスクの初期化と変換ウィザードが起動されます。

- 1 最初のウィンドウで、[次へ] をクリックします。

- 2** [初期化するディスクの選択] ウィンドウで、新しく追加されたディスクを選択し、[次へ] をクリックします。
- 3** [変換するディスクの選択] ウィンドウで、新しく追加されたディスクを選択し、[完了] をクリックします。

追加されたディスクは新しいディスクとしてディスク管理ユーティリティのウィンドウに表示されますが、そのメモリ領域は割り当てられません。ディスクメモリを割り当てるには、ディスク管理ユーティリティのウィンドウでそのディスク名を右クリックし、Windows Vista の場合には [新しいシンプルボリューム] を Windows XP の場合には [新しいボリューム] を選択します。[新しいシンプルボリュームウィザード]/[新しいボリュームウィザード] ウィンドウが表示されます。ウィザードの手順に従って、新しく追加したディスクに新しいボリュームを作成します。

ディスクが [コンピューター]/[マイコンピューター] に表示されたら、このディスクを仮想マシンのデータディスクとして使用できます。

Linux での新しい仮想ハードディスクの初期化

ゲスト Linux OS での新しい仮想ハードディスクの初期化は、(1) 仮想ハードディスク領域の割り当て、および (2) ゲスト OS でのディスクのマウントの 2 つのステップで実行します。

領域を割り当てるために、fdisk ユーティリティを使用してこの仮想ハードディスクに新しいパーティションを作成する必要があります。

注: fdisk ユーティリティを使用するには、root 権限が必要です。

- 1** ターミナルウィンドウを起動します。
- 2** 仮想マシン構成に存在する IDE ディスクデバイスの一覧を表示するには、次のコマンドを入力します。

```
fdisk /dev/hd*
```

注: 仮想マシン構成に SCSI ディスクを追加した場合は、代わりに fdisk /dev/sd* コマンドを使用します。

- 3 デフォルトでは、2番目の仮想ハードディスクが /dev/hdc として Linux 仮想マシンに表示されます。このデバイスを操作するには、次のコマンドを入力します。

```
fdisk /dev/hdc
```

注: これが SCSI ディスクの場合は、代わりに fdisk /dev/sdc コマンドを使用します。

- 4 ディスクに関する詳細情報を入手するには、次のコマンドを入力します。

```
p
```

- 5 新しいパーティションを作成するには、次のコマンドを入力します。

```
n
```

- 6 プライマリパーティションを作成するには、次のコマンドを入力します。

```
p
```

- 7 パーティション番号を指定します。デフォルトは 1 です。

- 8 先頭のシリンドを指定します。このハードディスクに単一パーティションを作成する場合は、デフォルト値を使用します。

- 9 最後のシリンドを指定します。このハードディスクに単一パーティションを作成する場合は、デフォルト値を使用します。

- 10 指定した設定のパーティションを作成するには、次のコマンドを入力します。

```
w
```

新しく追加した仮想ハードディスクに領域を割り当てる場合には、ターミナルで次のコマンドを入力してフォーマットする必要があります。

```
mkfs -t <FileSystem> /dev/hdc1
```

注: <FileSystem> には、このディスクで使用するファイルシステムを指定します。ext3 または ext2 を使用することをお勧めします。

追加された仮想ハードディスクをフォーマットすると、それをゲスト OS にマウントできます。

- 1 新しい仮想ハードディスクのマウントポイントを作成するには、次のコマンドを入力します。

```
mkdir /mnt/hdc1
```

注: 異なるマウントポイントを指定できます。

- 2 新しい仮想ハードディスクを指定されたマウントポイントにマウントするには、次のコマンドを入力します。

```
mount /dev/hdc1 /mnt/hdc1
```

仮想ハードディスクをマウントすると、その領域を仮想マシンで使用できます。

仮想マシンに物理ディスクを内部接続する

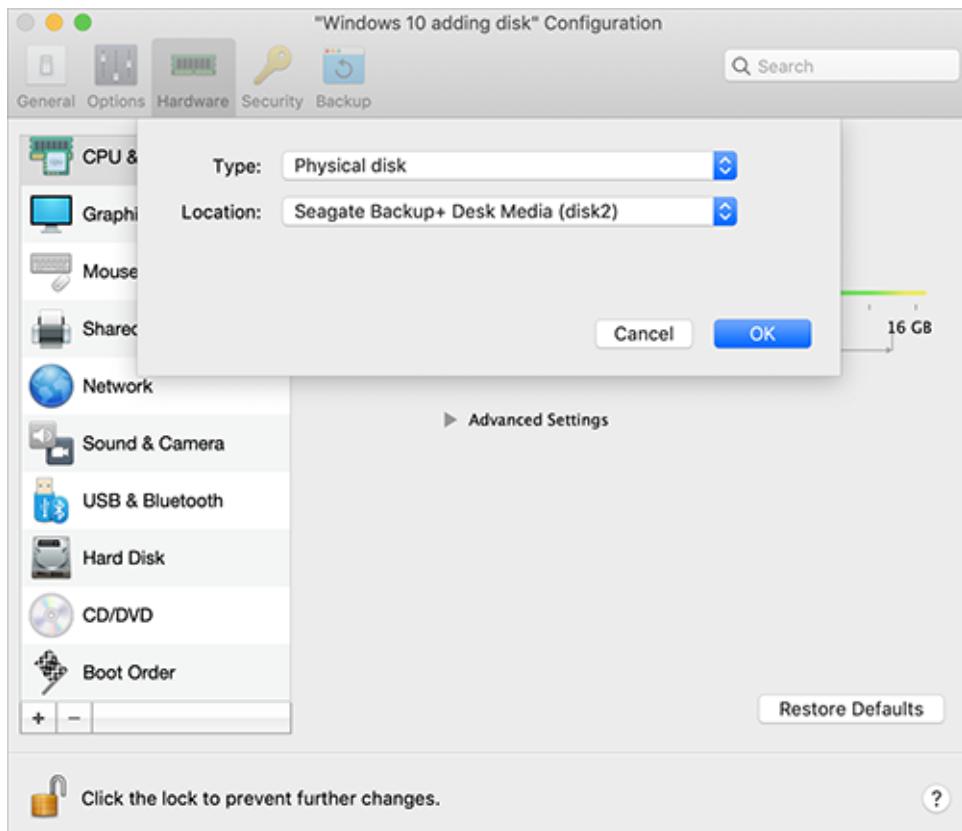
Parallels Desktop では、物理ハードディスクを内部ディスクとして仮想マシンに直接接続することができます。この方法で、新規または既存の仮想マシンに物理ディスクを追加できます。

新規の仮想マシンに物理ディスクを内部接続する

新規の仮想マシンに物理ディスクを直接接続するには、次の手順を実行します。

- 1 外付けディスクを USB で Mac に接続する
- 2 新規に仮想マシンを作成する場合、必ず [インストール前に設定をカスタマイズする] を選択してください。
- 3 仮想マシンの構成が開いたら、[ハードウェア] を選択し、[追加] ボタンをクリックして 、[ハードディスク] を選択します。

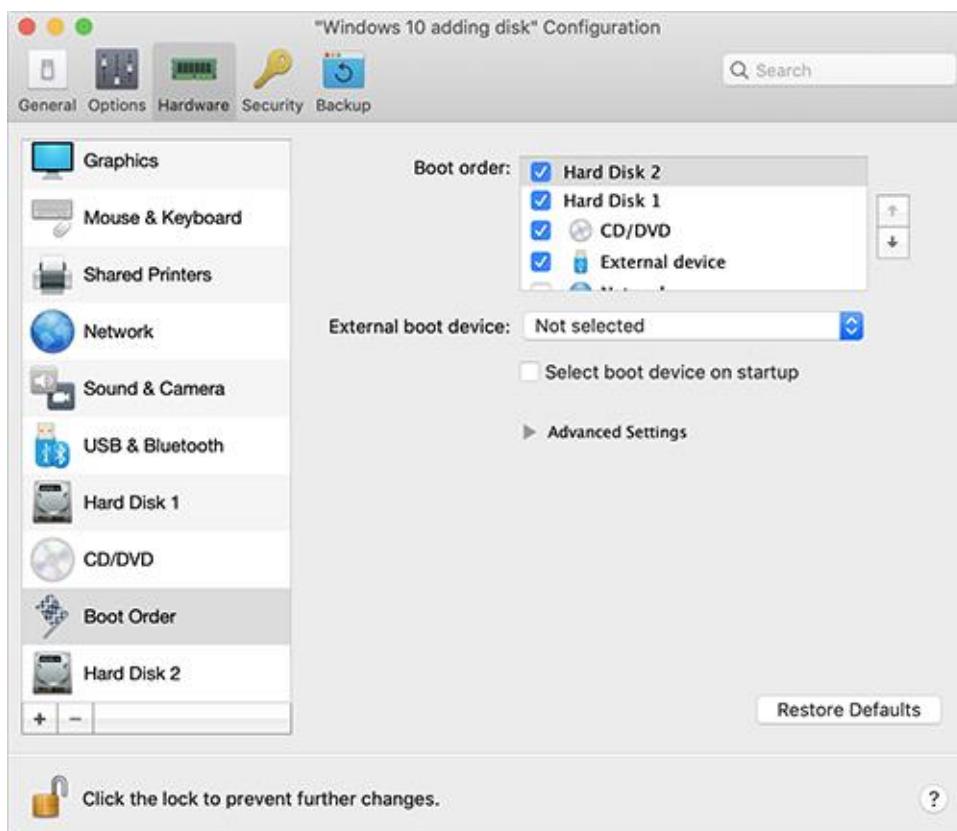
- 4 [タイプ] メニューから [物理ディスク] を選択し、[ロケーション] メニューから追加するディスクを選択し、[OK] をクリックします。



- 5 仮想マシンの構成に物理ディスクが表示されます。
そのデータを使って作業する場合、そのままにしておいてください。仮想マシンが起動すると、他の仮想マシンディスクの隣にこのディスクが表示されます。

このディスクから仮想マシンを起動する場合は、[ブート順序] をクリックし、上矢印を使用してこのディスクを [ブート順序] リストの一番先頭に移動させます

-



これで、物理ディスクを最初の起動デバイスとして選択すると、仮想マシンがそこから起動するようになります。

物理ディスクを既存の仮想マシンに内部接続する

既存の仮想マシンに物理ディスクを追加する手順は、上記の手順と非常によく似ています。次の手順を実行します。

- 1 外付けディスクを USB で Mac に接続する
- 2 仮想マシンがシャットダウンされていることを確認します。動作中の場合、macOS メニューバーの **Parallels** アイコンをクリックし、[処理] > [シャットダウン] を選択します。仮想マシンがサスペンドまたは一時停止されている場合、仮想マシンをレジュームしてからシャットダウンしてください。

- 3 macOS のメニューバーにある Parallels のアイコンをクリックし、[構成] を選択して仮想マシンの設定を開きます。[ハードウェア] を選択し、[追加] ボタン (+) をクリックして、[ハードディスク] を選択します。
- 4 その他の手順は、上記（手順 4 から）と同じです。

第 10 章

高度な説明

この章では、**Parallels Desktop** および仮想マシンの使用に関する追加情報を提供します。

この章の内容

仮想マシンの操作	239
Mac での他の OS の使用	262
Parallels Tools のインストールまたはアップデート	269
ファイルタイプの関連付け設定	276
ピクチャ・イン・ピクチャモード	278
Parallels Desktop の表示/非表示	281
Parallels Desktop の削除	282
詳細な環境設定	283
共有ネットワークの設定	284
ホストオンリネットワークの設定	287
カスタマイズされたホストオンリネットワークの作成	289

仮想マシンの操作

仮想マシンの操作について詳しくは、このセクションを参照してください。

サポートされるゲスト OS

Parallels 仮想マシンにインストールできる、公式にサポートされている OS の一覧は、<https://kb.parallels.com/en/124223> で確認できます。Parallels Desktop for Mac App Store Edition のリストは、<https://kb.parallels.com/en/123800 Error! Hyperlink reference not valid.> から確認できます。

ただし、他のシステムも動作する可能性があります。上記のリンクでリストアップされていないシステムを利用したい場合は、**Parallels Desktop** をインストールし、試用期間をアクティベートしてから、インストールをお試しください。システムが

正常に動作しない場合は、**Parallels フォーラム**（<https://forum.parallels.com/forums/parallels-desktop-for-mac-feature-suggestions.769/>）からお知らせください。

注: **Parallels Desktop** には、OS のインストールイメージは含まれていません。これらは、別途入手する必要があります。

仮想マシンの概要

Mac に Windows やその他の OS を追加できるように、**Parallels Desktop** では「仮想マシン」、つまり仮想コンピューターが Mac の内部に作成されます。次に、通常のコンピューターに OS をインストールする場合と同じ方法で仮想マシンに Windows をインストールします。

多くのユーザーは、**Parallels Desktop** を使用して仮想マシンを 1 つ作成し、Windows をインストールします。しかし、好きな数だけ仮想マシンをインストールして、それぞれの仮想マシンに異なる OS をインストールすることもできます。こうすることで、Mac で複数の OS を同時に使うことが可能になります。また、通常のコンピューターのように、仮想マシンをオン/オフにすること、構成すること、およびアプリケーションをインストールして使用することができます。

新しい仮想マシンの保存場所の設定

デフォルトでは、**Parallels Desktop** は ~/Parallels に仮想マシンを保存します。

新しい仮想マシンのデフォルトのインストール先を変更するには、次の操作を実行します。

1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[環境設定] を選択します。そして、[一般] をクリックします。
- Dock 内の **Parallels Desktop** のアイコンを右クリックし、[環境設定] を選択します。そして、[一般] をクリックします。

2 [仮想マシンのフォルダー] メニューから保存場所を選択します。

新しく作成されるすべての仮想マシンは、新しい場所に保存されます。既存の仮想マシンは、元の保存場所に残ります。

仮想マシンをアレンジする

多数の仮想マシンがある場合、コントロールセンターウィンドウがオーバーロードし、不便になることがあります。

コントロールセンターを構成し、仮想マシン名とアイコンのみの最低限の情報を表示できます。そのためには、Dock 内の [Parallels Desktop] アイコンをクリックして、macOS メニューバーで [表示] > [コンパクト表示] を選択します。

Parallels Desktop for Mac Pro Edition を使用している場合、仮想マシンの表示順を変更できます。Dock 内の Parallels Desktop アイコンをクリックし、[表示] > [並び替え] をクリックして、仮想マシンの表示順序を選択します。

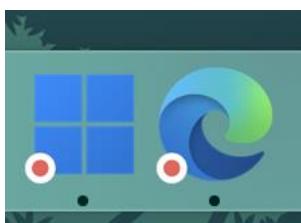
仮想マシンの判別

複数の仮想マシンを同時に実行している場合、通常それらの仮想マシンで実行中の全アプリケーションのアイコンが Dock 内に表示されます。それぞれのアプリケーションアイコンがどの仮想マシンのものなのか、判別が難しくなってしまいます。この場合、それぞれの仮想マシンに色を指定して区別することができます。次のいずれかを実行します。

- コントロールセンターで仮想マシンを右クリックし、コンテキストメニュー下部から色を選択します。
- macOS で仮想マシンを右クリックして（仮想マシンは通常、~/Parallels フォルダーに保存されています）、コンテキストメニューから色を選択します。

注: この機能は、Parallels Desktop の App Store エディションではサポートされていません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

たとえば、赤を指定した場合、その仮想マシンのアプリケーションの Dock アイコンには赤い点が表示されます。



仮想マシンアイコンの変更

注: この機能は Parallels Desktop for Mac Pro Edition でのみ利用できます。

ゲストオペレーティングシステムが同じ複数の仮想マシンが存在する場合、Dock アイコンが同じになるため、混乱しやすくなります。仮想マシンアイコンを変更するには、以下の手順に従います。

- 1 使用する新しいアイコンをクリップボードにコピーします（アイコンを選択して Command - C を押します）。
- 2 アイコンを変更する仮想マシンを右クリックして（仮想マシンは通常、`~/Parallels` フォルダーに保存されています）、[情報を見る] をクリックします。
- 3 左上隅の仮想マシンアイコンをクリックし、Command - V を押して新しいアイコンをクリップボードからペーストします。Finder 内および Dock 内の表示アイコンが変わります。

デフォルトのアイコンに戻すには、ステップ 2 を再実行し、仮想マシンアイコンをクリックして **Backspace** キーを押します。

仮想マシン名の変更

仮想マシン名は、コントロールセンターに表示され、ウィンドウモードで実行中はゲスト OS ウィンドウの一番上にも表示されます。

仮想マシン名を変更するには、以下の操作を実行します。

- 1 次のいずれかを実行します。

- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。
- Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[処理] > [構成] を選択します。

2 [一般] をクリックし、[名前] フィールドに新しい名前を入力します。

名前の長さは 50 文字に制限されています。

仮想マシンの複製

仮想マシンの複製

仮想マシン全体のコピーが必要な場合、この仮想マシンを複製することができます。複製とは、元の仮想マシンとまったく同一である別の仮想マシンです。複製を作成するには、以下の操作を実行します。

- 1 **Parallels Desktop** を起動します。
- 2 コントロールセンターで、複製したい仮想マシンを選択し（シャットダウンされている必要があります）、「[ファイル] > [複製]」を選択します。
- 3 複製を格納する場所を選択します。
Parallels Desktop では、デフォルトで複製が **[~/Parallels]** フォルダーに保存されます。
- 4 [保存] をクリックして仮想マシンの複製を開始します。

仮想マシンのリンククローンを作成する

注: この機能は **Parallels Desktop for Mac Pro Edition** でのみ利用できます。

リンククローンとは、仮想ハードディスクを親の仮想マシンと共有する仮想マシンのことです。このテクノロジーによって、親の仮想マシンのハードディスクにインストールされたソフトウェアを複数の仮想マシンで使用することが可能になります。これにより、ユーザーは **Mac** のハードディスクのスペースを節約することができます。リンククローンを作成するには、以下の操作を実行します。

- 1 **Parallels Desktop** を起動します。

2 コントロールセンターで、複製したい仮想マシンを選択し（シャットダウンされている必要があります）、「[ファイル] > [新規のリンクされた複製]」を選択します。

3 複製を格納する場所を選択します。

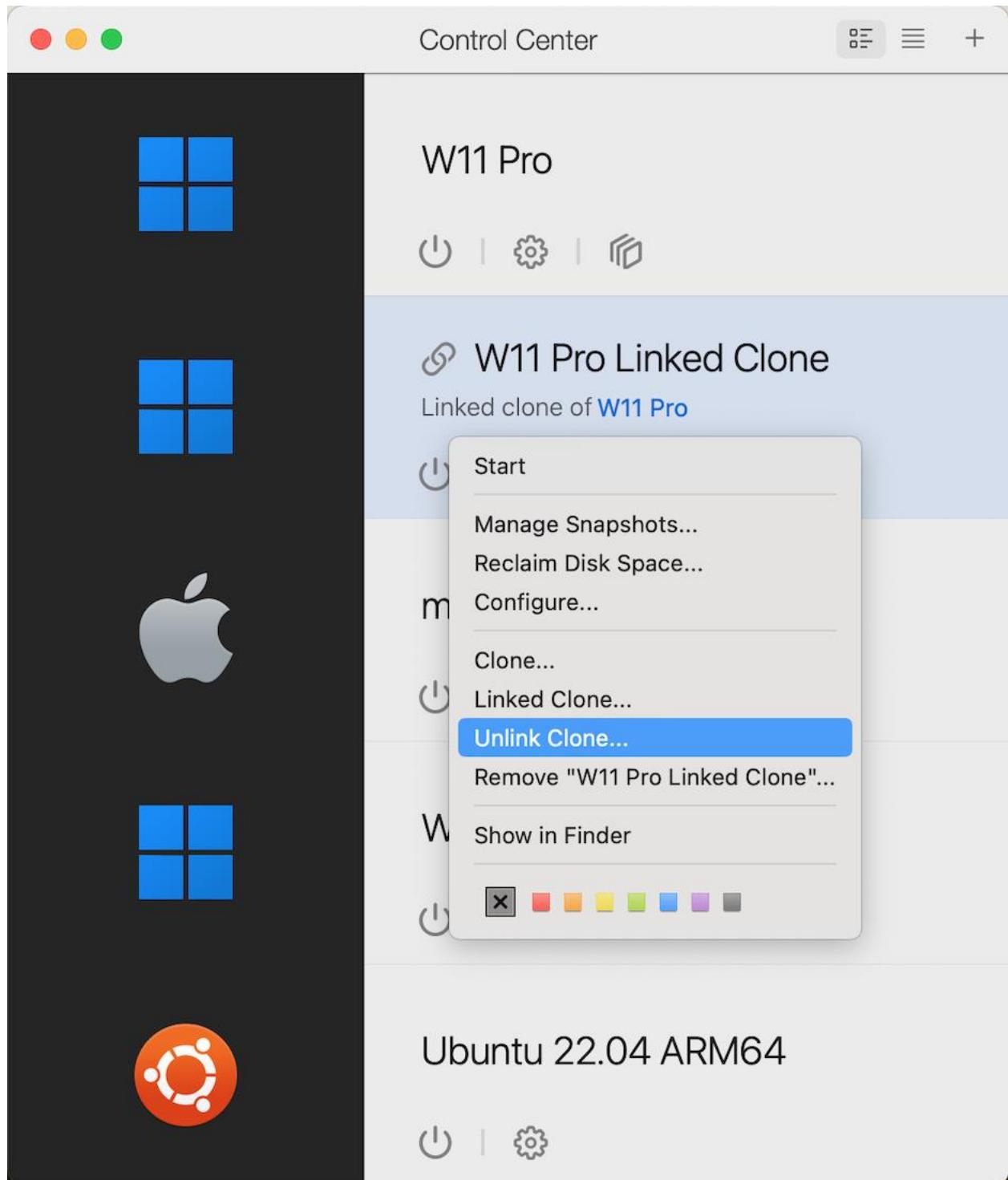
デフォルトでは、**Parallels Desktop** では元の仮想マシンがあるフォルダーにリンククローンが保存されます。

4 「[保存]」をクリックして仮想マシンの複製を開始します。

仮想マシンクローンのリンクを解除する

リンクされたクローンを他の場所に移したい場合は、まずクローンをスタンドアロンマシンに変換する必要があります。これを実行するには、**Parallels Desktop** コン

トロールセンターでリンクされているクローンを右クリックし、[クローンのリンクを解除] オプションを選択します。



これにより、リンクされたクローンは、リンクされていない元のマシンのスタンダードアロンクローンに変換されます。

注: リンクされたクローンとは異なり、この新しいリンクされていないクローンは、元の仮想マシンのサイズとほぼ同等のディスク領域を占有します。この作業を行う前に、十分な空き領域があることを確認してください。

仮想マシンのバックアップ

ほとんどの人は、深刻なデータ損失を経験しない限り、定期的なデータのバックアップの必要性を真剣に考えることはできません。データの損失を防ぐため、独自のバックアップ戦略を作成する必要があります。仮想マシンは、物理コンピューターと同様に、クラッシュによってダメージを受けます。

以下のいくつかの方法を使用して仮想マシンをバックアップできます。

- [仮想マシン構成] ダイアログボックスの [バックアップ] タブで、定期的なバックアップの設定を構成する。
- サードパーティのバックアップユーティリティを使用する。
- 仮想マシン複製アシスタント (p. 243) を使用して仮想マシンを複製する。複製にわかりやすい名前を付けてバックアップ用の場所に保存する。
- 仮想マシンファイルを手動でコピーする。
- 仮想マシンのスナップショットを作成する。

定期的なバックアップの構成

[仮想マシン構成] ダイアログボックスの [バックアップ] タブで、仮想マシンの定期的なバックアップ方法を選択できます。仮想マシンのスナップショットを作成する方法を設定できます。また、**Time Machine** を使用して仮想マシンをバックアップすることも選択できます。

Time Machine を使用して仮想マシンをバックアップする場合、仮想マシンの PVM ファイルは macOS に格納された他のファイルと一緒に自動的にバックアップされます。仮想ハードディスクファイル (HDD) は仮想マシンバンドルファイル (PVM) 内に格納されているため、結果的に仮想マシンのハードディスクに格納されたファイルもバックアップされます。

警告: Time Machine バックアップは、バックアップ中に Parallels 仮想マシンが停止またはサスペンションしている場合のみ、安全を保証します。

サードパーティのバックアップユーティリティを使用する

サードパーティのバックアップユーティリティを必要に応じて使用できます。

仮想マシンを複製する

仮想マシン複製アシスタントを使用して、仮想マシンの完全な複製を作成できます。詳細については、「仮想マシンの複製」(p. 243) を参照してください。

仮想マシンファイルのコピー

仮想マシンを Finder で検索し、仮想マシンファイル (PVM) のバックアップコピーを作成できます。

- 1 コントロールセンター（またはシャットダウンされている場合は仮想マシンウィンドウ）で、仮想マシンの名前を右クリックし、コンテキストメニューの [Finder に表示] を選択します。Finder で、仮想マシンが格納されたフォルダーに移動します。
- 2 必要な仮想マシン PVM ファイルを検索します。

注: PVM ファイルは、仮想マシン構成ファイル (PVS)、仮想ハードディスクファイル (HDD)、およびその他のファイルを含むバンドルです。仮想マシンファイルの詳細については、「仮想マシンについて」(p. 240) を参照してください。

- 3 仮想マシンの PVM ファイルを安全な場所にコピーします。

仮想マシンテンプレートの作成および使用

仮想マシンをベースに、テンプレートを作成することができます。その後、このテンプレートは、同一の仮想マシンを複数作成するために使えます。仮想マシンテンプレートを作成するには、次のいずれかを行います。

注: 仮想マシンテンプレートは Parallels Desktop for Mac Pro Edition でのみ利用できます。

- 仮想マシンをテンプレートに変換する。

- 仮想マシンをテンプレートに複製する。

これらの場合の違いとしては、仮想マシンをテンプレートに変換する場合、テンプレートを仮想マシンに再変換しなければ実行することができません。一方、仮想マシンをテンプレートに複製する場合は、テンプレートが仮想マシンと別に表示されるため、両方を操作することができます。

テンプレートは仮想マシンに変換するか、展開することができます。テンプレートを変換すると、仮想マシンに戻ります。また、テンプレートを展開すると、その結果生成される仮想マシンはテンプレートとは別に表示されるため、両方を操作することができます。

仮想マシンをテンプレートに変換する

仮想マシンをテンプレートに変換するには、以下の操作を実行します。

- 1 **Parallels Desktop** を起動します。
- 2 コントロールセンターで、変換したい仮想マシンを選択し（シャットダウンされている必要があります）、「[ファイル] > [テンプレートに変換]」を選択します。

テンプレートを仮想マシンに変換する

テンプレートを仮想マシンに変換するには、以下の操作を実行します。

- 1 **Parallels Desktop** を起動します。
- 2 コントロールセンターで、変換したいテンプレートを右クリックし、「[仮想マシンに変換]」を選択します。

仮想マシンをテンプレートに複製する

仮想マシンをテンプレートに複製するには、以下の操作を実行します。

- 1 **Parallels Desktop** を起動します。
- 2 コントロールセンターで、複製したい仮想マシンを選択し（シャットダウンされている必要があります）、「[ファイル] > [テンプレートに複製]」を選択します。
- 3 テンプレートを格納する場所を選択します。

Parallels Desktop では、デフォルトでテンプレートが [~/Parallels] フォルダーに保存されます。

- 4 [保存] をクリックして仮想マシンのテンプレートへの複製を開始します。

テンプレートを仮想マシンに展開する

テンプレートを仮想マシンに展開するには、以下の操作を実行します。

- 1 Parallels Desktop を起動します。
- 2 コントロールセンターで、変換したいテンプレートを右クリックし、[仮想マシンに展開] を選択します。
- 3 仮想マシンを格納する場所を選択します。

Parallels Desktop では、デフォルトで仮想マシンが [~/Parallels] フォルダーに保存されます。

- 4 [保存] をクリックしてテンプレートの仮想マシンへの展開を開始します。

仮想マシンのスナップショットの保存

スナップショットは、ゲスト OS の状態を保存したものです。スナップショットは、以下のような作業の前に作成しておくと役に立ちます。

- ゲスト OS を損なうおそれのあるアプリケーションを実行する。
- 多くの設定を必要とするゲスト OS ソフトウェアを構成する。
- 開発プロセスのマイルストーンを残しておきたいとき。

注意: 1.Boot Camp パーティションを使用する Windows 仮想マシンのスナップショットは作成できません。

2.仮想マシンに 1 つ以上のスナップショットがある場合は、その仮想ハードディスクの圧縮やサイズ変更を実行できません。

3.スナップショットを作成すると、仮想マシンの .pvm バンドルのサイズが増加します。

4.macOS 仮想マシンではスナップショットがサポートされていません。

何かがうまくいかなくなつたとしても、いずれかのスナップショットの状態に戻ることで、ゲスト OS での作業を続行できます。

スナップショットを作成する

注: 仮想マシンがアクティブになっているとき、スナップショットマネージャーは、macOS メニューバーの [処理] メニュー、macOS メニューバーの Parallels Desktop メニュー、または Dock の Parallels Desktop コンテキストメニューから利用できます。

- 1 Parallels Desktop を起動します。
- 2 コントロールセンターで、スナップショットの作成対象となる仮想マシンを右クリックし、[スナップショットの管理] を選択します。
- 3 [新規] をクリックし、スナップショット名を入力し、[OK] をクリックします。

スナップショットの作成を自動化する

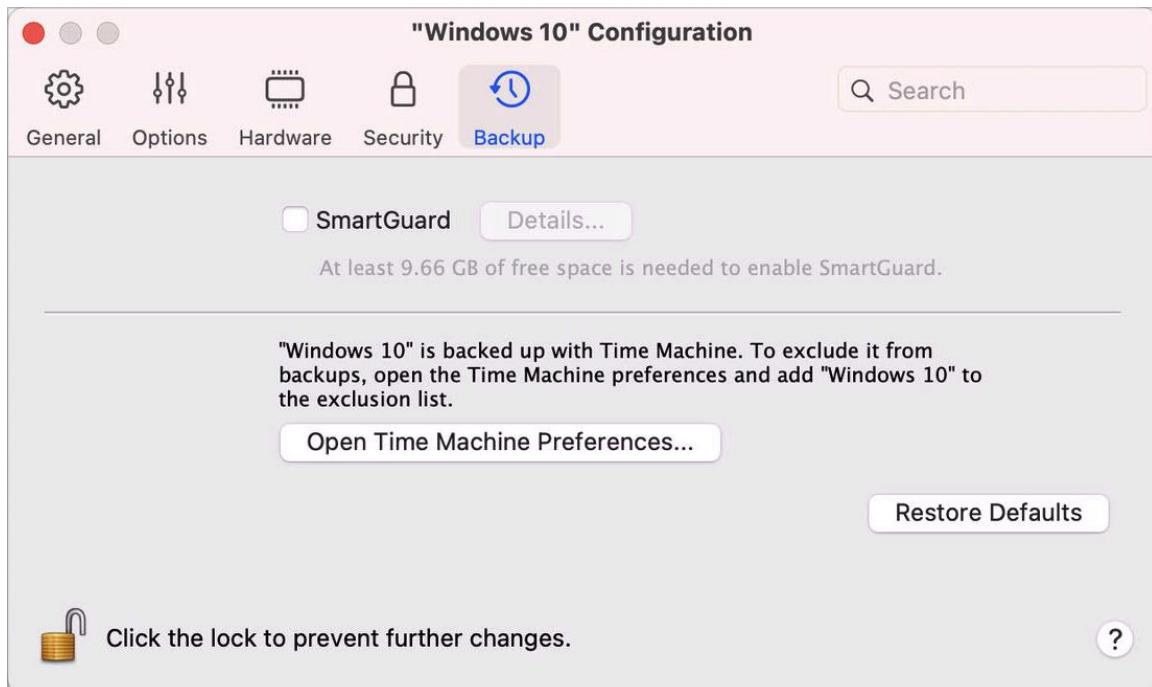
SmartGuard 機能を使用して、スナップショットの作成を自動化できます。

注: SmartGuard は、仮想マシンが [ロールバックモード] (p. 118) で実行されていない場合に限り使用できます。

スナップショット自動化の設定にアクセスするには、以下の操作を実行します。

- 1 Parallels Desktop を起動します。
- 2 コントロールセンターで、スナップショットの作成対象となる仮想マシンを右クリックし、[構成] を選択します。

3 [バックアップ] をクリックします。



4

スナップショットを自動化するには、SmartGuard を有効にして、[詳細] をクリックし、次のいずれかを実行します。

- [Time Machine 用に最適化] を選択します。このオプションを選択すると、48時間ごとにスナップショットが作成され、3 個のスナップショットのみ保持されます（4 個目を取得する時間に達すると、Parallels Desktop により最初のスナップショットが削除され、新しいスナップショットが作成されます）。このように、スナップショットが増えすぎて仮想マシンのサイズが増加することはありません。

Time Machine による Mac のバックアップ時には、仮想マシンとともにこれら 3 個のスナップショットがバックアップされます。これにより、Time Machine がバックアップするデータ量が減少し、仮想ハードディスクのバックアップの所要時間が短縮され、Time Machine のバックアップから仮想マシンハードディスクを復元する際にデータが紛失または破壊するリスクが最低限に抑えられます。

- スナップショットの頻度と保存するスナップショットの最大数を手動で設定します。次のスナップショットの作成時を把握し、そのスナップショットの作成を却下できるようにするには、[スナップショット作成前に通知] を選択します。

スナップショットの作成頻度を設定するには、以下の操作を実行します。

- [次の間隔でスナップショットを作成する] フィールドを使用します。1~48 時間を設定できます。

時間間隔が 24 時間より短い場合、SmartGuard では最新の時単位、日単位、および週単位のスナップショットを復元できます。時間間隔が 24 時間より長い場合、最新の日単位、週単位および月単位のスナップショットを復元できます。

保持するスナップショット数を制限するには、以下の操作を実行します。

- [保持するスナップショット数] フィールドを使用して、Mac に保存するスナップショットの最大数を設定します。

指定できる最大値は 100 です。スナップショットマネージャーは、スナップショットの数が上限に到達し、上限を超えて新しいスナップショットを作成する必要が生じると、一番古いスナップショットを削除します。

スナップショットに戻す

スナップショットに戻すには、以下の操作を実行します。

- 1 Parallels Desktop を起動します。
- 2 コントロールセンターで、元に戻したい仮想マシンを選択し、スナップショットアイコン  をクリックします。
- 3 どのスナップショットに戻すかを選択し、[移動] をクリックします。

スナップショットに戻すことを選択すると、現在の状態を新しいスナップショットとして保存するかどうか尋ねられます。現在の状態を保存する場合は [保存] を、保存せずに続行する場合は [保存しない] をクリックします。

スナップショットを削除する

スナップショットを削除するには、以下の操作を実行します。

- 1 Parallels Desktop を起動します。
- 2 コントロールセンターで、スナップショットを削除する仮想マシンを選択し、スナップショットアイコン  をクリックします。
- 3 削除するスナップショットを選択して、[削除] をクリックします。

最新ではない中間のスナップショットを削除すると、そこに含まれている情報は、次のスナップショットにマージされます。

実行時に仮想マシン構成を変更する

Parallels Desktop では、実行時に特定のデバイスに接続または切断したり、他のメディアを使用するためにそれらの一部を切り替えたりできます。

一般に、次の仮想デバイスは実行時に接続または切断できます。

- リムーバブルメディアドライブ
- ネットワークアダプター
- サウンドデバイス
- USB デバイス
- 共有フォルダー

仮想マシン構成にプリンターポートまたはシリアルポートがある場合、これらについても実行時に管理することができます。

これらのデバイスを構成するには、メニューバーの [デバイス] メニューで必要なコマンドを使用します。このメニューは、仮想マシンが実行中の場合にのみ使用できます。

リムーバブルメディアドライブの接続

仮想マシンに複数の CD/DVD ドライブが接続されている場合は、[デバイス] メニューにはそれらが接続された順に表示されます。最初の CD/DVD ドライブは CD/DVD 1、2 番目は CD/DVD 2 のようになります。

ネットワークアダプタの接続

次の 3 つのネットワークモードのいずれかを設定できます。共有ネットワーク、ブリッジネットワーク、またはホストオンリネットワーク。

サウンドデバイスの接続

サウンドデバイスを接続または切斷するには、出力（または入力）デバイスのタイプを選択するか、または [ミュート] オプションを選択します。

USB デバイスの接続

Parallels Desktop は、Mac コンピューターに差し込まれているすべての USB デバイスを自動的に検出します。仮想マシンに現在接続されているデバイスは、[デバイス] メニューの一覧に表示されます。仮想マシンで使用されている USB デバイスを macOS で使用することはできません。

共有フォルダーの接続

実行時に使用できる [共有フォルダー] オプションは、[仮想マシン構成] ダイアログボックスの設定に似ています。

ここでは、次のことを実行できます。

- すべての Mac ディスクまたはホームフォルダーを、仮想マシンとのみ共有する
- macOS で Windows のゲスト OS ディスクを共有する
- 新しい共有フォルダーを追加する

シリアルポートの接続

シリアルポートを接続または接続解除するには、[デバイス] メニューをクリックし、対応するシリアルポートを選択して、表示されたメニューから適切なコマンドを選択します。

プリンターを接続する

プリンターまたは出力ファイルに接続するには、[デバイス] > [プリンター] メニューをクリックし、任意のプリンターを選択するか、またはファイルへの印刷を選択します。

マウスホイールの水平スクロールを使用する

仮想マシンのアプリケーションのウィンドウを操作するには、マウスホイールの水平スクロールを使用できます。この機能は、仮想マシンに **Parallels Tools** がインストールされている場合にのみ使用できます。

仮想マシンの削除

Mac から仮想マシンを削除する

仮想マシンが必要なくなったら、Mac から完全に削除することができます。

警告: 削除する前に、仮想マシンファイル（仮想ハードディスクなど）が他の仮想マシンによって使用されていないことを確認してください。Boot Camp 仮想マシンを削除しても、Windows がインストールされている Boot Camp パーティションは Mac で使用可能な状態のまま残ります。

- 1 仮想マシンが実行されている場合はシャットダウンし、仮想マシンのウィンドウを右クリックし、[削除] を選択してください。[ファイル] > [削除] をクリックするか、コントロールセンターでこの仮想マシンを右クリックし、[削除] を選択することもできます。
- 2 [ゴミ箱に移動] をクリックします。

コントロールセンターから仮想マシンを削除する

コントロールセンターから仮想マシンを一時的に削除するには:

- 1 仮想マシンが実行されている場合はシャットダウンし、仮想マシンのウィンドウを右クリックし、[削除] を選択してください。[ファイル] > [削除] をクリックするか、コントロールセンターでこの仮想マシンを右クリックし、[削除] を選択することもできます。
- 2 [ファイルを保持する] をクリックします。

この仮想マシンが再度必要になった場合は、簡単に **Parallels Desktop** にインポート (p. 31) できます。

事前に構成された仮想マシンのダウンロード

必要な構成を備えた新しい仮想マシンを作成するための十分な時間がない場合は、定義済みの構成を備えた既成の仮想マシンをダウンロードできます。

Parallels の無料システムをダウンロード

Parallels Free Systems は、様々な OS (Linux、Windows、Android) を搭載したビルド済みの仮想マシンです。

このようなシステムをダウンロードし、Parallels Desktop で使用するには、以下の操作を実行します。

- 1 [ファイル] > [新規] を選択します。
- 2 [無料のシステム] セクションから必要なシステムを選択し、[続行] をクリックして、画面の指示に従います。

ダウンロードが完了したら、Parallels Desktop でこのシステムの使用を開始できます。

ゲスト OS の種類とバージョンの設定

仮想マシンで使用するゲスト OS の設定を変更することができます。これは、次のような場合に行います。

- ゲスト OS をアップグレードした場合 (Windows 10 から Windows 11へのアップグレードなど)、ゲスト OS の種類とバージョンをそれに応じて変更する必要があります。変更しないと、Parallels Tools (p. 269) が正しく機能しなくなります。
- OS をインストールせずに仮想マシンを作成し、その後、最初に指定したものとは別の OS で使用することにした場合。

ゲスト OS の種類とバージョンを設定するには、以下の操作を実行します。

- 1 仮想マシンをシャットダウンします。
- 2 [処理] メニューを開いて、[構成] を選択します。

- 3** [一般] をクリックし、[名前] フィールドのすぐ上のメニューから OS を選択します。

仮想マシンで使用可能なプロセッサー数の設定

Parallels Desktop for Mac では、Mac に搭載されている CPU の物理コア数に基づき仮想 CPU の最大許容数が自動的に計算されます。以下は、システム内に存在する N 個の論理コア (Apple Silicon システムの場合、N は通常、物理コア数に等しく、Intel ベースのシステムの場合、ハイパースレッディングの効果により、物理コア数の 2 倍になります) に関する割り当ての仕組みです。

プロファイル*	自動的に割り当てられる仮想コア数
生産性向上とソフトウェアテスト	N<8 の場合は 2 個の仮想コア、それ以上は N/2 の最小の偶数
ゲームのみ	N/2 以上の最小の偶数 (例: 16 コア CPU の場合は 16 コア)
デザインとソフトウェア開発	N/2 以下の最大の偶数 (たとえば、16 コア CPU の場合は 8 コア)
他のすべてのシナリオ	2 個の仮想コア

*プロファイルの詳細については、ガイドのこちらのページ (p. 134) を参照してください。

ただし、複数の仮想マシンを同時に実行することが多い場合、コアの自動割り当てはリソースの競合につながる可能性があります。各仮想マシンに割り当てる CPU の数は、手動で設定することをお勧めします。手動コア割り当て制限については、こちらのページを参照してください。

注: 最近のアプリのほとんどはマルチコアプロセッサーを念頭に設計されていますが、利用可能なコア数を均等に増やしたからといって、すべてのアプリが恩恵を受けるわけではありません。仮想コアの数を増やしても、必ずしもそれに見合ったパフォーマンスの向上が見られるとは限りません。

仮想マシンで使用可能なプロセッサ数を設定するには、以下の操作を実行します。

- 1 仮想マシンをシャットダウンします。
- 2 [処理] メニューを開いて、[構成] を選択します。

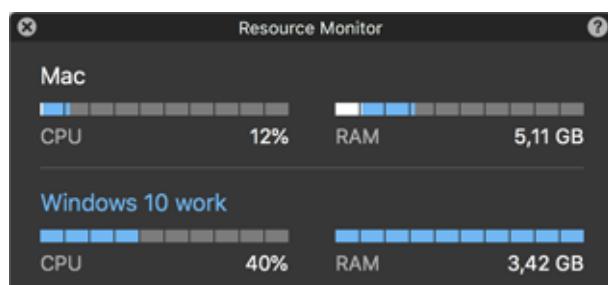
- 3 [ハードウェア] > [CPU とメモリ] をクリックし、[プロセッサ] メニューで数を選択します。

注: Parallels Desktop for Mac では、最大 4 個のコアを仮想マシンに割り当てることができます。Parallels Desktop for Mac Pro Edition では、最大 16 個のコアを割り当てることができます。

仮想マシンの CPU およびメモリ使用率の確認

仮想マシンで作業中に、Mac で使用中のメモリと CPU 時間を確認しなければならないことがあります。仮想マシンのリソース使用量が多すぎるため、Mac アプリケーションが低速になった場合は、仮想マシンに割り当てられた CPU の数 (p. 257) とメモリ容量 (p. 131) を簡単に削減できます。

現在の CPU およびメモリ使用率を確認するには、[ウィンドウ] > [リソースモニターを表示する] を選択します。



注: 仮想マシンに消費されるメモリ量が [CPU およびメモリ] タブでこの仮想マシンに割り当てられたメモリ量より多いことに気付くかも知れません。リソースモニターは、すべての仮想マシン処理のメモリ消費を示すので、これは正常なことです。

ゲスト OS での AppleScript の使用

AppleScript を使用して、ゲスト OS のアプリケーションで複数のファイルや Web サイトを開くことができます。これは、自動化されたワークフローを作成するのに必要です。

説明をわかりやすくするために、AppleScript (AppleScript エディター) を使用して Windows のメモ帳で .txt ファイルを開く必要があると仮定します。この場合のコマンドは、次のような構文になります。

```
tell application "Notepad"
```

```
open "/Users/username/somefile.txt"  
end tell
```

ゲスト OS のアプリケーションで Web サイトを開く場合の例として、**Internet Explorer** で "www.parallels.com" を開く必要があるとします。この場合のコマンドは、次のような構文になります。

```
tell application "Internet Explorer"  
open "//www.parallels.com"  
end tell
```

ディスク領域をすばやく解放

ディスク領域解放ウィザードを使用すると、仮想マシンのハードディスクを圧縮し、各種の不要なファイルを削除してディスク領域を解放できます。

ディスクをすばやく圧縮し、不要なファイルを削除し、ディスク領域を解放するには、次の手順を実行します。

- 1 仮想マシンをシャットダウンします。
- 2 [ファイル] > [ディスク領域を解放] を選択します。

ディスク領域解放ウィザードに、仮想マシンのスナップショット、キャッシュファイル、あるいは仮想マシン使用中に生成される不要なファイル（統計ファイル、メモリダンプ、クラッシュダンプファイルなど）を削除してディスク領域を再利用できることが表示されます。

[仮想ディスクを手動で圧縮] または仮想マシン構成の [一般] タブで [再利用] をクリックしてディスク領域を節約することもできます。

仮想マシンのアーカイブと解凍

2 つ以上の仮想マシンが存在する場合、Mac に十分な領域がないことに気づかれるでしょう。仮想マシンをほとんど使用しない、または全く使用しない場合、アーカイブして、Mac のハードディスクで仮想マシンが占有するディスク領域を大幅に少なくします。

仮想マシンのアーカイブ

仮想マシンをアーカイブするには、以下の手順に従います。

- 1 Dock 内の **Parallels Desktop** のアイコンを右クリックし、[コントロールセンター] を選択します。
- 2 仮想マシンを右クリックして [アーカイブ] を選択します。

仮想マシンの解凍

アーカイブされた仮想マシンは起動できません。アーカイブされた仮想マシンを起動するには、まず解凍する必要があります。次の手順を実行します。

- 1 Dock 内の **Parallels Desktop** のアイコンを右クリックし、[コントロールセンター] を選択します。
- 2 アーカイブされた仮想マシンを右クリックして [開始] を選択します。
- 3 仮想マシンを解凍するためにプロンプトするダイアログで、[解凍] をクリックします。

転送用の仮想マシンを準備する

別のユーザーと共有するため、仮想マシンを別の Mac に転送する必要がある場合、転送の準備を行えます。仮想マシンのサイズは可能な限り圧縮され、転送に必要なディスク領域と時間を節減することができます。

注: この機能は **Parallels Desktop for Mac Pro Edition** と **Business Edition** でのみ利用できます。

転送用の仮想マシンを準備する

次の手順を実行します。

- 1 仮想マシン構成がシャットダウンされていることを確認します。仮想マシンが稼働している場合、シャットダウンしてください。仮想マシンが一時停止またはサスPENDされている場合、仮想マシンをレジュームしてからシャットダウンしてください。

注: Boot Camp ベースの仮想マシン、アーカイブされた仮想マシン (p. 259)、リンクされたクローン (p. 243) は転送の準備ができません。

- 2** 仮想マシンに、スナップショットがある場合、削除することをお勧めいたします。これによって、仮想マシンのサイズを大幅に縮小できる場合があります。さらにこれらのスナップショットは、ハードウェア構成が異なるため、他の Mac で使用できない場合があります。
- 3** 同じ iCloud アカウントにサインインした Mac 間で Windows 11 仮想マシン (および TPM (p. 220) を有効にしたその他のマシン) を転送する場合、通常は問題なく動作します。それ以外の場合は、こちらの KB 記事 <https://kb.parallels.com/122702#section5> に記載されている手順に従ってください。
- 4** macOS メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックしてから、[コントロールセンター] を選択して、**Parallels Desktop** コントロールセンターを開きます
- 5** 転送したい仮想マシンを右クリックして、[転送の準備] を選択します。**Parallels Desktop** により仮想マシンのパッケージが作成されます。仮想マシンのサイズによって、この処理には時間がかかる可能性があります。
- 6** パッケージが作成されると、右クリックして保存されている場所を参照することができます。パッケージの拡張子は、.pvmp です。

処理中にエラーメッセージが表示されなければ、すべての仮想マシンのデータを含むパッケージが正常に作成されたことを意味します。必要に応じて、よく確認してください。仮想マシンのチェックサムと、パッケージのチェックサムを比較する必要があります。これらは一致していなければなりません。

仮想マシンのチェックサムを確認するには、パッケージの横に作成および保存されている .txt ファイルを開きます。このファイルの文字列が、エンコード済みのチェックサムです。

パッケージのチェックサムを確認するには、ターミナルを開き、次のコマンドを実行します。

```
shasum -a 256 <path to the package>/"<package_name>"
```

このコマンドは、たとえば次のように記述されます。

```
shasum -a 256 /Users/<your_user>/Parallels/"Windows 7.pvmp"
```

次のような出力が表示されます。

```
63a90c3c38cc8c358221da339068fc1292b10bf7c00ed8449787b0e6019d  
706b /Users/parallels/Parallels/Windows 7.pvmp
```

開始部分の文字列が、前述の *.txt* ファイルの文字列と一致している必要があります。ただし、文字列全体を比較する必要はありません。開始部分の 4 文字と、終端部分の 4 文字を比較すれば十分です。

仮想マシンを転送する

パッケージの作成後は、それを別の Mac に転送する必要があります。これは、クラウドストレージ、ネットワークドライブ、外部ハードディスクなどを使用して実行できます。

別の Mac の仮想マシンを開く

別の Mac のパッケージを開くには、次の手順を実行します。

- 1 Parallels Desktop を起動して、[ファイル] > [開く] をクリックします。
- 2 パッケージが保存されているフォルダーに移動するので、パッケージを選択して、[開く] をクリックします。Parallels Desktop コントロールセンターで、パッケージが表示されます。
- 3 パッケージを右クリックして、[パッケージを開く] を選択します。Parallels Desktop により仮想マシンのパッケージが展開されます。パッケージのサイズによって、この処理には時間がかかる可能性があります。仮想マシンのパッケージが展開されたら、その仮想マシンを使用して起動できます。

Mac で他の OS を使用する

Windows 10、またはそれ以降の OS を使用する場合の情報については、このセクションをお読みください。

ゲスト OS のキーボードのカスタマイズ

デフォルトでは、Parallels Desktop には次の OS の標準的なキーの組み合わせを表す 4 つのプロファイルが含まれています。

- Windows
- Linux
- macOS
- Generic (その他のゲスト OS 用)

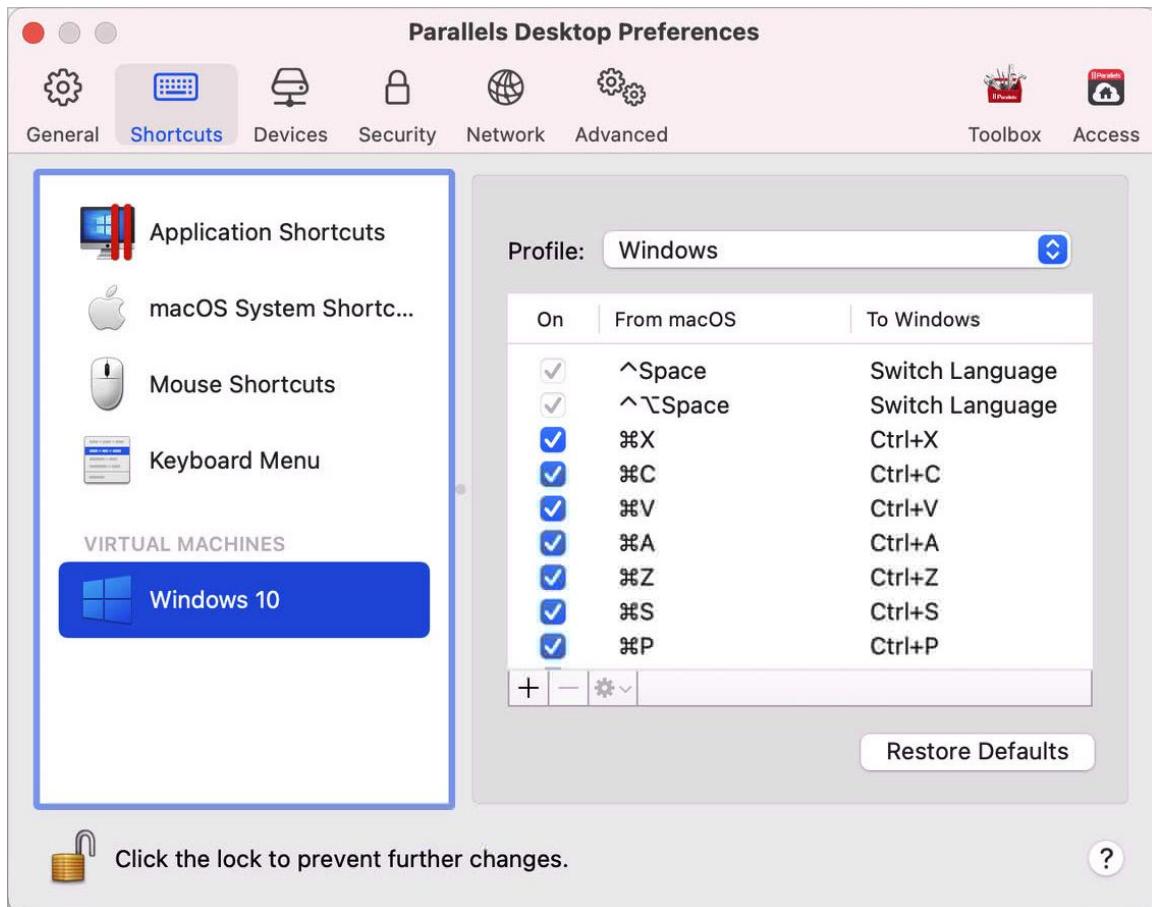
仮想マシンを作成または登録すると、そのゲスト OS に応じてこれらのプロファイルのいずれかがそのマシンにデフォルトで割り当てられます。ユーザーは独自のプロファイルを作成し、それを仮想マシンに割り当てることができます。

カスタムキーボードプロファイルを作成、または既存のプロファイルを編集するには、以下の操作を実行します。

1 次のいずれかを実行します。

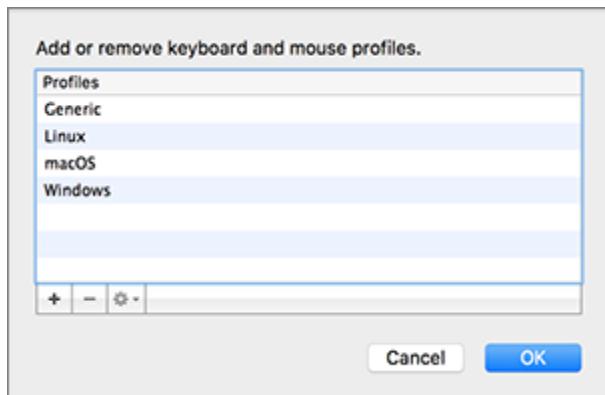
- メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[環境設定] を選択します。
- Dock 内の **Parallels Desktop** のアイコンを右クリックし、[環境設定] を選択します。

2 [ショートカット] をクリックします。



3

4 サイドバーから仮想マシンを選択し、[プロファイル] メニューをクリックし、[プロファイルリストの編集] を選択します。



5 次のいずれかを実行します。

- 新しいプロファイルを追加するには、[追加] ボタン をクリックします。新しいプロファイル名を指定し、リストから基本プロファイルを選択します。

プロファイルが作成されたら、[OK] をクリックして変更を送信します。次に、[プロファイル] リストでこの新規プロファイルを選択し、ショートカットを構成します。

- 既存のカスタムプロファイルのいずれかを削除するには、そのプロファイルを選択して [削除] ボタン  をクリックします。
- 既存のプロファイルの 1 つを複製または名称変更するには、そのプロファイルを選択し、ボタン  をクリックして、メニューから該当する処理を選択します。

注: 名前変更または削除が可能なのは、カスタムプロファイルのみです。

Parallels Desktop 環境設定の [ショートカット] ペインで、仮想マシンにプロファイルを割り当てることもできます。

仮想マシンに割り当てられたプロファイルを変更するには、次の操作を実行します。

- 仮想マシンを選択し、[プロファイル] メニューからプロファイルを選択します。

ゲスト OS としての macOS の使用

仮想マシンに macOS のコピーをインストールして、それをゲスト OS として使用できます。たとえば、メインアカウントにログイン/ログアウトせずに、macOS の別のバージョンでソフトウェアをテストしたい場合に便利です。

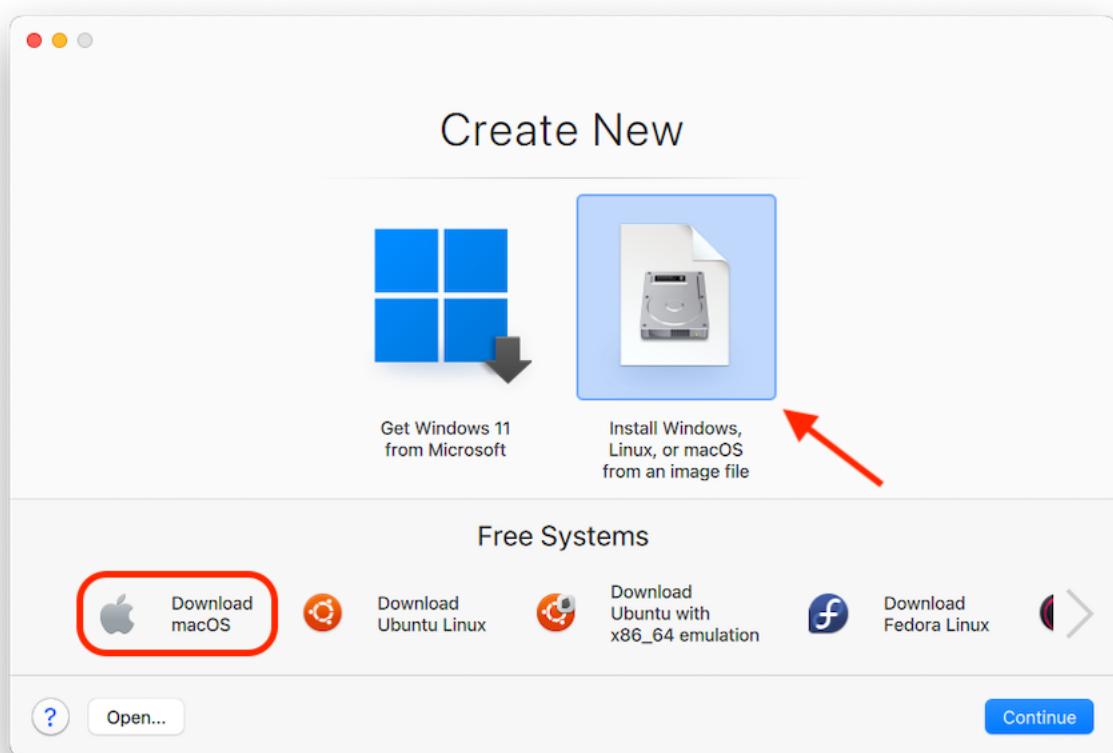
注: App Store Edition の場合、この機能は Intel Mac マシンのみで利用可能であり、Apple Silicon Mac では利用できません。App Store Edition の詳細については、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

デフォルトで、

仮想マシンに macOS をインストールするには、以下の操作を実行します。

- 1 Parallels Desktop を開き、[ファイル] > [新規] を選択するか、コントロールセンターの右上隅にある [+] ボタンを使用します。

- 2 [無料システム] で [ダウンロード macOS] を選択し、[続行] をクリックして、画面の指示に従います。このプロセスでは、一般公開されている macOS の最新バージョンがインストールされます。
- 3 別のバージョンの macOS をインストールする場合は、イメージファイルから [Windows、Linux、または macOS をインストールする] オプションを使用し、画面の指示に従います。このメソッドではドラッグアンドドロップもサポートされています。



4

注: Parallels Desktop バージョン 19 以降では、Apple Silicon を搭載した Mac 上で、.ipsw ファイルを使用して macOS 仮想マシンをセットアップできます。

.ipsw ファイルからインストールするには、ファイルをダブルクリックして、新しい仮想マシンの名前を選択し、[作成] をクリックします。

コマンドラインインターフェイスを使用して macOS マシンを作成する方法については、『Parallels Desktop 開発者ガイド』の該当するセクション <https://docs.parallels.com/parallels-desktop-developers-guide/command-line-interface-utility/manage-virtual-machines-from->

[cli/general-virtual-machine-management/create-a-virtual-machine#creating-a-macos-virtual-machine](#) を参照してください。

macOS 仮想マシンにはいくつかの制限が残っており、そのうちのいくつかは CPU アーキテクチャに特有のものです。たとえば、Coherence モード (p. 47) は macOS 仮想マシンではサポートされていません。

また、ゲスト OS として Windows を使用している場合と同様に、ホストとゲストの macOS 間でもテキストのコピーと貼り付けやファイルのドラッグ & ドロップを行えます (Intel ベースの Mac の場合のみ)。

警告: Apple 独自の仮想化フレームワークの制限により、Apple ID でのサインインや、バックアップ、同期、リモート管理のために macOS 仮想マシンを iCloud に接続すること ([システム設定] -> [Apple ID]) は、Apple Silicon Mac ではサポートされていません。

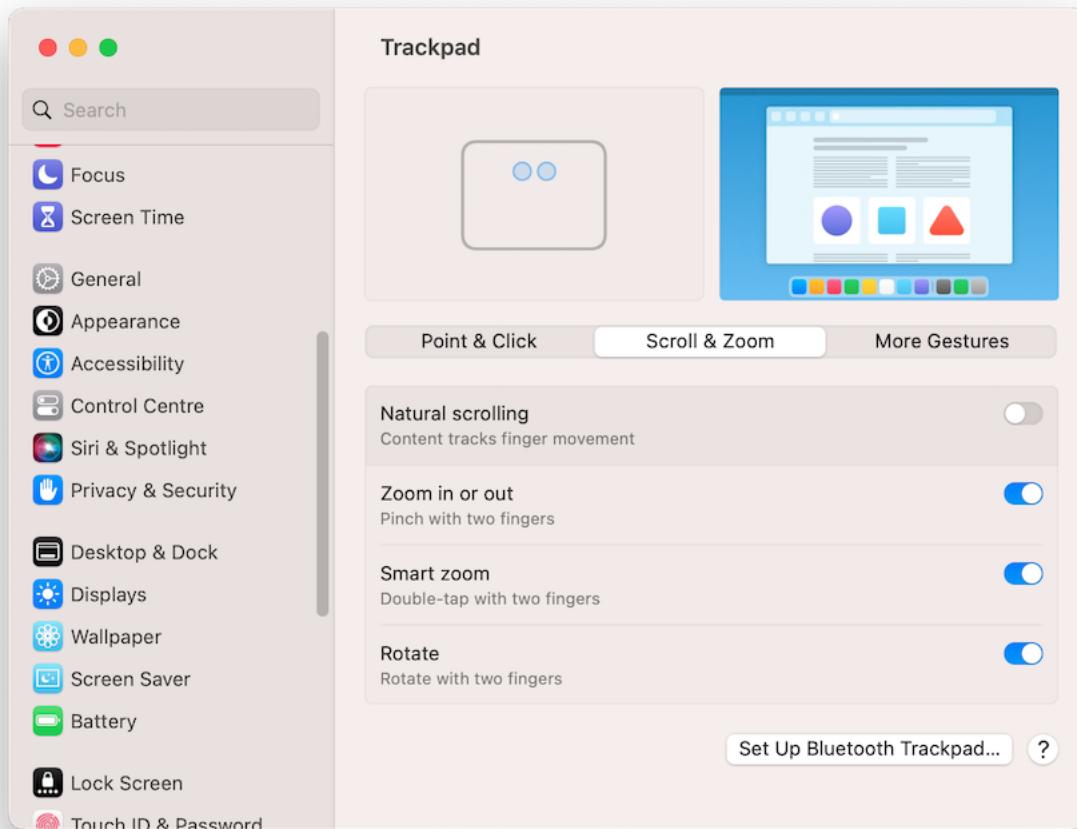
Apple Silicon Mac 上で動作する macOS 仮想マシンの最新の制限については、こちらの KB 記事 **Error! Hyperlink reference not valid.** を参照してください

ファンクションキーやその他のシステムショートカットにより、macOS のホストバージョンかゲストバージョンでアクションをトリガーするかどうかを設定 (p. 86) することもできます。

サポートされているトラックパッドのジェスチャー

Parallels Desktop 19 は、Apple Silicon Mac 上のゲスト macOS マシンでマルチタッチジェスチャーをサポートします（制限あり）。現在のところ、2 本指のジェス

チャーがサポートされており、たとえば、縦横スクロール、ピンチによる拡大/縮小、回転などが可能です。



注: この機能を使用するには、ホストの Mac のプライマリ OS として、macOS 13 以降が実行されている必要があります。

現時点では、3 本指または 4 本指のジェスチャーは、依然としてプライマリの macOS のみをサポートしており、ゲスト OS はサポート外になっています。

Parallels Tools のインストールまたはアップデート

Parallels Tools は、バックグラウンドで機能する一連のツールで、これにより macOS と Windows などのゲスト OS とのシームレスな連携が可能となります。

このセクションでは、**Parallels Tools** の概要およびさまざまなゲスト OS 用にインストールする方法について説明します。

Parallels Tools の概要

Parallels Tools は、仮想マシンを最も快適で効率的な方法で使用できるようにする特別なユーティリティ群です。Parallels Tools を使用すると、仮想マシンと Mac の間でのマウスのシームレスな移動や単純なウィンドウサイズの変更による仮想マシンの画面解像度の変更を実行できます。また、仮想マシンの日時設定とホストコンピューターの時刻設定との同期、Mac のディスクやフォルダーの仮想マシンとの共有、macOS と仮想マシン間でのテキストのコピーやオブジェクトのドロップも可能になります。

Parallels Tools は、Windows、Linux、macOS の広く使用されている OS の大部分で使用でき、以下のユーティリティを備えています。お使いのゲスト OS でサポートされるすべてのユーティリティは、**Parallels Tools** をインストールする際に、1つのパッケージとして仮想マシンにインストールされます。

ユーティリティ	利用可能な OS	説明
マウス同期ツール	Windows Linux macOS	マウス同期ツールは、ポインターが仮想マシンのウィンドウに移動するたびにそのマシンでマウス入力をキャプチャし、ポインターがそのウィンドウから離れるとき、自動的に入力を解放します。
時刻同期ツール	Windows Linux macOS	時刻同期ツールを使用すると、仮想マシンの時刻設定をカスタマイズできます。色々な機能があります！ <ul style="list-style-type: none"> 仮想マシンの時刻設定を Mac の時刻設定と自動的に同期する。

		<ul style="list-style-type: none"> Mac と仮想マシンの間の時間差を設定および管理する。
ドラッグアンドドロップツール	Windows Linux	<p>ドラッグ & ドロップツールを使用すると、Windows および Linux 仮想マシンと macOS との間でファイルのドラッグ & ドロップを実行できます。</p>
クリップボード同期ツール	Windows Linux macOS	<p>クリップボード同期ツールを使用すると、以下の間でテキストを容易に交換できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮想マシンと Mac 各種の仮想マシン（インストールされているゲスト OS を問わない） <p>テキストのコピーと貼り付けには、必ず現在の OS での標準の手順を使用します。たとえば、ゲスト Windows OS でテキストをコピーするには、テキストを選択して Ctrl+C キーを押します。macOS でこのテキストを貼り付けるには、Cmd+V キーを押すか、ショートカットメニューの [貼り付け] を選択します。</p>
動的解像度ツール	Windows Linux macOS	<p>動的解像度ツールを使用すると、解像度を動的に変更できます。ゲスト OS ウィンドウの右下隅をドラッグしてウィンドウのサイズを変更すると、ゲスト OS ウィンドウの解像度が自動的に変更されます。</p>
共有フォルダーツール	Windows Linux macOS	<p>共有フォルダーツールを使用すると、Mac のフォルダーを仮想マシンと共有できます。その逆も同様です。このツールにより、仮想マシンから Mac フォルダーにアクセスできます。</p>
Coherence ツール*	Windows	<p>Coherence ツールを使用すると、Windows アプリケーションを Mac アプリケーションのように起動および使用できます。このツールにより、仮想マシンのメインインターフェイスが非表示になり、ゲスト OS と Mac のアプリケーションのみが表示されます。</p>
共有プロファイルツール	Windows Linux	<p>共有プロファイルツールを使用すると、Mac のデスクトップ、ピクチャ、書類、ダウンロード、ミュージックおよびビデオを仮想マシンと共有できるため、このそれぞれにゲスト OS から直接アクセスできるようになります。</p>
共有アプリケーションツール*	Windows Linux	<p>共有アプリケーションツールを使用すると、特定の種類のファイルに対してデフォルトのアプリケーションを指定できるようになります。これにより、この種類</p>

		のファイルをデフォルトで Windows または Linux アプリケーションで開き、それ以外のファイルを macOS で開くことができます。
共有インターネットアプリケーションツール	Windows	共有インターネットアプリケーションツールを使用すると、仮想マシンにインストールされているインターネットブラウザーを含むインターネットブラウザーを、さまざまな種類のインターネットページのデフォルトのインターネットブラウザーとして指定できます。たとえば、インターネットのページを macOS のデフォルトのインターネットブラウザーで開き、FTP のページを仮想マシンのインターネットブラウザーで開くように設定できます。
SmartMount	Windows Linux	SmartMount は、Mac に接続されているボリュームを自動的に検出し、これを仮想マシンでも使用できるようにします。
印刷ツール	Windows Linux	印刷ツールを使用すると、ホストとゲスト OS のプリンターを同期できます。
トレイ統合ツール*	Windows	トレイ統合ツールを使用すると、Windows のトレイアイコンを Mac のメニューバーで使用できます。

注: * マークの機能は App Store Edition ではご利用いただけません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

Parallels Tools のディスクイメージは Parallels Desktop と共にインストールされます。サポートされるゲスト OS の種類ごとに、個別の Parallels Tools ディスクイメージがあります。

- prl-tools-win.iso - ゲスト Windows OS 用の Parallels Tools のディスクイメージ
- prl-tools-lin.iso - ゲスト Linux OS 用の Parallels Tools のディスクイメージ
- prl-tools-mac.iso - ゲスト macOS オペレーティングシステム用の Parallels Tools のディスクイメージ

これらのディスクイメージは、Mac の次の場所にあります:
/Applications/Parallels Desktop.app/Contents/Resources/Tools

注: 前述のディスクイメージは Intel Mac 用です。Apple Silicon Mac をお使いの場合は、同じフォルダーに -arm と記載されたディスクイメージが格納されています。

Windows 用の Parallels Tools

重要: Parallels Desktop が提供する多くの機能を利用するには、Parallels Tools をインストールする必要があります。

Parallels Tools は、次のゲスト Windows OS にインストールできます。

- Windows 11
- Windows 10
- Windows 8、8.1
- Windows 7
- Windows Server 2008

Windows の旧バージョンのサポートについては、こちらの KB 記事

<https://kb.parallels.com/129252> を参照してください。

Parallels Tools のインストール

Windows の初回インストール時に [高速インストール] を選択した場合、Parallels Tools はインストール中に自動的にインストールされます。

[高速インストール] を選択しなかった場合は、次の手順で Parallels Tools をインストールします。

- 1 Windows を起動します。
- 2 Windows が起動したら、Parallels Tools イメージを仮想マシンに接続します。
メニューバーで、[デバイス] > [CD/DVD] > [イメージの接続...] をクリックします。
- 3 [アプリケーション] > Parallels Desktop.app > [コンテンツ] > [リソース] > [ツール] > Prl-tools-win-arm.iso (Apple Silicon Mac の場合)、prl-tools-win.iso (Intel Mac の場合) を選択します。

これにより、Parallels Tools で仮想 CD/DVD がマウントされます。

- 4 autorun ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。
- 5 インストールの完了後、[再スタート] をクリックして仮想マシンを再スタートするか、自動的に再スタートされるまで待機します。

Parallels Tools の再インストールまたはアップデート

Parallels Tools を再インストールするには、以下の操作を実行します。

- 1 Windows を起動します。

Windows の開始時に Parallels Desktop が Coherence モードの場合、メニューバーから Parallels Desktop アイコンをクリックし、[Coherence の終了] を選択します。

- 2 Windows が起動したら、メニューバーの [処理] メニューから [Parallels Tools の再インストール] を選択します。

このオプションは、Parallels Tools が最新の場合にのみ使用できます。Parallels Tools が最新でない場合は、[Parallels Tools のアップデート] オプションが表示されます。

Parallels Tools がインストールされたかどうかの確認

Parallels Tools がインストールされたかどうかは、簡単に確認できます。仮想マシンを起動して、ウィンドウのステータスバーを確認します。仮想マシンのウィンドウのステータスバーに、"Ctrl+Alt を押してマウスとキーボードを解放します" というメッセージが表示されている場合は、Parallels Tools はインストールされていません。Parallels Tools がインストールされている場合は、マウスとキーボードを解放するためにキーを押す必要はありません。マウスとキーボードは自動的に解放されます。

Linux 用の Parallels Tools

Linux の初回インストール時に [高速インストール] を選択した場合、Parallels Tools はインストール中に自動的にインストールされます。

注: Apple Silicon Mac 上の Parallels Desktop でサポートされる Linux ディストリビューションの最新リストについては、こちら <https://kb.parallels.com/124223> を参照してください。

[高速インストール] を選択しなかった場合は、次の手順で **Parallels Tools** をインストールします。

- 1 Linux 仮想マシンを起動します。
- 2 Linux が起動したら、**Parallels Tools** イメージを仮想マシンに接続します。メニューバーで、[デバイス] > [CD/DVD] > [イメージの接続...] をクリックします。
- 3 [アプリケーション] > **Parallels Desktop.app** > [コンテンツ] > [リソース] > [ツール] > `prl-tools-lin-arm.iso` (**Apple Silicon Mac** の場合) 、`prl-tools-lin.iso` (**Intel Mac** の場合) を選択します。

これにより、**Parallels Tools** で仮想 CD/DVD がマウントされます。

- 4 `install-gui` ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。
- 5 インストールの完了後、[再スタート] をクリックして仮想マシンを再スタートするか、自動的に再スタートされるまで待機します。

ターミナルを使用して **Parallels Tools** をインストールする方法

ターミナルを使用して **Parallels Tools for Linux** をインストールする方法については、こちらの KB 記事 <https://kb.parallels.com/129740#section2> を参照してください。

Parallels Tools がインストールされているかどうかを確認する方法

Parallels Tools がインストールされたかどうかは、簡単に確認できます。仮想マシンを起動して、ウィンドウのステータスバーを確認します。仮想マシンのウィンドウのステータスバーに、"Ctrl+Alt を押してマウスとキーボードを解放します" というメッセージが表示されている場合は、**Parallels Tools** はインストールされていません。**Parallels Tools** がインストールされている場合は、マウスとキーボードを解放するためにキーを押す必要はありません。マウスとキーボードは自動的に解放されます。

トラブルシューティング

すべての必須パッケージが揃っていないために、**Parallels Tools** のインストールに失敗する場合があります。ゲスト OS の `/var/log/parallels-tools-install.log` ファイル

でエラーメッセージを確認して、欠落しているパッケージをインストールしてから、**Parallels Tools** を再度インストールしてください。

Parallels Tools のインストールの詳細については、<http://kb.parallels.com/jp/> に掲載されている **Parallels** ナレッジベースを参照してください。

Parallels Tools のアップデート

Parallels Tools for Linux の新しいバージョンが利用可能な場合は、**Parallels Tools** インストールエージェントウィンドウが表示されます。**root** 権限を取得するコマンドを選択し、パスワードを入力するよう指示されます (**su - root** パスワード、**sudo - お使いのユーザーのパスワード**)。その後、**Parallels Tools** が自動的にアップデートされます。

Parallels Tools を再インストールする

Linux に **Parallels Tools** を再インストールするには、まず **Parallels Tools** を削除してから、もう一度インストールします。

Mac 用の Parallels Tools

注: macOS の仮想マシンには、他のオペレーティングシステムの仮想マシンと比べて、Coherence モードがない、共有プロファイルがないなどの制限があります。詳細については、こちらの KB 記事 <https://kb.parallels.com/128867> を参照してください。

Parallels Tools のインストール

macOS 仮想マシンに **Parallels Tools** をインストールするには、以下の操作を実行します。

- 1 macOS 仮想マシンを起動します。
- 2 macOS が起動したら、メニューバーから <macVM_name> > [Parallels Tools をインストール] を選択します。Parallels Compressor ISO イメージが仮想マシンの CD/DVD ドライブに接続されます。ゲスト OS が自動的にそれをマウントします。
- 3 Finder で **Parallels Tools** ボリュームフォルダーを開き、[インストール] をダブルクリックします。

- 4 プロンプトが表示されたら、管理者パスワードを入力します。
- 5 **Parallels Tools** のインストールが完了したら、仮想マシンを再起動します。

Parallels Tools を再インストールする

Parallels Tools を再インストールするには、以下の操作を実行します。

- 1 macOS 仮想マシンを起動します。
- 2 macOS が起動したら、グラフィカルセッションにログインして、[仮想マシン] メニューから [Parallels Tools の再インストール] を選択します。Parallels Tools が自動的にインストールされます。

Parallels Tools のアップデート

Parallels Tools for Mac の新しいバージョンが利用可能な場合は、Parallels Tools は自動的に更新されます。

Parallels Tools がインストールされたかどうかの確認

Parallels Tools がインストールされたかどうかは、簡単に確認できます。仮想マシンを起動して、ウィンドウのステータスバーを確認します。仮想マシンのウィンドウのステータスバーに、"Ctrl+Alt を押してマウスとキーボードを解放します" というメッセージが表示されている場合は、Parallels Tools はインストールされていません。Parallels Tools がインストールされている場合は、マウスとキーボードを解放するためにキーを押す必要はありません。マウスとキーボードは自動的に解放されます。

ファイルタイプの関連付け設定

Parallels Desktop の使用中に、macOS のファイルを Windows アプリケーションで開くことや、Windows のファイルを macOS アプリケーションで開くことが必要になる場合があります。これを頻繁に行う場合は、ファイルのファイルの関連付けを変更します。

注意:

1.この機能は、**Parallels Tools** がインストールされた (p. 272) **Windows** でのみ使用できます。

2.この機能は、**Parallels Desktop** の **App Store** エディションではサポートされていません。スタンダードエディションと **App Store** エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

macOS ファイルの Windows アプリケーションへの関連付け

特定の種類の macOS のファイルを常時 Windows アプリケーションで開くよう設定する場合は、以下の手順を実行します。

- 1 **Finder** で macOS のファイルを右クリックし、[このアプリケーションで開く] をポイントして、[その他] をクリックします。
- 2 [Macintosh HD] > [ユーザー] > [<ユーザー名>] > [アプリケーション (Parallels)] の順に移動して、対象となる仮想マシンフォルダーを開きます。
- 3 目指す Windows アプリケーションを選択し、[開く] をクリックします。
- 4 Parallels Desktop には、このファイルの種類のアプリケーションをデフォルトにするかどうかを尋ねる macOS の通知が表示されます。[すべてを変更] をクリックします。このタイプのファイルすべてが、選択した Windows アプリケーションで開くようになります。

特定の種類の macOS のファイルを常時 Windows アプリケーションで開くよう設定する場合は、以下の方法も使用できます。

- 1 macOS のファイルを右クリックし、[情報を見る] を選択します。
- 2 [このアプリケーションで開く] セクションの [このアプリケーションで開く] メニューをクリックし、[その他] を選択します。
- 3 [Macintosh HD] > [ユーザー] > [<ユーザー名>] > [アプリケーション (Parallels)] の順に移動して、対象となる仮想マシンフォルダーを開きます。
- 4 目指す Windows アプリケーションを選択し、[常にこのアプリケーションで開く] を選択して [追加] をクリックします。
- 5 [すべてを変更] をクリックし、ファイル情報メニューを閉じます。このタイプのファイルすべてが、選択した Windows アプリケーションで開くようになります。

Windows ファイルの macOS アプリケーションへの関連付け

Windows 10 および 11 の場合:

特定の種類の Windows ファイルを常時 macOS アプリケーションで開くよう設定する場合は、以下の手順を実行します。

- 1 Windows のファイルを右クリックし、[プログラムから開く] > [別のプログラムを選択] を選択します。
- 2 その種類のファイルに使用する macOS アプリケーションを選択し、[常にこのアプリを使って <file_extension> ファイルを開く] が選択されていることを確認します。このタイプのファイルすべてが、選択した macOS アプリケーションで開くようになります。

Windows 7 および 8 の場合:

特定の種類の Windows ファイルを常時 macOS アプリケーションで開くよう設定する場合は、以下の手順を実行します。

- 1 Windows のファイルを右クリックして、[アプリケーションから開く] > [既定のアプリケーションの選択] を選択します。
- 2 その種類のファイルに使用する macOS アプリケーションを選択して、[常にこのアプリを使って <拡張子> ファイルを開く] が選択されていることを確認します。このタイプのファイルすべてが、選択した macOS アプリケーションで開くようになります。

ピクチャ・イン・ピクチャモード

ピクチャ・イン・ピクチャモードに切り替えると、仮想マシンのウィンドウのサイズを変更して、Mac のアプリケーションと並べて配置できます。

ピクチャ・イン・ピクチャモードでは、次のことを行えます。

- ウィンドウの右下隅をドラッグすると、形を維持したまま、Windows のウィンドウのサイズを変更できます。

- Option (Alt) キーを押しながらウィンドウの右下隅をドラッグすると、Windows のウィンドウのサイズを変更できます。
- Shift キーを押しながらウィンドウの右下隅をドラッグすると、Windows のウィンドウのサイズを変更し、画面解像度を動的に調整できます。

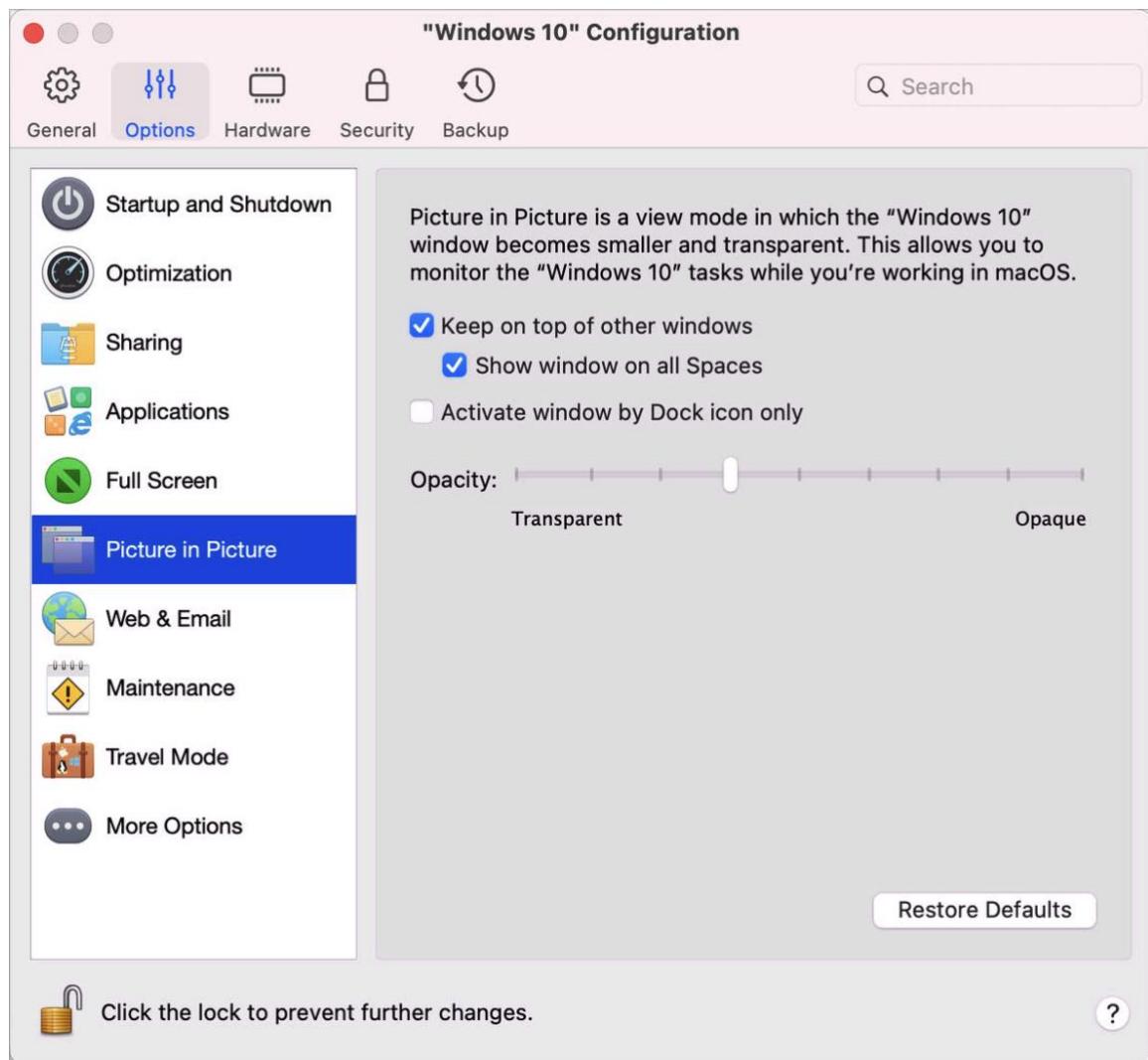
ピクチャ・イン・ピクチャ設定を使用すると、ピクチャ・イン・ピクチャモードで実行中の仮想マシンの外観や動作を構成できます。ピクチャ・イン・ピクチャモードでは、仮想マシンのウィンドウのサイズを変更して、これを Mac のアプリケーションと並べて配置できます。ピクチャ・イン・ピクチャウィンドウはサイズを自由に変更できるだけでなく、そのコンテンツをアクティブに保つことができます。これにより、Mac で作業を続けながら、仮想マシンで実行中のタスクを監視できるようになります。

これらの設定を編集するには、次の操作を実行します。

- 1 メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[構成] を選択します。または、**Parallels Desktop** のメニューバーが画面上部にある場合は、[仮想マシン] > [構成] を選択します。
- 2 [仮想マシン構成] ウィンドウで [オプション] をクリックし、サイドバーで設定名を選択します。

高度な説明

仮想マシンが実行中でも、このペインの設定を構成できます。



ピクチャ・イン・ピクチャモードでは、仮想マシンのウィンドウはデフォルトで透明になります。[透明] と [不透明] の間でスライダーをドラッグして、[不透明度] フィールドで可視性のレベルを指定できます。実行している仮想マシンがピクチャ・イン・ピクチャモードの場合、仮想マシンの透明度を変更できます。

ピクチャ・イン・ピクチャモードでの仮想マシンのウィンドウの動作を管理するには、デフォルトで選択されている次のオプションを使用します。

- 常に他のウィンドウの前面に表示する: 仮想マシンがピクチャ・イン・ピクチャモードの場合に、この他の開かれているすべてのウィンドウの前面にこの仮想マシンが表示されないようにするには、このオプションをオフにします。

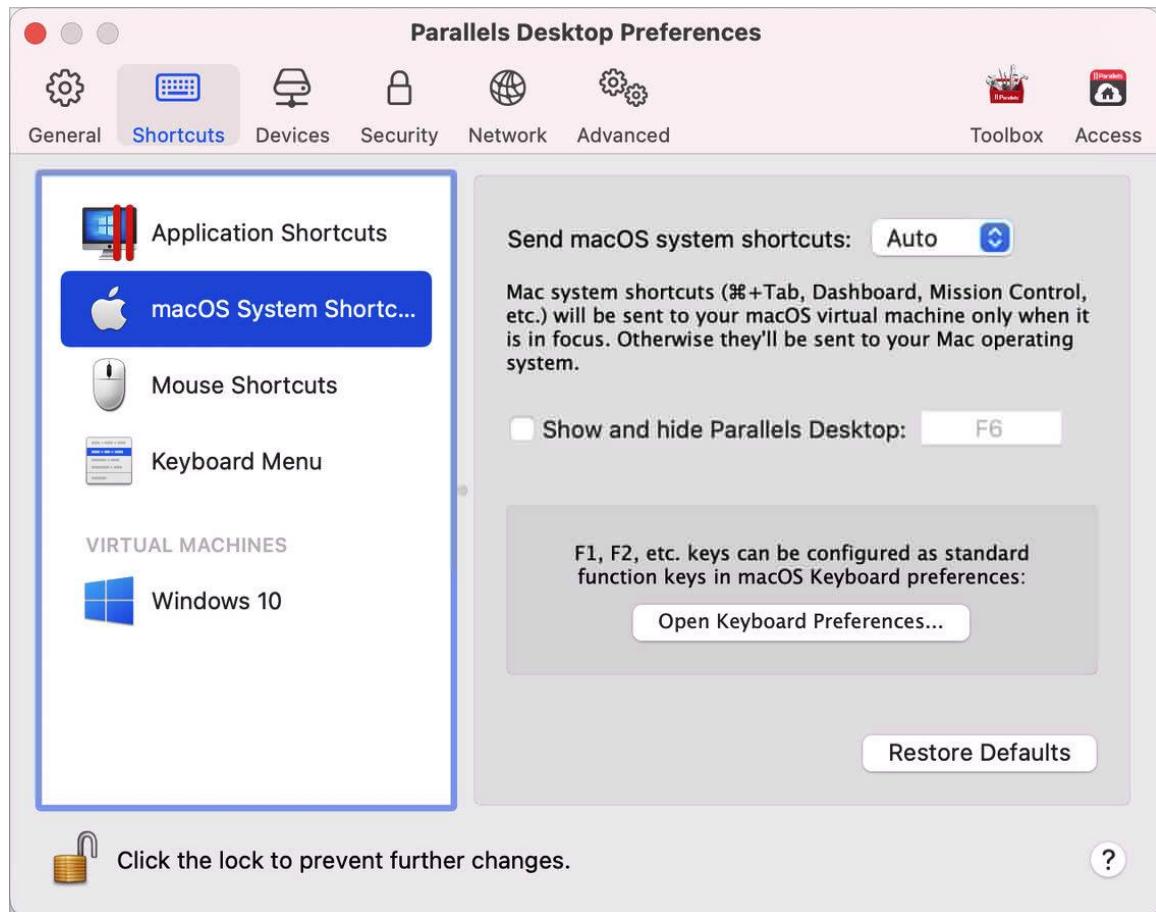
- すべての操作スペースにウィンドウを表示: 仮想マシンのウィンドウをすべてのスペースに表示しないようにするには、このオプションをオフにします。
- Dock アイコンのみでウィンドウをアクティベート: 仮想マシンのウィンドウを非アクティブにするには、このオプションを選択します。選択したら、ウィンドウをクリック「スルー」します。ウィンドウを再度アクティブにしてマウスまたはキーボードによる入力をキャプチャするには、Dock 内の仮想マシンのアイコンをクリックします。

Parallels Desktop の表示/非表示

Parallels Desktop の実行中、Function (Fn) キーを押したまま F6 キーを押すと、Parallels Desktop およびそのすべてのウィンドウを表示または非表示にすることができます。

Parallels Desktop が表示されているがバックグラウンドで動作している場合、Fn-F6 を押すと、Parallels Desktop およびそのすべてのウィンドウをアクティブにで

ります。Parallels Desktop の表示/非表示のキーは、Parallels Desktop 環境設定の [ショートカット] タブで構成できます。



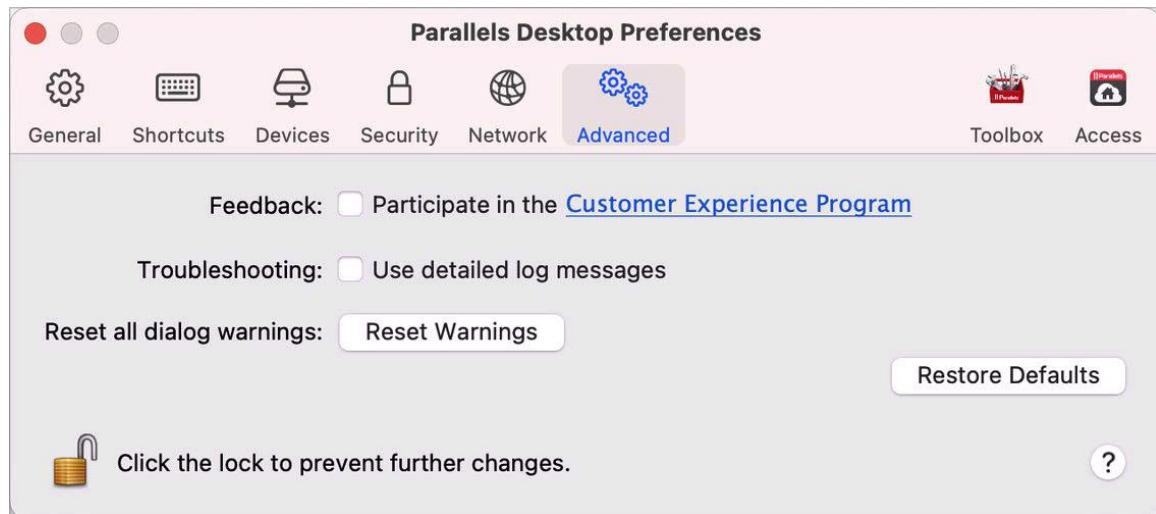
注: Mac キーボード上のはとんどのファンクションキー (F1、F2 など) は本来、ボリュームや輝度などを制御する特定のコントロールキーとして機能するため、ファンクションキーで代替のアプリケーション固有の機能を起動する場合は、Fn キーを押しながらファンクションキーを押す必要があります。Fn キーを押さず、ファンクションキーだけで代替の機能を起動するように設定したい場合は、[アップルメニュー] > [システム環境設定] を選択し、[キーボード] をクリックします。そして、[キーボード] タブをクリックし、[F1、F2 などのすべてのキーを標準のファンクションキーとして使用] を選択します。

Parallels Desktop の削除

Parallels Desktop を削除するには、Applications フォルダーを開き、Parallels Desktop アプリケーションをゴミ箱にドラッグします。

詳細な環境設定

Parallels Desktop 環境設定の [詳細] ペインで、詳細な設定を構成できます。



フィードバック

カスタマーエクスペリエンスアプリケーションに参加するには、該当オプションを選択します。このアプリケーションに参加すると、Parallels はご使用の Mac と仮想マシンの構成に関する情報を収集します。収集された情報は、ユーザーのニーズに合う製品を提供するために利用されます。

参加する場合、以下の種類のデータのみが収集されます。

- お使いの Mac のハードウェア構成
- お使いの Mac および仮想マシンのソフトウェア構成（オペレーティングシステムおよびそこにインストールされているソフトウェアの名前とバージョン）
- 仮想マシンの構成ファイル

名前、電子メール、住所、電話番号などの個人情報、およびキーボード入力は収集されません。

詳細については、Parallels 社 Web サイトのカスタマーエクスペリエンスアプリケーションのページを参照してください（ペインのリンク先に移動してください）。

トラブルシューティング

Parallels Desktop はその動作中に、ログファイルを自動的に作成します。Parallels サポートチームは、このファイルを活用して問題の解決や製品の改善にあたります。[詳細ログメッセージを使用する] オプションを選択すると、**Parallels Desktop** はより詳細なログファイルの作成を開始します。これは Parallels サポートチームにとって有益なファイルとなります。ハードディスク領域の使用量が増加するだけでなく、システムのパフォーマンスが若干低下する可能性があります。

非表示メッセージの再度の表示

Parallels Desktop の一部のダイアログボックスやウィンドウには、[今後、このメッセージを表示しない] オプションが表示されます。このオプションを選択すると、次に同じ操作を実行した場合にこのダイアログボックスが表示されなくなります。[警告をリセット] ボタンを使用して、このオプションが選択されているすべてのダイアログボックスやウィンドウをリセットすると、その操作を開始するたびに再びメッセージが表示されるようになります。

Parallels Desktop 環境設定のロック

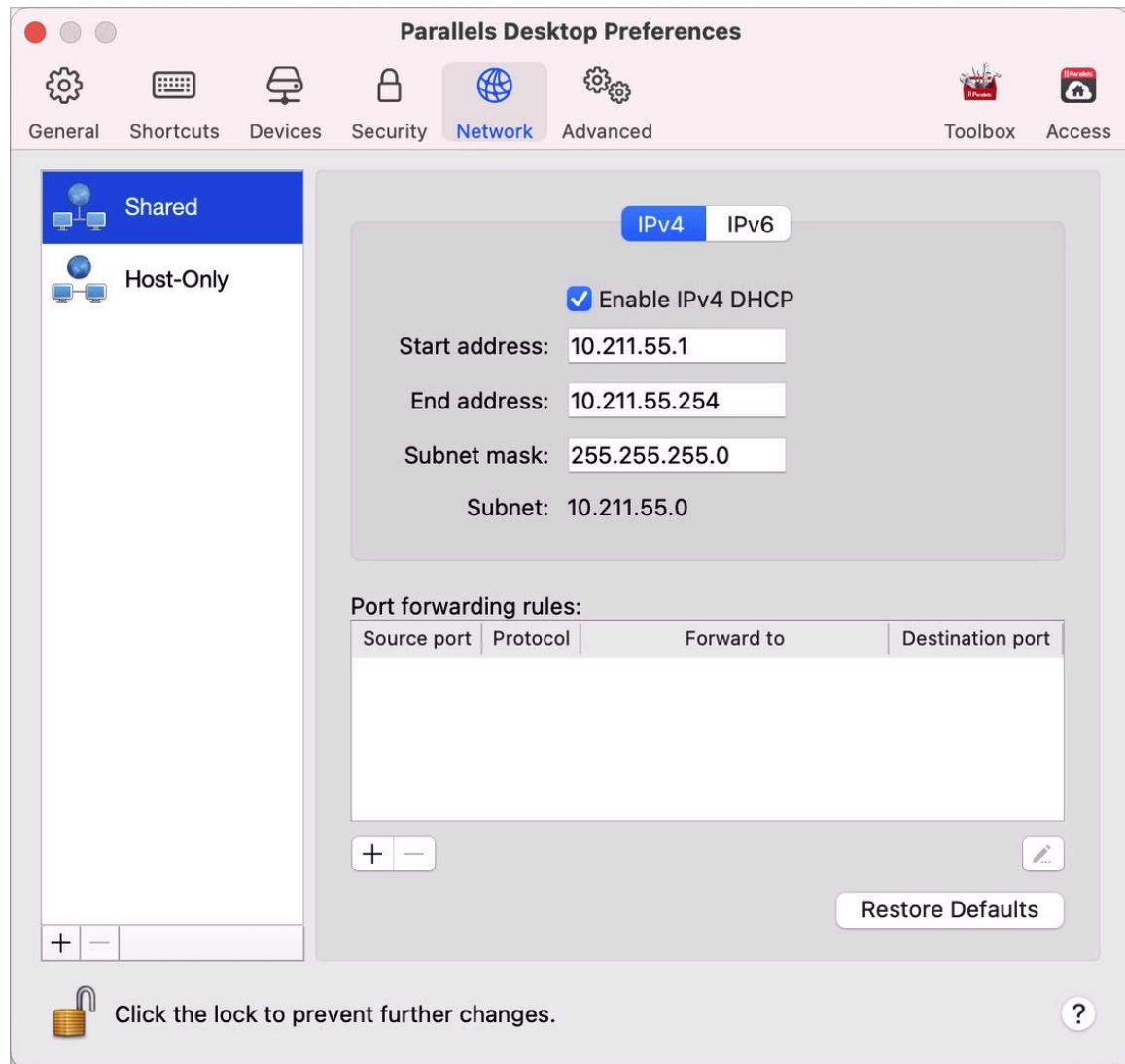
Parallels Desktop 環境設定を未承認の変更から保護する場合は、ウィンドウの下部の [カギ] アイコンをクリックします。そうすると、次回に **Parallels Desktop** 環境設定のいずれかのペインで設定を変更する際に、管理者のパスワードが要求されるようになります。

注: **Parallels Desktop** 環境設定のロックは、**Parallels Desktop** の App Store エディションではサポートされていません。スタンダードエディションと App Store エディションの違いについては、こちらのリンク <https://kb.parallels.com/123796> を参照してください。

共有ネットワークの設定

注: 共有ネットワーク設定は、**Parallels Desktop for Mac Pro Edition** でのみ利用できます。

共有ネットワークの設定を変更するには、Parallels Desktop 環境設定の [ネットワーク] タブを選択し、[共有] をクリックします。次のウィンドウが表示されます。



このウィンドウで、IPv4 および IPv6 向けの Parallels DHCP サーバーの設定に、必要な変更を加えます。これらのサーバーはデフォルトで有効になっており、共有ネットワークモードで動作する仮想マシンに IP アドレスを自動的に割り当てます。これらのサーバーのいずれかを無効にするには、対応するオプションをクリアします。

共有ネットワークの構成に関する詳細については、「macOS と Windows 間でのネットワーク設定の共有」(p. 126) を参照してください。

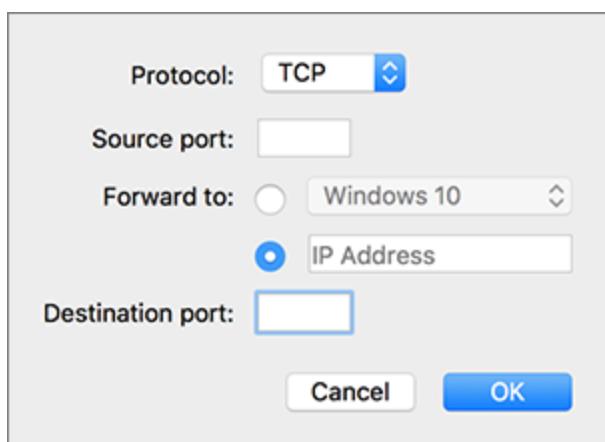
ポートフォワーディング

注: この機能は Parallels Desktop for Mac Pro Edition でのみ利用できます。

通常、共有ネットワークモードで動作するよう設定されている仮想マシンには外部コンピューターからアクセスできません。ポートフォワーディング機能を使用すると、ローカルネットワークやインターネット上のコンピューターから、共有ネットワークモードを使用している仮想マシンにデータを転送できます。Mac の特定ポートに送信されるデータは、ポートフォワーディングルールに基づいて仮想マシンの特定のポートにリダイレクトされます。

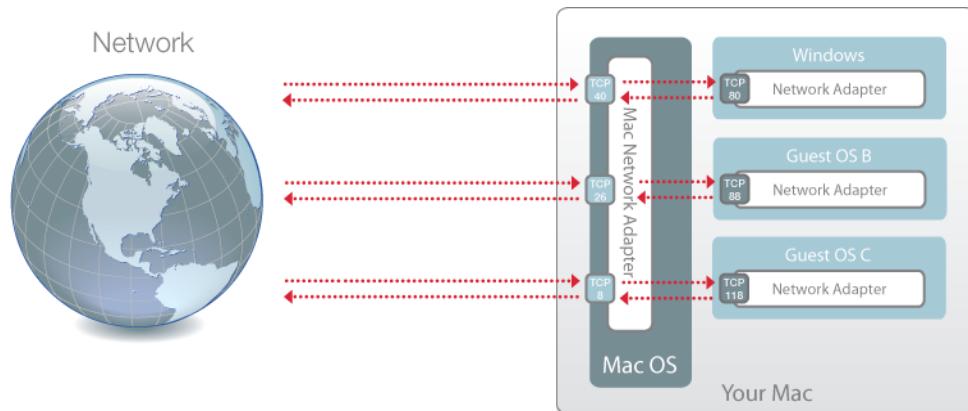
ポートフォワーディングルールを追加するには、以下の操作を実行します。

- 1 [ポートフォワーディングルール] リストの下にある [追加] ボタン (+) をクリックします。
- 2 表示されたウィンドウで、次の操作を実行します。
 - [プロトコル] フィールドで、ネットワーク接続の確立に使用するポートの種類を指定します。TCP または UDP のポートを選択できます。
 - [ソースポート] フィールドに、Mac の受信ポート番号を入力します。
 - [転送先] セクションに、接続先の仮想マシンの IP アドレス名を指定します。
 - [宛先ポート] フィールドに、データの転送先となる仮想マシンのポートを入力します。



- 3 [OK] をクリックしてルールを追加します。

ルールを追加する場合、仮想マシンに対する外部接続には IP アドレスの組み合わせとして、<Mac の IP アドレス>:<受信ポート> を使用します。



ルールを編集するには、[ポートフォワーディングルール] リストでそのルールを選択し、[編集] ボタンをクリックします。必要な設定を変更後、[OK] をクリックして変更を適用します。

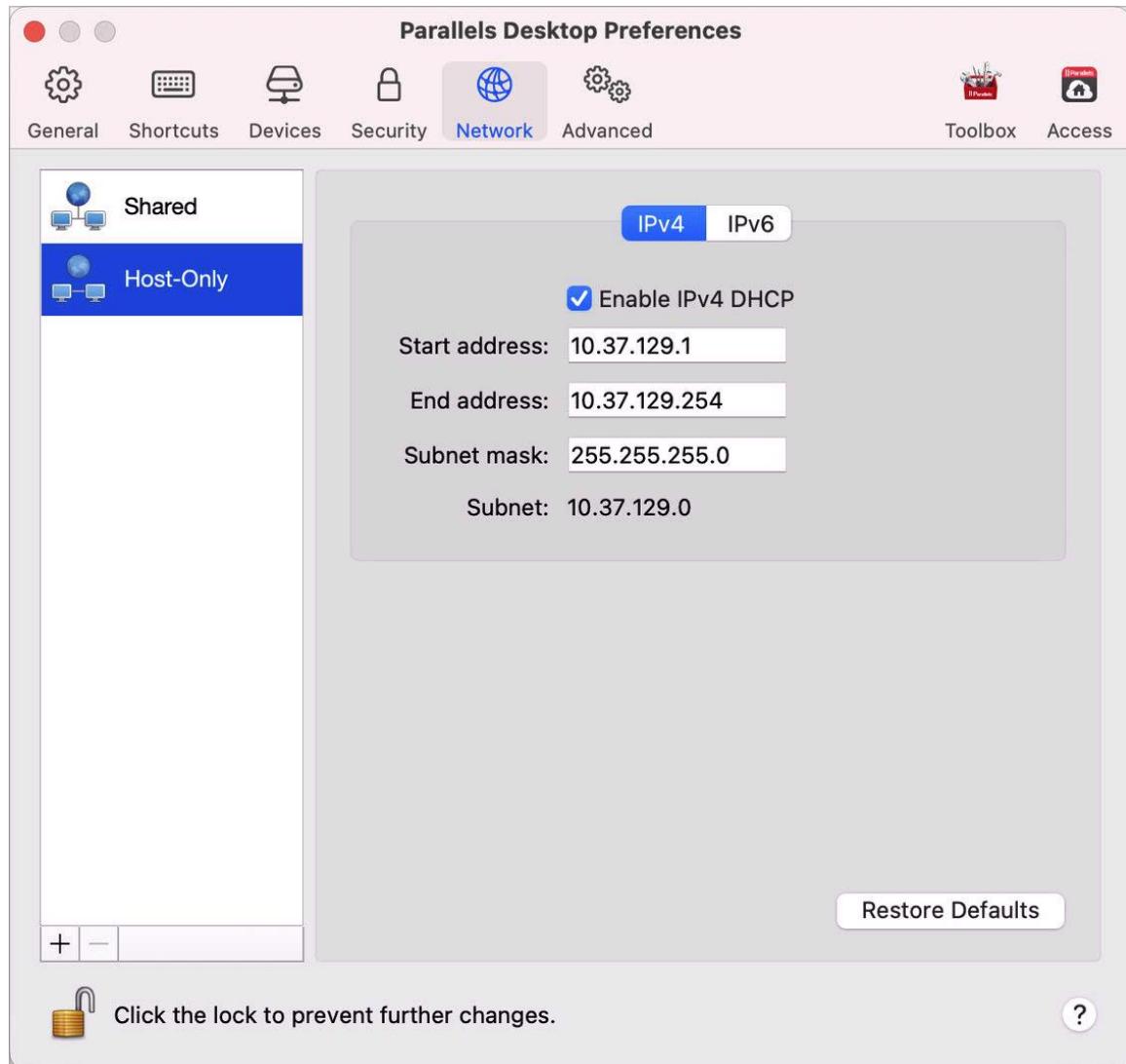
ポートフォワーディングルールを削除するには、[ポートフォワーディングルール] リストでそのルールを選択し、[削除] ボタン (-) をクリックします

デフォルトの設定を復元するには、[デフォルトに戻す] をクリックします。

ホストオンリネットワークの設定

注: ホストオンリネットワーク設定は、Parallels Desktop for Mac Pro Edition でのみ利用できます。

ホストオンリ-ネットワークの設定を変更するには、Parallels Desktop 環境設定の【ネットワーク】タブを選択し、【ホストオンリ】をクリックします。次のウィンドウが表示されます。



このウィンドウで、IPv4 および IPv6 向けの Parallels DHCP サーバーの設定に、必要な変更を加えます。これらのサーバーはデフォルトで有効になっており、ホストオンリネットワークモードで動作する仮想マシンに IP アドレスを自動的に割り当てます。これらのサーバーのいずれかを無効にするには、対応するオプションをクリアします。

デフォルトの設定を復元するには、【デフォルトに戻す】をクリックします。

ホストオンリネットワーク設定の構成についての詳細は、「ホストオンリネットワーク設定の使用」(p. 129) を参照してください。

カスタマイズされたホストオンリネットワークの作成

Parallels Desktop を使用して作業するとき、既に構成された共有またはホストオンリネットワークを使用できます。仮想マシン間のネットワークトラフィックを管理する必要がある場合、新規のホストオンリネットワークを追加できます。

注: 新規のホストオンリネットワークは、**Parallels Desktop for Mac Pro Edition** でのみ追加できます。

新規のホストオンリネットワークを追加するには、以下の操作を実行します。

- 1 次のいずれかを実行します。
 - メニューバーの **Parallels Desktop** アイコンをクリックし、[環境設定] を選択します。[ネットワーク] をクリックします。
 - Dock 内の **Parallels Desktop** のアイコンを右クリックし、[環境設定] を選択します。[ネットワーク] をクリックします。
- 2 [追加] ボタン (+) をクリックします。新規のホストオンリネットワークが追加されたら、必要な方法で設定を構成します。

カスタムホストオンリネットワークを削除するには、選択して [削除] ボタン (-) をクリックします

第 11 章

トラブルシューティング

Parallels Desktop の使用中に問題が発生した場合、こちらのセクションで解決策を探すことができます。

このガイドで問題の解決策が見つからない場合は、<https://kb.parallels.com/> <https://kb.parallels.com/128867> にアクセスしてオンラインのナレッジベースをご確認ください。それでも問題の解決策が見つからない場合は、技術サポート（<https://www.parallels.com/support/>）にお問い合わせください。

第 12 章

Parallels Desktop のソーシャルメディア ページ

Parallels Desktop の Twitter アカウントや Facebook ページで、最新ニュースやアップデートを確認することができます。[Parallels Desktop] > [Parallels Desktop について] を選択し、ソーシャルメディアページへのリンクをクリックします。

第 13 章

その他のリソース

Parallels Desktop の詳細と使用のヘルプについては、以下のリソースを参照してください。

- **Parallels** サポート Web サイト: **Parallels** サポート Web サイトには、製品のヘルプファイルと FAQ のセクションがあります。
- **Parallels** ナレッジベース: このオンラインリソースには、**Parallels Desktop** を含む **Parallels** 製品の使用時に参考になる記事が集められています。
- オンラインマニュアル。**Parallels Desktop** およびその他の **Parallels** 製品のドキュメントは、弊社 Web サイトの該当セクション <https://docs.parallels.com/> からご覧いただけます。

第 14 章

用語集

この用語集は、**Parallels Desktop** のドキュメントで使用される用語を定義し、その略語を略さずに記載しています。この用語集の別項で定義されている用語への参照は、斜体で表記されています。

管理者: 管理権限を持つユーザーです。

アクティベーションキー: Mac 上の **Parallels Desktop** アプリケーションをアクティベートし、**Parallels Desktop** の機能を最大限に活用するための、記号の一意の組み合わせです。

アクティブ OS: **Parallels Transporter Agent** が起動される OS です。

アクティブボリューム: アクティブ OS のブートボリュームとして使用される、物理ソースコンピューターのボリュームです。

起動可能なハードディスク: OS の起動に使用するディスクです。通常は、OS がインストールされているディスクです。

ブートボリューム: OS が起動するハードディスクパーティションです。

Boot Camp パーティション: Mac のハードディスク上のパーティションで、Windows OS のインストールに使用できます (Mac ホストコンピューターの場合のみ)。

ブリッジネットワーク: 仮想マシンのネットワーク接続モードです。仮想マシンを独自の IP アドレスとネットワーク名を持つ別のコンピューターとしてネットワーク上で表示できます。

Coherence: Windows の操作に使用できる表示モードの 1 つです。Windows が Coherence の場合、デスクトップが非表示になり、Windows アプリケーションと Mac アプリケーションは、両方が 1 つの OS 上で動作しているかのように、Mac デスクトップに並んで表示されます。

構成ファイル: 仮想マシンのハードウェア構成や仮想マシンが使用するデバイスなどの設定を指定するファイルです。このファイルは、新しい仮想マシンを作成したときに自動的に作成されます。**PVS** ファイルも参照。

CPU。 Central Processing Unit (中央演算処理装置) の略語です。コンピューターの内部部品です。プロセッサも参照。

古いフォーマットのディスク: Parallels Desktop 2.5 以前のバージョンで作成された仮想マシンのディスクです。

新しいフォーマットのディスク: バージョン 3.0 以降でサポートされるようになった Parallels ハードウェア仮想化製品で作成または使用された仮想マシンのディスクです。

拡張可能フォーマット: 仮想ハードディスクのフォーマットです。Mac には、拡張用の仮想ハードディスクイメージファイルが存在します。このサイズは、仮想マシンにアプリケーションやデータを追加することで大きくなります。

FireWire 接続: コンピューター間での高速データ転送を可能にするワイヤード接続です。

ゲストオペレーティングシステム (ゲスト OS): 仮想マシンにインストールされる OS です。

ホストコンピューター: 仮想マシンの実行に使用されるコンピューターです。

Parallels Desktop for Mac の場合は Mac です。Parallels Desktop for Windows または Parallels Desktop for Linux の場合、Parallels Desktop がインストールされた Windows または Linux ベースの物理コンピューターです。Parallels Transporter のマニュアルでは、この用語は移行の結果をホストするコンピューターを指す場合があります。

ホットキー: アプリケーションやコマンドにすばやくアクセスするためのユーザー定義のキーまたはキーの組み合わせです。ショートカットも参照。

HDD ファイル: 仮想マシンの作成時には、拡張子が .hdd の仮想ハードディスクファイルが必要になります。仮想ハードディスクファイルも参照。

ホストオンリネットワーク: 仮想マシンのネットワーク接続モードです。ホストコンピューターとその仮想マシン間のプライベートネットワークを作成して、仮想マシンをホストコンピューターからのみ利用できるようにします。

ISO イメージ: CD または DVD ディスクのすべてのコンテンツを含む特別なファイルで、通常は OS のインストールに使用されます。

イメージファイル: ハードディスクドライブ、CD、DVD などのデータストレージ用メディアまたはデバイスのすべてのコンテンツと構造を含む 1 つのファイルです。

IP アドレス: コンピューターネットワークに属する物理コンピューターまたは仮想マシンに割り当てられている一意のアドレスです。

Linux コンピューター: Linux OS がインストールされている物理コンピューターです。

マージ済みディスク: 複数の部分を单一のディスクにマージした分割ディスクです。

移行: 物理コンピューターまたはサードパーティの仮想マシンから **Parallels** 仮想マシンまたは仮想ディスクにデータを転送するプロセスです。

OS: オペレーティングシステム。

Parallels Desktop for Mac: Mac で仮想マシンを作成、管理、使用するためのアプリケーションです。

Parallels Tools: プライマリ OS およびゲスト OS 間を密接に統合する一連の Parallels ユーティリティです。

Parallels Transporter: この物理コンピューターまたは仮想コンピューターの Parallels 仮想複製を作成するために物理コンピューターまたは仮想コンピューターのデータを使用するアプリケーションです。複製された仮想マシンは **Parallels Desktop** と一緒に使用できます。

Parallels Transporter Agent: 物理コンピューター上のデータを収集し、それを Mac にインストールされた **Parallels Transporter** に転送するアプリケーションです。

ピクチャ・イン・ピクチャ: **Windows** の操作に使用できる表示モードの 1 つです。ピクチャ・イン・ピクチャモードの場合、**Windows** デスクトップがウィンドウに表示され、ウィンドウのサイズを変更するとデスクトップのサイズも変更されます。また、このウィンドウを常に他のウィンドウの前面に表示するように設定できます。透過性レベルを調整できるので、そのウィンドウを監視しながら他のアプリケーションで作業できます。

Preboot Execution Environment (PXE) : 利用可能なデータ記憶装置（ハードディスクなど）またはインストール済みの **OS** とは関係なく、ネットワークインターフェイスを使用してコンピューターを起動するための環境です。

プライマリオペレーティングシステム（プライマリ OS） : コンピューターの I/O デバイスを制御し、物理コンピューターの電源がオンになったときにロードされる OS です。これは、**Parallels Desktop** アプリケーションがインストールされている物理コンピューターのオペレーティングシステムです。

プロセッサ: 中央演算処理装置、すなわち **CPU** です。コンピューターの内部部品です。

PVS ファイル: 仮想マシンのリソース、デバイス、およびその他の設定についての情報を含む仮想マシン構成ファイルです。

共有ネットワーク: 仮想マシンのネットワーク接続モードです。これにより、仮想マシンはホストコンピューターのネットワーク接続を使用できます。このモードでは、ホストコンピューターが属するネットワーク上の他のコンピューターからは仮想マシンを参照できません。

ショートカット: アプリケーションやコマンドにすばやくアクセスするためのユーザー一定義のキーまたはキーの組み合わせです。ホットキーも参照。

スナップショット: 特定の時点における仮想マシンの状態のコピーです。スナップショット関連のファイルは、仮想マシンのフォルダー内の特別なサブフォルダーに格納されます。

ソースコンピューター: **Parallels Transporter** を使用したデータ移行の移行元となるコンピューターです。

ターミナル: macOS および GNU/Linux OS でコマンドラインにアクセスするためのユーティリティです。

サードパーティ仮想マシン: サードパーティの仮想化製品によって作成された仮想マシンです。この仮想マシンは、**Parallels Transporter** を使用して **Parallels** 仮想マシンに変換できます。

仮想ハードディスク（仮想ディスク）: 仮想マシンのハードディスクをエミュレートするファイルです。

仮想マシン: **Parallels Desktop** を使用してエミュレートされるコンピューターです。仮想マシンごとに専用の仮想ハードウェアがあり、そのハードウェアを制御するための **OS** が必要になります。インストールされた **OS** とアプリケーションは、その仮想マシンのみで機能しますが、ホストコンピューターの物理ハードウェアリソースを共有します。

仮想マシン構成: 物理コンピューターと同様に、仮想マシンにはそれぞれの構成があります。この構成は、仮想マシンの作成中に設定されますが、後で変更することもできます。仮想マシン構成の設定は、**PVS** ファイルに格納されます。

仮想マシンファイル: **[仮想マシン]** フォルダーに格納されているファイルです。仮想マシンには、少なくとも次の 2 つのファイルがあります：構成ファイルと仮想ハードディスクファイル。

仮想ハードディスクファイル: 仮想マシンの作成時には、拡張子が .hdd の仮想ハードディスクファイルが必要になります。このファイルは、実ハードディスクの機能を実行します。**HDD** ファイルも参照。

仮想マシンテンプレート: 複数の仮想マシンに複製できる仮想マシンです。複製された仮想マシンには、仮想マシンテンプレートと同じ構成とデータが適用されます。

VM: 仮想マシンを参照。

Windows コンピューター: Windows OS がインストールされている物理コンピューターです。